

— 君津市 —

# 上湯江遺跡Ⅴ

宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2022

株式会社 新昭和  
君津市教育委員会

— 君津市 —

かみ ゆ え  
上湯江遺跡Ⅴ

宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2022

株式会社 新昭和  
君津市教育委員会

# 序 文

広大な市域を有する君津市には、二大河川の小糸川・小櫃川流域を中心に、数多くの遺跡が所在しております。これらの貴重な遺跡を、私たちは後世へと伝え残していかななくてはなりません。

現代では、経済発展や地域活性化のための開発が進む一方、それらの行為によって遺跡が壊されてしまうことも多いのが実情です。このような状況のなか、開発と遺跡保存の一つの解決策として講じているのが、事前に発掘調査を実施し、その記録を報告書として後世へ残す「記録保存」という手段であります。

本報告書は、民間開発事業に伴い発掘調査を実施した上湯江遺跡の成果をまとめたものです。今回の調査では、古墳時代から中世にかけての遺構・遺物を数多く検出しました。中でも平安時代の井戸からは、墨書土器など当地区はもちろんのこと、君津市全体においても貴重な成果を上げました。また、古銭を備蓄した中世の遺構を検出するなど多岐にわたった資料を得ることができました。

本書が学術資料、教育資料として活用されるとともに、市民をはじめ多くの皆様の目にとまり、遺跡というものがごく身近にも存在しているのだということを認識していただく契機となり、埋蔵文化財の保護を推進することができれば幸いです。

結びにご指導・ご助言いただきました千葉県教育庁教育振興部文化財課、発掘調査・整理作業に従事した調査補助員の方々、ご協力いただいた地域の方々、関係者の皆様に対しまして、心から感謝の意を表します。

令和4年3月

君津市教育委員会  
教育長 粕谷 哲也

# 例 言

- 1 本書は、令和元・2年度調査実施の千葉県君津市上湯江に所在する上湯江遺跡Vの成果を収録した発掘調査報告書である。
- 2 調査は、千葉県教育委員会の指導のもと、君津市教育委員会が実施した。
- 3 事業名および発掘調査の期間・面積、整理期間は以下のとおりである。  
宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査  
(確認調査) 令和2年2月6日～同年3月25日 1,792/21,878.95 m<sup>2</sup>  
(本調査) 令和2年5月18日～令和3年1月13日 7,748.5 m<sup>2</sup>  
(整理作業) 令和3年5月17日～令和4年3月22日
- 4 発掘調査は、令和元年度朝倉 唯、令和2年度朝倉、當眞紀子、曾我真実子が担当した。整理作業・原稿執筆・編集は當眞・矢野淳一の協力の下、曾我が担当した。
- 5 発掘調査で使用した遺跡コードは、上湯江遺跡：KT 056 である。なお、遺物注記の際には、コードの次に調査地点を付した(例：KT 056 V)。
- 6 遺構・遺物の縮尺は各実測図に明記した。方位は座標北であり、測量値は世界測地系による。
- 7 出土した木製品及び獣骨については株式会社パレオ・ラボに樹種同定、獣骨同定の自然科学分析を委託した。
- 8 今回の調査に伴う遺物・図面・写真等の記録類は、君津市教育委員会にて保管する。
- 9 調査組織は下記のとおりである。  
《君津市教育委員会》  
令和元～3年度  
教育長：山口喜弘(令和2年度6月まで) 粕谷哲也(令和2年度7月から)  
教育部長：加藤美代子(令和元年度まで) 安部吉司(令和2年度から)  
生涯学習文化課長：矢野淳一(令和2年度まで) 塚越直美(令和3年度から)  
副主幹(事)文化振興係長：當眞紀子 (再)主査：矢野淳一(令和3年度から)  
文化財主事：朝倉 唯 文化財主事：曾我真実子
- 10 発掘調査から本書の刊行にいたるまで、千葉県教育委員会をはじめとする関係諸機関の方々からご指導・ご協力をいただいた。記して感謝の意を表したい(敬称略・五十音順)。  
浅野健太、岡山亮子、甲斐博幸、鎌田望里、川名葵、武田剛朗、佃沙奈、松本勝

# 凡 例

- 1 本書で使用した地形図は、第1図 地形図「鹿野山」(1:25,000) 国土地理院発行、第2図 君津市地形図「D-5」(1:2,500) 君津市発行である。
- 2 遺構番号は各遺構ごとに通しで番号を付した。図示する遺物が出土していない土坑、ピットについては表にまとめた。
- 3 調査区ごとで一括して記載した遺物については、番号脇の( )内に遺構番号を記した。
- 4 本文中及び表中に記載した遺構の重複関係は(旧)→(新)の順に記載した。
- 5 整理作業時に遺構の性格を検討した結果、番号を変更・欠番とした遺構がある。出土遺物には、発掘調査時の遺構番号で注記を行った。遺構番号の新旧対応は以下のとおりである。

(旧) P-75	→	(新) SK-037	(旧) P-290	→	(新) SB-001-P-7
SK-037	→	P-75	P-294	→	SB-001-P-8
SK-038	→	P-74	P-289	→	SB-002-P-9
P-74	→	SK-038	SK-093	→	SB-002-P-10
P-285	→	SB-001-P-1	SK-094	→	SB-002-P-11
P-286	→	SB-001-P-2	SK-095	→	SB-002-P-12
P-287	→	SB-001-P-3	SK-097	→	SB-002-P-13
P-298	→	SB-001-P-4	P-292	→	SB-002-P-14
P-297	→	SB-001-P-5	SK-096	→	SB-002-P-15
P-291	→	SB-001-P-6			

(欠番) SD-020・023・024、SK-093～097、P-285～287・289・290～292・294・297・298

- 6 土器の出土総量が1,000gを超える遺構については、種別ごとに重量を記載した。
- 7 事実記載及び観察表中の「口」「底」は径、「高」は器高、(復)は復元値、(遺)は遺存値を示す。
- 8 遺構・遺物実測図のスクリーントーンは、下記のことを示す。

〔遺構〕



〔遺物〕



# 目 次

序 文・例 言・凡 例	
第 1 章 はじめに	1
1 調査にいたる経緯	1
2 地理的・歴史的環境	1
3 遺跡の概要	3
4 調査の方法	5
5 基本土層	6
第 2 章 調査成果	8
1 検出遺構	8
2 A区	8
3 B区	16
4 C区	20
5 D区	30
6 E区	93
7 その他出土遺物	101
第 3 章 まとめ	102
第 4 章 自然科学分析	106
1 上湯江遺跡V出土木製品の樹種同定	106
2 上湯江遺跡V出土の動物遺体	111

# 挿図目次

第 1 図 周辺の遺跡 (1/25,000)	2	第 20 図 SI-002・003実測図	33
第 2 図 調査範囲図 (1/2,500)	4	第 21 図 SB-001・002実測図	35
第 3 図 確認調査結果及び基本土層図	7	第 22 図 D区遺構平面図 (1)	36
第 4 図 遺構配置図	9	第 23 図 D区遺構平面図 (2)	37
第 5 図 A区遺構実測図 (1)	10	第 24 図 D区遺構平面図 (3)	38
第 6 図 A区遺構実測図 (2)	13	第 25 図 D区遺構断面図 (1)	39
第 7 図 A区出土遺物実測図 (1)	14	第 26 図 SD-045~047・052・053・057・058 出土遺物実測図	41
第 8 図 A区出土遺物実測図 (2)	15	第 27 図 SD-059出土遺物実測図	43
第 9 図 B区遺構実測図	17	第 28 図 D区遺構平面図 (4)	45
第 10 図 B区出土遺物実測図	19	第 29 図 D区遺構平面図 (5)	46
第 11 図 SD-014・015遺構実測図	21	第 30 図 D区遺構平面図 (6)	48
第 12 図 SD-014・015出土遺物実測図	22	第 31 図 D区遺構断面図 (2)	49
第 13 図 C区遺構平面図 (1)	23	第 32 図 SD-067・070・071・073・075 出土遺物実測図	50
第 14 図 C区遺構平面図 (2)	25	第 33 図 SK-084実測図	52
第 15 図 C区遺構断面図	26	第 34 図 D区土坑出土遺物実測図	53
第 16 図 SK-043実測図	27	第 35 図 SE-002実測図	56
第 17 図 C区出土遺物実測図	30	第 36 図 SE-002出土遺物実測図	57
第 18 図 D区遺構平面図	31		
第 19 図 SI-001実測図	32		

第37図	SE-003遺構実測図	59	第52図	P-240出土古銭(1)	80
第38図	SE-003出土遺物実測図(1)	60	第53図	P-240出土古銭(2)	81
第39図	SE-003出土遺物実測図(2)	61	第54図	P-240出土古銭(3)	82
第40図	SE-003出土遺物実測図(3)	62	第55図	P-240出土古銭(4)	83
第41図	SE-003出土遺物実測図(4)	63	第56図	P-240出土古銭(5)	84
第42図	SE-003出土遺物実測図(5)	64	第57図	P-240出土古銭(6)	85
第43図	古銭出土ピット遺構実測図及び P-245出土古銭	68	第58図	P-240出土古銭(7)	86
第44図	P-239出土古銭(1)	69	第59図	D区ピット出土遺物実測図	90
第45図	P-239出土古銭(2)	70	第60図	E区遺構平面図(1)	95
第46図	P-239出土古銭(3)	71	第61図	SD-034出土遺物実測図	96
第47図	P-239出土古銭(4)	72	第62図	E区遺構平面図(2)	97
第48図	P-239出土古銭(5)	73	第63図	E区遺構断面図	98
第49図	P-239出土古銭(6)	74	第64図	E区出土遺物実測図	100
第50図	P-239出土古銭(7)	75	第65図	遺構外出土遺物実測図	101
第51図	P-239出土古銭(8)	76	第66図	調査成果	103
			第67図	P-239・240出土古銭種類別数量	105

## 表目次

表1	A区ピット観察表	12	表16	SD-067・070・071・073・075 出土遺物観察表	50
表2	A区出土遺物観察表(1・2)	15	表17	SK-084出土遺物観察表	52
表3	B区土坑観察表	18	表18	D区土坑出土遺物観察表	53
表4	B区ピット観察表	19	表19	D区土坑観察表(1・2)	54
表5	B区出土遺物観察表	19	表20	SE-002出土遺物観察表	57
表6	SD-014・015出土遺物観察表	22	表21	SE-003出土遺物観察表(1～3)	63
表7	SK-043出土遺物観察表	28	表22	P-239出土古銭観察表(1～3)	77
表8	C区土坑観察表	28	表23	P-240出土古銭観察表(1～4)	86
表9	C区ピット観察表	29	表24	D区ピット出土遺物観察表	90
表10	C区出土遺物観察表	30	表25	D区ピット観察表(1～3)	91
表11	SI-001出土遺物観察表	33	表26	SD-034出土遺物観察表	96
表12	SI-002出土遺物観察表	34	表27	E区土坑観察表	99
表13	SB-002出土遺物観察表	34	表28	E区ピット観察表	100
表14	SD-045～047・052・053・057・058 出土遺物観察表(1・2)	42	表29	E区出土遺物観察表	101
表15	SD-059出土遺物観察表	44	表30	遺構外出土遺物観察表	101

## 図版目次

図版1～10	遺構写真
図版11～31	遺物写真

# 第1章 はじめに

## 1 調査にいたる経緯

令和元年12月26日付けで、株式会社新昭和より「埋蔵文化財発掘の届出について」の提出があった。開発目的は宅地造成で、開発予定面積は21,878.95㎡である。開発区域は「周知の埋蔵文化財包蔵地内（上湯江遺跡）」で、開発着手前に確認調査を実施する必要がある旨を事業者の説明した。協議の結果、計画どおり事業を行うことになり、遺跡の規模及び性格を把握するための確認調査を実施することとした。確認調査は、令和2年2月6日から同年3月25日まで行った。確認調査の結果、溝跡や土坑、ピットが検出されたため、事業者と市教育委員会生涯学習文化課とで再度協議を行い、本調査を行うこととした。本調査は、令和2年5月18日から令和3年1月13日まで行った。なお、調査はすべて君津市教育委員会で行った。

## 2 地理的・歴史的環境（第1図）

上湯江遺跡は、君津市上湯江に所在し、JR内房線君津駅の南東約1.5km地点にある。小糸川下流域の左岸の低位段丘に位置し、標高は約11m前後である。遺跡周辺の環境は、小糸川右岸はすでに市街化が進んでいるのに対して、左岸は水田が広がり自然が多く残っている。左岸の低地・丘陵上には多くの埋蔵文化財が所在しているが、調査例は少ないため様相は明らかではない。

発掘調査がされた周辺の遺跡をみると、同じ低地遺跡であり、区画整理の計画範囲に入っていた**2. 富吉遺跡**、**7. 釜神遺跡**、**8. 中富遺跡**がある<sup>(1)</sup>。

富吉遺跡では、古墳時代後期の竪穴住居跡（以下住居跡）34軒、溝跡36条、古墳周溝1条、奈良・平安時代の掘立柱建物跡13棟のほか、古代の畦畔、中世の土坑などが検出され、古墳時代後期から奈良・平安時代にかけて集落が営まれていたことが判明した。また、近年の調査成果<sup>(2)</sup>では古墳時代中期の遺物や溝跡、住居跡を確認していることから、当該期の集落が存在する可能性も考えられる。釜神遺跡は小糸川の河道跡であり、近世の溝跡、畦畔が検出された。中富遺跡は、小糸川の河道跡に囲まれているが、中富地区の中心一帯は周囲よりも若干標高が高いため、遺構が存在している可能性が十分に考えられる。南東側約2.0kmに低地遺跡の**25. 常代遺跡**<sup>(3)</sup>や**26. 郡条里遺跡**<sup>(4)</sup>がある。常代遺跡は、弥生時代から奈良時代までの複合遺跡であり、弥生時代中期の方形周溝墓群、古墳時代中・後期の集落跡、奈良・平安時代の掘立柱建物群などが調査され、弥生時代中期の河川跡からは多量の木製品が出土している。郡条里遺跡では、古代条里制と関係のある溝跡や水田跡を確認している。丘陵上には縄文時代から古墳時代までの包蔵地である**33. 上野台遺跡**、石製模造品を伴う祭祀関連遺跡の**30. 下荘台遺跡**<sup>(5)</sup>があるが、報告書未刊行のため詳細は不明である。古墳については、古墳時代後期の群集墳である**C. 元秋葉台古墳群**<sup>(6)</sup>や、古墳時代終末の墓制である**D. 元秋葉台横穴群**<sup>(7)</sup>で一部調査が行われており、遺存状態が良好な須恵器等の遺物が出土している。三舟山の麓には、中世の鎌倉街道と推定される**39. 房総往還**も残されて



- |           |           |             |                |            |
|-----------|-----------|-------------|----------------|------------|
| 1. 上湯江遺跡  | 2. 富吉遺跡   | 3. 八幡西遺跡    | 4. 八幡前古墳       | 5. 貞元遺跡    |
| ⑥. 貞元塚田古墳 | 7. 釜神遺跡   | 8. 中富遺跡     | 9. 八崎遺跡        | 10. 下湯江陣屋跡 |
| 11. 天神遺跡  | ⑫. 南子安古墳  | ⑬. 南子安子安坂古墳 | ⑭. 寺の前古墳       | ⑮. 下迫古墳    |
| ⑯. 下道古墳   | ⑰. 馬門古墳   | 18. 子安陣屋跡   | 19. 花輪堂古墳      | 20. 埜田遺跡   |
| 21. 八幡東遺跡 | ⑳. 奎師古墳   | 23. 八幡神社古墳  | 24. 外箕輪遺跡      | 25. 常代遺跡   |
| 26. 郡条里遺跡 | 27. 八幡権現塚 | 28. 郡西遺跡    | 29. 元秋葉台遺跡     | 30. 下荘台遺跡  |
| 31. 下荘台古墳 | 32. 中荘台古墳 | 33. 上野台遺跡   | 34. 上湯江上野台古墳   | 35. 法木作遺跡  |
| ⑳. 法木作古墳  | 37. 陣所古墳  | 38. 三船台遺跡   | 39. 鎌倉街道(房総往還) | 40. 下三船古墳  |
| 41. 春日神社塚 | 42. 浅間塚   |             |                |            |
| A. 三船台古墳群 | B. 上野台古墳群 | C. 元秋葉台古墳群  | D. 元秋葉台横穴群     |            |

※番号に○印のあるものは、すでに消滅

### 第1図 周辺の遺跡 (1/25,000)

おり、古代から中世まで各時期の文化財が多くみられる地域である。

註 (1) 『富吉遺跡群確認調査報告書』1996 君津市教育委員会

『富吉遺跡群確認調査報告書Ⅱ』1997 君津市教育委員会

『富吉遺跡群確認調査報告書Ⅲ』1998 君津市教育委員会

(2) 『富吉遺跡Ⅱ』2017 君津市教育委員会

『平成30年度君津市内遺跡発掘調査報告書』2019 君津市教育委員会

『富吉遺跡Ⅴ』2019 君津市教育委員会

(3) 『常代遺跡群確認調査報告書』1989 君津市教育委員会

『常代遺跡群』1996 財団法人君津都市文化財センター

『常代遺跡Ⅱ』1998 財団法人君津都市文化財センター

『国道127号 埋蔵文化財調査報告書－君津市常代遺跡六反免地区、郡条里遺跡、郡遺跡(2)、郡遺跡(3)、  
小山野遺跡－』2004 財団法人千葉県文化財センター

(4) 『郡条里遺跡確認調査報告書』1988 君津市教育委員会

『郡条里遺跡発掘調査報告書』1990 君津市教育委員会

『郡条里遺跡Ⅱ』1992 財団法人君津都市文化財センター

『郡条里遺跡Ⅲ』1994 財団法人君津都市文化財センター

『国道127号 埋蔵文化財調査報告書－君津市常代遺跡六反免地区、郡条里遺跡、郡遺跡(2)、郡遺跡(3)、  
小山野遺跡－』2004 財団法人千葉県文化財センター

(5) 『千葉県君津郡君津町誌 後編』1973 君津町誌編纂委員会

(6) 『元秋葉台32号墳発掘調査報告書』1977 君津市教育委員会、貞元・新御堂遺跡発掘調査会

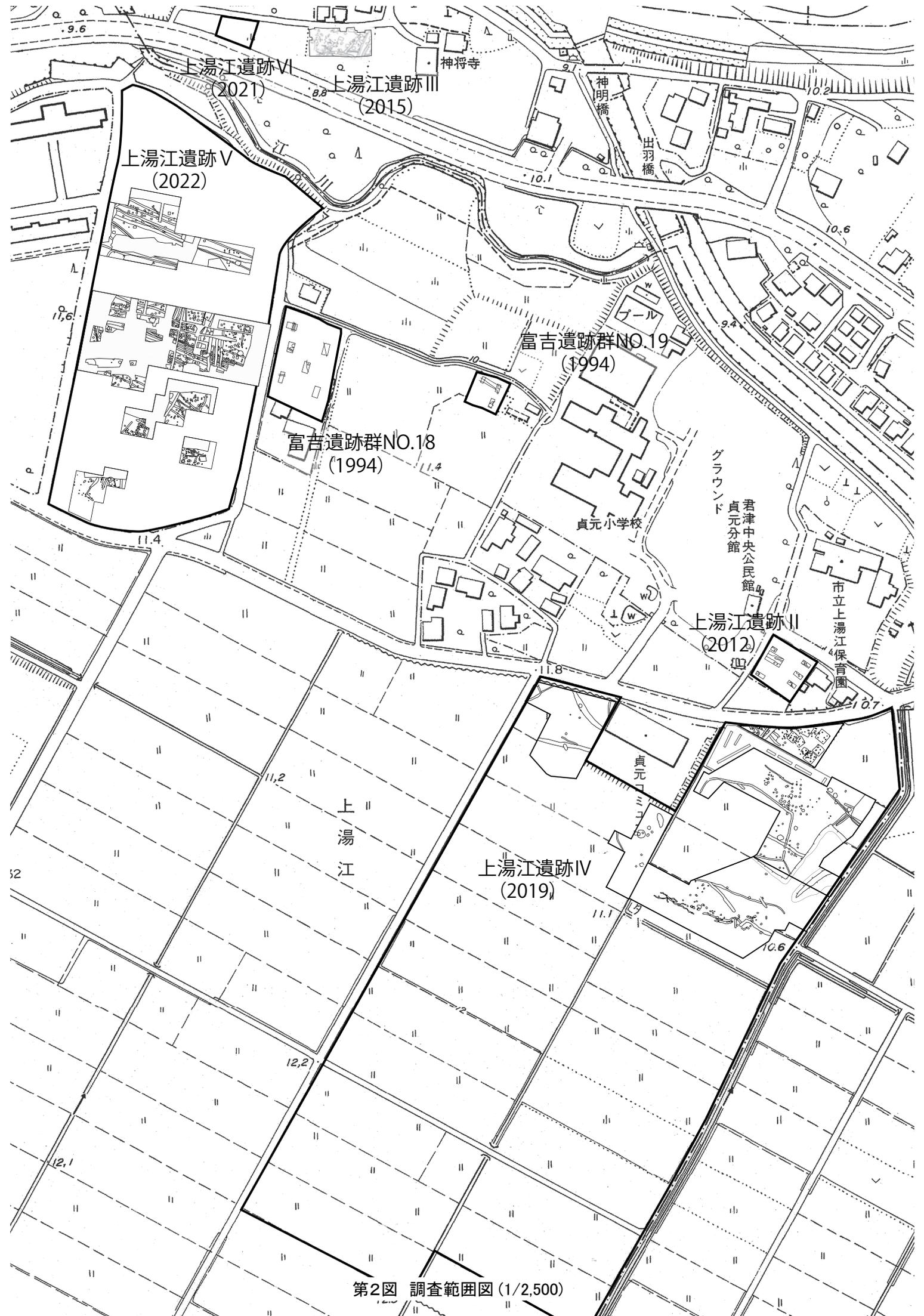
(7) 『平成6年度君津市内遺跡発掘調査報告書』1995 君津市教育委員会

#### 参考文献

『千葉県埋蔵文化財分布地図(4)－君津・夷隅・安房地区(改訂版)－』2000 千葉県教育委員会

### 3 遺跡の概要(第2図)

上湯江遺跡は、古墳時代等遺物包蔵地として周知の遺跡であり、君津市貞元土地区画整理組合による区画整理計画に伴い、平成6・7年度に確認調査<sup>(1)</sup>を実施している。平成6年度には遺跡北側の3か所、平成7年度には遺跡中央部の4か所の計7か所でトレンチを設定して調査した。平成6年度調査部分では、奈良・平安時代の掘立柱建物跡を3棟以上確認し、8世紀代の土器が出土している。また、上湯江字市場において1964年の団地造成の際に採集された遺物の紹介をしており、該当資料も同様の時期を示すことから、古代の集落の存在を示唆している。このほか、中世の井戸跡と溝跡が検出され、出土陶磁器の中にも12世紀末から13世紀前葉の龍泉窯系の輪花碗、初期かわらけがあり、鎌倉とのつながりのある在地領主層の屋敷跡があったとも考えられている。平成7年度調査部分では、沼沢地の様相を示し、遺構は確認できなかった。平成23年度<sup>(2)</sup>には個人住宅建設に伴い確認・本調査を実施し、古墳時代後期から奈良・平安時代の溝跡、ピット、土坑を確認した。狭い調査面積であるが多量の土器が出土しており、なかには湖西窯産の須恵器坏もみられ集落の展開を検討する上で重要な成果となった。また、平成26年度<sup>(3)</sup>にも個人住宅建設に伴う確認・本調査を実施し、古墳時代後期の住居跡や溝跡、土坑、ピットを多数検出した。その中には、古墳の周溝と考えられる弧状の溝跡も見られた。従来、上湯江地区の低地部分には墳丘を有する古墳はないとされていたが、調査によって、墳丘を失った古墳の周溝と同時期の住居を検出した



第2図 調査範囲図 (1/2,500)

ことで、古墳時代後期の集落の存在を考える新たな成果が得られた。さらに、平成29・30年度<sup>(4)</sup>にはトマト栽培施設建設に伴う確認・本調査が実施され、縄文時代～近代までの時期幅のある遺物が出土した。縄文・弥生時代の遺物出土はこれが初例である。遺構・遺物は奈良・平安時代が中心であり、水滴の可能性のある小型平瓶や刻書がある高台付坏も出土した。掘立柱建物跡が検出されたことから、周辺に識字層がいる官衙や寺院などの施設が存在した可能性もある。古墳時代後期～奈良・平安時代の堅穴住居跡を7軒検出し、集落が微高地上に広がっていることが判明した。令和2年度<sup>(5)</sup>には、遺跡の北西端を調査し、当該地まで遺構が広がらないことが判明した。

また、上湯江は地名から周淮郡の「湯坐郷」の地と推定されている。

註(1)『富吉遺跡群確認調査報告書』1996 君津市教育委員会

(2)『平成23年度君津市内遺跡発掘調査報告書』2012 君津市教育委員会

(3)『平成26年度君津市内遺跡発掘調査報告書』2015 君津市教育委員会

(4)『-君津市- 上湯江遺跡Ⅳ』2019 君津市教育委員会

(5)『令和2年度君津市内遺跡発掘調査報告書』2020 君津市教育委員会

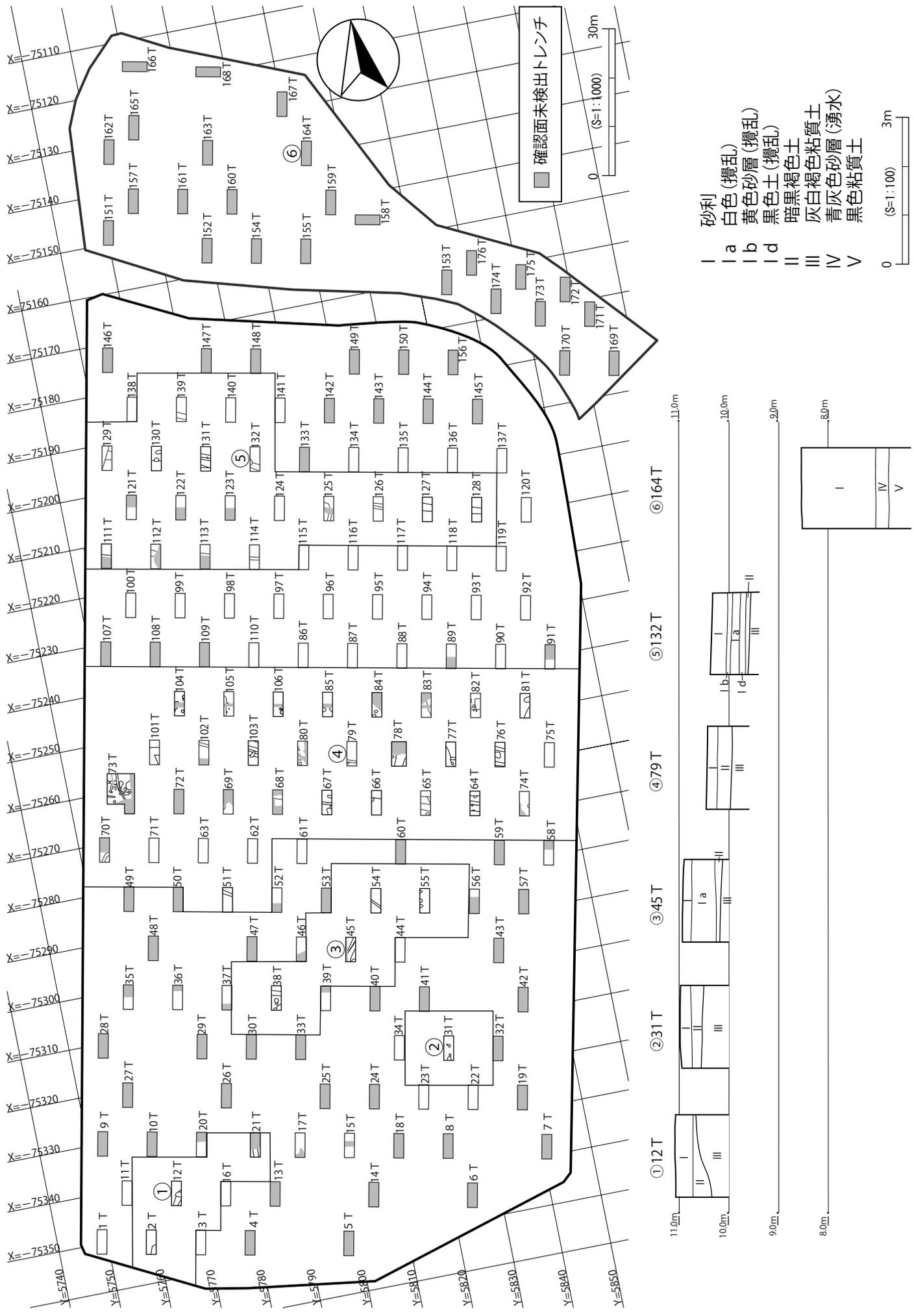
## 4 調査の方法（第3図）

確認調査は令和元年度に実施し、対象地内における遺構の分布と種別を把握するため、対象地21,878.95㎡に2×5mのトレンチを176本設定した。現況は荒蕪地である。調査を実施するにあたり、公共座標に基づく基準点測量及び現況測量は専門業者が行った。写真撮影はデジタルカメラを使用した。遺構確認面までの表土を重機で除去した後、鋤簾を用いて人力により遺構検出作業を行った。現地表面から確認面（Ⅲ層上面）までは0.4～1.34mである。確認調査の結果、奈良・平安時代溝跡37条・土坑12基・ピット59基が検出されたため、事業者と市教育委員会生涯学習文化課とで協議を行い、埋蔵文化財をどうしても保存することができない部分7,748.5㎡については、本調査を実施することとなった。

本調査区は、A～E区の5区画に分け、B→A→C→E→Dの順に調査を行った。遺構番号は、本調査区全体で通し番号を付した。遺構確認面までの表土は重機により除去し、本調査範囲の遺構検出作業、覆土掘り下げは人力で行った。公共座標に基づく基準点測量は専門業者が行い、この杭を用いて実測作業を行った。出土した遺物は遺構ごとに取り上げた。遺構の平面図は基準杭を用いて平板測量を行った。A～C区調査中の令和2年6～7月は長梅雨で雨量が多く、調査区が冠水することが何度もあり、その都度水中ポンプで汲み上げを実施した。A～C、E区では、調査終了後は重機により排土を埋め戻して原状復帰した。D区は、事業者都合により埋め戻しは実施せずに現地作業を終了した。

## 5 基本土層（第3図）

現況は、荒蕪地である。従前、調査区には社宅が建っていたが、解体工事の影響を受けている部分が大きく、本調査区内にも攪乱が及んでいた。基本土層は①～⑥で記録した。全トレンチに共通して、上層0.2～0.4 mは後世に敷設した砂利層がみられる。地山層はⅢ層の灰白褐色粘質土で、①～⑤で確認した。地山層は、現地表面から0.5～1.3 mで検出する。⑥の調査区北側では確認面（Ⅲ層）が検出されず、トレンチ掘削時に激しい湧水があった。確認面が検出されなかった調査区北側は、現地表面も①～⑤に比べ約1.7 m低く、本調査範囲を中心にした南側部分が微高地であったことがわかる。



第3図 確認調査結果及び基本土層図

## 第2章 調査成果

### 1 検出遺構（第4図）

本調査範囲は、5区画に分かれており、南側から順にA～Eとし、各区画ごとに調査を実施した。調査成果は、各区画ごとに報告する。検出遺構は、古墳時代溝跡3条・土坑1基、奈良・平安時代竪穴住居跡3軒・掘立柱建物跡2棟・溝跡66条・土坑149基・井戸2基・ピット352基、中世井戸1基・ピット3基、中世以降溝跡6条である。

### 2 A区（第5～8図、表1・2）

#### 溝跡

##### SD-005（第5・6図）

重複関係 なし

規模・形態・構造 幅0.12～0.6m、深さ0.15～0.3m、検出部分の長さは4.7m。南―北方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。底面にピット状の掘り込みをもつ。

遺物 土師器、鉄滓53.2gが出土した。土師器は坏などが含まれるが、いずれも小片のため図示し得るものはない。

##### SD-006（第5・7図、表2）

重複関係 SD-006 → SK-019、P-34 → P-35

規模・形態・構造 幅0.6～1.5m、深さ0.6～1.0m、検出部分の長さは11.8m。南西―北方向に走る溝で、直角に曲がる。断面形は、SK-019より北側部分では、東側にテラスをもつ形状でそれ以外は、逆台形状である。

遺物 土師器、須恵器が出土した。

##### SD-007（第5～7図、表2）

重複関係 SD-007 → SD-008、P-67

規模・形態・構造 幅1.0～1.1m、深さ0.1～0.15m、検出部分の長さは4.8m。南西―北東方向に走る溝で、断面形は皿状である。

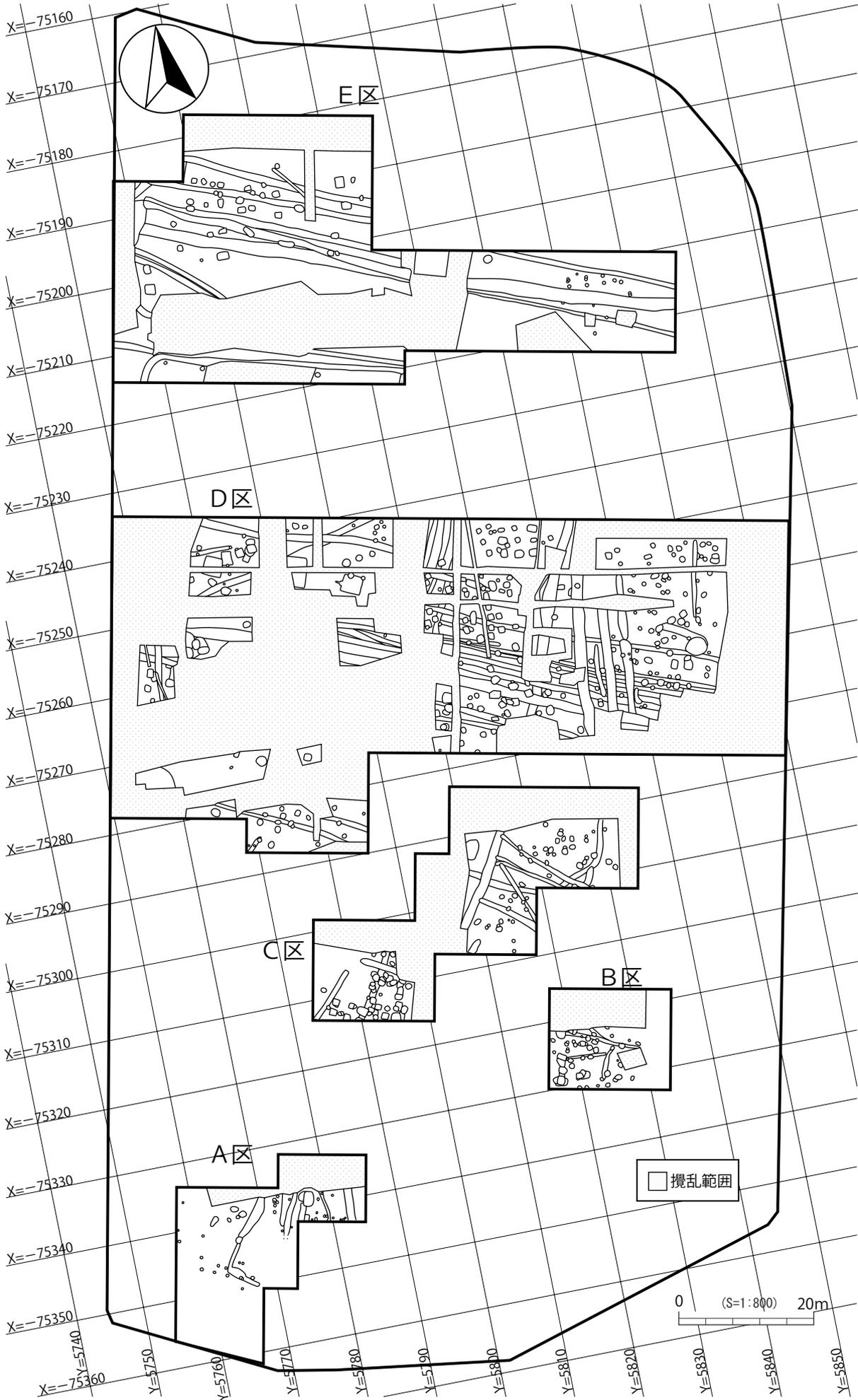
遺物 土師器、須恵器、羽口片72.57g、鉄滓334.98gが出土した。土師器は坏・高坏・甕、須恵器は甕などが含まれる。

##### SD-008（第5～7図、表2）

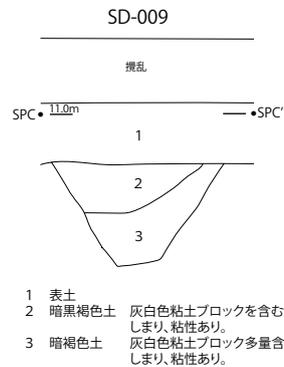
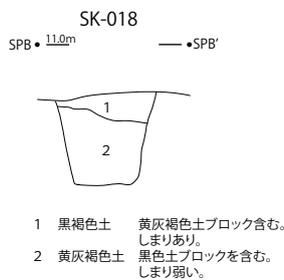
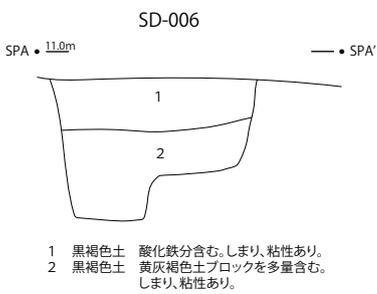
重複関係 SD-007 → SD-008

規模・形態・構造 幅0.6～1.0m、深さ0.1～0.2m、検出部分の長さは6.2m。南西―北東方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器1,700g、須恵器120g、羽口片570.66g、鉄滓4,427.86g、粘土塊622.6g、砂岩124.33gが



第4図 遺構配置図



第5図 A区遺構実測図(1)

出土した。土師器は坏・高坏・甕、須恵器は甕・蓋などが含まれる。9は礫で、6の直下から出土した。

#### SD-009 (第5・7図、表2)

重複関係 なし

規模・形態・構造 幅1.1m、深さ0.7m、検出部分の長さは5.0m。南―北方向に走る溝で、断面形はV字状で底面は平坦な形状である。

遺物 土師器、須恵器、陶器、鉄滓166.57gが出土した。土師器と須恵器は小片であり、混入の可能性が高い。

## 土坑

#### SK-018 (第5・7図、表2)

重複関係 なし

規模・形態・構造 長軸3.2m、短軸0.6～0.8m、深さ0.4～0.6m。平面形は不整な楕円形で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器が出土した。土師器は坏などが含まれる。

#### SK-019 (第5～7図、表2)

重複関係 SD-006 → SK-019

規模・形態・構造 直径0.8～1.0m、深さ1.0m。平面形は不整な円形で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏・高坏などが含まれる。

#### SK-020 (第5～7図、表2)

重複関係 SK-021 → SK-020 → SK-022

規模・形態・構造 検出部分の長軸2.96m、短軸0.8m、深さ0.3m。平面形は長方形が想定され、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器、須恵器、鉄滓327.63gが出土した。土師器は坏・甕、須恵器は蓋などが含まれる。

#### SK-021 (第5～7図、表2)

重複関係 SK-021 → SK-020

規模・形態・構造 検出部分の長軸1.0m、検出部分の短軸0.7m、深さ0.19m。平面形は長方形が想定され、断面形はU字状である。

遺物 土師器、須恵器、鉄滓86.75gが出土した。土師器は坏・甕、須恵器は甕などが含まれる。

#### SK-022 (第5・6・8図、表2)

重複関係 SK-023 → SK-020 → SK-022

規模・形態・構造 長軸2.16m、短軸1.2m、深さ0.16～0.28m。平面形は長方形で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器、須恵器、鉄滓1,433.46g、砥石1点、軽石29.61gが出土した。土師器の坏・甕、須恵器の蓋・甕などが含まれる。

SK-023 (第5・6・8図、表2)

重複関係 SK-023 → SK-022

**規模・形態・構造** 長軸 1.5 m、検出部分の短軸 1.1 m、深さ 0.22 m。平面形は不整な円形が想定され、断面形はU字状である。覆土には酸化鉄・焼土・炭化物を多量に含み、その中に粘土を含む箇所がある。また、出土遺物に羽口片や鉄滓などが多数含まれるため、鉄製作関係遺構の可能性がある。

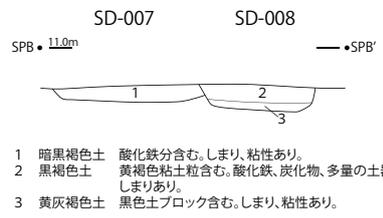
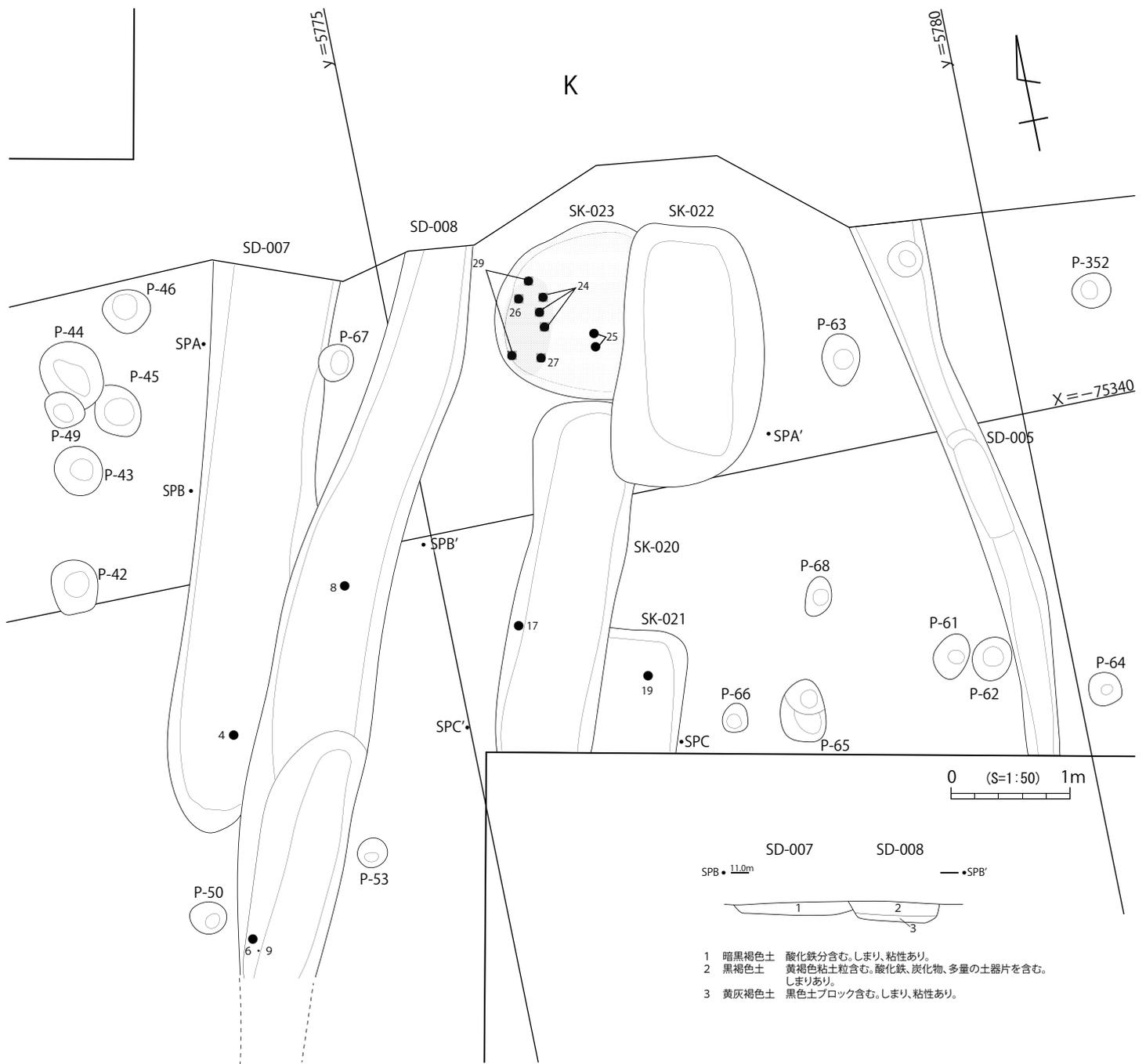
**遺物** 土師器 1,020g、須恵器 27g、羽口片 1,017g、鉄滓 4,545.55g、軽石 181.21g が出土した。土師器は坏・高坏・甕、須恵器は坏・蓋などが含まれる。

## ピット

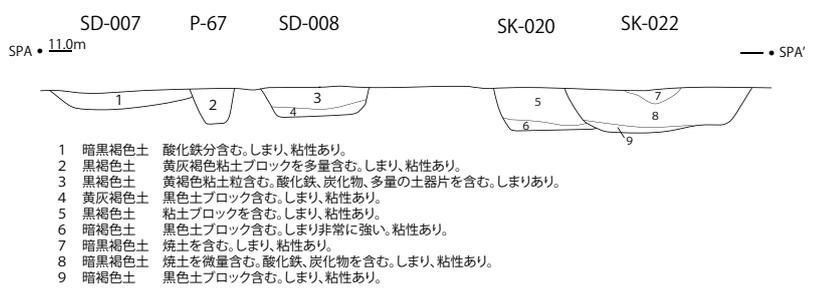
詳細は一覧表にまとめた。

遺構	重複関係	規模	平面形	柱痕の有無	出土遺物	備考
P-33	なし	直径 0.35 m、深さ 0.17 m	円形	無	土師器	第5図
P-34	SD-006 → P-34 → P-35	直径 0.45 m、深さ 0.41 m	円形	無	土師器	第5図
P-35	SD-006 → P-34 → P-35	長軸 0.38 m、短軸 0.24 m、深さ 0.27 m	不整な楕円形	無	土師器	第5図
P-36	なし	直径 0.38 m、深さ 0.35 m	円形	無	土師器	第5図
P-37	なし	直径 0.34 m、深さ 0.42 m	円形	無	土師器	第5図
P-38	なし	直径 0.42 m、深さ 0.4 m	円形	無	土師器	第5図
P-39	なし	直径 0.4 m、深さ 0.29 m	円形	無	土師器	第5図
P-40	なし	直径 0.45 m、深さ 0.21 m	円形	無	なし	第5図
P-41	なし	長軸 0.68 m、短軸 0.42 m、深さ 0.23 m	楕円形	無	須恵器	第5図
P-42	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.4 m、深さ 0.26 m	不整な方形	無	土師器	第6図
P-43	なし	直径 0.4 m、深さ 0.12 m	円形	無	土師器の坏を含む	第6図
P-44	P-45 → P-44 → P-49	直径 0.5 ~ 0.6 m、深さ 0.11 m	不整な円形	無	土師器	第6図
P-45	P-45 → P-44	一辺 0.4 m、深さ 0.25 m	不整な方形	無	土師器	第6図
P-46	なし	直径 0.38 ~ 0.4 m、深さ 0.08 m	不整な円形	無	なし	第6図
P-47	なし	直径 0.36 m、深さ 0.23 m	円形	無	土師器の坏を含む	第5図
P-48	なし	長軸 1.14 m、短軸 0.86 m、深さ 0.34 m	楕円形	無	土師器の坏を含む	第5図
P-49	P-44 → P-49	直径 0.32 m、深さ 0.15 m	不整な円形	無	土師器	第6図
P-50	なし	直径 0.29 ~ 0.31 m、深さ 0.23 m	円形	無	土師器	第6図
P-51	なし	直径 0.43 m、深さ 0.28 m	円形	無	土師器	第5図
P-52	なし	直径 0.34 m、深さ 0.27 m	円形	無	土師器	第5図
P-53	なし	直径 0.34 m、深さ 0.28 m	円形	無	なし	第6図
P-54	なし	直径 0.26 m、深さ 0.08 m	円形	無	土師器	第5図
P-55	なし	直径 0.26 m、深さ 0.13 m	円形	無	なし	第5図
P-56	なし	直径 0.48 m、深さ 0.14 m	円形	無	なし	第5図
P-57	なし	長軸 1.08 m、短軸 0.9 m、深さ 0.33 m	楕円形	無	土師器	第5図
P-58	なし	直径 0.54 m、深さ 0.39 m	円形	無	土師器	第5図
P-59	なし	直径 0.24 m、深さ 0.22 m	円形	無	なし	第5図
P-60	なし	直径 0.31 m、深さ 0.18 m	円形	無	なし	第5図
P-61	なし	長軸 0.38 m、短軸 0.29 m、深さ 0.34 m	楕円形	無	なし	第6図
P-62	なし	直径 0.26 m、深さ 0.25 m	円形	無	なし	第6図
P-63	なし	長軸 0.32 m、短軸 0.44 m、深さ 0.34 m	楕円形	無	なし	第6図
P-64	なし	直径 0.26 m、深さ 0.25 m	円形	無	なし	第6図
P-65	なし	長軸 0.52 m、短軸 0.34 m、深さ 0.42 m	楕円形	有	土師器	第6図
P-66	なし	直径 0.2 ~ 0.26 m、深さ 0.09 m	不整な円形	無	土師器	第6図
P-67	SD-007 → P-67	直径 0.3 m、深さ 0.21 m	不整な円形	無	土師器	第6図
P-68	なし	長軸 0.34 m、短軸 0.2 m、深さ 0.25 m	楕円形	無	なし	第6図
P-349	なし	直径 0.29 m、深さ 0.11 m	不整な円形	無	なし	第5図
P-350	なし	直径 0.3 m、深さ 0.35 m	不整な円形	無	なし	第5図
P-351	なし	直径 0.22 m、深さ 0.38 m	不整な円形	無	なし	第5図
P-352	なし	直径 0.32 m、深さ 0.33 m	円形	無	なし	第6図

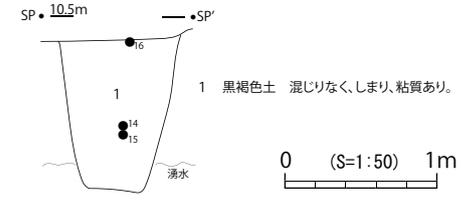
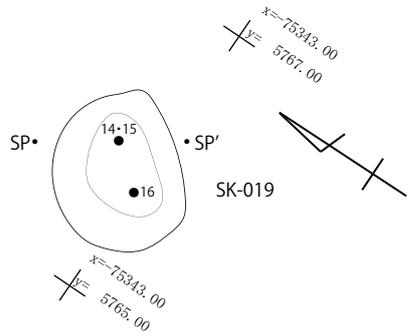
表1 A区ピット観察表



- 1 暗黒褐色土 酸化鉄分含む。しまり、粘性あり。
- 2 黒褐色土 黄灰褐色粘土ブロックを多量含む。しまり、粘性あり。
- 3 黒褐色土 黄褐色粘土粒含む。酸化鉄、炭化物、多量の土器片を含む。しまりあり。
- 4 黄灰褐色土 黒色土ブロック含む。しまり、粘性あり。
- 5 黒褐色土 粘土ブロックを含む。しまり、粘性あり。
- 6 暗褐色土 黒色土ブロック含む。しまり非常に強い。粘性あり。
- 7 暗黒褐色土 焼土を含む。しまり、粘性あり。
- 8 暗黒褐色土 焼土を微量含む。酸化鉄、炭化物を含む。しまり、粘性あり。
- 9 暗褐色土 黒色土ブロック含む。しまり、粘性あり。

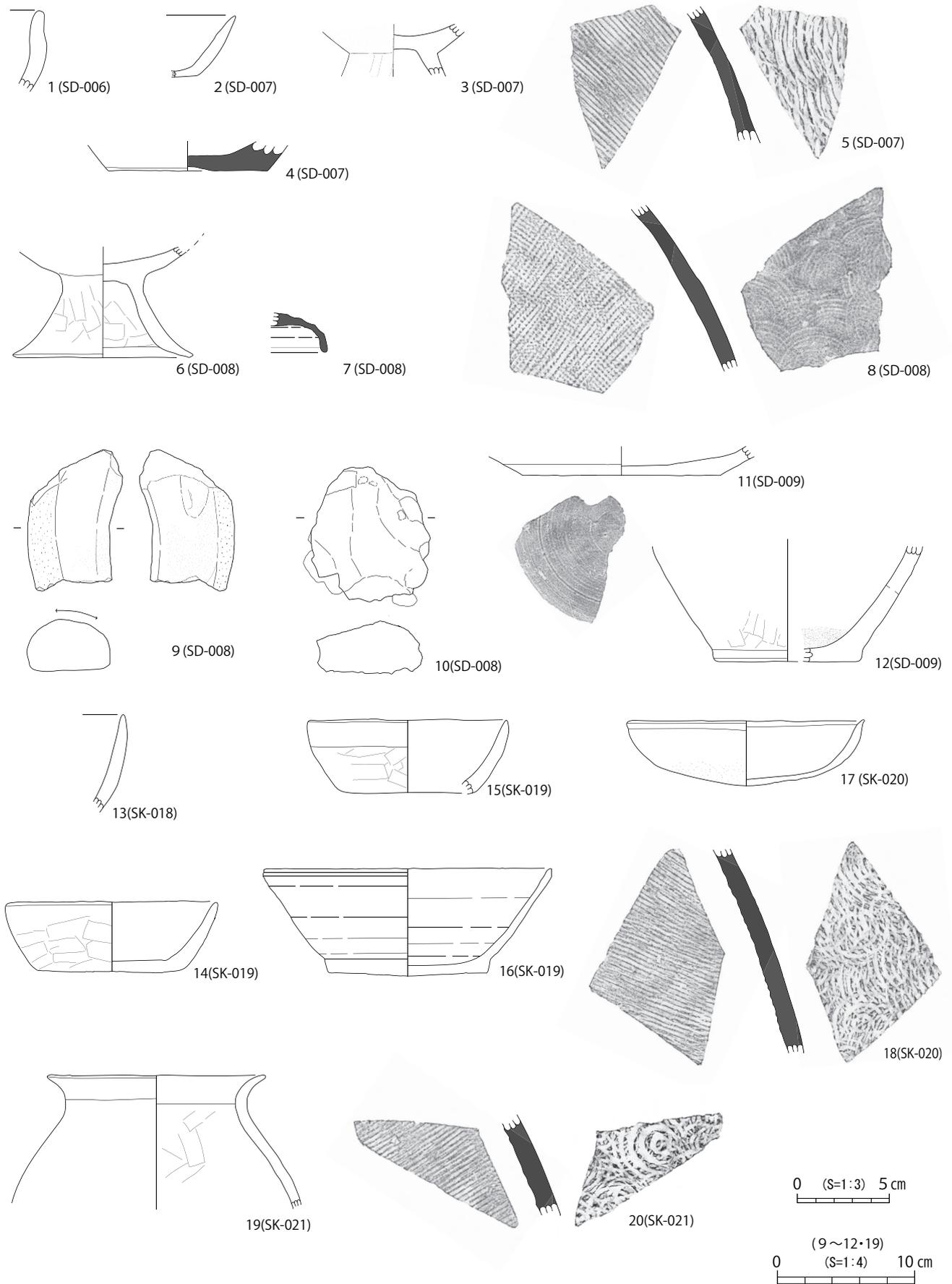


- 1 暗黒褐色土 酸化鉄分含む。しまり、粘性あり。
- 2 黒褐色土 黄灰褐色粘土ブロックを多量含む。しまり、粘性あり。
- 3 黒褐色土 黄褐色粘土粒含む。酸化鉄、炭化物、多量の土器片を含む。しまりあり。
- 4 黄灰褐色土 黒色土ブロック含む。しまり、粘性あり。
- 5 黒褐色土 粘土ブロックを含む。しまり、粘性あり。
- 6 暗褐色土 黒色土ブロック含む。しまり非常に強い。粘性あり。
- 7 暗黒褐色土 焼土を含む。しまり、粘性あり。
- 8 暗黒褐色土 焼土を微量含む。酸化鉄、炭化物を含む。しまり、粘性あり。
- 9 暗褐色土 黒色土ブロック含む。しまり、粘性あり。

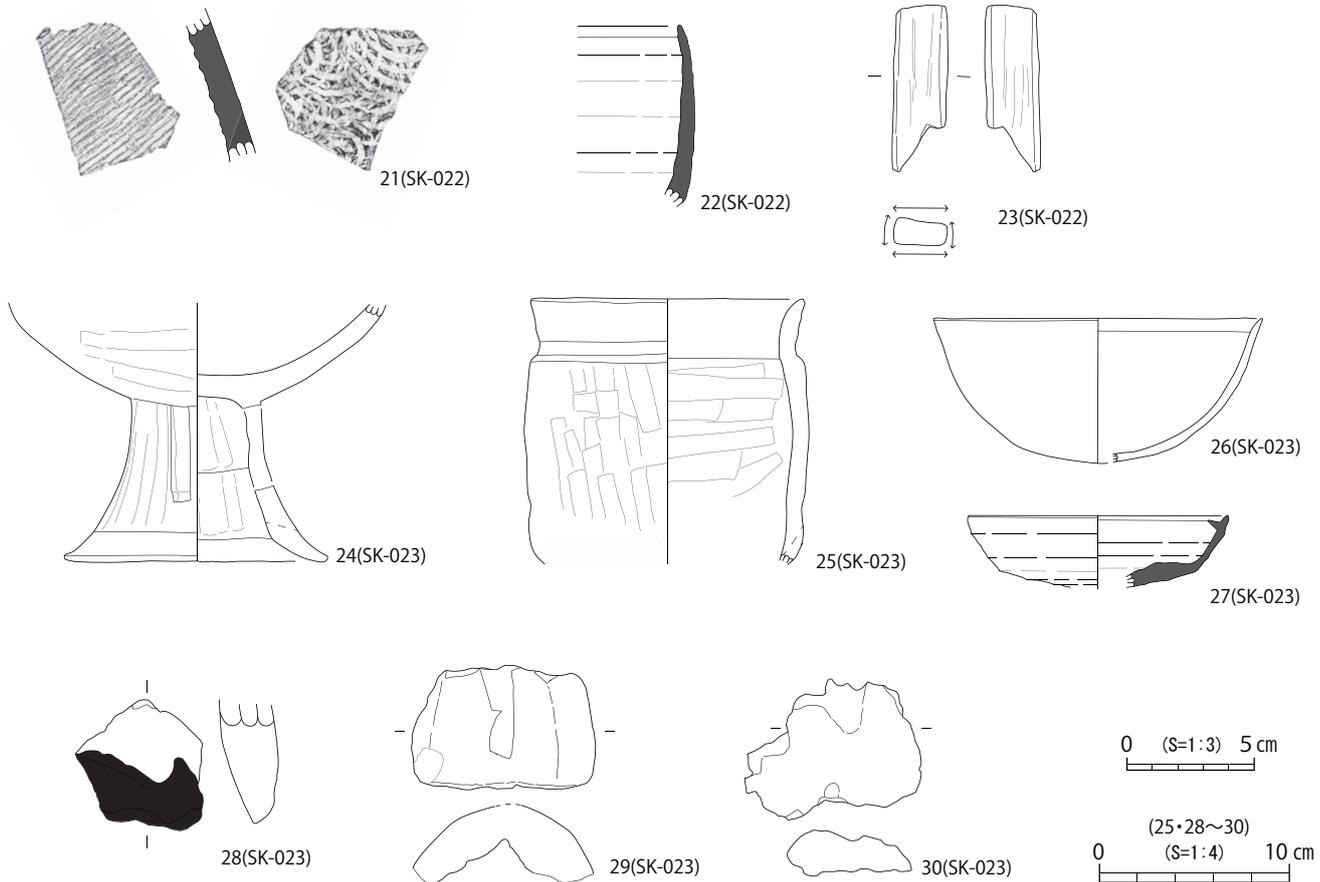


- 1 黒褐色土 混じりなく、しまり、粘質あり。

第6図 A区遺構実測図(2)



第7图 A区出土遗物实测图(1)



第8図 A区出土遺物実測図(2)

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	土師器碗 SD-006	口縁部片		口縁部片ヨコナデ。内面ケズリ。	良好	内面にぶい橙色、 外面黒色	赤色粒、小礫、砂粒
2	土師器坏 SD-007	口縁部～底部片	高 3.2	摩耗激しく調整不明。	不良	橙色	細かい砂粒、白色粒
3	土師器高坏 SD-007	坏部～脚部接合部 1/4	高 (遺) 2.9	坏部内面は摩耗激しく調整不明。脚部外面ヘラケズリ。	やや良好	明赤褐色	白色粒、砂粒
4	須恵器甕 SD-007	底部 1/4	底 (復) 9.0 高 (遺) 1.7	ロクロ成形。底部ヘラケズリ。	良好	灰色	細かい白色粒、砂粒
5	須恵器甕 SD-007	胴部片		内面あて具痕。外面平行タタキ。	良好		
6	土師器高坏 SD-008	脚部 1/2	底 10.0 高 (遺) 5.6	内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	良好	にぶい黄褐色	赤色粒、小礫、砂粒
7	須恵器蓋 SD-008	口縁部片		ロクロ成形。	良好	灰色	白色粒、砂粒
8	須恵器甕 SD-008	胴部片		内面あて具痕。外面格子状タタキ。	良好	灰色	小礫、細かい砂粒
9	礫 SD-008	両端部欠損	最大幅 6.0 最大長 9.6 重 404.46	上面摩耗痕。上下面、側面に被熱痕。			
10	鉄滓 SD-008		最大幅 8.8 最大長 9.9 重 320.6				
11	陶器大甕 SD-009	底部 1/4	底 (復) 14.4 高 (遺) 2.1	内面軸が散見。外面ヘラケズリ、底部回転ヘラケズリ。	良好	浅黄色	粗い砂粒、小礫
12	常滑大甕 SD-009	底部 1/6	底 (復) 10.4 高 (遺) 9.0	内面軸が散見。外面下部ヘラケズリ。	良好	黄灰色	粗い砂粒、小礫
13	土師器坏 SK-018	口縁部片		口縁部ヨコナデ。	やや良好	浅黄色	粗い赤色粒、砂粒
14	土師器坏 SK-019	一部摩耗	口 11.5 底 8.0 高 3.8	口縁部ナデ。内面ナデ。外面ヘラケズリ。	やや不良	橙色	砂粒、小礫
15	土師器坏 SK-019	口縁部～底部 1/4	口 (復) 10.8 底 (復) 7.2 高 4.0	口縁部ナデ。内面ナデ。外面ヘラケズリ。	良好	橙色	細かい砂粒、小礫
16	土師器高台坏 SK-019	1/2	口 15.8 底 8.6 高 5.9	ロクロ成形。	やや不良	にぶい黄褐色	粗い赤色粒、砂粒、小石
17	土師器坏 SK-020	2/3	口 13.0 底 5.0 高 3.6	摩耗激しく調整不明。外面下部から底部炭化。形状は畿内産土師器と類似。	やや不良	内面橙色、外面に ぶい黄褐色	粗い砂粒、小礫

表2 A区出土遺物観察表(1)

18	須恵器大甕 SK-020	胴部片		内面あて具痕。外面平行タタキ。	良好	内面灰色、外面オリブ黒色	砂粒、小石
19	土師器甕 SK-021	口縁部～肩部 1/4	口 (復)16.0 高 (遺)9.8	口唇部～口縁部ナデ。内面ヘラナデ。外面器面剥離により不明。	やや良好	にぶい黄橙色	石英、砂粒、赤色粒
20	須恵器甕 SK-021	胴部片		内面あて具痕。外面平行タタキ。	良好	内面灰色、外面暗オリブ灰色	砂粒、小礫
21	須恵器甕 SK-022	胴部片		内面あて具痕。外面平行タタキ。	良好	暗オリブ灰色	砂粒、小礫
22	原始灰軸陶器碗 SK-022	口縁部片		ロクロ成形。外面軸が散見。	良好	内面灰色、外面オリブ黒色	白色粒、砂粒
23	砥石 SK-022	下端部欠損	最大幅 2.1 最大長 6.4 重 27.86	砥石面 4面			
24	土師器高坏 SK-023	脚部のみ完存	底 10.2 高 (遺)10.1	内面ケズリ。外面ヘラミガキ。長方形のスカン孔が3箇所	良好	にぶい黄橙色	砂粒、小石
25	土師器甕 SK-023	口縁部～胴部 1/2	口 (復)14.4 高 (遺)14.0	口縁部ナデ。内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。外面下方に粘土継ぎ目が確認できる。	良好	赤褐色、外面下部橙色	粗い赤色粒、小礫、石英
26	土師器碗 SK-023	口縁部～底部 1/4	口 (復)13.0 高 (遺)5.8	摩耗激しく調整不明。	不良	橙色	細かい砂粒
27	須恵器坏 SK-023	口縁部～体部 1/4	口 (復)10.3 高 2.9	ロクロ成形。	良好	灰色	砂粒、白色粒
28	羽口 SK-023		最大幅 6.8 最大長 7.2 最大厚 2.9 重 25.18	ガラス滓付着。			
29	羽口 SK-023		最大幅 9.6 最大長 6.2 最大厚 3.0 重 199.76				
30	鉄滓 SK-023		最大幅 9.0 最大長 6.4 重 213.17				

表2 A区出土遺物観察表(2)

### 3 B区(第9・10図、表3～5)

#### 溝跡

##### SD-001(第9図)

重複関係 SD-002、SK-005 → SD-001 → SK-004・007・012、P-2・12・26・353・354

規模・形態・構造 幅0.4～0.65m、深さ0.22m、検出部分の長さは11.15m。南東―北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

##### SD-002(第9図)

重複関係 SD-002 → SD-001 → P-26

規模・形態・構造 幅0.55m、深さ0.2m、検出部分の長さは1.8m。南東―北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

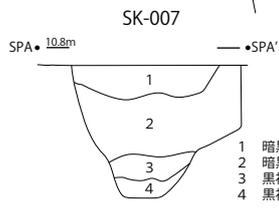
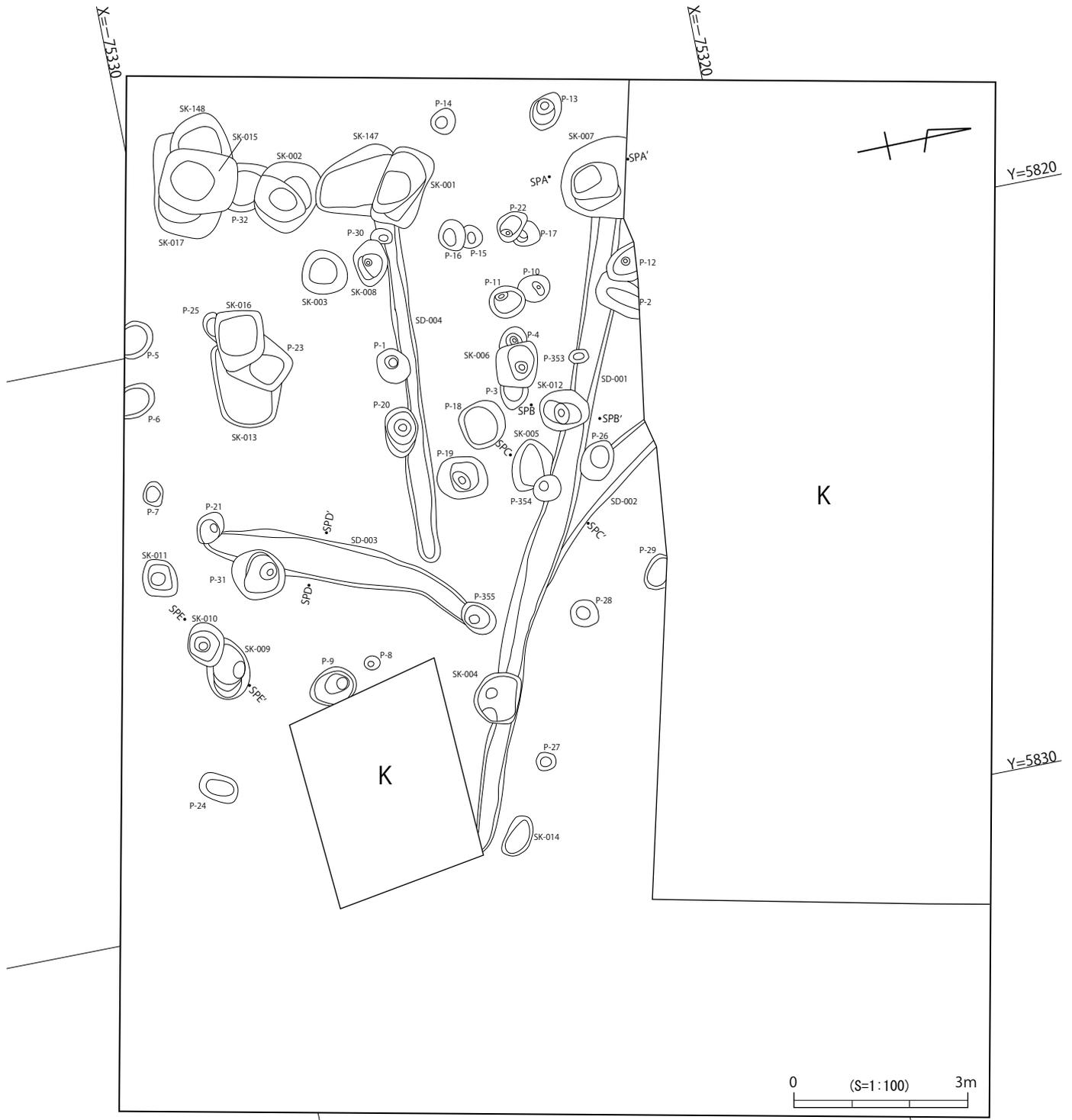
遺物 土師器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

##### SD-003(第9・10図、表5)

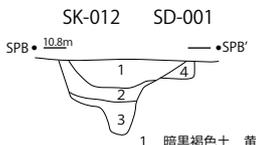
重複関係 SD-003 → P-21・31・355

規模・形態・構造 幅0.4～0.7m、深さ0.18m、検出部分の長さは4.4m。南西―北東方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

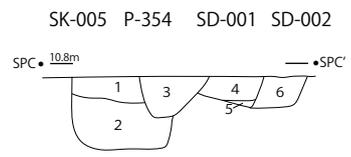
遺物 土師器、須恵器、鉄滓24.75gが出土した。土師器は甕、須恵器は蓋などが含まれる。



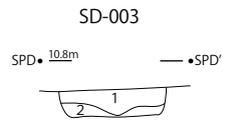
- 1 暗黒褐色土 黄灰粘土ブロックを含む。しまり、粘性あり。
- 2 暗黒褐色土 黄灰粘土ブロックを多量含む。しまり、粘性あり。
- 3 黒褐色土 混じりなし。粘性あり。
- 4 黒褐色土 灰白色粘土粒含む。粘性あり。



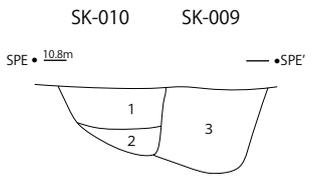
- 1 暗黒褐色土 黄灰褐色粘土ブロックを含む。しまり、粘性あり。
- 2 黒褐色土 黄灰褐色粘土粒で少量含む。しまり、粘性あり。
- 3 黒褐色土 混じりがない。しまり、粘性あり。
- 4 暗黒褐色土 黄灰褐色粘土粒を多量含む。しまり、粘性あり。



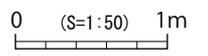
- 1 暗黒褐色土 黄灰褐色粘土粒を多量含む。しまりあり。
- 2 黒褐色土 黄灰褐色粘土ブロック・粒含む。しまり、粘性あり。
- 3 暗黒褐色土 黄灰褐色粘土粒を含む。しまり、粘性あり。
- 4 暗黒褐色土 黄灰褐色粘土粒を多量含む。しまり、粘性あり。
- 5 黄灰褐色土 黒色土ブロック・粒を含む。しまり、粘性あり。
- 6 暗黒褐色土 黄灰褐色粘土粒を多量含む。しまり、粘性あり。



- 1 暗黒褐色土 黄灰褐色粘土粒を含む。しまり、粘性あり。
- 2 灰褐色砂質土 黒色土を含む。しまりあり。



- 1 暗黒褐色土 茶褐色粘土粒を多量含む。しまりあり。
- 2 明黒褐色土 茶褐色粘土粒を含む。
- 3 暗黒褐色土 黄灰褐色粘土粒を多量含む。しまり、粘性あり。



第9図 B区遺構実測図

## SD-004 (第9図)

重複関係 SD-004 → SK-001・008、P-1・20・30

規模・形態・構造 幅0.25～0.5m、深さ0.08m、検出部分の長さは5.9m。西～東方向に走る溝で、断面形は皿状である。

遺物 土師器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

## 土坑

### SK-002 (第9・10図、表5)

重複関係 P-32 → SK-002 → SK-147

規模・形態・構造 長軸1.2m、短軸1.0m、深さ0.82m。平面形は不整な楕円形で、断面形は逆台形状である。北西方向にテラスを持つ。

遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏・甕、須恵器は甕などが含まれる。

### SK-016 (第9・10図、表5)

重複関係 SK-013、P-23・25 → SK-016

規模・形態・構造 長軸1.0m、短軸0.8m、深さ0.72m。平面形は不整な方形で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器が出土した。土師器は坏などが含まれる。

## その他土坑

下記のとおり一覧表にまとめた。

遺構	重複関係	規模・特徴	平面形	断面形	出土遺物	備考
SK-001	SD-004、SK-147 → SK-001	長軸1.48m、短軸0.8m、深さ0.99m	長方形	逆台形	土師器	第9図
SK-003	なし	直径1.0m、深さ0.38m	不整な円形	U字状	土師器	第9図
SK-004	SD-001 → SK-004	長軸0.9m、短軸0.8m、深さ0.75m、底面にビット状の掘り込み	不整な楕円形	逆台形	土師器	第9図
SK-005	SK-005 → SD-001 → P-354	長軸0.89m、短軸0.7m、深さ0.53m	不整な楕円形	逆台形	土師器、須恵器の高台坏を含む、鉄滓16.2g	第9図
SK-006	P-3・4 → SK-006	一辺0.49m、深さ0.29m、底面にビット状の掘り込み	不整な方形	逆台形	土師器	第9図
SK-007	SD-001 → SK-007	検出部分の長軸1.18m、短軸1.3m、深さ0.9m	不整な楕円形	逆台形	土師器の坏を含む、須恵器	第9図
SK-008	SD-004 → P-30 → SK-008	長軸0.78m、短軸0.58m、深さ0.7m、ビット状の掘り込み	不整な長方形	逆台形	土師器の坏を含む	第9図
SK-009	SK-009 → SK-010	検出部分の長軸1.05m、短軸0.75m、深さ0.55m、東側にテラスをもつ	楕円形	U字状	土師器	第9図
SK-010	SK-009 → SK-010	一辺0.68m、深さ0.46m、底面にビット状の掘り込み	方形	逆台形	土師器	第9図
SK-011	なし	一辺0.6m、深さ0.4m	方形	U字状	土師器	第9図
SK-012	SD-001 → SK-012	長軸0.88m、短軸0.7m、深さ0.54m、底面にビット状の掘り込み	楕円形	逆台形	なし	第9図
SK-013	SK-013 → P-23 → SK-016	検出部分の長軸1.45m、短軸1.18m、深さ0.1m	長方形	逆台形	土師器の甕を含む	第9図
SK-014	なし	長軸0.75m、短軸0.45m、深さ0.44m	楕円形	U字状	土師器	第9図
SK-015	SK-017、P-32 → SK-148 → SK-015	長軸1.3m、短軸1.08m、深さ0.7m	長方形	U字状	なし	第9図
SK-017	SK-017、P-32 → SK-148 → SK-015	長軸1.75m、短軸1.2m、深さ0.39m	長方形	U字状	土師器の坏を含む	第9図
SK-147	SK-002 → SK-147 → SK-001	長軸1.6m、短軸1.11m、深さ0.24m	不整な長方形	逆台形	なし	第9図
SK-148	SK-017、P-32 → SK-148 → SK-015	検出部分の一辺1.0m、深さ0.17m	方形	U字状	なし	第9図

表3 B区土坑観察表

## ビット

平面から掘立柱建物跡の組み合わせを検討したが、組み合うものはなかった。

### P-31 (第9・10図、表5)

重複関係 SD-003 → P-31

規模・形態・構造 直径0.9m、深さ0.62m。平面形は不整な円形で、柱痕を確認した。

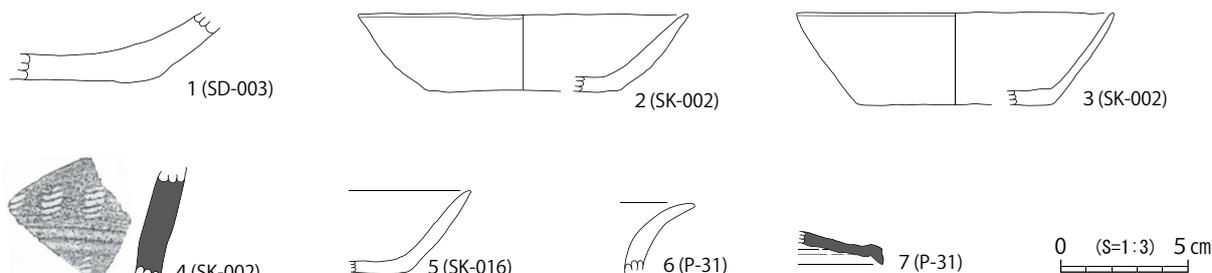
遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏・甕、須恵器は蓋などが含まれる。

その他のピット

下記のとおり一覧表にまとめた。

遺構	重複関係	規模	平面形	柱痕の有無	出土遺物	備考
P-1	SD-004 → P-1	直径 0.6 m、深さ 0.4 m	円形	有	土師器	第9区
P-2	SD-001 → P-2 → P-12	検出部分の長軸 0.72 m、短軸 0.5 m、深さ 0.42 m	長方形	無	土師器	第9区
P-3	P-3 → SK-006	検出部分の長さ 0.49 m、深さ 0.29 m	不整な円形	無	土師器	第9区
P-4	P-4 → SK-006	検出部分の直径 0.5 m、深さ 0.41 m	円形	有	なし	第9区
P-5	なし	検出部分の直径 0.62 m、深さ 0.38 m	円形	無	土師器	第9区
P-6	なし	検出部分の長軸 0.58 m、短軸 0.5 m、深さ 0.1 m	楕円形	無	なし	第9区
P-7	なし	直径 0.32 m、深さ 0.1 m	不整な円形	無	なし	第9区
P-8	なし	直径 0.24 m、深さ 0.12 m	円形	無	なし	第9区
P-9	なし	長軸 0.85 m、検出部分の短軸 0.55 m、深さ 0.63 m	不整な方形	有	土師器	第9区
P-10	P-10 → P-11	直径 0.48 m、深さ 0.32 m	不整な円形	有	土師器	第9区
P-11	P-10 → P-11	直径 0.58 ~ 0.62 m、深さ 0.44 m	不整な円形	有	土師器	第9区
P-12	SD-001 → P-2 → P-12	検出部分の長軸 0.54 m、短軸 0.48 m、深さ 0.7 m	楕円形	有	なし	第9区
P-13	なし	長軸 0.66 m、短軸 0.5 m、深さ 0.49 m	不整な楕円形	有	土師器	第9区
P-14	なし	直径 0.42 m、深さ 0.3 m	円形	無	なし	第9区
P-15	P-15 → P-16	直径 0.38 m、深さ 0.23 m	円形	無	なし	第9区
P-16	P-15 → P-16	直径 0.48 m、深さ 0.37 m	不整な円形	無	土師器の甕を含む	第9区
P-17	P-17 → P-22	直径 0.49 m、深さ 0.6 m	不整な円形	有	土師器	第9区
P-18	なし	一辺 0.67 m、深さ 0.35 m	方形	無	土師器の坏を含む。	第9区
P-19	なし	長軸 0.86 m、短軸 0.7 m、深さ 0.63 m	楕円形	有	土師器、須恵器の蓋を含む	第9区
P-20	SD-004 → P-20	長軸 0.9 m、短軸 0.58 m、深さ 0.54 m	不整な楕円形	有	土師器、須恵器	第9区
P-21	SD-003 → P-21	直径 0.48 m、深さ 0.22 m	不整な円形	有	土師器	第9区
P-22	P-17 → P-22	長軸 0.58 m、短軸 0.45 m、深さ 0.4 m	不整な楕円形	有	なし	第9区
P-23	SK-013 → P-23 → SK-016	検出部分の長軸 1.0 m、短軸 0.81 m、深さ 0.43 m	長方形	無	土師器	第9区
P-24	なし	長軸 0.7 m、短軸 0.4 m、深さ 0.17 m	楕円形	無	なし	第9区
P-25	P-25 → SK-016	検出部分の長さ 0.38 m、深さ 0.28 m	楕円形	無	土師器	第9区
P-26	SD-002 → SD-001 → P-26	直径 0.54 m、深さ 0.39 m	円形	無	土師器	第9区
P-27	なし	直径 0.35 m、深さ 0.41 m	円形	無	土師器	第9区
P-28	なし	直径 0.5 m、深さ 0.36 m	円形	無	土師器	第9区
P-29	なし	検出部分の長軸 0.6 m、短軸 0.35 m、深さ 0.16 m	楕円形	無	なし	第9区
P-30	SD-004 → P-30 → SK-008	長軸 0.46 m、短軸 0.35 m、深さ 0.6 m	楕円形	無	なし	第9区
P-32	P-32 → SK-015・SK-002	検出部分の長さ 0.85 m、深さ 0.19 m	不整な円形	無	なし	第9区
P-353	SD-001 → P-353	長軸 0.35 m、短軸 0.22 m、深さ 0.6 m	楕円形	無	なし	第9区
P-354	SK-005 → SD-001 → P-354	直径 0.45 m、深さ 0.51 m	円形	無	なし	第9区
P-355	SD-003 → P-355	長軸 0.65 m、短軸 0.48 m、深さ 0.3 m	楕円形	有	なし	第9区

表4 B区ピット観察表



第10図 B区出土遺物実測図

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	土師器甕 SD-003	底部片	高 (遺) 2.7	内面ナデ。外面ケズリ。	良好	橙色	赤色粒、小石、石英、砂粒
2	土師器坏 SK-002	1/5	口 (復) 13.0 底 (復) 7.6 高 3.0	摩耗激しく調整不明。	不良	橙色	細かい砂粒、白色粒
3	土師器坏 SK-002	1/4	口 (復) 12.4 底 (復) 7.6 高 (遺) 3.6	摩耗激しく調整不明。	不良	橙色	白色粒、砂粒
4	須恵器甕 SK-002	頸部片		西面波状文に下方に沈線を2条施す。	良好	オリーブ黒色	粗い白色粒、砂粒
5	土師器坏 SK-016	口縁部片	高 (遺) 3.4	摩耗激しく調整不明。	不良	内面橙色、外面に ぶい黄褐色	細かい砂粒
6	土師器甕 P-31	口縁部片		口縁部ココナデ。	不良	橙色	砂粒、赤色粒、白色粒
7	須恵器蓋 P-31	口縁部片	高 (遺) 1.3	ロクロ成形。	良好	灰色	細かい砂粒、黒色粒

表5 B区出土遺物観察表

## 4 C区(第11～17図、表6～10)

### 溝跡

#### SD-010(第13図)

重複関係 SD-013 → SD-010

規模・形態・構造 幅0.4m、深さ0.22m、検出部分の長さは0.14m。南西―北東方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

#### SD-011(第13・15図)

重複関係 SD-012 → SD-011

規模・形態・構造 幅0.7～1.0m、深さ0.14m、検出部分の長さは5.4m。南東―北西方向に走る溝で、断面形はおわん状である。

遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏・甕などが含まれるが、小片のため図示し得るものはない。

#### SD-012(第13・15図)

重複関係 SD-012 → SK-149・150・151、P-84 → SK-039、P-73 → SD-011、SK-029・031・032・035・036・152、P-74・77・79

規模・形態・構造 幅0.8～1.0m、深さ0.4～0.5m、検出部分の長さは10.7m。南西―北東方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器が出土した。土師器は坏などが含まれるが、小片のため図示し得るものはない。

#### SD-013(第13・15図)

重複関係 SD-013 → SD-010、P-85

規模・形態・構造 幅0.7m、深さ0.48m、検出部分の長さは8.7m。南西―北東方向に走る溝で、断面形は箱状である。

遺物 土師器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

#### SD-014(第11・12・14図、表6)

重複関係 SD-015 → SD-014 → SD-016・017・018・021

規模・形態・構造 幅0.25～0.5m、深さ0.08m、検出部分の長さは15.6m。南西―北東方向に走る溝で、両側にテラスをもつ形状で、底面は平坦である。

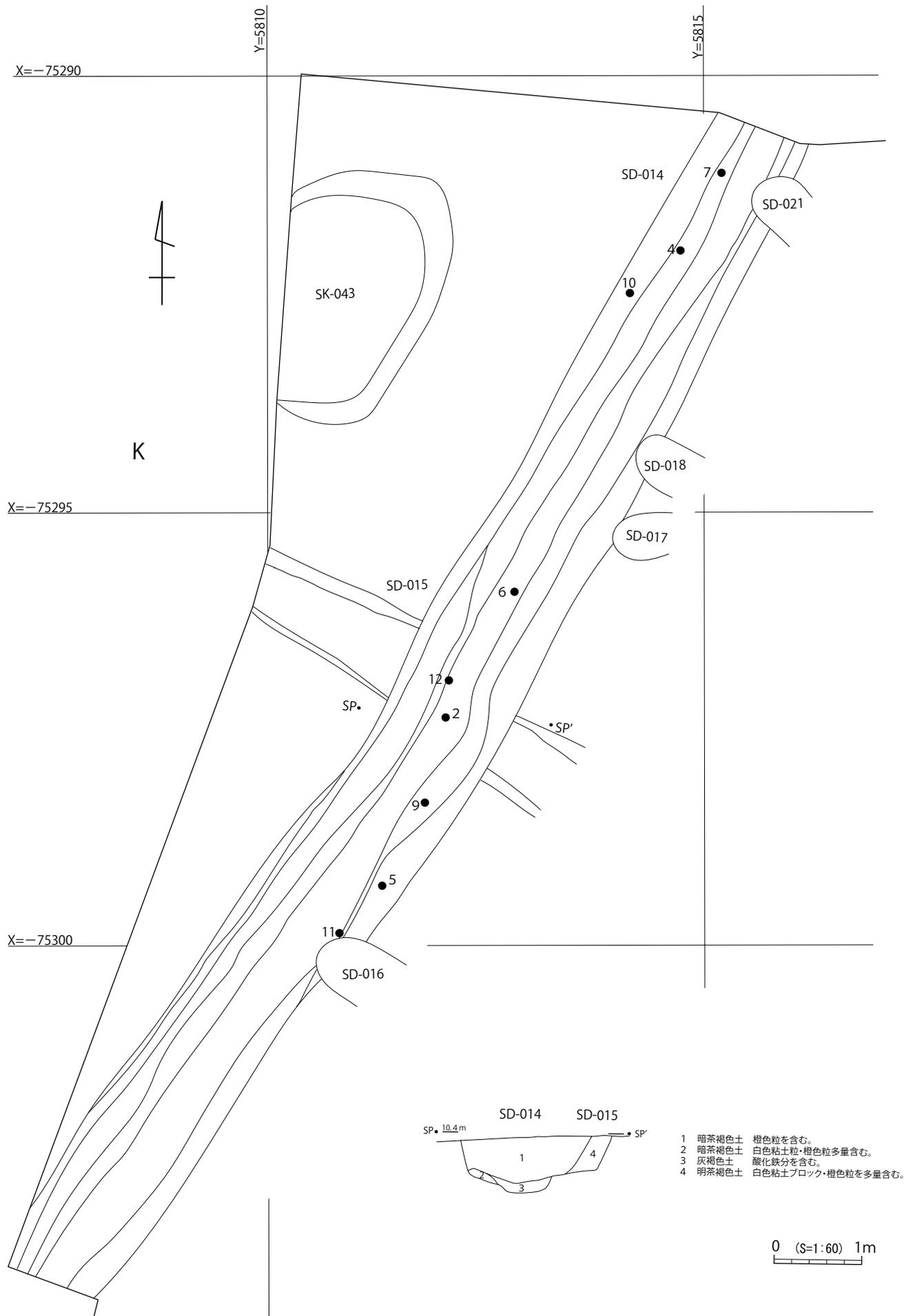
遺物 土師器4,160g、須恵器538g、瓦、鉄滓179g、羽口片456g、粘土塊175gが出土した。土師器の坏・甕・高坏、須恵器の高台坏・蓋・甕などが含まれる。

#### SD-015(第11・12・14・15図、表6)

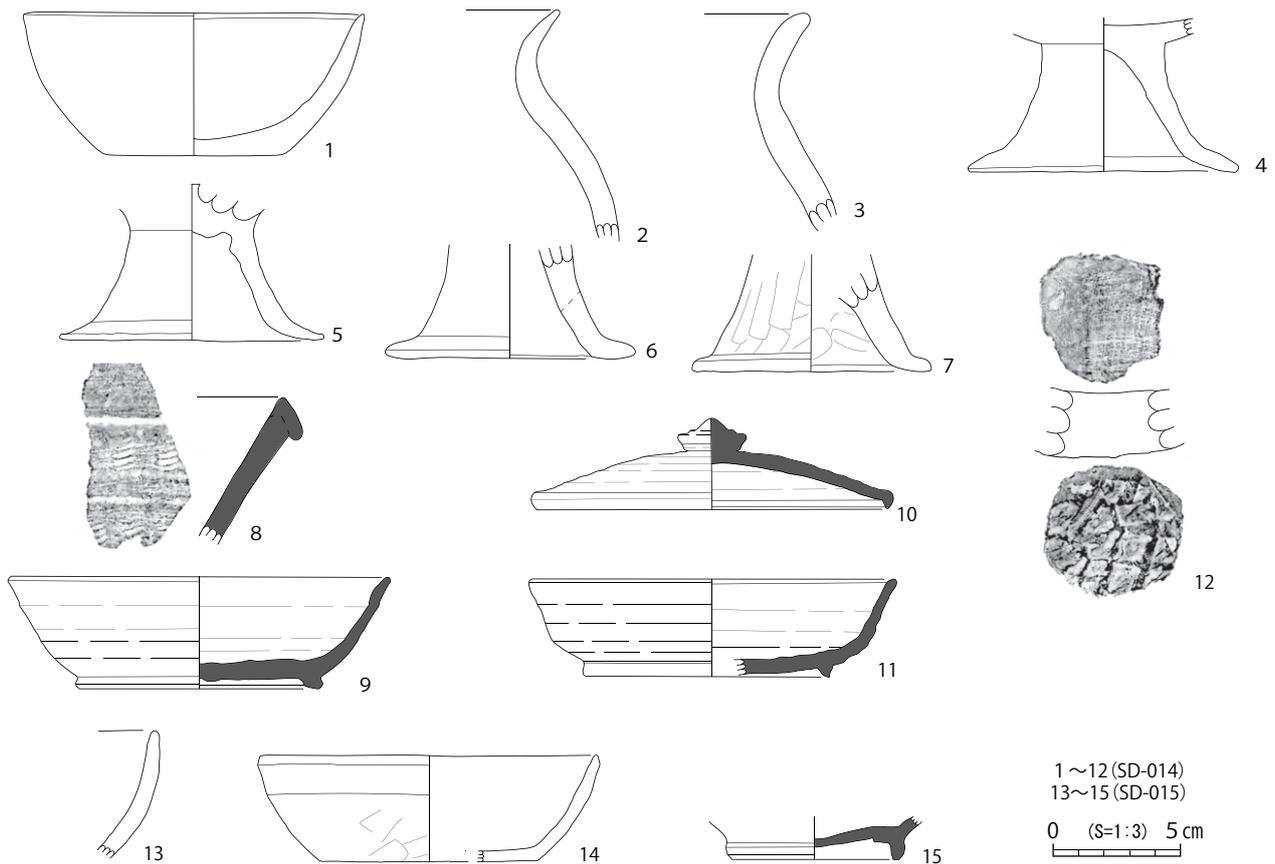
重複関係 SD-015 → SD-014・022・017・021・025、SK-154

規模・形態・構造 幅0.6～1.1m、深さ0.37～0.7m、検出部分の長さは27.8m。西―北方向に狐状に走る溝で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器、須恵器、羽口50.6gが出土した。土師器は坏・甕、須恵器は蓋・坏などが含まれる。



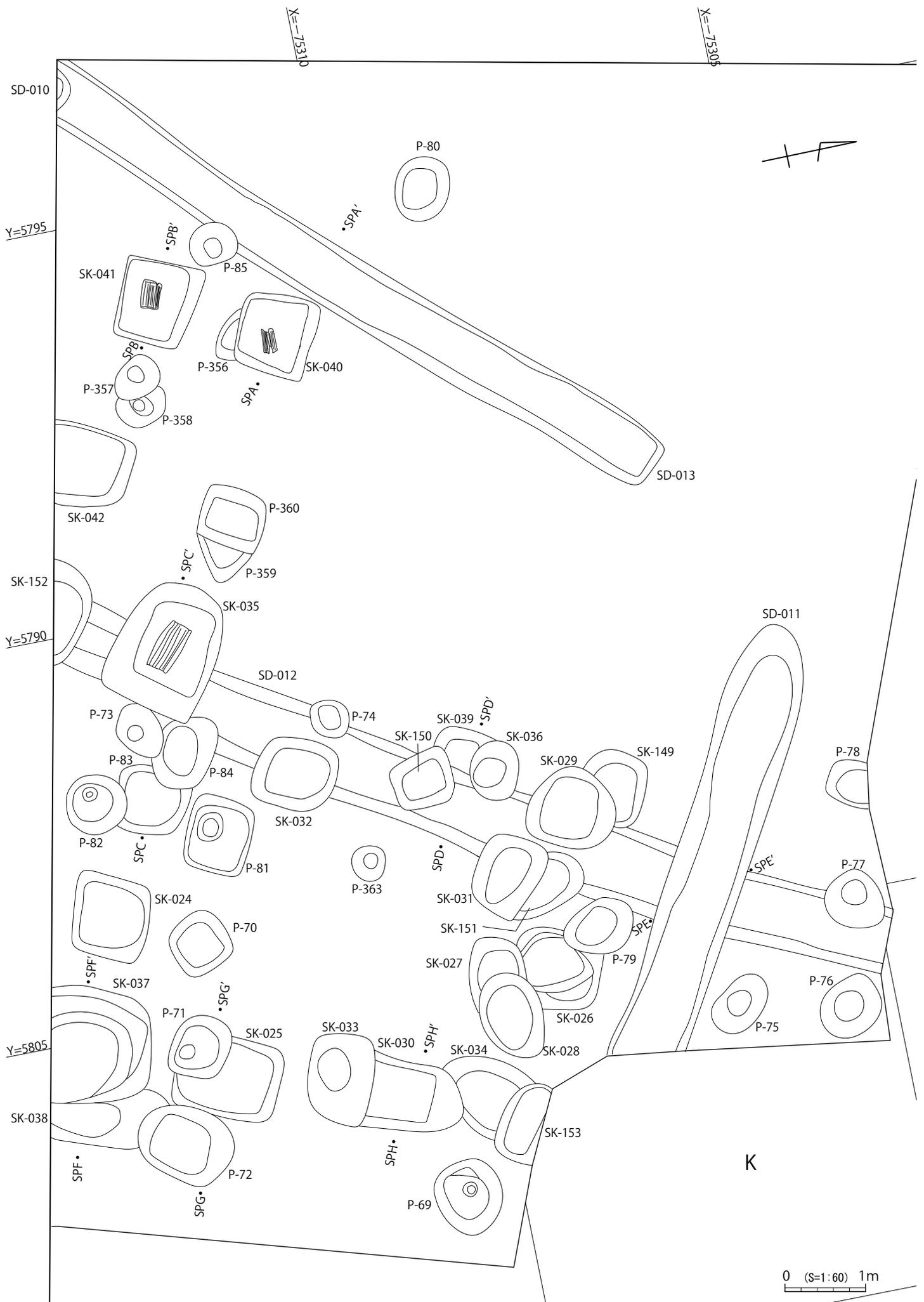
第 11 図 SD-014・015 遺構実測図



第 12 図 SD-014・015 出土遺物実測図

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	土師器坏	口縁部～底部 1/4	口 (復)13.4 底 (復)6.9 高 5.6	摩耗激しく調整不明。	やや良好	にぶい黄褐色	細かい砂粒
2	土師器甕	口縁部片		摩耗激しく調整不明。	不良	褐色	砂粒、赤色粒、小石、石英
3	土師器甕	口縁部片		摩耗激しく調整不明。	不良	褐色	砂粒、赤色粒、小石、雲母
4	土師器高坏	脚部 2/3	底 10.3 高 (遣)6.1	摩耗激しく調整不明。	不良	内面にぶい橙色、 外面橙色	砂粒、小石、白色粒、石英
5	土師器高坏	脚部のみほぼ完存	底 10.5 高 (遣)6.2	摩耗激しく調整不明。	不良	明黄褐色	砂粒、赤色粒
6	土師器高坏	脚部 1/2	底 (復)9.8 高 (遣)4.5	摩耗激しく調整不明。	不良	橙色	細かい砂粒、赤色粒
7	土師器高坏	脚部 1/3	底 (復)9.9 高 (遣)4.5	内面ナデ。外面ヘラケズリ。	良好	橙色	砂粒、小石、赤色粒
8	須恵器甕か壺	口縁部片		口縁部貼り付け。外面 2 本の沈線の上下に波状文。	良好	灰色	細かい砂粒
9	須恵器高台坏	口縁部～底部 1/4	口 (復)14.9 底 9.4 高 4.5	ロクロ成形。	良好	灰白色	細かい砂粒、白色粒
10	須恵器蓋	2/3	口 (復)13.7 高 3.6	還元焰焼成が不十分である。ロクロ成形。宝珠状のツمامミ貼り付け。	やや不良	浅黄褐色	細かい砂粒、白色粒
11	須恵器高台坏	口縁部～底部 3/4	口 14.4 底 9.6 高 3.9	ロクロ成形。	良好	灰白色	細かい砂粒、白色粒
12	平瓦		厚 2.3～2.6 重 105.5	凹面布目痕。凸面格子タタキ痕。平面形が円形であり、瓦を転用した製品の可能性もある。	良好	明赤褐色	細かい砂粒、白色粒
13	土師器坏	口縁部～体部片		摩耗激しく調整不明。	不良	明黄褐色	砂粒、赤色粒、石英
14	土師器坏	口縁部～底部 1/4	口 (復)13.1 底 (復)8.5 高 4.2	内面ヘラナデ。外面口縁部ヨコナデ、体部ヘラケズリ。	不良	橙色	砂粒、赤色粒
15	須恵器高台坏	底部のみ完存	底 6.6 高 (遣)1.5	ロクロ成形。	良好	灰白色	白色粒、小礫

表6 SD-014・015 出土遺物観察表



第 13 图 C区遺構平面図 (1)

**SD-016 (第 14 図)**

**重複関係** SD-014 → SD-016 → SD-022、P-94

**規模・形態・構造** 幅 0.7 ～ 1.1 m、深さ 0.51 m、検出部分の長さは 9.3 m。南東－北西方向に走る溝で、断面形は逆台形で、南側にテラスを持つ形状である。

**SD-017 (第 14・17 図、表 10)**

**重複関係** SD-014 → SD-018 → SD-017 → SD-022

**規模・形態・構造** 幅 0.5 ～ 0.6 m、深さ 0.1 ～ 0.2 m、検出部分の長さは 10.6 m。南東－北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

**遺物** 土師器、須恵器、ガラス滓付羽口片 213.15g が出土した。土師器は坏などが含まれる。

**SD-018 (第 14 図)**

**重複関係** SD-014 → SD-018 → SD-017

**規模・形態・構造** 幅 0.6 m、深さ 0.21 m、検出部分の長さは 4.5 m。南東－北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

**遺物** 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏・甕などが含まれるが、小片のため図示し得るものはない。

**SD-019 (第 14 図)**

**重複関係** なし

**規模・形態・構造** 幅 1.0 m、深さ 0.07 m、検出部分の長さは 2.4 m。南西－北東方向に走る溝で、断面形は皿状である。

**遺物** 土師器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

**SD-021 (第 14・15・17 図、表 10)**

**重複関係** SD-015 → SD-014 → SD-025 → SD-021 → SK-155、P-107・109・119・122・361

**規模・形態・構造** 幅 0.38 ～ 0.8 m、深さ 0.28 ～ 0.32 m、検出部分の長さは 15.3 m。南東－北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

**遺物** 土師器、須恵器、羽口 55g が出土した。土師器は坏・甕、須恵器は蓋・坏などが含まれる。

**SD-022 (第 14・15 図)**

**重複関係** SD-015 → SD-016・017 → SD-022 → P-96・362

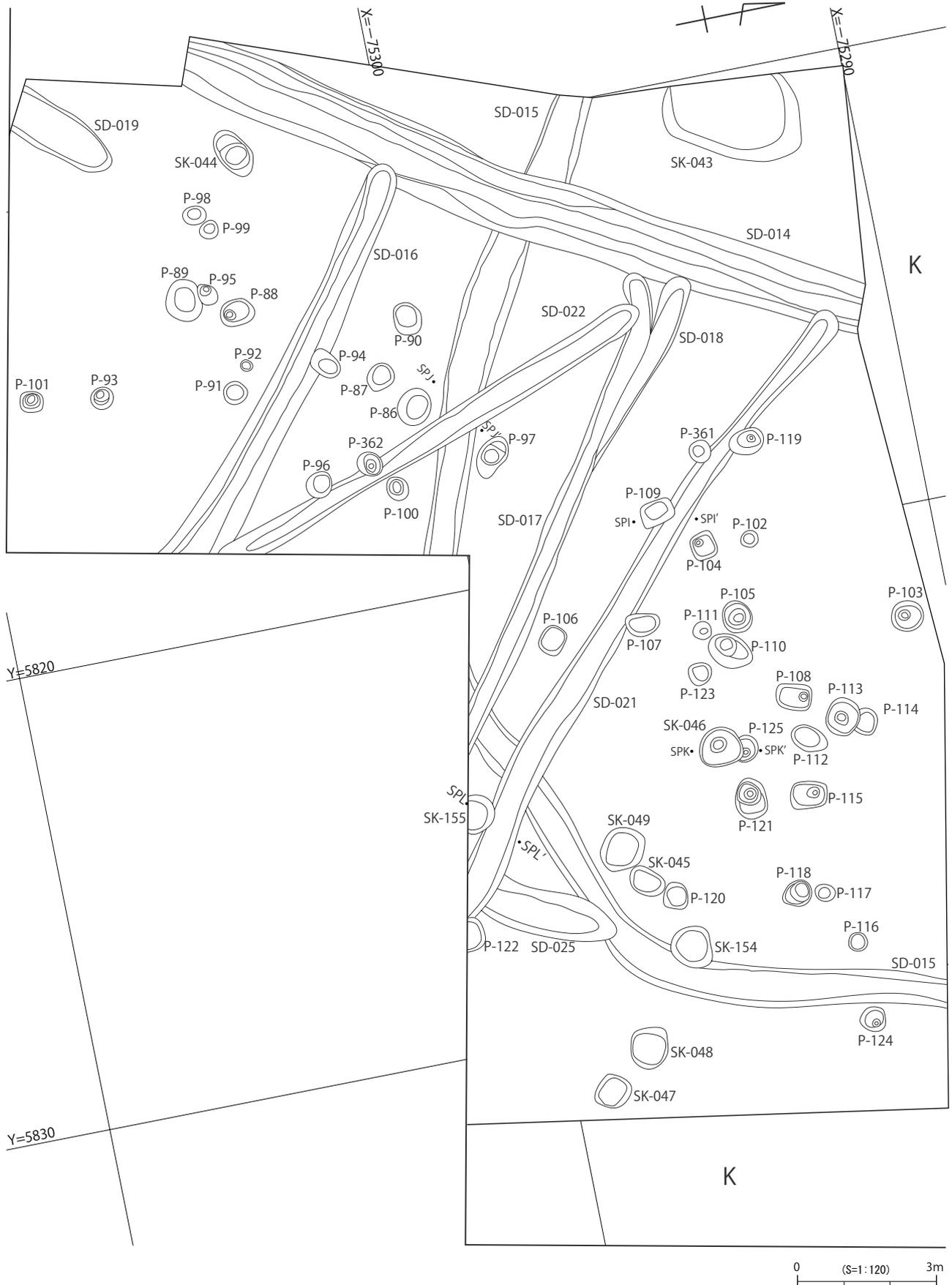
**規模・形態・構造** 幅 0.4 ～ 0.6 m、深さ 0.2 ～ 0.25 m、検出部分の長さは 10.4 m。南東－北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

**SD-025 (第 14・17 図、表 10)**

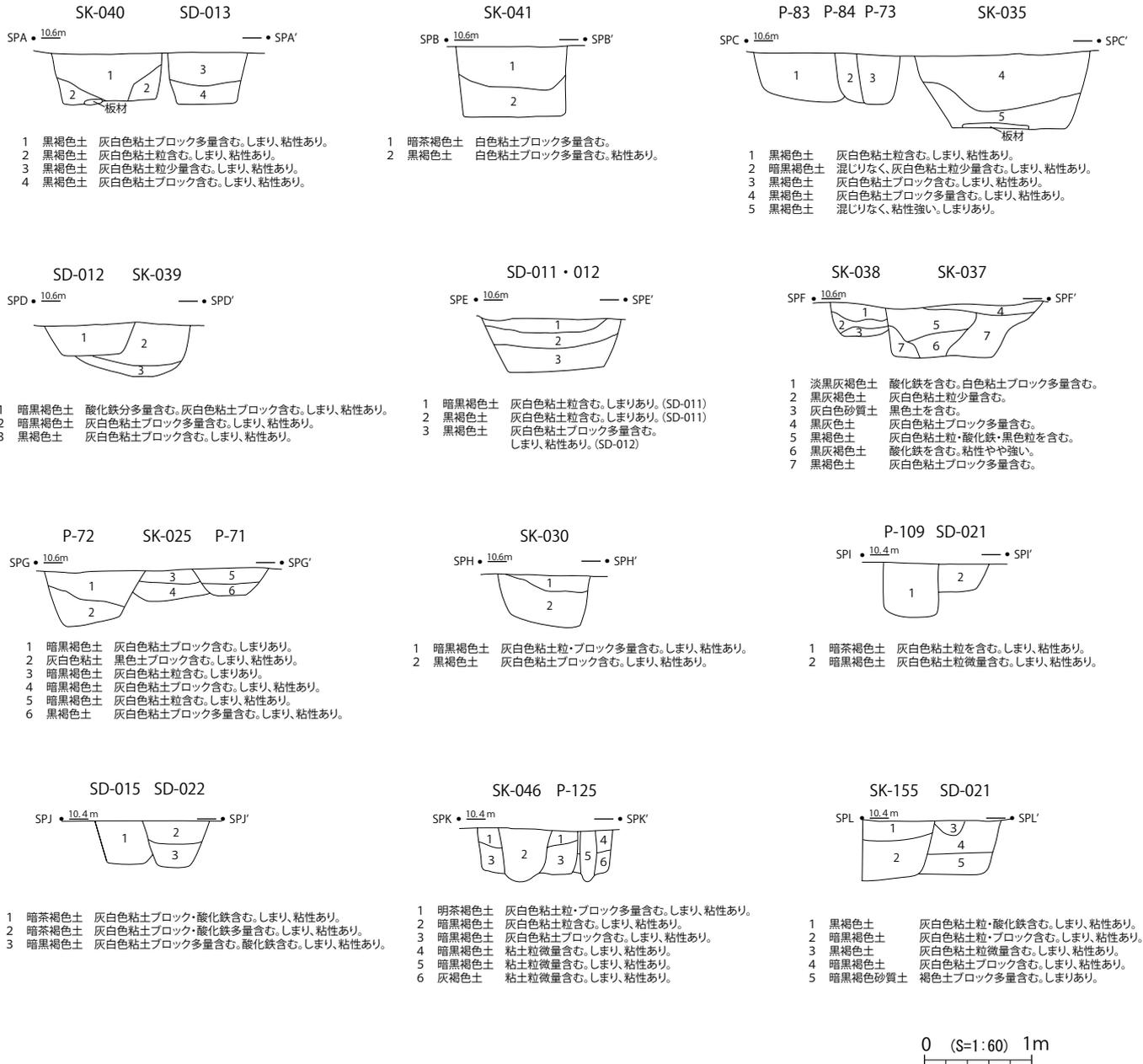
**重複関係** SD-015 → SD-025 → SD-021

**規模・形態・構造** 幅 0.8 ～ 1.0 m、深さ 0.37 ～ 0.7 m、検出部分の長さは 2.3 m。南西－北方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

**遺物** 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏・甕、須恵器は坏・甕などが含まれる。



第 14 图 C区遺構平面図 (2)



第 15 図 C区遺構断面図

## 土坑

SK-024 (第 13・17 図、表 10)

重複関係 なし

規模・形態・構造 一辺 0.7～0.9 m、深さ 0.48 m。平面形は不整な方形で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器が出土した。土師器は坏・甕・高坏などが含まれる。

SK-031 (第 13・17 図、表 10)

重複関係 SD-012 → SK-151 → SK-031

規模・形態・構造 長軸 1.0 m、短軸 0.7 m、深さ 0.89 m。平面形は不整な長方形で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏、須恵器は甕などが含まれる。

SK-037 (第 13・15・17 図、表 10)

重複関係 SK-038 → SK-037

規模・形態・構造 検出部分の長軸 1.2 m、短軸 1.4 m、深さ 0.53 m。平面形は不整な楕円形が推定される。断面形は逆台形状である。西方向にテラスを持つ。

遺物 土師器、粘土塊が出土した。土師器は坏などが含まれる。

SK-038 (第 13・15・17 図、表 10)

重複関係 SK-038 → SK-037、P-72

規模・形態・構造 検出部分の長軸 1.3 m、短軸 0.7 m、深さ 0.22 m。平面形は不整な楕円形で、断面形は逆台形状である。

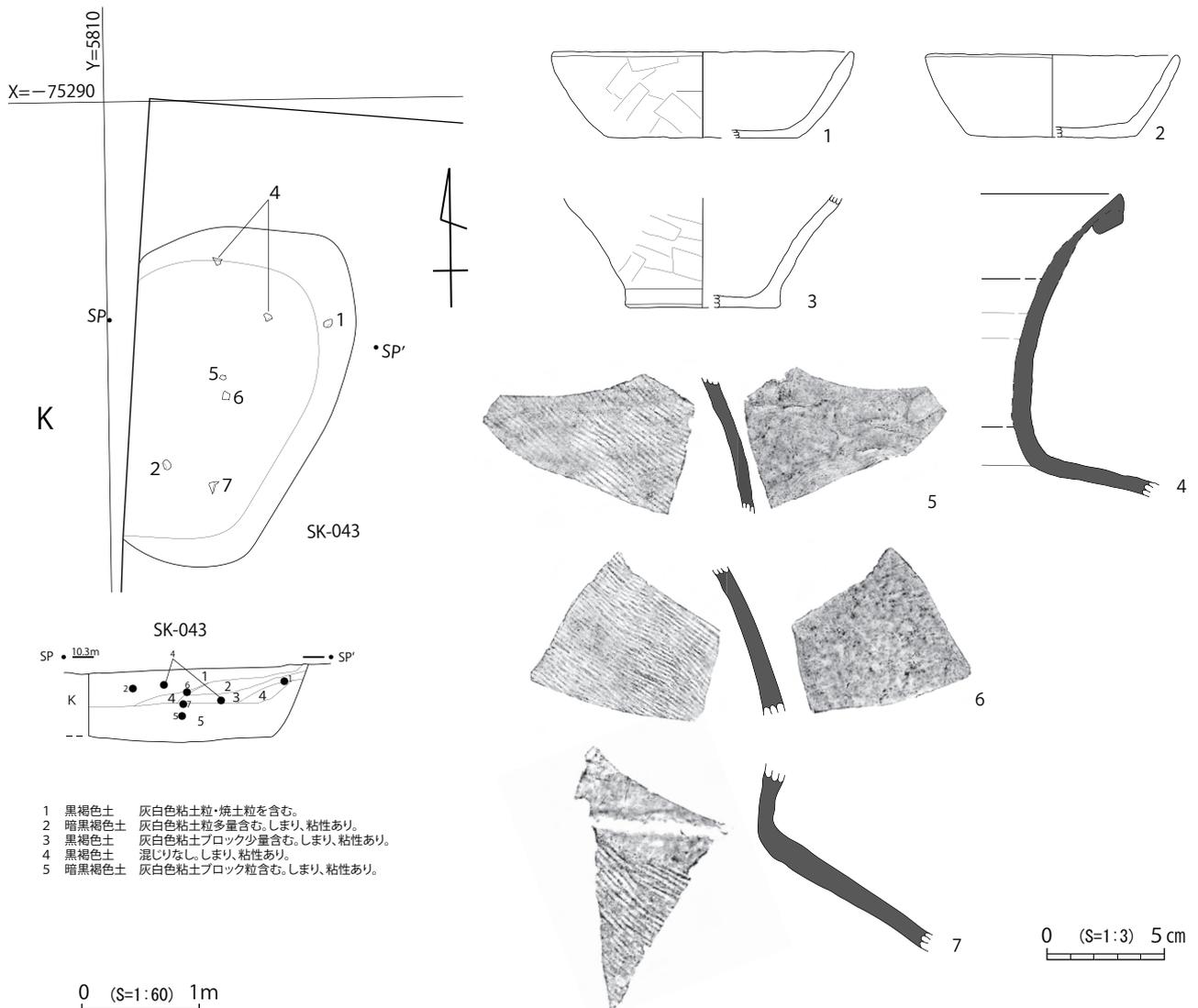
遺物 土師器が出土した。土師器は坏・甕などが含まれる。

SK-043 (第 14・16 図、表 7)

重複関係 なし

規模・形態・構造 長軸 2.9 m、検出部分の短軸 2.0 m、深さ 0.35 ~ 0.68 m。平面形は不整な長方形で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器 3,979g、須恵器 970g、鉄滓 354g、粘土塊 142.2g が出土した。土師器は坏・甕、須恵器は甕などが含まれる。土師器は坏片が多く、須恵器は甕の胴部片が多い。



第 16 図 SK-043 実測図

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	土師器坏	口縁部～底部 1/4	口 (復)12.9 底 (復)8.0 高 3.6	摩耗激しく調整不明。	やや不良	橙色	赤色粒、雲母、砂粒
2	土師器坏	口縁部～底部 1/2	口 (復)10.6 底 (復)7.2 高 3.5	摩耗激しく調整不明。	不良	黄橙色	砂粒、小石、石英
3	土師器壺か甕	体部～底部 1/3	底 (復)6.4 高 (遺)4.7	内面ナデ。外面ヘラナデ。	良好	内面オリーブ黒色、外面橙色	砂粒、石英、小礫
4	須恵器甕	口縁部～肩部片		ロクロ成形。外面折り返し口縁。	良好	灰色、外面橙色	白色粒、石英、小礫
5	須恵器甕	胴部片		内面あて具痕。外面平行タタキ。	良好	灰白色	細かい黒色粒、石英
6	須恵器甕	胴部片		内面あて具痕。外面平行タタキ。	良好	灰白色	小礫、白色粒
7	須恵器甕	頸部～肩部片		ロクロ成形。内面肩部あて具痕。外面平行タタキ。外面肩部に自然軸が散見。	良好	灰色、外面肩部灰白色	砂粒、白色小礫

表7 SK-043 出土遺物観察表

## その他土坑

下記のとおり一覧表にまとめた。

また、SK-035・040・041の床面直上で板材を検出した。樹種の同定をした結果、ヒノキであることが判明した。樹種同定については、第4章を参照されたい。いずれも明瞭な工具痕等は確認できなかったため、板材検出状況の平面図及び土坑観察表内に計測数値の記載に留めた。

遺構	重複関係	規模・特徴	平面形	断面形	出土遺物	備考
SK-025	SK-025 → P-71・72	長軸 1.32 m、短軸 1.02 m、深さ 0.48 m	長方形	逆台形	土師器の坏を含む	第13・15図
SK-026	SK-026 → SK-027 → SK-028、P-79	一辺 1.0 ～ 1.1 m、深さ 0.6 m、北西にテラスをもつ	方形	逆台形	土師器の坏を含む、須恵器	第13図
SK-027	SK-026 → SK-027 → SK-028	検出部分の長軸 0.9 m、短軸 0.7 m、深さ 0.5 m	楕円形	逆台形	土師器の坏を含む	第13図
SK-028	SK-026 → SK-027 → SK-028	長軸 1.07 m、短軸 0.75 m、深さ 0.31 m	楕円形	U字状	土師器の坏を含む	第13図
SK-029	SD-012 → SK-149 → SK-029	直径 1.0 ～ 1.1 m、深さ 0.43 m	不整な円形	逆台形	土師器の坏を含む	第13図
SK-030	SK-034 → SK-030 → SK-033	検出部分の長軸 1.16 m、短軸 0.95m、深さ 0.6 m	不整な楕円形	逆台形	なし	第13・15図
SK-032	SD-012 → SK-032	一辺 0.9 ～ 1.0 m、深さ 0.34 m	不整な方形	逆台形	土師器の坏を含む	第13図
SK-033	SK-030 → SK-033	長軸 1.1 m、短軸 0.8 m、深さ 0.62 m	長方形	U字状	土師器の坏を含む	第13図
SK-034	SK-034 → SK-030・153	検出部分の長軸 0.9 m、短軸 0.92 m、深さ 0.49 m	楕円形	U字状	土師器の坏を含む	第13図
SK-035	SD-012 → P-84 → P-73 → SK-035	長軸 1.6 m、短軸 1.24 m、深さ 0.75 m	長方形	逆台形	土師器、板材 (長 62cm、幅 35cm、厚 10cm)	第13・15図 第4章
SK-036	SK-039 → SD-012 → SK-036	長軸 0.75 m、短軸 0.6 m、深さ 0.36 m	楕円形	U字状	土師器の坏を含む。	第13図
SK-039	SK-039 → SD-012 → SK-036・150	検出部分の長軸 0.88 m、短軸 0.7 m、深さ 0.29 m	長方形	逆台形	土師器の坏を含む	第13・15図
SK-040	P-356 → SK-040	一辺 0.9 ～ 1.0 m、深さ 0.53 m	方形	逆台形	鉄滓 52g、板材 (長 32cm、幅 18cm、厚 8 cm)	第13・15図 第4章
SK-041	なし	一辺 0.9 ～ 1.18 m、深さ 0.74 m	方形	逆台形	土師器、軽石 8 g、板材 (長 35cm、幅 25cm、厚 6 cm)	第13図 第4章
SK-042	なし	検出部分の長軸 1.05 m、短軸 1.05 m、深さ 0.48 m	長方形	逆台形	土師器の坏を含む、須恵器の蓋を含む	第13・15図
SK-044	なし	長軸 1.1 m、短軸 0.65 m、深さ 0.37 m、円形の掘り込みをもつ	楕円形	逆台形	土師器	第14図
SK-045	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.5 m、深さ 0.39 m	楕円形	U字状	なし	第14図
SK-046	P-125 → SK-046	長軸 0.9 m、短軸 0.7 m、深さ 0.55 m、ピット状の掘り込みをもつ	不整な楕円形	逆台形	土師器、須恵器	第14・16図
SK-047	なし	一辺 0.7 m、深さ 0.3 m	方形	逆台形	土師器の坏を含む	第14図
SK-048	なし	長軸 1.0 m、短軸 0.8 m、深さ 0.2 m	不整な方形	U字状	なし	第14図
SK-049	なし	一辺 0.9 ～ 1.0 m、深さ 0.53 m	不整な円形	逆台形	土師器、鉄滓 24g	第14図
SK-149	SD-012 → SK-149 → SK-029	長軸 0.9 m、短軸 0.8 m、深さ 0.33 m	楕円形	逆台形	なし	第13図
SK-150	SK-039 → SD-012 → SK-150	検出部分の長軸 0.7 m、短軸 0.7 m、深さ 0.32 m	長方形	逆台形	なし	第13図
SK-151	SD-012 → SK-151 → SK-031	検出部分の長軸 1.1 m、短軸 0.63 m、深さ 0.31 m	楕円形	U字状	なし	第13図
SK-152	SD-012 → SK-152	検出部分の長軸 1.32 m、検出部分の短軸 0.5 m、深さ 0.68 m	楕円形	逆台形	なし	第13図
SK-153	SK-034 → SK-153	長軸 1.2 m、検出部分の短軸 0.53 m、深さ 0.47 m	楕円形	逆台形	なし	第13図
SK-154	SD-015 → SK-154	長軸 1.0 m、短軸 0.9 m、深さ 0.37 m	不整な楕円形	U字状	なし	第14図
SK-155	SD-021 → SK-155	一辺 0.8 ～ 0.9 m、深さ 0.31 m	円形	U字状	なし	第14・16図

表8 C区土坑観察表

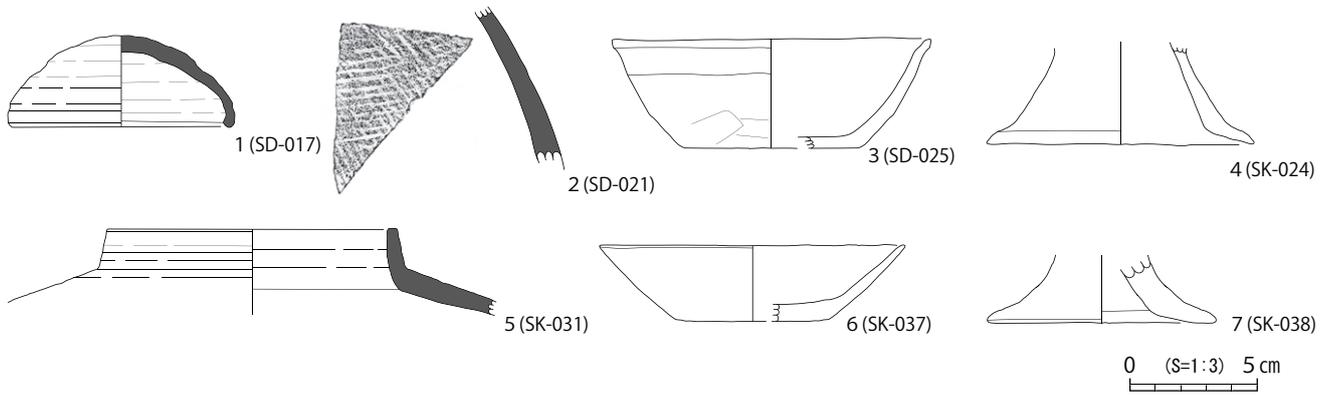
## ピット

平面から掘立柱建物跡の組み合わせを検討したが、組み合わせるものはなかった。

右記のとおり一覧表にまとめた。

遺構	重複関係	規模	平面形	柱痕の有無	出土遺物	備考
P-69	なし	直径 0.8 ~ 0.9 m、深さ 0.54 m	不整な円形	有	土師器の坏を含む、鉄滓 46g	第 13 図
P-70	なし	一辺 0.7 m、深さ 0.39 m	方形	無	土師器の坏、須恵器の蓋を含む	第 13 図
P-71	SK-025 → P-71	一辺 0.7 ~ 0.8 m、深さ 0.46 m	不整な方形	有	土師器、須恵器、鉄滓 7g	第 13・15 図
P-72	SK-025・038 → P-72	長軸 1.2 m、短軸 0.9 m、深さ 0.17 m	楕円形	無	なし	第 13・15 図
P-73	P-84 → P-73 → SK-035	長軸 0.74 m、短軸 0.53 m、深さ 0.49 m	不整な楕円形	無	なし	第 13 図
P-74	SD-012 → P-74	直径 0.48 m、深さ 0.21 m	円形	無	なし	第 13 図
P-75	なし	長軸 0.82 m、短軸 0.53 m、深さ 0.23 m	楕円形	無	なし	第 13 図
P-76	なし	直径 0.7 ~ 0.8 m、深さ 0.34 m	不整な円形	無	土師器、須恵器	第 13 図
P-77	SD-012 → P-77	直径 0.75 m、深さ 0.28 m	不整な円形	無	なし	第 13 図
P-78	なし	検出部分の一辺 0.6 m、深さ 0.24 m	方形	無	土師器	第 13 図
P-79	SD-012、SK-026 → P-79	長軸 0.9 m、短軸 0.7 m、深さ 0.17 m	不整な楕円形	無	なし	第 13 図
P-80	なし	長軸 0.82 m、短軸 0.7 m、深さ 0.32 m	楕円形	無	なし	第 13 図
P-81	なし	長軸 0.95 m、短軸 0.8 m、深さ 0.38 m	長方形	有	土師器の坏を含む	第 13 図
P-82	P-83 → P-82・84	直径 0.75 m、深さ 0.32 m	円形	有	土師器の坏を含む	第 13 図
P-83	P-83 → P-82	一辺 0.85 ~ 0.9 m、深さ 0.44 m	方形	無	土師器の甕・坏を含む	第 13・15 図
P-84	SD-012 → P-83 → P-84 → P-73 → SD-035	長軸 0.93 m、短軸 0.7 m、深さ 0.42 m	楕円形	無	土師器の坏を含む、須恵器	第 13 図
P-85	SD-013 → P-85	直径 0.54 ~ 0.6 m、深さ 0.43 m	円形	無	土師器の坏を含む、須恵器	第 13 図
P-86	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.7 m、深さ 0.43 m	不整な楕円形	無	土師器	第 14 図
P-87	なし	一辺 0.55 m、深さ 0.32 m	不整な円形	無	なし	第 14 図
P-88	なし	長軸 0.75 m、短軸 0.55 m、深さ 0.36 m	楕円形	有	土師器の坏を含む	第 14 図
P-89	P-89 → P-95	長軸 0.9 m、短軸 0.8 m、深さ 0.27 m	楕円形	無	土師器の坏を含む	第 14 図
P-90	なし	長軸 0.7 m、短軸 0.6 m、深さ 0.16 m	楕円形	無	土師器の坏を含む、鉄滓 160g	第 14 図
P-91	なし	直径 0.5 m、深さ 0.18 m	円形	無	土師器、鉄滓 1g	第 14 図
P-92	なし	直径 0.28 m、深さ 0.13 m	円形	無	なし	第 14 図
P-93	なし	直径 0.5 m、深さ 0.32 m	円形	有	土師器	第 14 図
P-94	SD-016 → P-94	長軸 0.7 m、短軸 0.5 m、深さ 0.2 m	楕円形	無	土師器	第 14 図
P-95	P-89 → P-95	長軸 0.7 m、短軸 0.5 m、深さ 0.44 m	不整な楕円形	無	土師器	第 14 図
P-96	SD-022 → P-96	直径 0.6 m、深さ 0.23 m	円形	無	土師器	第 14 図
P-97	なし	長軸 0.98 m、短軸 0.6 m、深さ 0.28 m、南東側にテラスをもつ	不整な楕円形	無	土師器の甕を含む	第 14 図
P-98	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.6 m、深さ 0.19 m	楕円形	無	なし	第 14 図
P-99	なし	直径 0.5 m、深さ 0.09 m	円形	無	なし	第 14 図
P-100	なし	直径 0.55 m、深さ 0.12 m	不整な円形	有	なし	第 14 図
P-101	なし	一辺 0.5 m、深さ 0.51 m	方形	有	土師器の甕を含む	第 14 図
P-102	なし	直径 0.4 m、深さ 0.11 m	円形	無	なし	第 14 図
P-103	なし	直径 0.7 m、深さ 0.3 m	円形	有	なし	第 14 図
P-104	なし	一辺 0.55 m、深さ 0.36 m	方形	有	なし	第 14 図
P-105	なし	直径 0.7 m、深さ 0.55 m	円形	有	土師器の坏を含む、ガラス滓 5g	第 14 図
P-106	なし	一辺 0.5 ~ 0.6 m、深さ 0.56 m	方形	無	土師器、須恵器坏含む。鉄滓 85.21g	第 14 図
P-107	SD-021 → P-107	長軸 0.65 m、短軸 0.5 m、深さ 0.13 m	楕円形	無	土師器の坏を含む	第 14 図
P-108	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.55 m、深さ 0.24 m	長方形	有	土師器、須恵器	第 14 図
P-109	SD-021 → P-109	長軸 0.7 m、短軸 0.5 m、深さ 0.5 m	長方形	無	土師器の坏を含む	第 14・15 図
P-110	なし	長軸 1.0 m、短軸 0.7 m、深さ 0.36 m、北東側にテラスをもつ	不整な楕円形	無	土師器、粘土塊、鉄滓 2g	第 14 図
P-111	なし	直径 0.4 m、深さ 0.22 m	円形	無	土師器	第 14 図
P-112	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.5 m、深さ 0.26 m	楕円形	無	なし	第 14 図
P-113	P-114 → P-113	直径 0.7 ~ 0.8 m、深さ 0.57 m	円形	有	土師器、鉄滓 125g	第 14 図
P-114	P-114 → P-113	検出部分の直径 0.55 m、深さ 0.26 m	円形	無	なし	第 14 図
P-115	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.6 m、深さ 0.8 m	長方形	有	土師器	第 14 図
P-116	なし	直径 0.45 m、深さ 0.15 m	円形	無	土師器	第 14 図
P-117	なし	直径 0.4 ~ 0.45 m、深さ 0.27 m	不整な円形	無	土師器、ガラス滓 12g	第 14 図
P-118	なし	直径 0.6 ~ 0.7 m、深さ 0.12 m、南側にテラスをもつ	不整な円形	無	なし	第 14 図
P-119	SD-021 → P-119	長軸 0.8 m、短軸 0.6 m、深さ 0.22 m	楕円形	有	鉄滓 37g	第 14 図
P-120	なし	一辺 0.5 ~ 0.55 m、深さ 0.36 m	方形	無	土師器	第 14 図
P-121	なし	長軸 0.9 m、短軸 0.68 m、深さ 0.4 m、東側にテラスをもつ	楕円形	有	土師器	第 14 図
P-122	SD-021 → P-122	検出部分の直径 0.7 m、深さ 0.5 m	円形	無	土師器、鉄滓 14g	第 14 図
P-123	なし	直径 0.5 m、深さ 0.12 m	不整な円形	無	なし	第 14 図
P-124	なし	直径 0.55 m、深さ 0.33 m	円形	有	土師器	第 14 図
P-125	P-125 → SK-046	検出部分の直径 0.58 m、深さ 0.46 m	円形	有	なし	第 14・15 図
P-356	P-356 → SK-040	検出部分の長軸 0.66 m、検出部分の短軸 0.25 m、深さ 0.2 m	楕円形	無	なし	第 13 図
P-357	P-358 → P-357	長軸 0.6 m、短軸 0.45 m、深さ 0.42 m	不整な楕円形	無	なし	第 13 図
P-358	P-358 → P-357	長軸 0.65 m、検出部分の短軸 0.45 m、深さ 0.22 m	楕円形	有	なし	第 13 図
P-359	P-359 → P-360	一辺 0.65 m、深さ 0.15 m	不整な方形	無	なし	第 13 図
P-360	P-359 → P-360	長軸 0.84 m、短軸 0.75 m、深さ 0.44 m	長方形	無	なし	第 13 図
P-361	SD-021 → P-361	直径 0.5 m、深さ 0.25m	円形	無	なし	第 14 図
P-362	SD-022 → P-362	直径 0.5 ~ 0.55 m、深さ 0.42 m	円形	有	なし	第 14 図
P-363	なし	直径 0.45 m、深さ 0.2 m	不整な円形	無	なし	第 13 図

表9 C区ピット観察表



第 17 図 C区出土遺物実測図

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	須恵器蓋 SD-017	口縁部～体部 1/4	口 8.6 高 3.6	ロクロ成形。	良好	灰白色	細かい砂粒
2	須恵器甕 SD-021	胴部片		内面ケズリ。外面平行タタキ。自然釉が散見。	良好	褐灰色	白色粒
3	土師器杯 SD-025	口縁部～底部 1/3	口 (復)12.6 底 (復)6.8 高 4.3	内面摩擦激しく不明。外面ヘラケズリ。	やや不良	橙色	砂粒、白色粒、小礫
4	土師器高坏 SK-024	脚部 1/5	底 (復)10.5 高 (遺)4.1	摩擦激しく調整不明。	不良	橙色	砂粒、小石、赤色粒
5	須恵器短頸壺 SK-031	口縁部～肩部 1/5	口 (復)11.4 高 (遺)2.9	ロクロ成形。	良好	灰色	細かい白色粒
6	土師器杯 SK-037	口縁部～底部 1/4	口 (復)12.0 底 (復)5.6 高 3.0	摩擦激しく調整不明。	不良	橙色	粗い砂粒、小石
7	土師器高坏 SK-038	脚部 1/4	底 (復)9.0 高 (遺)2.8	摩擦激しく調整不明。	不良	内面にふい黄橙色、外面橙色	砂粒、赤色粒、石英

表 10 C区出土遺物観察表

## 5 D区 (第 18 ~ 59 図、表 11 ~ 25)

### 竪穴住居跡

SI-001 (第 19・28 図、表 11)

重複関係 SI-001 → P-275・276

**規模・形態・構造** 一辺 2.7 ~ 2.8 m、深さ 0.19 m である。平面形は正方形である。遺構上部は、削平を受けている。確認できた壁はほぼ垂直に立ち上がる。壁溝は西側一部以外検出され、幅 0.16 ~ 0.2 m、深さ 0.3 m である。床面は平坦で、掘方には粘土に黒色ブロック・粒を混ぜた土を貼っている。柱穴は確認できなかった。カマドは粘土で構築した両袖の一部と支脚が残る。カマドの周囲からは焼土を検出した。煙道の一部を検出した。貯蔵穴は確認できなかった。

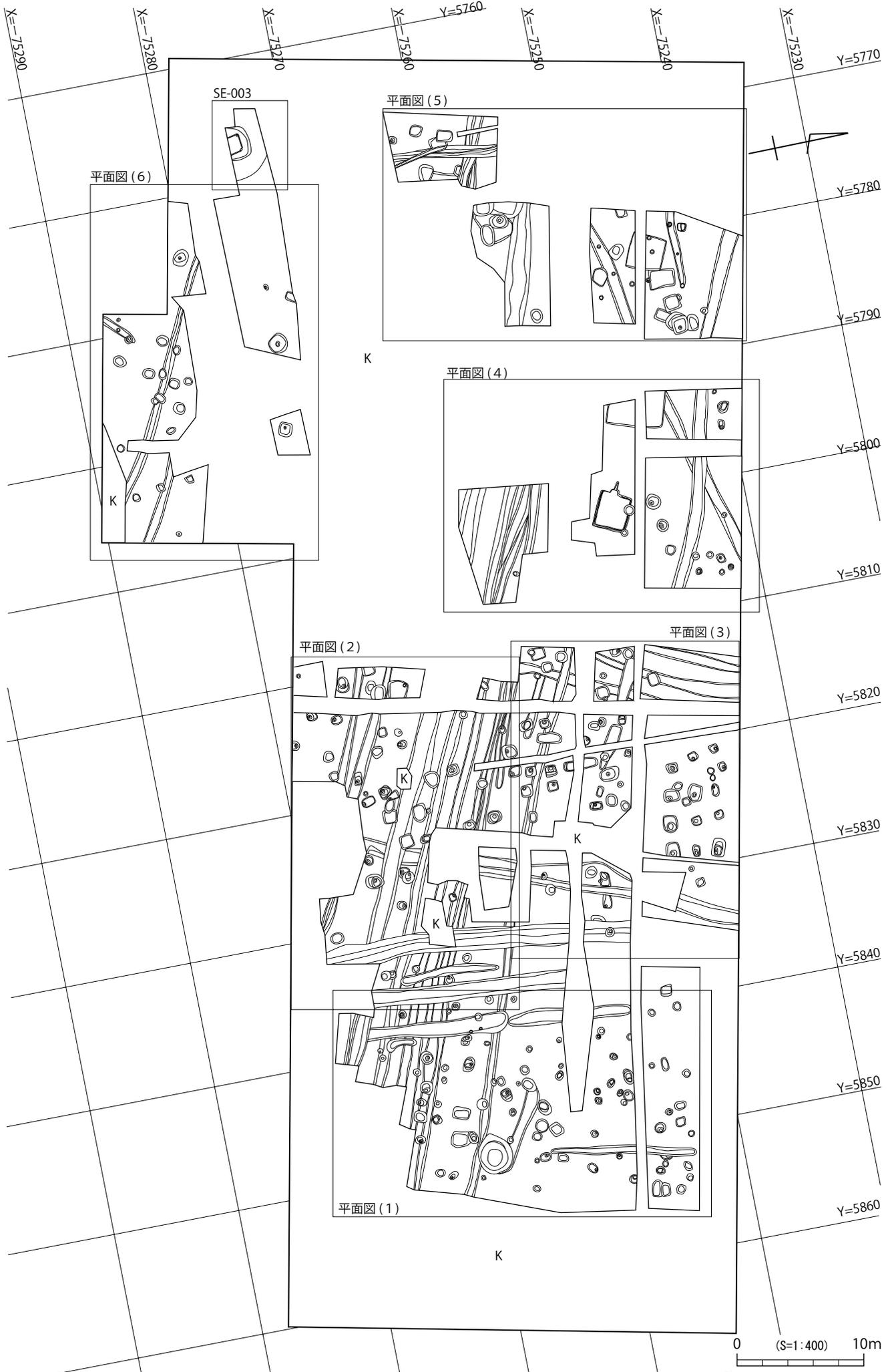
**遺物** 土師器 3,745g、須恵器 112g、支脚が出土した。土師器は坏・高坏・甕などが含まれる。

SI-002 (第 20・28 図、表 12)

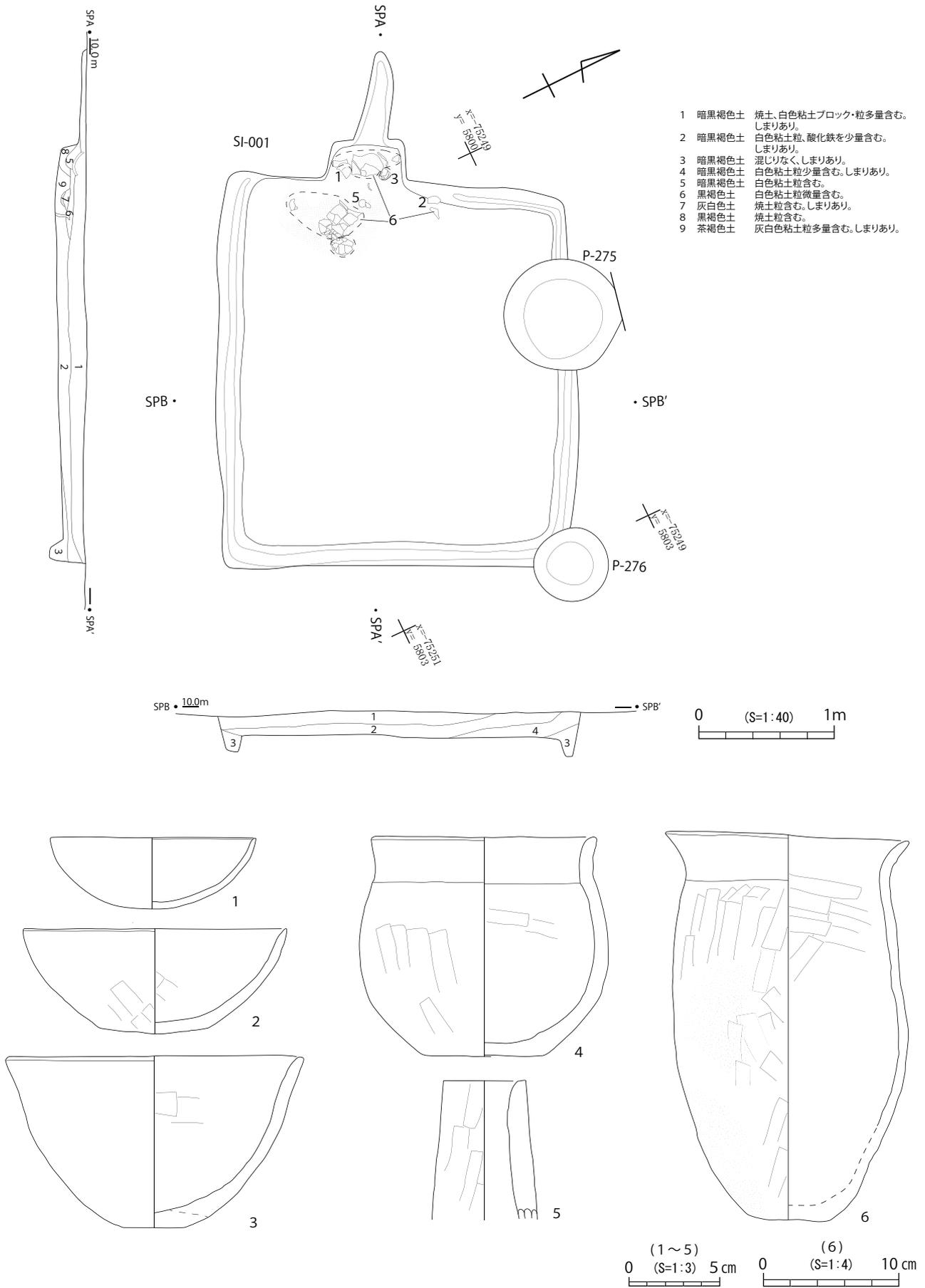
重複関係 なし

**規模・形態・構造** 検出部分の一辺 4.5 m、深さ 0.08 m である。遺構の西側及び中央は攪乱によって不明である。平面形は正方形が想定である。遺構上部は、大きく削平を受けている。確認できた壁はほぼ垂直に立ち上がる。壁溝は検出されなかった。床面は平坦で、硬化面は確認されなかった。カマド、貯蔵穴、柱穴は確認できなかった。焼土や粘土も検出されなかった。

**遺物** 土師器、須恵器、土製品が出土した。土師器は坏・高坏などが含まれる。



第 18 图 D 区遺構平面图



第 19 図 SI-001 実測図

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	土師器坏	口縁部～胴部 1/4	口 11.2 高 4.0	内外面ともにヘラケズリ。	やや良好	浅黄色	粗い赤色粒、小礫
2	土師器坏	口縁部～底部 1/4	口 (復)14.5 底 (復)6.1 高 5.9	内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	やや不良	橙色	細かい砂粒、石英
3	土師器鉢	口縁部～底部 1/4	口 (復)16.2 底 (復)3.4 高 9.6	内面ヘラナデ。摩耗激しく調整不明。	やや不良	橙色	砂粒、小石
4	土師器短頸壺	口縁部～底部 4/5	口 12.4 底 6.5 高 12.2	口縁部ココナデ。内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	良好	橙色	砂粒、石英
5	支脚	下方部欠損	最大幅 5.7 高 (遺)7.7 重 140	粘土板巻き。外面ヘラケズリ。	やや良好	にぶい黄橙色	細かい砂粒、赤色粒
6	土師器長胴甕	ほぼ完形	口 18.0 底 4.7 高 28.6	口縁部ココナデ。内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ、スス付着。	良好	黄橙色	砂粒、粗い赤色粒

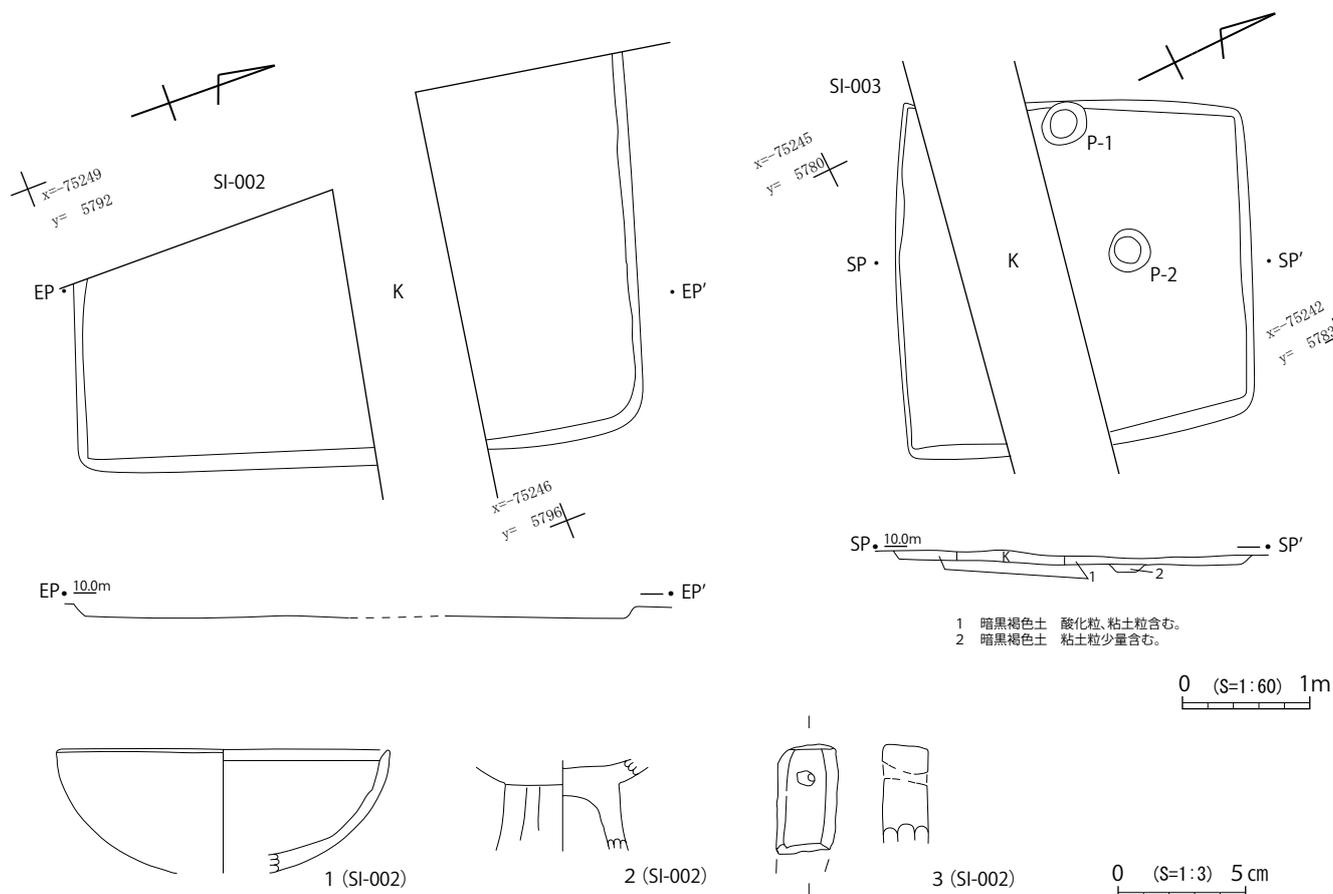
表 11 SI-001 出土遺物観察表

SI-003 (第 20・29 図)

重複関係 SK-112 → SI-003

**規模・形態・構造** 一辺 2.7～2.8 m、深さ 0.07 m である。平面形は正方形である。遺構上部は、大きく削平を受けている。確認できた壁はほぼ垂直に立ち上がる。壁溝は検出されなかった。床面は平坦で、硬化面は確認されなかった。柱穴は P-1・2 を検出した。P-1 は直径 0.3 m、深さ 0.15 m。P-2 は直径 0.3 m、深さ 0.1 m。カマド、貯蔵穴は確認できなかった。

**遺物** 土師器、須恵器、鉄滓 8 g が出土した。土師器は坏などが含まれるが、小片のため図示し得るものはない。



第 20 図 SI-002・003 実測図

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	土師器坏	口縁部～胴部 1/4	口 (復)12.9 高 4.9	摩耗激しく調整不明。	やや不良	にぶい黄褐色	砂粒、小礫、雲母
2	土師器高坏	口縁部～底部 1/4	高 3.6	内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	良好	黄色	細かい砂粒、小石、赤色粒
3	不明土製品	下方部欠損	最大幅 2.4 最大長 3.9 重 20.2	粘土塊の上部に両側穿孔あり。	良好	浅黄橙色	赤色粒、砂粒、雲母

表 12 SI-002 出土遺物観察表

## 掘立柱建物跡

### SB-001 (第 21・24 図)

重複関係 SB-001 → SB-002

**規模・形態・構造** 桁行 3 間、梁行 2 間。柱間は桁行で 0.8～1.0 m、梁行で 1.0～1.1 m である。桁行を基準に主軸は、N - 77° - E である。柱穴の平面形は方形である。確認した柱痕から直径 20～30 cm 程の柱を想定できる。

**遺物** 土師器、須恵器が出土したが、小片のため図示し得るものはない。

### SB-002 (第 21・24 図、表 13)

重複関係 SB-001 → SB-002

**規模・形態・構造** 桁行 2 間、梁行 2 間。柱間は桁行で 0.8～1.5 m、梁行で 0.7～1.1 m である。桁行を基準に主軸は、N - 80° - W である。柱穴の平面形は楕円形及び方形である。確認した柱痕から直径 20～30 cm 程の柱を想定できる。P-10 では、柱痕跡を確認した。

**遺物** 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏、須恵器は甕などが含まれる。

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	須恵器甕 P-10	胴部片		外面平行タタキ。	良好	内面灰白色、外面灰色	砂粒、白色粒、黒色粒
2	須恵器甕 P-10	胴部片		外面平行タタキ。	良好	灰白色	白色粒、黒色粒、小礫
3	須恵器甕 P-11	胴部片		内面あて具痕。外面軸が散見、平行タタキ。	良好	内面灰色、外面灰白色	白色粒、小礫
4	土師器坏 P-14	口縁部～底部 1/4	口 (復)11.5 底 (復)7.8 高 4.4	摩耗激しく調整不明。	不良	橙色	砂粒、白色粒
5	須恵器甕 P-15	胴部片		内面軸が散見。外面平行タタキ。	良好	灰白色	白色粒

表 13 SB-002 出土遺物観察表

## 溝跡

### SD-042 (第 22 図)

重複関係 P-211 → SD-042

**規模・形態・構造** 幅 0.4～0.7 m、深さ 0.2 m、長さは 11.5 m。南 - 北東方向に走る溝で、断面形は皿状である。

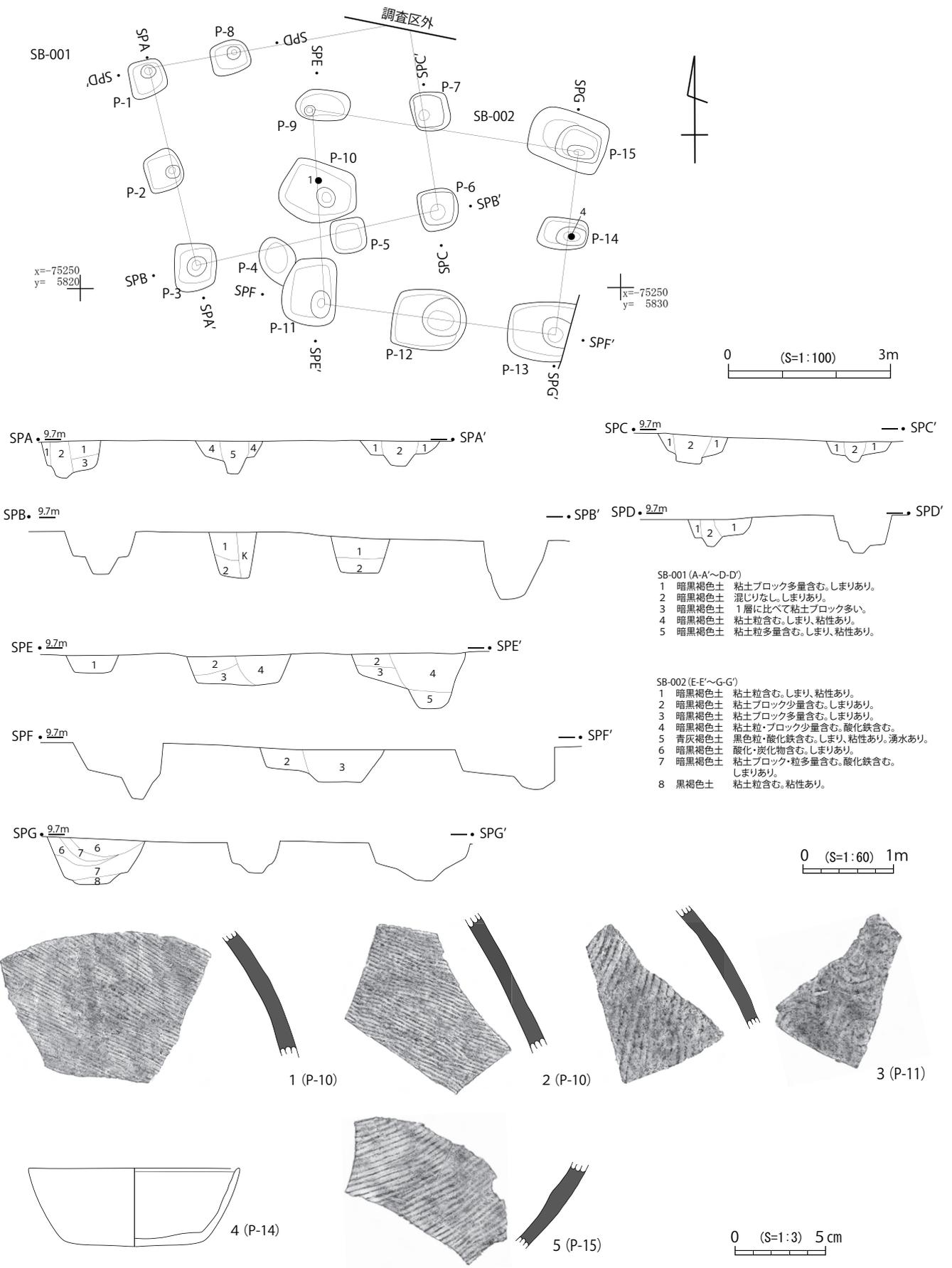
**遺物** 土師器、須恵器、陶器、鉄滓 28g が出土した。小片のため図示し得るものはない。

### SD-043 (第 22～24 図)

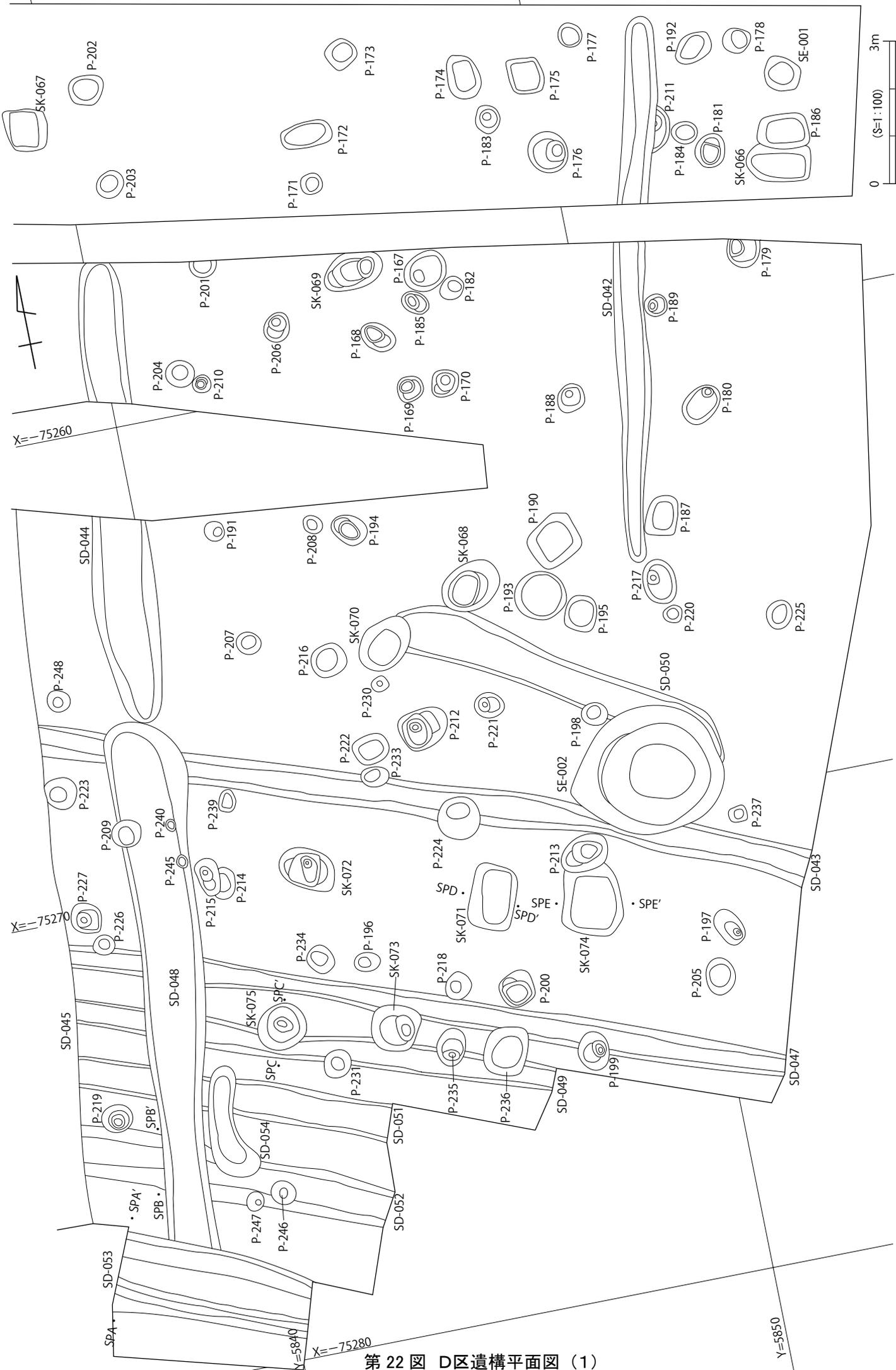
重複関係 SD-070 → SD-043 → SD-045・046・048、SK-092・099・116・117、SE-002、P-224・233・277

**規模・形態・構造** 幅 0.6～0.9 m、深さ 0.6 m、検出部分の長さは 44.2 m。南東 - 北西方向に走る溝で、断面形は箱状である。

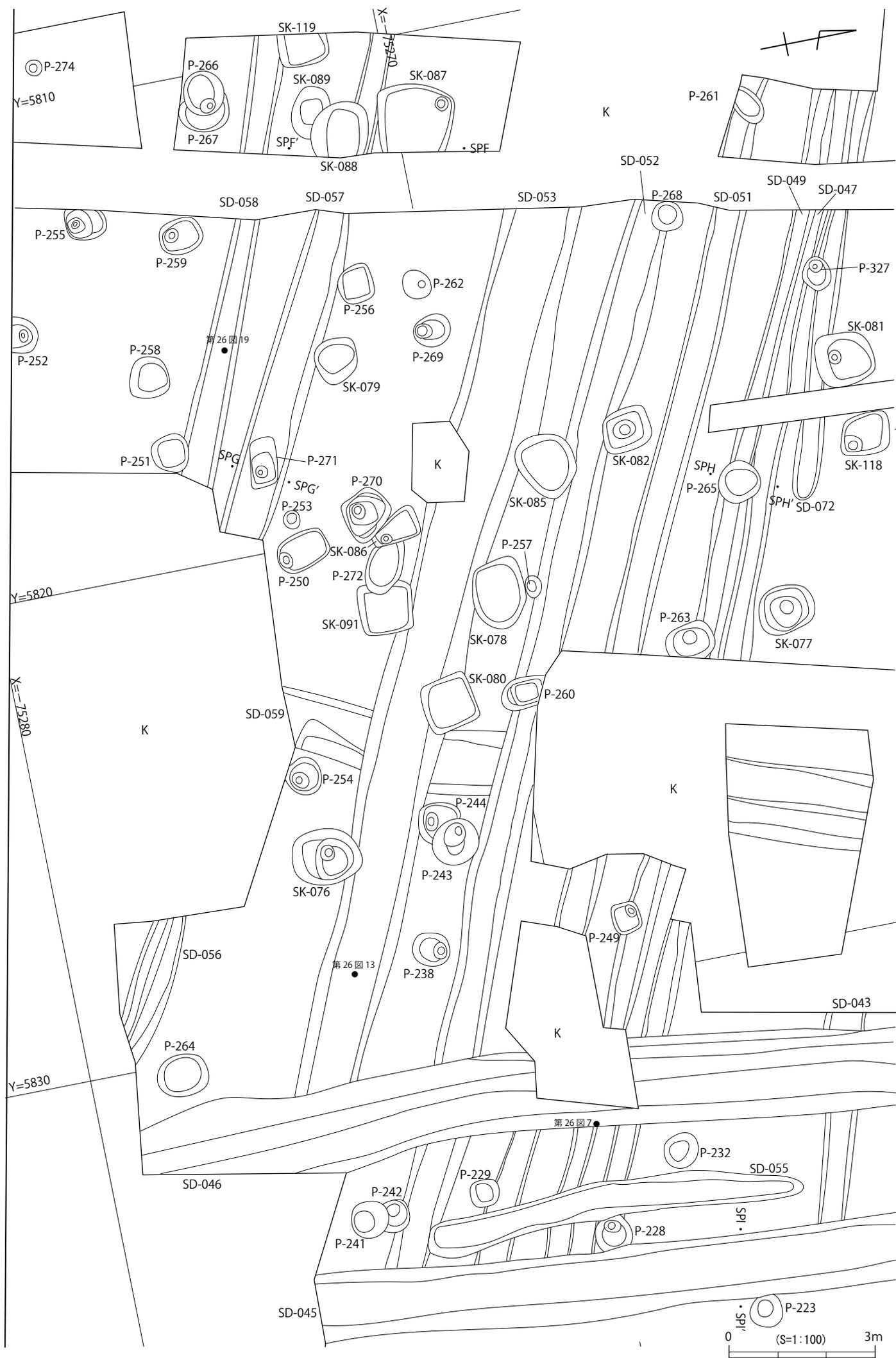
**遺物** 土師器が出土した。小片のため図示し得るものはない。



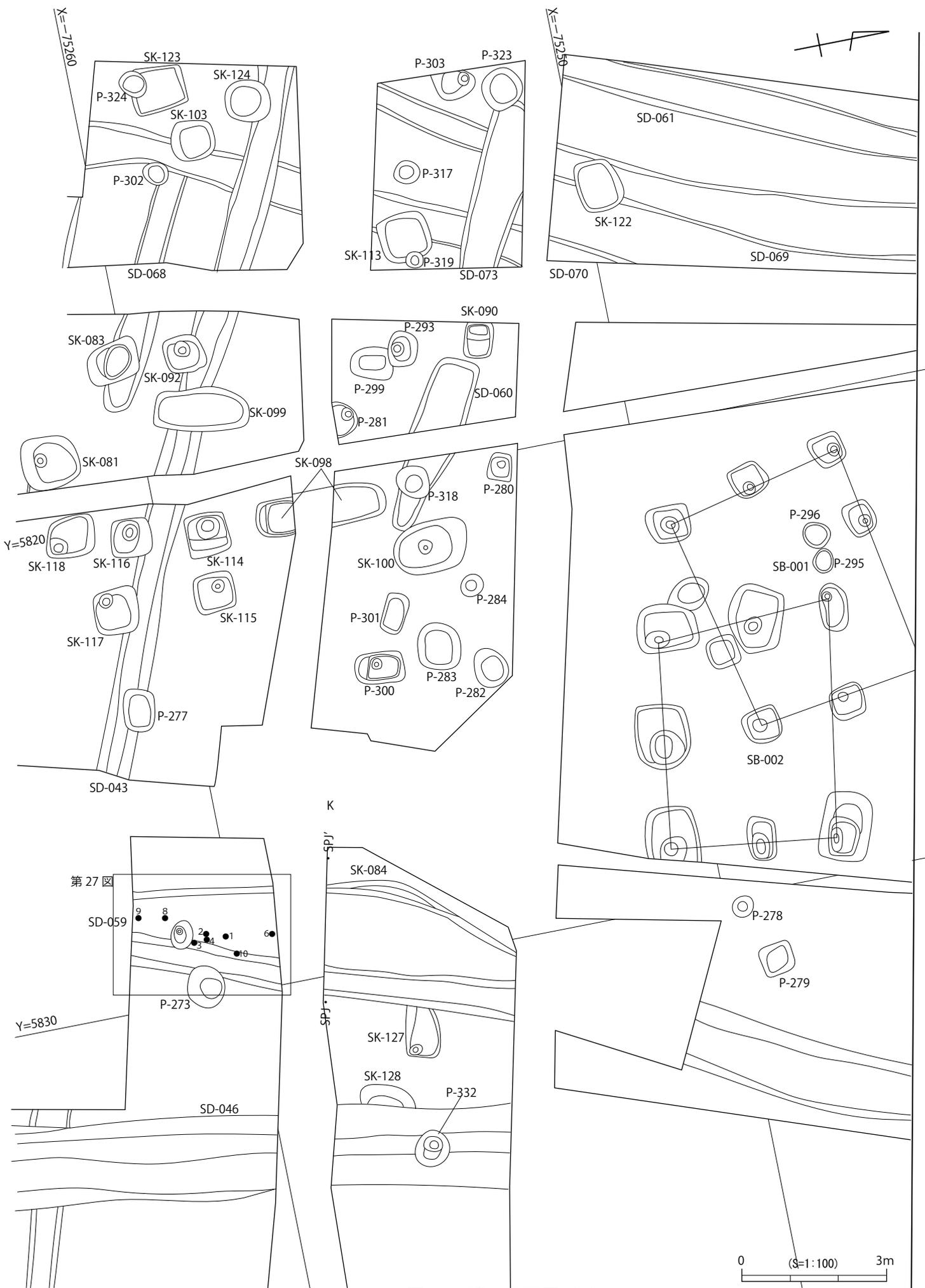
第 21 図 SB-001・002 実測図



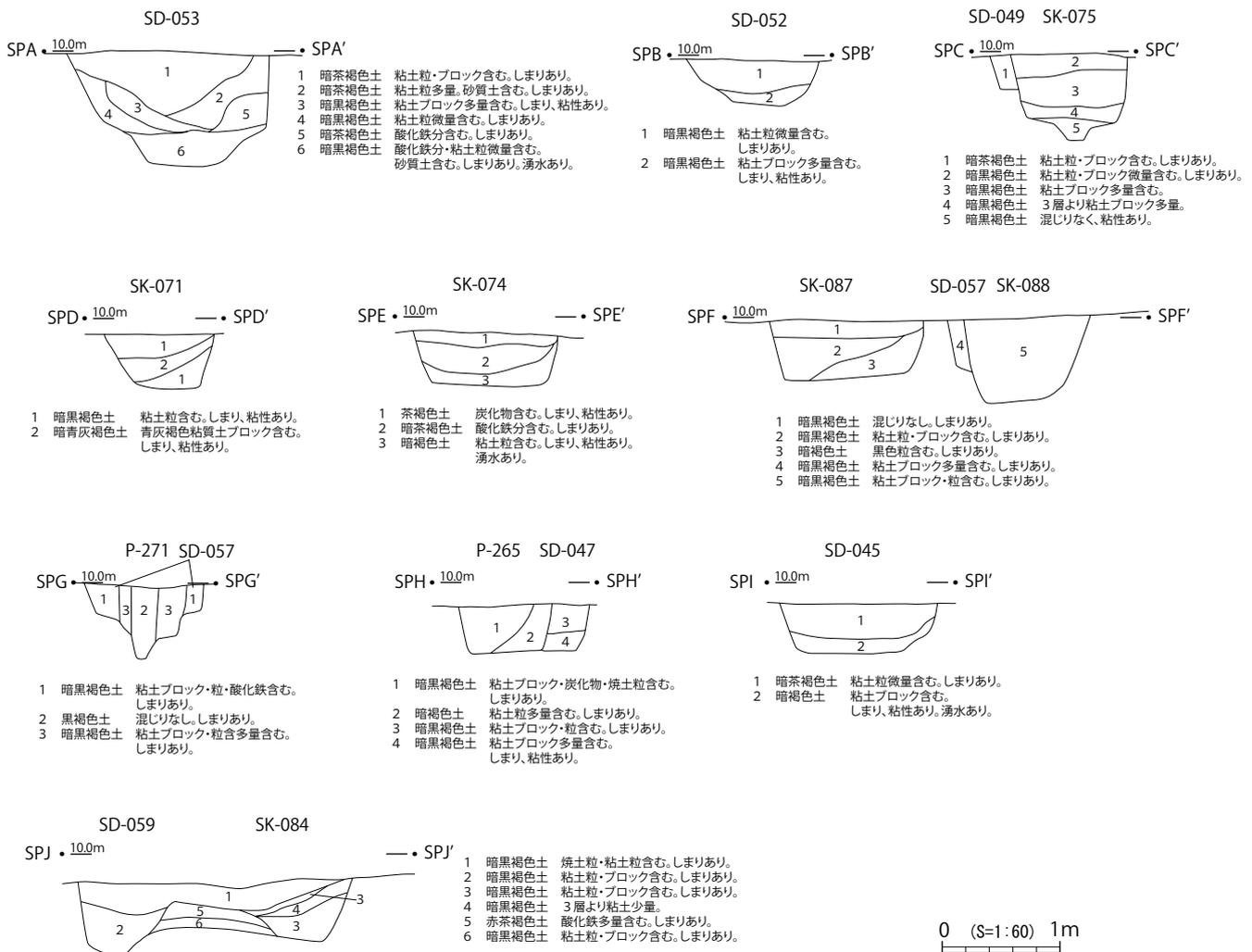
第 22 图 D区遺構平面図 (1)



第 23 图 D区遺構平面图 (2)



第 24 图 D区遺構平面図 (3)



第 25 図 D区遺構断面図 (1)

SD-044 (第 22 図)

重複関係 なし

規模・形態・構造 幅 0.7 ~ 1.2 m、深さ 0.3 m、検出部分の長さは 9.6 m。南-北方向に走る溝で、断面形はU字状である。

遺物 土師器、陶器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

SD-045 (第 23・25・26 図、表 14)

重複関係 SD-043・047・049・051・052、P-223・228 → SD-045

規模・形態・構造 幅 1.3 m、深さ 0.3 ~ 0.4 m、検出部分の長さは 15.0 m。南西-北方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器、須恵器、陶器、古銭が出土した。

SD-046 (第 23・24・26 図、表 14)

重複関係 SD-043・047・049・051 ~ 053、SK-128 → SD-046 → P-332

規模・形態・構造 幅 1.6 ~ 1.8 m、深さ 0.3 ~ 0.5 m、検出部分の長さは 24.2 m。南西-北方向に走る溝で、断面形は両側にテラスをもち、底面は平坦である。

遺物 土師器 1, 217g、須恵器 1, 192g、羽口片 25g、鉄滓 333g が出土した。土師器の坏、須恵器の甕などが含まれる。

**SD-047 (第 22・23・26 図、表 14)**

重複関係 SD-047 → SD-045・046・048・049・055・059、SK-073、P-199・218・226・228・236・265・327

規模・形態・構造 幅 0.4～0.7 m、深さ 0.4 m、検出部分の長さは 38.5 m。南東―北西方向に走る溝で、断面形は箱状である。

遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器の坏、須恵器の甕などが含まれる。

**SD-048 (第 22 図)**

重複関係 SD-043・047・049・051・052 → SD-048 → SD-053、P-209・240・245

規模・形態・構造 幅 0.9～1.6 m、深さ 0.4 m、検出部分の長さは 11.0 m。南西―北方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器、須恵器、鉄滓 18g が出土した。小片のため図示し得るものはない。

**SD-049 (第 22・23 図)**

重複関係 SD-047 → SD-049 → SD-045・046・048・055、SK-073・075、P-231・235・236・249・263・265

規模・形態・構造 幅 0.4～0.7 m、深さ 0.4 m、検出部分の長さは 36.2 m。南東―北西方向に走る溝で、断面形は箱状である。

**SD-050 (第 22・35 図)**

重複関係 SD-050 → SK-068・070、SE-002、P-198

規模・形態・構造 幅 0.8～1.1 m、深さ 0.2 m、検出部分の長さは 7.4 m。南東―北西方向に走る溝で、断面形は皿状である。

遺物 土師器、須恵器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

**SD-051 (第 22・23・28 図)**

重複関係 SD-051 → SD-045・046・048・054・055・071、P-229・261

規模・形態・構造 幅 0.5～0.8 m、深さ 0.07～0.1 m、検出部分の長さは 46.2 m。南東―北西方向に走る溝で、断面形は皿状である。

遺物 土師器、須恵器、鉄滓 18g が出土した。小片のため図示し得るものはない。

**SD-052 (第 22・23・25・26・28・31 図、表 14)**

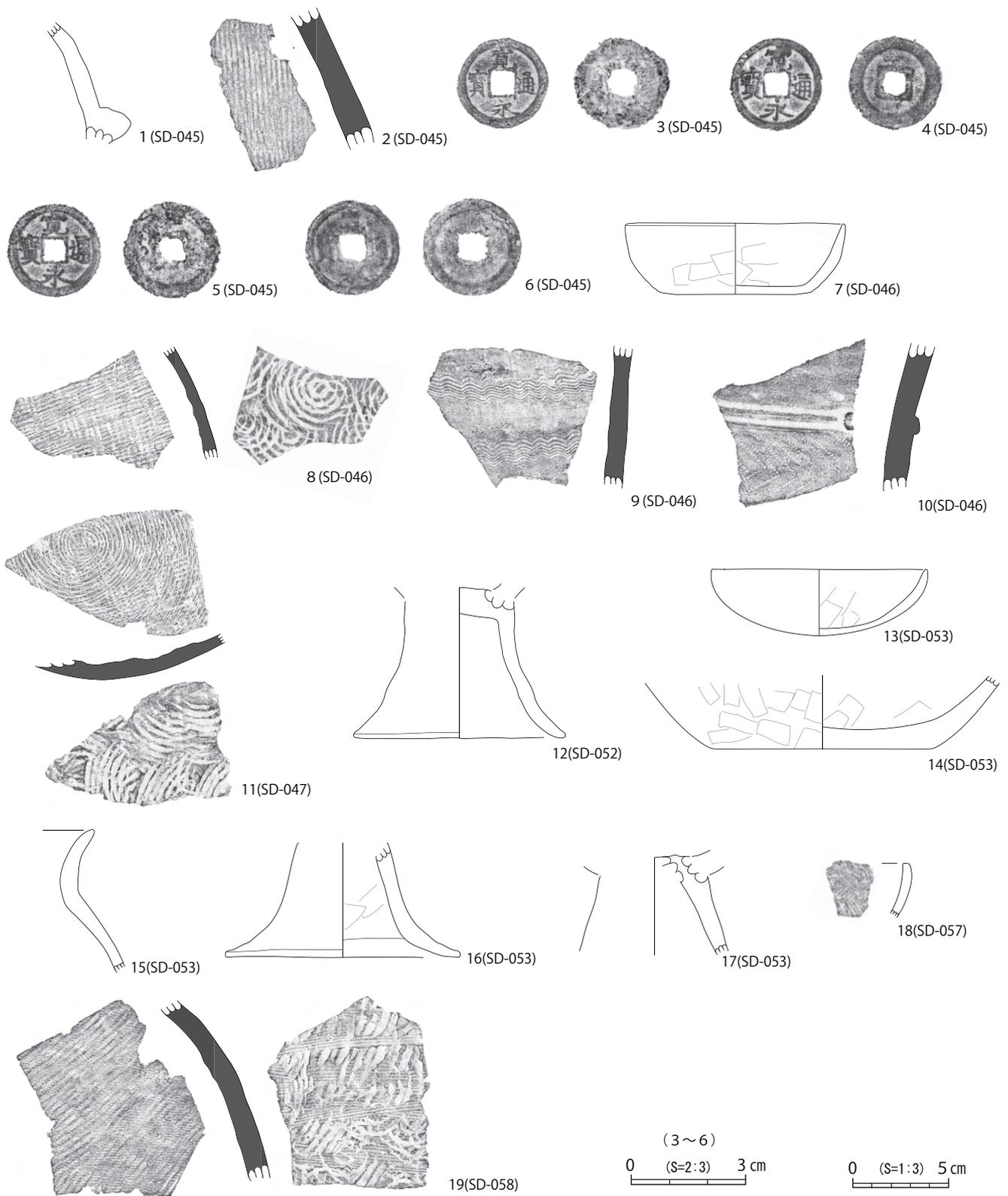
重複関係 SD-059・071 → SD-052 → SD-045・046・048・049・054・055、SK-082・085、P-219・242・243・246・247・257・260・268

規模・形態・構造 幅 0.8～1.1 m、深さ 0.3～0.6 m、検出部分の長さは 48.5 m。南東―北西方向に走る溝で、断面形は箱状である。

遺物 土師器、須恵器、羽口片 21g、鉄滓 5g が出土した。土師器は高坏などが含まれる。

**SD-053 (第 22・23・25・26・28・29・31 図、表 14)**

重複関係 SD-048・059 → SD-053 → SD-046、SK-076・078・080・085・091・130・131、P-244



第 26 図 SD-045 ~ 047・052・053・057・058 出土遺物実測図

規模・形態・構造 幅 1.1 ~ 1.9 m、深さ 0.7 ~ 1.1 m、検出部分の長さは 69.8 m。南東-北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。南東側にはテラスをもつ部分もある。

遺物 土師器 4,697g、須恵器 323g、鉄滓 643g が出土した。土師器は高坏・坏・甕などが含まれる。

SD-054 (第 22 図)

重複関係 SD-051・052 → SD-054

規模・形態・構造 幅 0.5～0.8 m、深さ 0.3 m、長さ 2.4 m。南東－北方向に弧状に走る溝で、断面形は皿状である。

SD-055 (第 23・35 図)

重複関係 SD-047・049・051・052、P-228 → SD-055

規模・形態・構造 幅 0.6～0.8 m、深さ 0.1 m、検出部分の長さは 7.6 m。南－北方向に走る溝で、断面形は皿状である。

遺物 土師器、陶器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

SD-056 (第 23 図)

重複関係 なし

規模・形態・構造 幅 0.6～0.8 m、深さ 0.6 m、検出部分の長さは 2.8 m。南東－北西方向に走る溝で、両側にテラスをもち、底面は平坦である。

遺物 土師器、鉄滓 157g が出土した。小片のため図示し得るものはない。

SD-057 (第 23・25・26 図、表 14)

重複関係 SD-057 → SK-079・087・088、P-256・271

規模・形態・構造 幅 0.5～1.0 m、深さ 0.3 m、検出部分の長さは 10.8 m。南東－北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

遺物 弥生土器、土師器、須恵器が出土した。

SD-058 (第 23・26 図、表 14)

重複関係 SD-058 → SK-119、P-251

規模・形態・構造 幅 0.5～0.8 m、深さ 0.37～0.7 m、検出部分の長さは 9.4 m。南東－北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

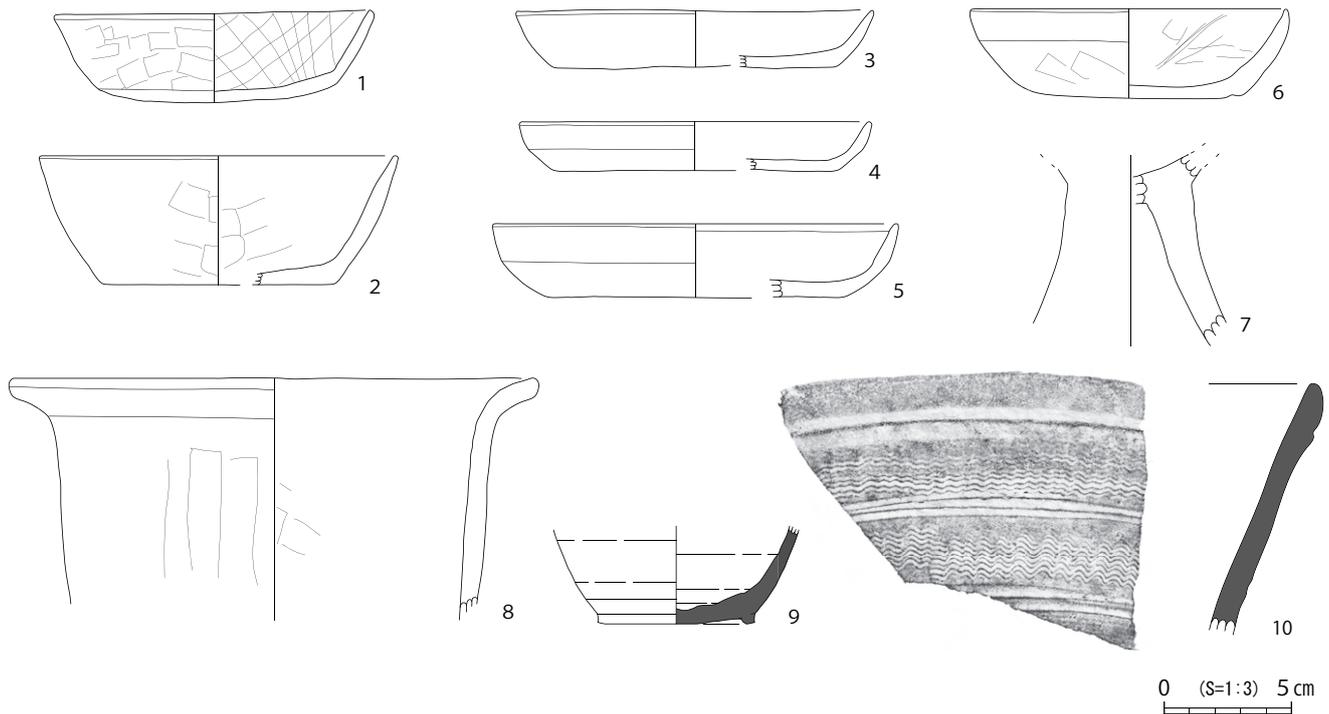
遺物 須恵器が出土した。須恵器は甕が含まれる。

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	陶器甕か壺 SD-045	胴部片		ロクロ成形。内面に軸が付着。外面に円錐状のツマミがつく。上部に白色の軸、ススが付着。	良好	内面にぶい黄色、外面明赤褐色	砂粒、小礫
2	須恵器甕 SD-045	胴部片		外面軸が散見、平行タタキ。	良好	灰白色	白色粒、小礫
3	古銭 SD-045		直 2.45 孔 0.65 重 2.43	寛永通宝			
4	古銭 SD-045		直 2.5 孔 0.55 重 3.53	寛永通宝			
5	古銭 SD-045		直 2.45 孔 0.55 重 3.28	寛永通宝			
6	古銭 SD-045		直 2.5 孔 0.65 重 1.84	寛永通宝			
7	土師器坏 SD-046	完形	口 11.3 底 7.2 高 3.7	内面ヘラナデ、上部にスス付着。外面ヘラケズリ。	良好	にぶい黄褐色	砂粒、赤色粒、石英
8	須恵器甕か壺 SD-046	胴部片		内面あて具痕。外面格子状タタキのちハケ状工具でナデ。	良好	灰色	白色粒、小礫
9	須恵器甕 SD-046	頸部片		ロクロ成形。2段の波状文を施す。	良好	灰色	砂粒、白色粒
10	須恵器甕 SD-046	胴部片		外面頸部に2本の沈線を施し、沈線上に粘土がつく。その下部にハケ状工具を波状に押捺。	良好	灰白色	砂粒、白色粒
11	須恵器壺 SD-047	底部片		内面あて具痕。外面平行タタキのちハケ状工具でケズリ。	良好	灰色	砂粒、白色粒、小礫

表 14 SD-045～047・052・053・057・058 出土遺物観察表 (1)

12	土師器高坏 SD-052	脚部 4/5	底 10.9 高 (遺)7.9	摩耗激しく調整不明。	不良	橙色	砂粒、白色粒、赤色粒
13	土師器坏 SD-046	1/2	口 11.4 高 3.5	内面ヘラナデ。外面摩耗激しく調整不明。	やや不良	内面黄橙色、外面 橙色	砂粒、赤色粒
14	土師器甕 SD-053	底部 1/4	底 11.6 高 (遺)3.5	内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	良好	内面にぶい橙色、 外面橙色	砂粒、白色粒、赤色粒
15	土師器甕 SD-053	口縁部		摩耗激しく調整不明。	やや不良	橙色	赤色粒、石英、小石
16	土師器高坏 SD-053	脚部 1/3	底 (復)12.2 高 (遺)6.0	内面ヘラナデ。外面摩耗激しく調整不明。	やや不良	にぶい橙色	砂粒、石英、赤色粒
17	土師器高坏 SD-053	脚部 1/4	高 (遺)5.2	摩耗激しく調整不明。	不良	橙色	砂粒、赤色粒、小礫
18	弥生土器 SD-057	口縁部片		外面波状縄文を2段施す。	やや良好	浅黄色	砂粒、石英
19	須恵器甕 SD-058	胴部片		内面あて具痕。外面平行タタキ後、縄目を施文。	良好	灰色	砂粒、白色粒、黒色粒

表 14 SD-045 ~ 047・052・053・057・058 出土遺物観察表 (2)



第 27 図 SD-059 出土遺物実測図

SD-059 (第 23 ~ 25・27 図、表 15)

重複関係 SK-084・127 → SD-059 → SD-047・049・051 ~ 053・P-273 → SK-080

規模・形態・構造 幅 1.2 ~ 2.3 m、深さ 0.3 ~ 0.6 m、検出部分の長さは 30.0 m。南西-北東方向に走る溝で、西側に幅が広いテラスをもち、ピット状の掘り込みがある。底面は平坦である。

遺物 土師器 3,741g、須恵器 1,191g、羽口片 156g、鉄滓 1,317g が出土した。土師器は坏・甕・高坏、須恵器は甕・壺などが含まれる。鉄滓や羽口などが多く出土しているが、SK-084 の流れ込みと考える。

SD-060 (第 24 図)

重複関係 SD-060 → P-318

規模・形態・構造 幅 0.5 ~ 1.0 m、深さ 0.15 m、長さは 3.7 m。南東-北西方向に走る溝で、断面形は皿状である。

SD-061 (第 24 図)

重複関係 なし

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	土師器坏	完形	口 12.5 底 9.5 高 3.5	内面格子状ミガキ。外面ヘラケズリ。	良好	橙色	砂粒、白色粒、小礫、石英
2	土師器坏	1/4	口 (復)13.9 底 (復)9.0 高 5.0	内面ナデ。外面ヘラケズリ。	やや不良	橙色	砂粒、白色粒、小礫、雲母
3	土師器皿	1/4	口 (復)14.0 底 (復)11.2 高 2.2	摩耗激しく調整不明。	やや不良	橙色	砂粒、赤色粒、小礫
4	土師器皿	1/2	口 (復)13.8 底 (復)11.2 高 2.0	摩耗激しく調整不明。	やや不良	橙色	砂粒、白色粒、小礫
5	土師器皿	1/2	口 (復)16.0 底 (復)11.6 高 2.9	摩耗激しく調整不明。	不良	橙色	砂粒、小礫
6	土師器坏	完形	口 12.6 底 8.7 高 3.5	内面ナデ。外面ヘラケズリ。	やや不良	橙色	砂粒、白色粒、小礫、雲母
7	土師器高坏	脚部 1/3	高 (遺)7.5	摩耗激しく調整不明。	不良	橙色	砂粒、赤色粒、小石
8	土師器甕	口縁部～胴部 1/4	口 (復)20.8 高 (遺)8.8	口縁部ヨコナデ。内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	良好	橙色	砂粒、石英、小礫
9	須恵器壺	底部のみ	底 6.0 高 (遺)3.8	ロクロ成形。	良好	灰色	白色粒、小礫
10	須恵器甕	口縁部片		口縁部外面に沈線、その下部に波状文、沈線を2条を2段施す。釉が散見。	良好	灰色	白色粒、小礫、石英

表 15 SD-059 出土遺物観察表

**規模・形態・構造** 幅 0.6 ～ 0.8 m、深さ 0.56 m、検出部分の長さは 7.5 m。南東－北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

**遺物** 土師器、鉄滓 177g が出土した。小片のため図示し得るものはない。

SD-062 (第 28・29・31 図)

**重複関係** SD-063 → SD-062 → P-305・307

**規模・形態・構造** 幅 0.9 ～ 1.3 m、深さ 0.2 ～ 0.3 m、検出部分の長さは 28.2 m。南東－北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

**遺物** 土師器、須恵器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

SD-063 (第 28・29・31 図)

**重複関係** SD-063 → SI-002、SD-062、SK-102・126、P-306・330・331

**規模・形態・構造** 幅 0.8 ～ 1.0 m、深さ 0.2 ～ 0.3 m、検出部分の長さは 27.9 m。南西－北東方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

**遺物** 土師器、須恵器、羽口片 78g が出土した。須恵器は蓋などが含まれるが、小片のため図示し得るものはない。

SD-064 (第 29 図)

**重複関係** SD-064 → SD-065

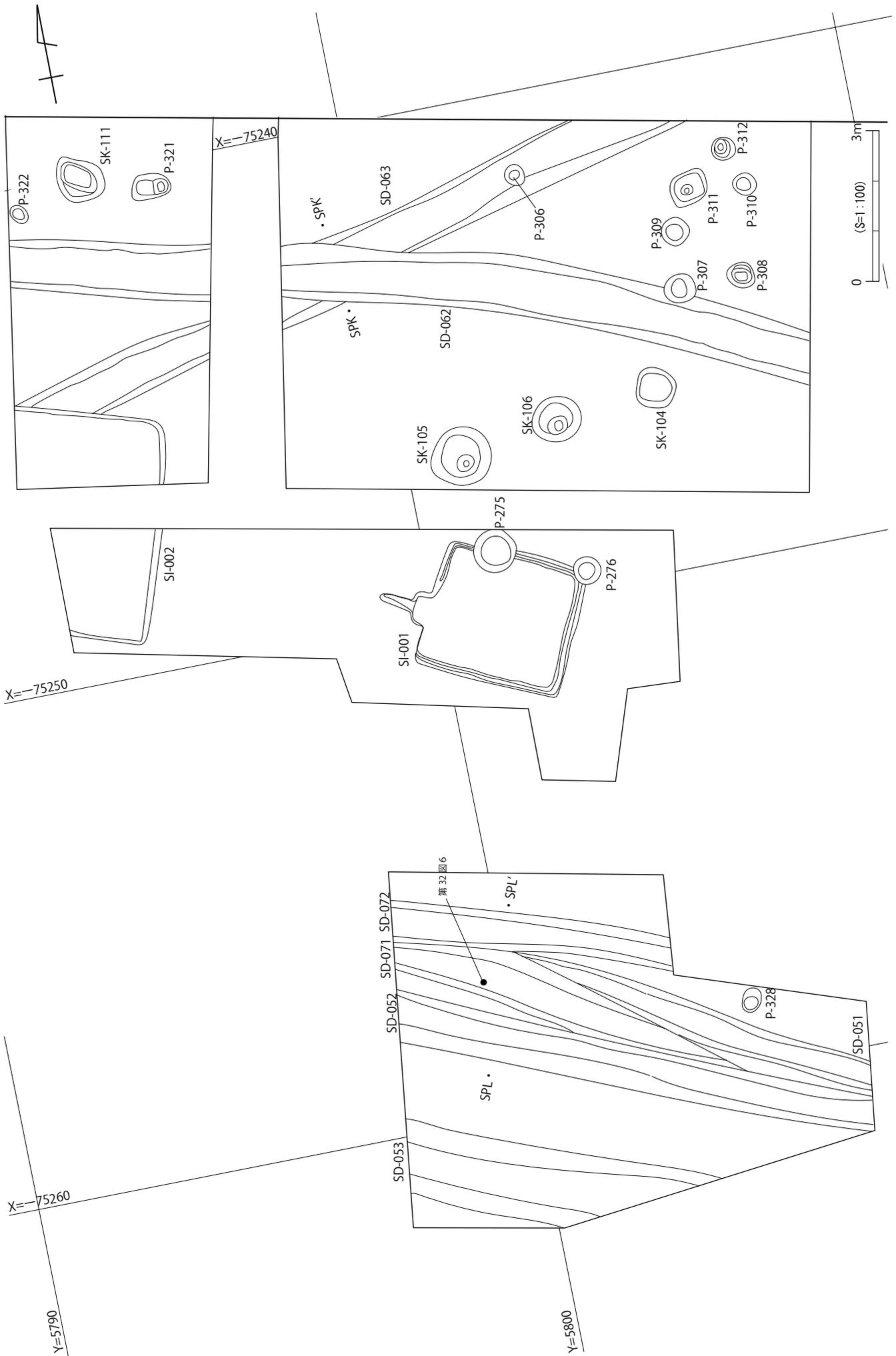
**規模・形態・構造** 幅 0.4 ～ 0.7 m、深さ 0.5 ～ 0.6 m、検出部分の長さは 2.0 m。南東－北西方向に走る溝で、断面形はU字状である。

**遺物** 土師器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

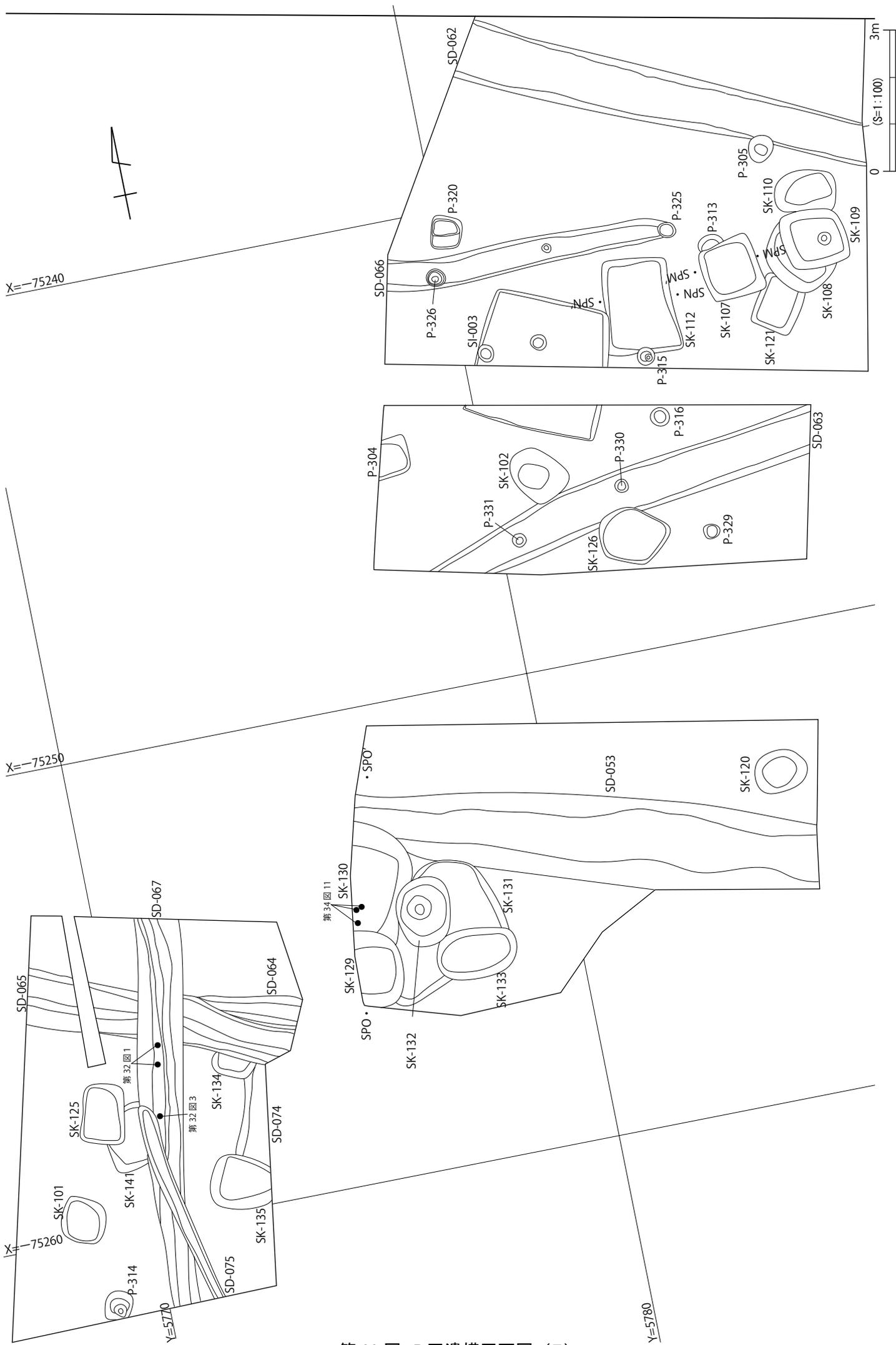
SD-065 (第 29 図)

**重複関係** SD-064 → SD-065 → SD-067

**規模・形態・構造** 幅 0.8 ～ 1.2 m、深さ 0.5 ～ 0.7 m、検出部分の長さは 5.7 m。南東－北西方向に走る溝で、南側にテラスをもち、底面は平坦である。



第 28 图 D区遺構平面图 (4)



第 29 图 D区遺構平面图 (5)

遺物 土師器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

#### SD-066 (第 29 図)

重複関係 SD-066 → P-325・326

規模・形態・構造 幅 0.4～0.7 m、深さ 0.2 m、検出部分の長さは 5.9 m。東－西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器、須恵器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

#### SD-067 (第 29・32 図、表 16)

重複関係 SD-065、SK-141 → SD-067 → SD-075

規模・形態・構造 幅 0.6～1.0 m、深さ 0.37～0.7 m、検出部分の長さは 8.2 m。南－北東方向に走る溝で、西側にテラスをもち、底面は平坦である。

遺物 土師器、須恵器、羽口片 48g、鉄滓 1,432g が出土した。土師器は坏・碗・高坏、須恵器は壺などが含まれる。

#### SD-068 (第 24 図)

重複関係 SD-068 → SD-070、SK-083 → P-302

規模・形態・構造 幅 0.6～0.8 m、深さ 0.6 m、検出部分の長さは 5.1 m。南東－北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

#### SD-069 (第 24 図)

重複関係 SD-069 → SD-073、SK-122

規模・形態・構造 幅 0.5～1.2 m、深さ 0.7 m、検出部分の長さは 11.6 m。南西－北東方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器が出土した。土師器は甕などが含まれるが、小片のため図示し得るものはない。

#### SD-070 (第 24・32 図、表 16)

重複関係 SD-068 → SD-070 → SD-055・073、SK-103・113、P-302

規模・形態・構造 幅 0.6～1.0 m、深さ 0.37～0.7 m、検出部分の長さは 11.0 m。南西－北東方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器、須恵器、鉄滓 239g が出土した。須恵器は甕などが含まれる。

#### SD-071 (第 28・31・32 図、表 16)

重複関係 SD-051 → SD-071 → SD-052・072

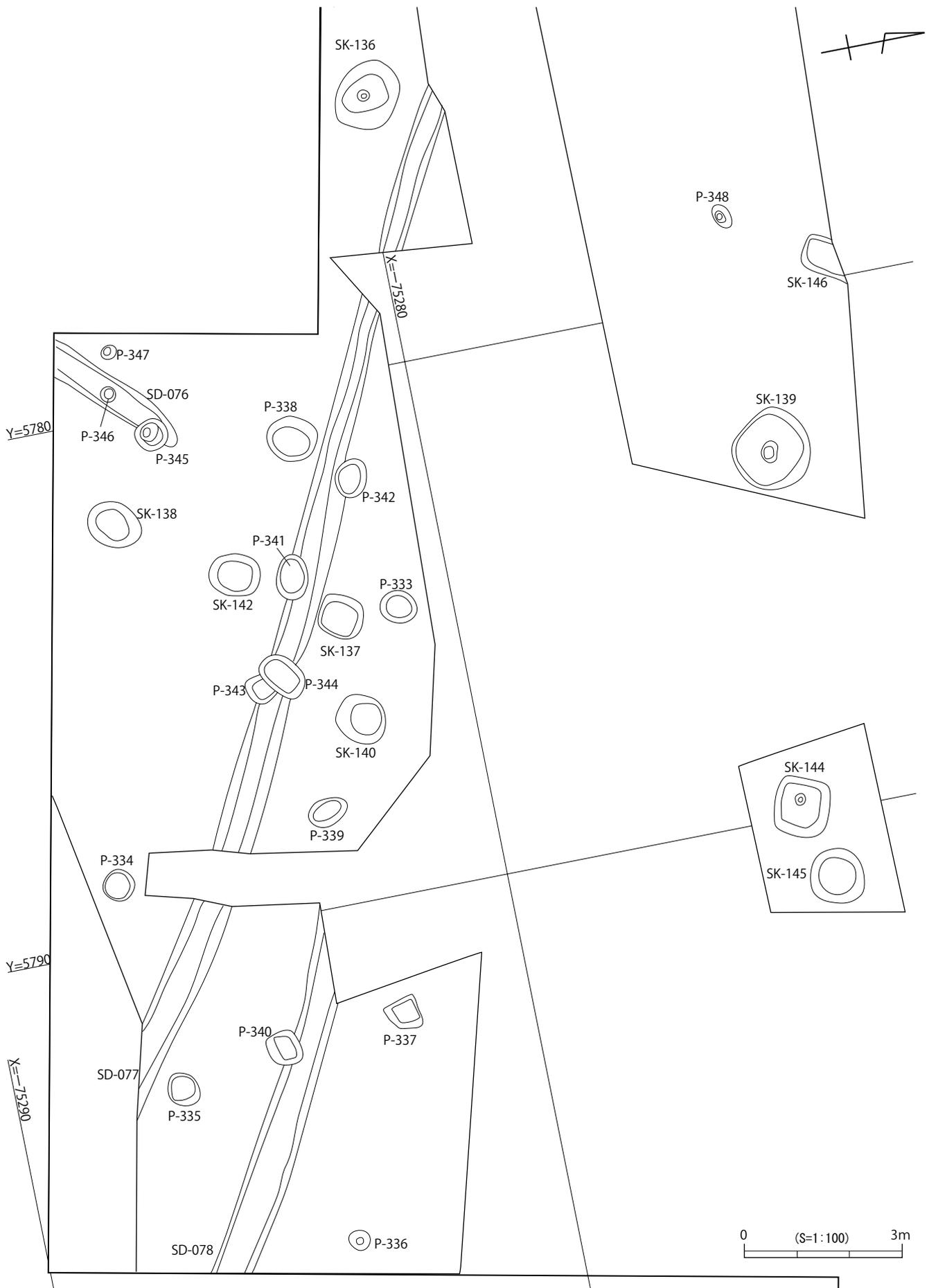
規模・形態・構造 幅 1.0 m、深さ 0.76 m、検出部分の長さは 7.3 m。南東－北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏・甕、須恵器は甕などが含まれる。

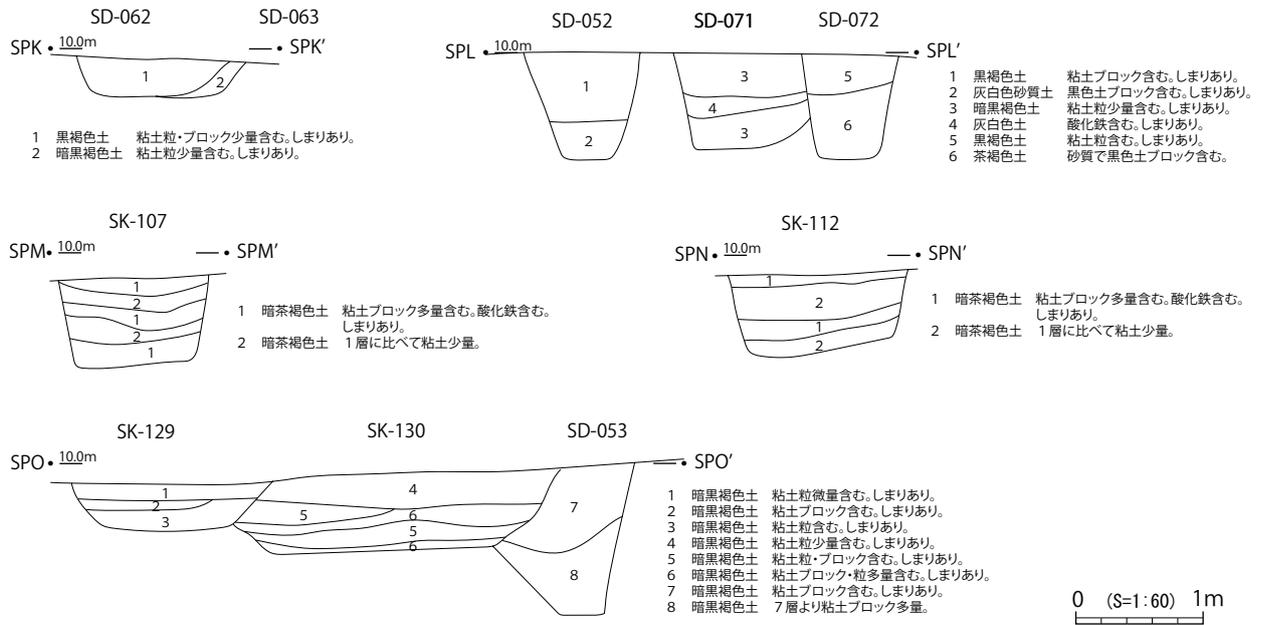
#### SD-072 (第 23・28・31 図)

重複関係 SD-071 → SD-072 → SK-081、P-327

規模・形態・構造 幅 0.4～0.9 m、深さ 0.4 m、検出部分の長さは 24.3 m。南東－北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。



第 30 图 D区遺構平面図 (6)



第 31 図 D区遺構断面図 (2)

SD-073 (第 24・32 図、表 16)

重複関係 SD-069・070 → SD-073 → P-323

規模・形態・構造 幅 0.8～1.0 m、深さ 0.2 m、検出部分の長さは 3.5 m。南東—北西方向に走る溝で、断面形は皿状である。

遺物 土師器が出土した。土師器は坏・高坏などが含まれる。

SD-074 (第 29 図)

重複関係 SD-074 → SD-065、SK-134・135

規模・形態・構造 検出部分の幅 0.5～0.7 m、深さ 0.3 m、検出部分の長さは 2.0 m。南西—北方向に走る溝で、断面形は逆台形状が想定できる。

SD-075 (第 29・32 図、表 16)

重複関係 SK-141 → SD-067 → SD-075

規模・形態・構造 幅 0.2～0.4 m、深さ 0.28 m、検出部分の長さは 4.4 m。南東—北方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器、羽口片 193g、鉄滓 401g が出土した。

SD-076 (第 30 図)

重複関係 SD-076 → P-345・346

規模・形態・構造 幅 0.7 m、深さ 0.1 m、検出部分の長さは 2.8 m。南西—北東方向に走る溝で、断面形は皿状である。

遺物 土師器が出土した。土師器は甕などが含まれるが、小片のため図示し得るものはない。

SD-077 (第 30 図)

重複関係 SD-077 → P-343 → P-341・342・344

規模・形態・構造 幅 0.5～0.8 m、深さ 0.4 m、検出部分の長さは 19.8 m。南東—北西方向に走る溝で、

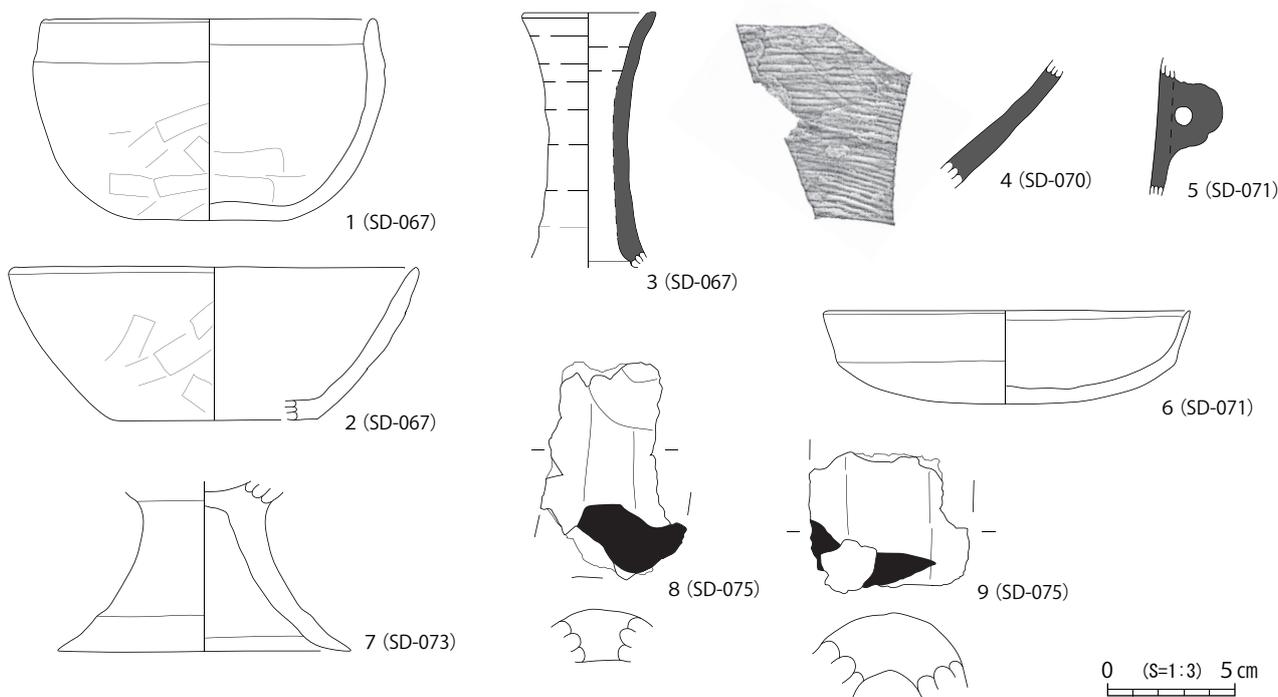
断面形は逆台形状である。

遺物 土師器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

SD-078 (第30図)

重複関係 SD-078 → P-340

規模・形態・構造 幅0.6～0.8 m、深さ0.2 m、検出部分の長さは7.2 m。南東-北西方向に走る溝で、断面形は皿状である。



第32図 SD-067・070・071・073・075 出土遺物実測図

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	土師器碗 SD-067	口縁部～底部 5/6	口 13.0 底 6.4 高 7.9	口縁部ヨコナデ。内面ナデ。外面ヘラケズリ。	やや良好	浅黄橙色	砂粒、石英、小礫
2	土師器鉢 SD-067	口縁部～底部 1/2	口 15.9 底 (復) 8.1 高 6.0	内面摩擦激しく調整不明。外面ヘラナデ。	やや良好	浅黄橙色	砂粒、赤色粒
3	須恵器長頸壺 SD-067	長頸部ほぼ完形	口 (復) 5.2 高 (遺) 10.1	ロクロ成形。軸が散見。	良好	灰白色	砂粒、黒色粒
4	須恵器壺か甕 SD-070	胴部片		内面軸が散見。外面平行タタキ。	良好	灰色	黒色粒、砂粒
5	須恵器壺か甕 SD-071	胴部片		ロクロ成形。外面平行タタキ、穿孔のあるツمامミ貼り付け。	良好	灰白色	黒色粒、白色粒、砂粒
6	土師器杯 SD-071	口縁部一部欠損	口 14.3 高 3.9	摩擦激しく調整不明。	不良	橙色	細かい砂粒、赤色粒
7	土師器高杯 SD-073	脚部 1/3	底 11.5 高 (遺) 6.7	器面剝離のため調整不明。	不良	にぶい黄橙色	砂粒、小礫、石英
8	羽口 SD-075	上部欠損	最大幅 4.9 最大長 8.6 最大厚 2.3 重 94.9	ガラス滓付着。	良好	内面橙色、外面灰色	砂粒、白色粒
9	羽口 SD-075	上部欠損	最大幅 6.1 最大長 5.4 最大厚 2.2 重 97.1	ガラス滓付着。	良好	内面橙色、外面灰色	砂粒、白色粒

表 16 SD-067・070・071・073・075 出土遺物観察表

## 土坑

SK-068 (第 22・34 図、表 18)

重複関係 SD-050 → SK-068

規模・形態・構造 長軸 1.3 m、短軸 1.0 m、深さ 0.55 m。平面形は楕円形で、断面形はU字状である。北東方向にテラスをもつ。

遺物 土師器が出土した。土師器は坏などが含まれる。

SK-079 (第 23・34 図、表 18)

重複関係 SD-057 → SK-079

規模・形態・構造 一辺 0.7 m、深さ 0.36 m。平面形は不整な方形で、断面形はU字状である。

遺物 土師器、瓦が出土した。

SK-082 (第 23・34 図、表 18)

重複関係 SD-052 → SK-082

規模・形態・構造 一辺 0.9 ~ 1.0 m、深さ 0.65 m。平面形は方形で、断面形は逆台形状である。中央底面にピット状の掘り込みをもつ。

遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏、須恵器は蓋などが含まれる。

SK-084 (第 24・25・33 図、表 17)

重複関係 SK-084 → SD-059

規模・形態・構造 検出部分の長軸 2.8 m、短軸 2.3 m、深さ 0.36 m。平面形は楕円形で、断面形は皿状である。底面にピット状の掘り込みがある。覆土に焼土及び酸化鉄を多量に含む範囲がある。

遺物 土師器 1,638g、須恵器 242g、羽口片 569g、鉄滓 6,082g が出土した。土師器は坏・高坏・甕、須恵器は坏・蓋などが含まれる。

SK-085 (第 23・34 図、表 18)

重複関係 SD-052・053 → SK-085

規模・形態・構造 長軸 1.3 m、短軸 1.1 m、深さ 0.3 m。平面形は不整な長方形で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏などが含まれる。

SK-086 (第 23・34 図、表 18)

重複関係 P-272 → SK-086 → P-270

規模・形態・構造 長軸 1.0 m、短軸 0.6 m、深さ 0.64 m。平面形は長方形で、断面形は逆台形状である。底面にピット状に掘り込みをもつ。

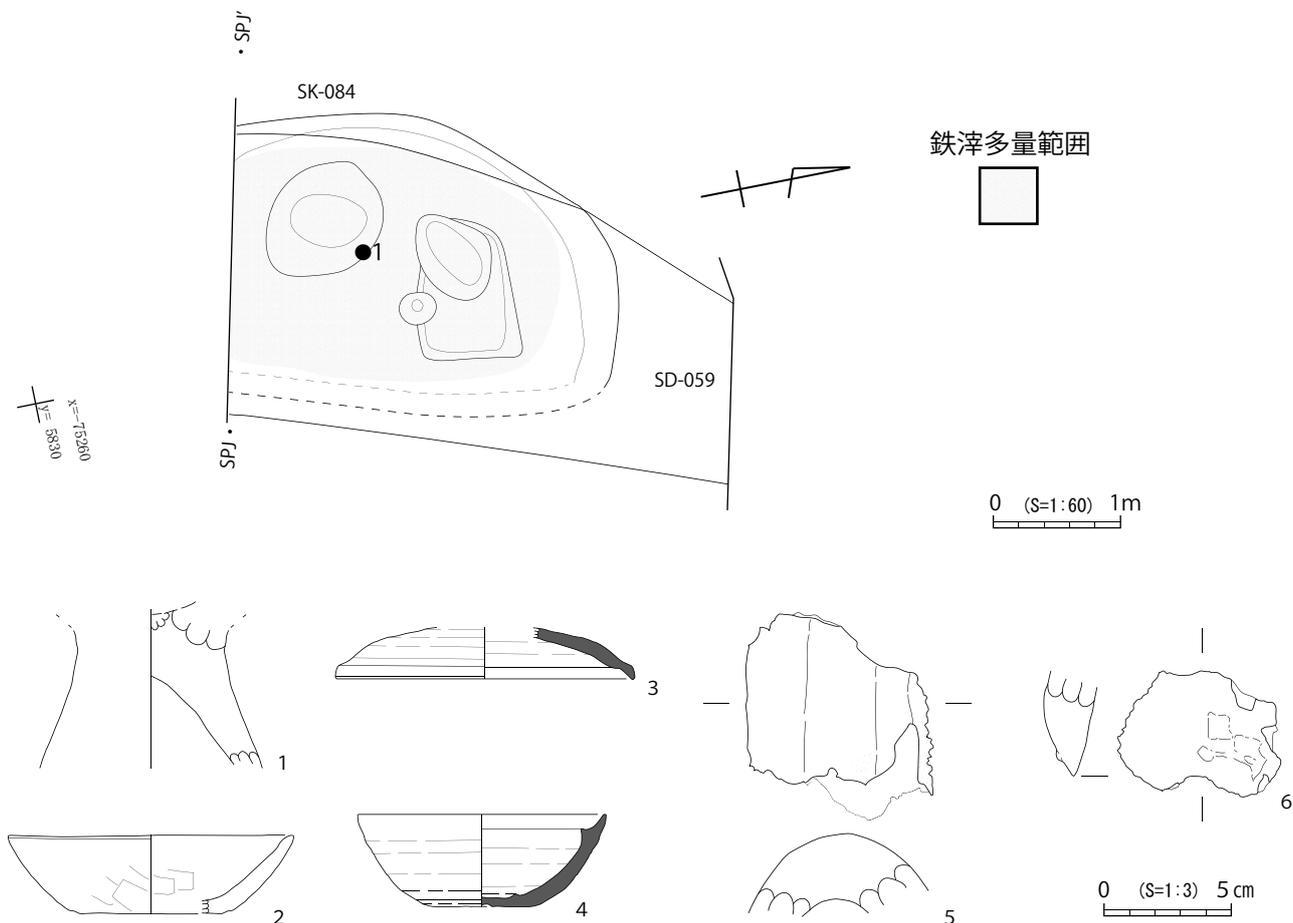
遺物 土師器、瓦、鉄滓 176g が出土した。

SK-092 (第 24・34 図、表 18)

重複関係 SD-043 → SK-092

規模・形態・構造 一辺 0.8 m、深さ 0.8 m。平面形は方形で、断面形は逆台形状である。底面にピット状の掘り込みをもつ。

遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏・甕などが含まれる。



第 33 図 SK-084 実測図

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	土師器高坏	脚部 1/3	高 (遣) 6.3	摩耗激しく調整不明。	やや不良	橙色	砂粒、小礫
2	土師器坏	口縁部～底部 1/2	口 (復) 11.1 底 (復) 5.7 高 3.1	内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	やや不良	黄橙色	砂粒、赤色粒、雲母
3	須恵器蓋	口縁部～体部 1/5	口 (復) 11.7 高 (遣) 2.0	ロクロ成形。	良好	灰白色	粗い赤色粒
4	須恵器坏	1/4	口 (復) 9.7 底 4.0 高 3.7	ロクロ成形。	良好	灰色	砂粒、白色粒
5	羽口片		最大幅 7.2 高 (遣) 6.2 重 149.8		良好	橙色	細かい砂粒
6	羽口片		最大幅 6.1 高 (遣) 4.2 重 56.2	ガラス滓付着。	良好	内面橙色、外面灰色・オリーブ黄色	細かい砂粒、白色粒

表 17 SK-084 出土遺物観察表

SK-107 (第 29・31・34 図、表 18)

重複関係 SK-121、P-313 → SK-107

規模・形態・構造 一辺 1.0 ～ 1.2 m、深さ 0.6 m。平面形は方形で、断面形は箱状である。西側にある SK-112 と覆土が類似しており、同時期の遺構と考える。また、堆積状況から人為堆積の可能性がある。

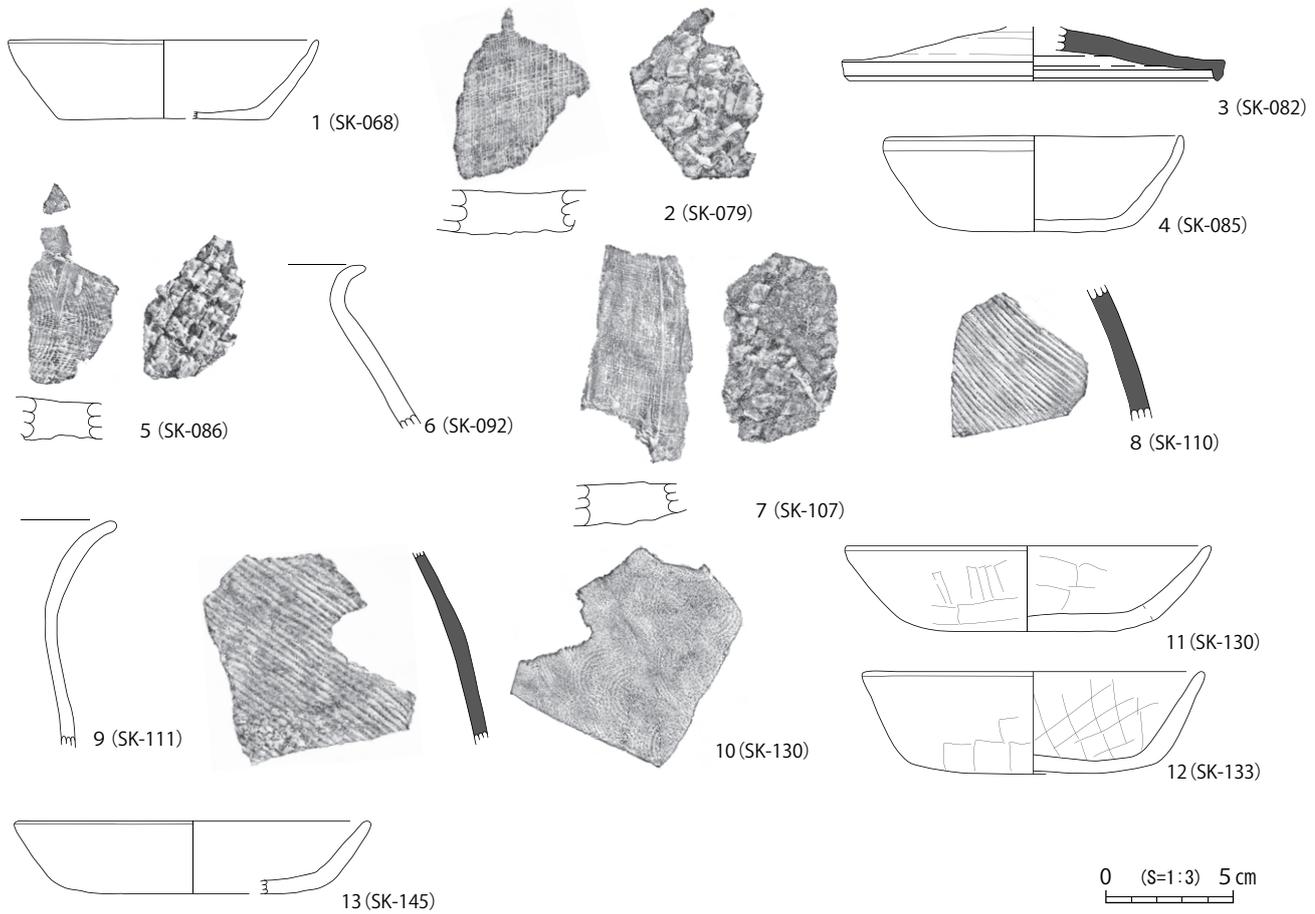
遺物 土師器、須恵器、瓦、鉄滓 10g が出土した。

SK-110 (第 29・34 図、表 18)

重複関係 SK-110 → SK-109

規模・形態・構造 長軸 1.3 m、短軸 0.8 m、深さ 0.43 m。平面形は楕円形で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器、須恵器、鉄滓 228g、軽石 8g が出土した。土師器は坏・須恵器は甕などが含まれる。



第 34 図 D区土坑出土遺物実測図

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	土師器坏 SK-068	口縁部～胴部 1/4	口 (復)12.2 底 (復)8.3 高 3.1	摩耗激しく調整不明。	不良	内面黄橙色、外面にぶい黄色	砂粒、白色粒、雲母
2	平瓦 SK-079		厚 1.6～1.8 重 73.5	凹面布目痕。凸面格子タタキ痕。	良好	凹面褐灰色、凸面にぶい橙色	砂粒、石英
3	須恵器蓋 SK-082	口縁部～体部 1/5	口 (復)14.4 高 (遺)2.1	ロクロ成形。	良好	灰色	白色粒、砂粒
4	土師器坏 SK-085	1/2	口 (復)11.5 底 (復)7.3 高 3.7	摩耗激しく調整不明。	やや不良	明黄褐色	砂粒、小礫、粗い赤色粒
5	平瓦 SK-086		厚 1.4～1.7 重 37.0	凹面布目痕。凸面格子タタキ痕。	良好	灰白色	砂粒、黒色粒
6	土師器甕 SK-092	口縁部～肩部片		内面ヘラナデ。外面口縁部ナデ。肩部ヘラケズリ。	良好	橙色	砂粒、石英、小石
7	平瓦 SK-107		厚 1.1～1.6 重 82.9	凹面布目痕。凸面格子タタキ痕。	不良	黄灰色	砂粒、黒色粒
8	須恵器甕 SK-110	胴部片		外面平行タタキ。	良好	灰白色	砂粒、白色粒
9	土師器甕 SK-111	口縁部～胴部片		内面ヘラナデ。外面口縁部ナデ。ヘラケズリ。	良好	明赤褐色	砂粒、石英、赤色粒
10	須恵器甕 SK-130	胴部片		内面あて具痕。外面平行タタキ。	良好	灰白色	白色粒、小礫
11	土師器坏 SK-130	一部欠損	口 (復)14.3 底 (復)9.8 高 3.4	内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	やや良好	橙色	砂粒、白色粒、小礫、雲母
12	土師器坏 SK-133	口縁部～底部 1/2	口 (復)13.3 底 (復)9.6 高 4.0	内面格子状ミガキ。外面摩耗激しく調整不明。	やや良好	橙色	砂粒、石英
13	土師器坏 SK-145	口縁部～底部 1/5	口 (復)14.0 底 (復)8.9 高 2.9	摩耗激しく調整不明。	不良	内面橙色、外面浅黄色	砂粒、赤色粒、雲母

表 18 D区土坑出土遺物観察表

SK-111 (第28・34図、表18)

重複関係 なし

規模・形態・構造 長軸0.9m、短軸0.7～0.9m、深さ0.36m。平面形は不整な長方形で、南側にテラスをもち、底面は平坦である。

遺物 土師器、須恵器、鉄滓18g、羽口片121gが出土した。土師器は甕などが含まれる。

SK-130 (第29・31・34図、表18)

重複関係 SD-053 → SK-130 → SK-129

規模・形態・構造 検出部分の長軸2.2m、検出部分の短軸1.2m、深さ0.58m。平面形は楕円形、断面形は逆台形状が想定される。

遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏、須恵器は甕などが含まれる。

SK-133 (第29・34図、表18)

重複関係 SK-131 → SK-133 → SK-132

規模・形態・構造 長軸1.7m、短軸1.1m、深さ0.3m。平面形は楕円形で、断面形はU字状である。

遺物 土師器、須恵器、鉄滓305gが出土した。土師器は坏・甕、須恵器は甕などが含まれる。

SK-145 (第30・34図、表18)

重複関係 なし

規模・形態・構造 直径1.0m、深さ0.35m。平面形は円形で、断面形はU字状である。

遺物 土師器、須恵器、鉄滓132gが出土した。土師器は坏・甕、須恵器は甕などが含まれる。

その他土坑

下記のとおり一覧表にまとめた。

遺構	重複関係		平面形	断面形	出土遺物	備考
SK-066	SK-066 → P-186	長軸1.3m、短軸0.8m、深さ0.4m	長方形	逆台形	土師器の坏を含む、須恵器	第22図
SK-067	なし	一辺0.9m、深さ0.3m	方形	逆台形	土師器の坏・甕を含む	第22図
SK-069	なし	長軸1.3m、短軸0.9m、深さ0.83m、西側にテラス、東側にビット状の掘り込みをもつ	楕円形	逆台形	土師器の坏を含む	第22図
SK-070	SD-050 → SK-070	長軸1.3m、短軸0.9m、深さ0.4m	楕円形	U字状	土師器の坏を含む	第22図
SK-071	なし	長軸1.3m、短軸1.0m、深さ0.4m	長方形	逆台形	土師器の甕を含む、鉄滓2g	第22・25図
SK-072	なし	長軸1.2m、短軸0.8m、深さ0.64m、両側にテラス、中央にビット状の掘り込みをもつ	楕円形	逆台形	土師器	第22図
SK-073	SD-047・049 → SK-073	直径1.0m、深さ0.6m、東側にビット状の掘り込みをもつ	不整な円形	逆台形	土師器	第22図
SK-074	SK-074 → P-213	長軸1.5m、短軸1.2m、深さ0.46m	不整な長方形	逆台形	土師器の坏を含む、須恵器、鉄滓5g	第22・25図
SK-075	SD-049 → SK-075	直径0.9～1.0m、深さ0.7m、中央にビット状の掘り込みをもつ	円形	U字状	土師器、須恵器	第22・25図
SK-076	SD-053 → SK-076	長軸1.4m、短軸1.2m、深さ0.8m、南側にテラス、中央にビット状の掘り込みをもつ	楕円形	U字状	土師器の坏、須恵器の甕を含む	第23図
SK-077	なし	長軸1.2m、短軸0.9～1.0m、深さ0.46m、中央にビット状の掘り込みをもつ	楕円形	逆台形	土師器の坏を含む、鉄滓18g	第23図
SK-078	SD-053 → SK-078	長軸1.4m、短軸1.1m、深さ0.2m	楕円形	U字状	土師器の坏を含む	第23図
SK-080	SD-053 → SK-080	一辺1.0～1.1m、深さ0.27m	方形	逆台形	土師器の坏を含む、須恵器	第23図
SK-081	SD-072 → SK-081	一辺1.0～1.2m、深さ0.5m、南側にビット状の掘り込みをもつ	方形	逆台形	土師器の坏を含む	第23図
SK-083	SD-068 → SK-083	長軸1.1m、短軸0.8m、深さ0.54m、南側にテラスをもつ	長方形	逆台形	鉄滓17g	第24図
SK-087	SD-057 → SK-087	一辺1.4～1.6m、深さ0.45m、北側にビット状の掘り込みをもつ	方形	逆台形	土師器、須恵器	第23・25図
SK-088	SD-057、SK-089 → SK-088	検出部分の長軸1.1m、短軸1.1m、深さ0.3m	楕円形	U字状	なし	第23・25図
SK-089	SK-089 → SK-088	長軸1.1m、短軸0.8m、深さ0.53m	楕円形	U字状	土師器	第23図
SK-090	なし	検出部分の長軸0.8m、短軸0.6m、深さ0.38m、東側にテラスをもつ	長方形	逆台形	土師器、鉄滓19g	第24図
SK-091	SD-053 → SK091 → P-272	一辺1.1m、深さ0.34m	方形	逆台形	なし	第23図
SK-098	なし	長軸2.7m、短軸0.8m、深さ0.66m、南側にテラスをもつ	長方形	逆台形	土師器の坏を含む、鉄滓4g	第24図
SK-099	SD-043 → SK-099	長軸1.9m、短軸0.8～0.9m、深さ0.49m	楕円形	逆台形	土師器	第24図

表19 D区土坑観察表(1)

SK-100	なし	長軸 1.5 m、短軸 1 m、深さ 0.5 ~ 0.8 m 中央にビット状の掘り込みをもつ	不整な楕円形	U字状	土師器の坏・甕を含む	第 24 図
SK-101	なし	一辺 0.9 m、深さ 0.3 m	方形	逆台形	土師器	第 29 図
SK-102	SD-063 → SK-102	長軸 1.2 m、短軸 0.9 m、深さ 0.33 m	楕円形	U字状	土師器	第 29 図
SK-103	SD-070 → SK-103	一辺 0.8 ~ 0.9 m、深さ 0.35 m	方形	逆台形	土師器	第 24 図
SK-104	なし	直径 0.8 m、深さ 0.43 m	不整な円形	U字状	土師器	第 28 図
SK-105	なし	直径 0.9 ~ 1.0 m、深さ 0.56 m、ビット状の掘り込みをもつ	円形	U字状	土師器	第 28 図
SK-106	なし	直径 1.1 ~ 1.2 m、深さ 0.5 m、ビット状の掘り込みをもつ	円形	U字状	土師器	第 28 図
SK-108	SK-121 → SK-108 → SK-109	長軸 1.5 m、検出部分の短軸 0.8 m、深さ 0.28 m	楕円形	U字状	土師器の坏を含む、鉄滓 8 g	第 29 図
SK-109	SK-108・110 → SK-109	一辺 1.2 ~ 1.3 m、深さ 82 m、中央にビット状の掘り込み	方形	逆台形	土師器の坏・須恵器の甕を含む、鉄滓 42g、軽石 10g	第 29 図
SK-112	SK-112 → SI-003・P-315	長軸 2.05 m、短軸 1.4 m、深さ 0.55 m、SK-107 と同時期と考える	長方形	箱状	土師器の坏を含む、須恵器、鉄滓 10g	第 29・31 図
SK-113	SD-070 → SK-113 → P-319	一辺 1.0 m、深さ 0.47 m	方形	逆台形	なし	第 24 図
SK-114	なし	一辺 0.9 m、深さ 0.53 m、東側にテラス、西側にビット状の掘り込みをもつ	方形	逆台形	土師器、鉄滓 139g、羽口片 12g	第 24 図
SK-115	なし	一辺 0.8 ~ 0.9 m、深さ 0.56 m、西側にビット状の掘り込みをもつ	方形	逆台形	土師器、須恵器、鉄滓 121g	第 24 図
SK-116	SD-043 → SK-116	一辺 0.8 m、深さ 0.6 m、中央にビット状の掘り込みをもつ	方形	逆台形	土師器、須恵器、羽口片 13g	第 24 図
SK-117	SD-043 → SK-117	一辺 0.9 m、深さ 0.6 m、西側にビット状の掘り込みをもつ	方形	逆台形	土師器、須恵器、鉄滓 69g、羽口片 14g	第 24 図
SK-118	なし	長軸 1.0 m、短軸 0.8 m、深さ 0.81 m、南東側にビット状の掘り込みをもつ	長方形	逆台形	土師器	第 24 図
SK-119	SD-058 → SK-119	検出部分の長軸 0.7 m、短軸 1.0 m、深さ 0.74 m	長方形を推定	U字状	なし	第 23 図
SK-120	なし	長軸 1.15 m、短軸 0.9 m、深さ 1.04 m	楕円形	U字状	土師器、須恵器	第 29 図
SK-121	SK-121 → SK-107・108	長軸 1.2 m、短軸 0.95 m、深さ 0.27 m	長方形	逆台形	土師器	第 29 図
SK-122	SD-069 → SK-122	長軸 1.1 m、短軸 0.8 ~ 1.0 m、深さ 0.37 m	長方形	逆台形	土師器の甕を含む、鉄滓 6 g	第 24 図
SK-123	SK-123 → P-324	長軸 1.1 m、短軸 0.9 m、深さ 0.4 m	長方形	逆台形	土師器、鉄滓 2 g	第 24 図
SK-124	SD-043 → SK-124	直径 0.9 ~ 1.0 m、深さ 0.5 m	円形	U字状	土師器	第 24 図
SK-125	SK-141 → SK-125	長軸 1.3 m、短軸 0.9 m、深さ 0.25 m	長方形	逆台形	土師器	第 29 図
SK-126	SD-063 → SK-126	長軸 1.4 m、短軸 1.2 m、深さ 0.13 m	不整な楕円形	皿状	土師器、鉄滓 2 g	第 29 図
SK-127	SK-127 → SD-059	検出部分の長軸 1.05 m、短軸 0.7 m、深さ 0.47 m、東側にビット状の掘り込みをもつ	長方形	U字状	土師器、須恵器	第 24 図
SK-128	SK-128 → SD-046	長軸 1.2 m、検出部分の短軸 0.45 m、深さ 0.25 m	楕円形	皿状	土師器	第 24 図
SK-129	SK-131 → SK-130 → SK-129	検出部分の長軸 1.5 m、検出部分の短軸 1.1 m、深さ 0.4 m	楕円形を推定	U字状	なし	第 29・31 図
SK-131	SD-053 → SK-131 → SK-130・133 → SK-129・132	長軸 2.8 m、検出部分の短軸 2.4 m、深さ 0.3 m	長方形	皿状	土師器の坏・甕を含む、須恵器	第 29 図
SK-132	SK-131 → SK-130・133 → SK-132	長軸 1.5 m、短軸 1.2 m、深さ 0.76 m、中央にビット状の掘り込みをもつ	楕円形	U字状	なし	第 29 図
SK-134	SD-074 → SK-134 → SD-065	長軸 1.0 m、検出部分の短軸 0.45 m、深さ 0.45 m	楕円形	U字状	なし	第 29 図
SK-135	SD-074 → SK-135	検出部分の長軸 1.3 m、短軸 1.1 ~ 1.2 m、深さ 0.4 m	不整な長方形	U字状	土師器、須恵器、鉄滓 265g、軽石 80g	第 29 図
SK-136	なし	長軸 1.4 m、短軸 1.1 m、深さ 0.5 m、中央にビット状の掘り込みをもつ	楕円形	U字状	なし	第 30 図
SK-137	なし	一辺 0.8 m、深さ 0.53 m	方形	U字状	なし	第 30 図
SK-138	なし	長軸 1.0 m、短軸 0.8 m、深さ 0.52 m	楕円形	U字状	なし	第 30 図
SK-139	なし	直径 1.5 m、深さ 0.47 m、中央にビット状の掘り込みをもつ	不整な円形	U字状	なし	第 30 図
SK-140	なし	直径 0.9 ~ 1.0 m、深さ 0.5 m	円形	U字状	なし	第 30 図
SK-141	SK-141 → SD-067 → SD-075、SK-125	長軸 1.4 m、検出部分の短軸 0.8 m、深さ 0.4 m	長方形	U字状	土師器の坏を含む、須恵器	第 29 図
SK-142	なし	長軸 1.0 m、短軸 0.8 m、深さ 0.58 m	楕円形	逆台形	土師器	第 30 図
SK-144	なし	一辺 1.1 m、深さ 0.42 m	方形	逆台形	土師器	第 30 図
SK-146	なし	検出部分の長軸 1.0 m、短軸 0.7 m、深さ 0.61 m	長方形	逆台形	土師器	第 30 図

表 19 D区土坑観察表（2）

## 井戸

### SE-001（第 22 図）

重複関係 なし

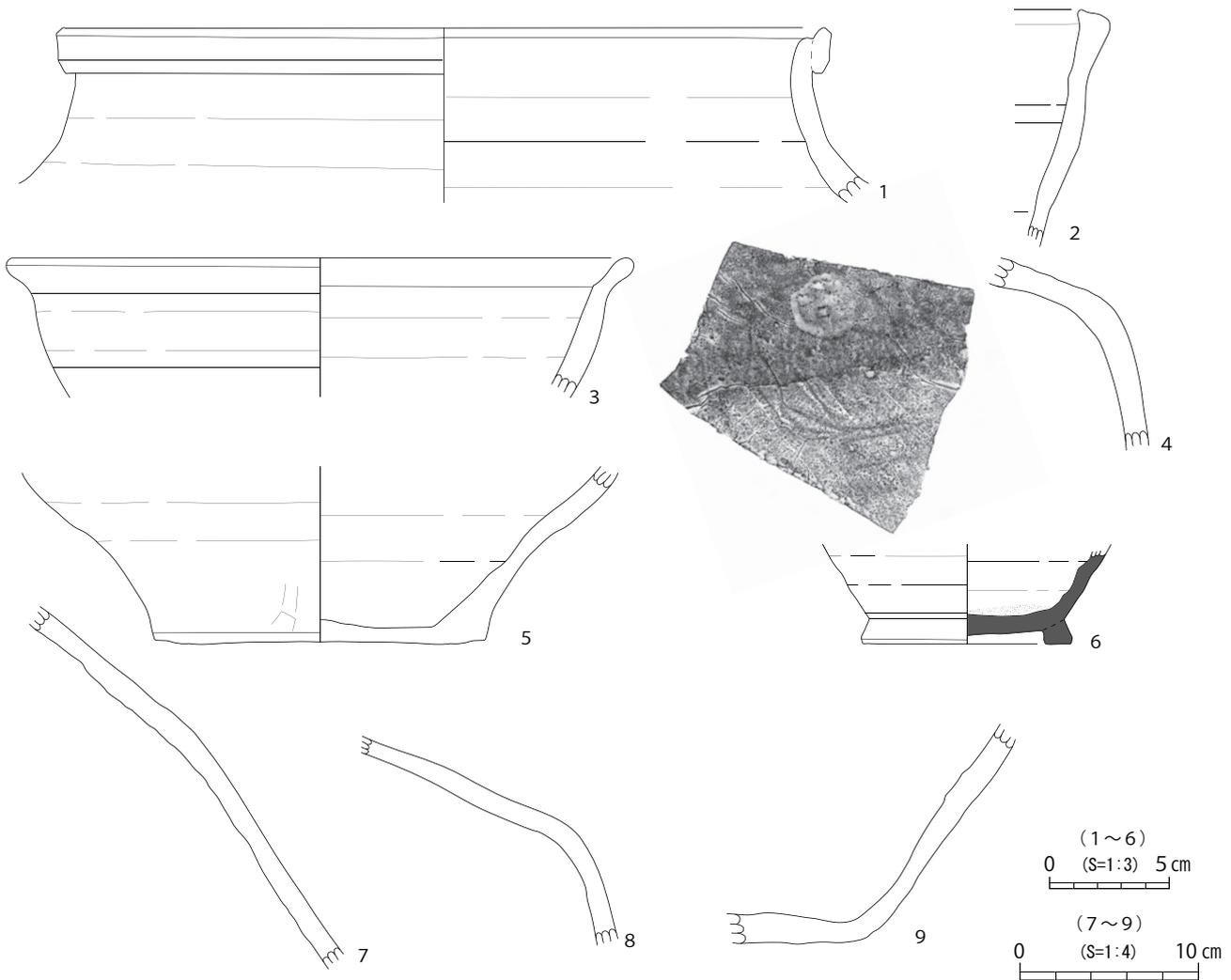
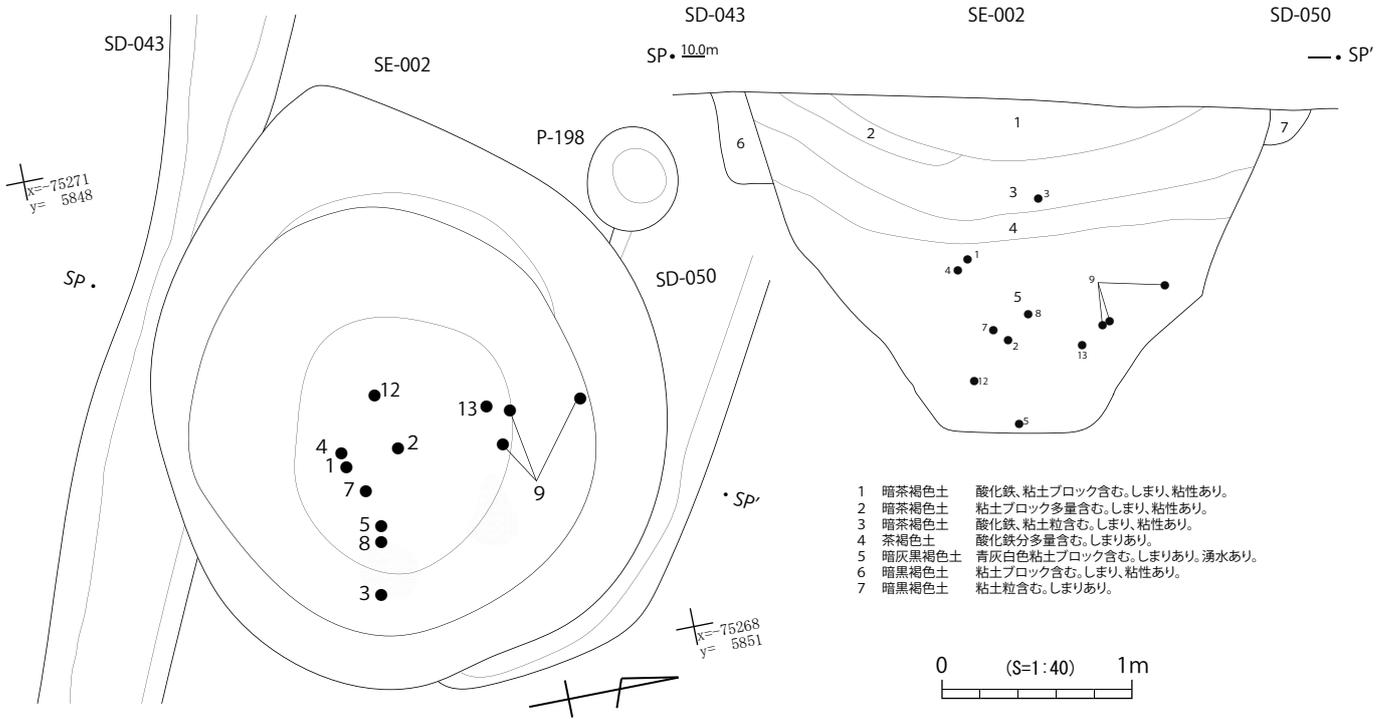
規模・形態・構造 直径 0.7 ~ 0.8 m、調査した深さは、0.76 m。確認面から 0.5 m 掘削したところで湧水を確認し、安全面を考慮し調査を終了した。平面形は円形で、断面形は箱状である。

遺物 土師器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

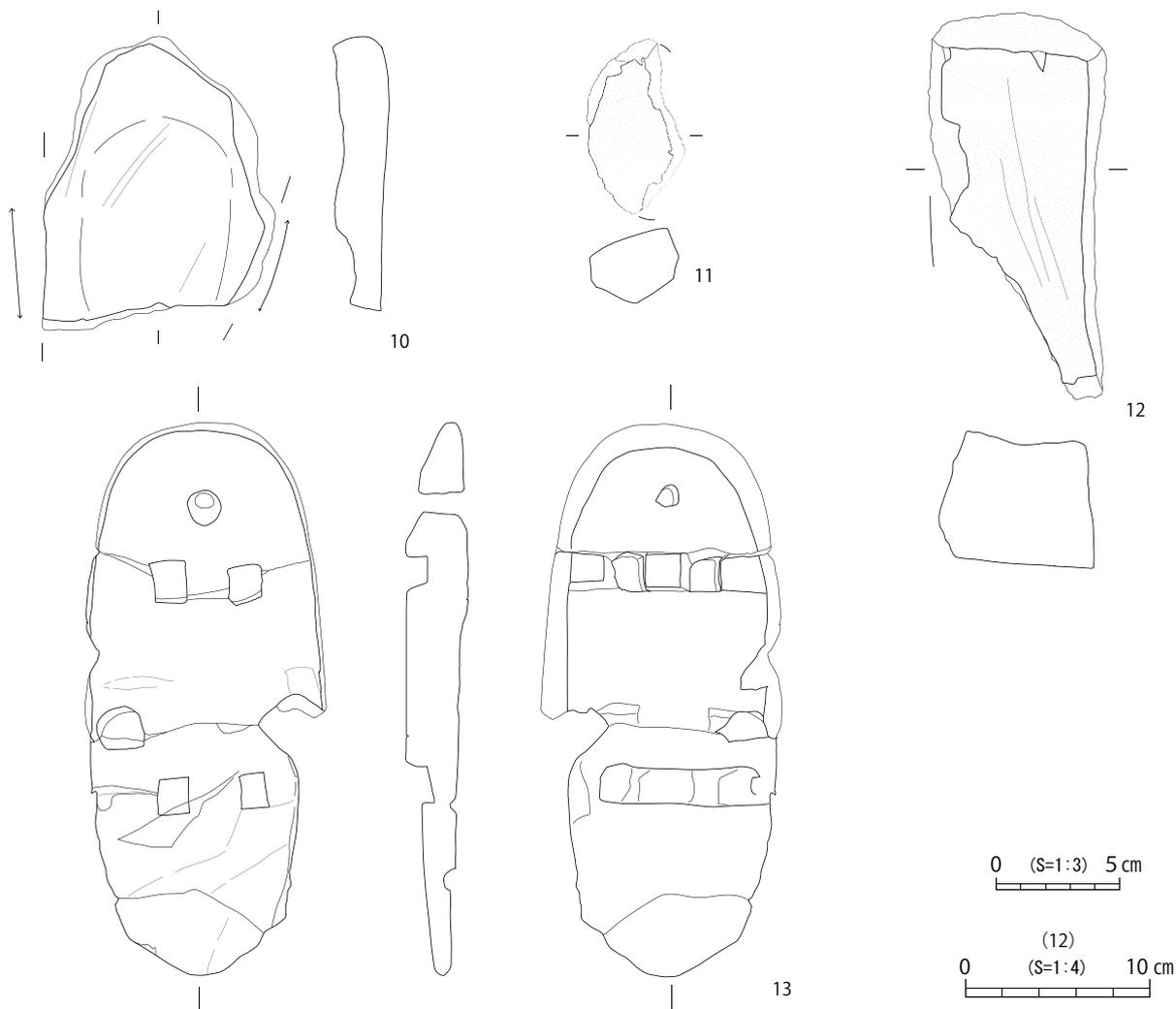
### SE-002（第 22・35・36 図、表 20、第 4 章）

重複関係 SD-043・050 → SE-002

規模・形態・構造 直径 2.7 ~ 2.9 m、調査した深さは、1.8 ~ 2 m。確認面から 1.0 m 掘り下げた地点で湧水を確認し、安全面を考慮して確認面から 2.0 m 掘削して調査を終了した。平面形は不整な円形で、



第 35 図 SE-002 実測図



第 36 図 SE-002 出土遺物実測図

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	常滑甕	口縁部～頸部 1/4	口 (復) 32.0 高 (遺) 6.7	ロクロ成形。	良好	にぶい赤褐色、緑軸部灰オリブ色	粗い砂粒、小礫、石英
2	陶器鉢	口縁部片		ロクロ成形。	良好	内面褐色、外面橙色	粗い白色粒、小礫
3	陶器折縁深皿	口縁部 1/5	口 (復) 25.8 高 (遺) 5.7	ロクロ成形。内外面ともに灰軸を施す。	良好	灰白色	砂粒
4	常滑甕	肩部片		ロクロ成形。外面肩部にスタンプ状のものを押印 (菊花文か)。	良好	にぶい赤褐色、施軸部灰オリブ色	粗い砂粒、小礫、石英
5	常滑甕	底部 1/2	底 (復) 13.8 高 (遺) 7.3	ロクロ成形。外面下方へラケズリ。	良好	内面褐色、外面にぶい赤褐色	砂粒、小礫
6	須恵器甕か壺	底部のみ	底 (復) 8.7 高 (遺) 4.2	ロクロ成形。	良好	灰色	砂粒
7	常滑大甕	胴部片		ロクロ成形。外面へラケズリ。	良好	にぶい赤褐色	砂粒、小礫
8	常滑大甕	肩部片		ロクロ成形。	良好	にぶい赤褐色、肩部灰白色	砂粒、小礫
9	常滑大甕	胴部～底部片		ロクロ成形。	良好	にぶい赤褐色	砂粒、小礫
10	砥石	上下部欠損	最大長 10.8 最大幅 8.9 最大厚 2.1 重 300.7	3面に砥石面をもつ。砂岩。			
11	礫	一部欠損	最大長 7.0 最大幅 3.4 最大厚 2.8 重 71.4	平坦部に被熱を受けた痕跡あり。凝灰岩。			
12	砥石	一部欠損	最大長 17.9 最大幅 8.0 最大厚 9.2 重 2,023.7	平坦部に砥石面をもつ。全面に被熱を受けている。			
13	木製品下駄		最大長 22.5 最大幅 9.8 最大厚 2.5	樹種はモクレン属、木取り板目			

表 20 SE-002 出土遺物観察表

断面形は逆台形状である。覆土に粘土が含まれる箇所があったが、遺構に伴うものではなく、混入の可能性が高い。

**遺物** 土師器 1,764g、須恵器 1,640g、陶器 14,166g、木製品が出土した。土師器は高坏・坏、須恵器は壺・甕、陶器は常滑の甕などが含まれる。また、覆土中に貝も含まれるが、いずれも碎片のため同定はできなかった。

#### SE-003 (第 18・37～42 図、表 21、第 4 章)

**重複関係** なし

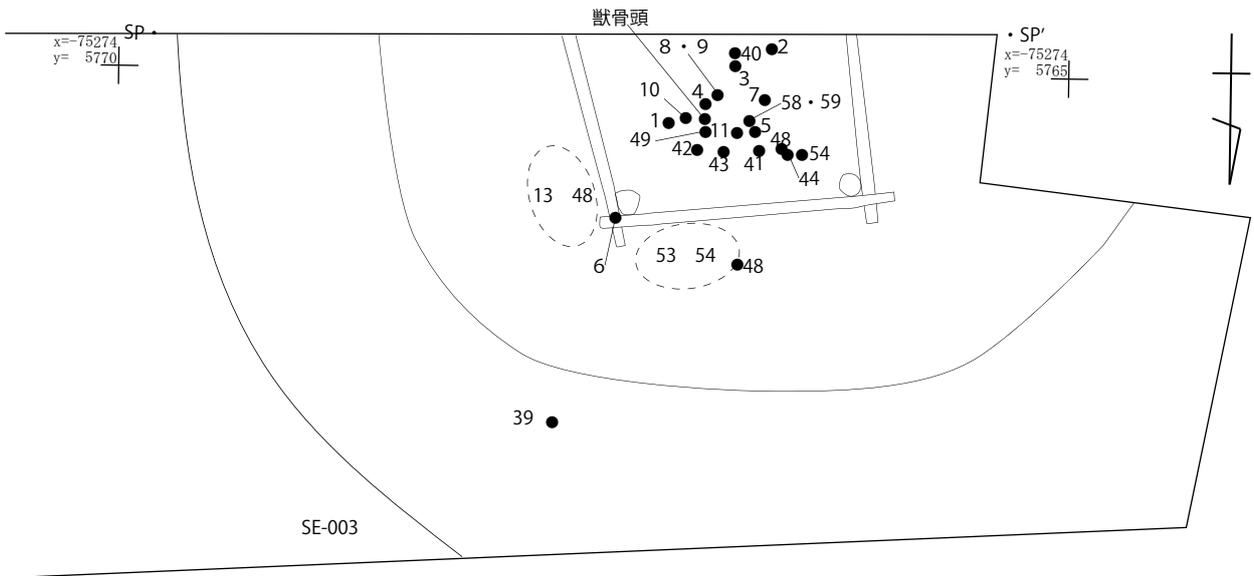
**規模・形態・構造** 方形の木製井戸枠を伴う井戸で、検出部分の長軸 5.0 m、検出部分の短軸 2.8 m、調査した深さ 2.3 m。2.2 m の高さで湧水を確認した。井戸の南側及び西側、北側の一部は攪乱を受けており、確認できた部分は北側の木組みと東側の掘方部分のみである。可能な限り人力で調査を実施したが、深度が深く、湧水があったため、小型重機等で可能な範囲まで調査した。井戸は、長さ約 1.8 m、幅約 0.3 m、厚み約 0.04 m の板を組み合わせており、掘り始めから木組みまで約 2.0 m、木組みの内径が約 1.4 m である。確認できた板材は 7 段分でその下にも続いていく可能性が高い。井戸の内側に木杭が打っており、木杭に合わせて板材を配置している。木杭についても調査した深さから下に続いていく可能性が高い。安全面を考慮して確認面から 2.3 m まで掘削し調査を終了した。

**遺物** 土師器 22,795g、須恵器 8,491g、瓦 1,741g、木製品、鉄滓 1,545g、羽口片 190g が出土した。土師器は坏が最も多く確実に判別できるもので 21,339g あった。他には甕・高坏、須恵器は甕・壺、木製品は曲物・斎串などが含まれる。遺物の出土地点は、井戸（木組み内側）の中から出土したもの、井戸（木組み外側）の外から出土したものの大きく 2 つに分けられる。多くは、井戸の内側から出土したものである。**6・13・48・53・54** は、井戸の外から出土したもので、板材を組み合わせる際にできた隙間を埋めるための裏込めとして使用したものであると考えられる。

取り上げた板材は北側の上段から 4 段目までと東側の 3 段目の一部である。検出した板材の両端には、組み合わせしやすいように加工してある。取り上げた板材は樹種同定をした結果、いずれもモミ属であることがわかった。各板材の計測値は以下のとおりである。なお右端、左端は加工痕から板材の端までを計測した。

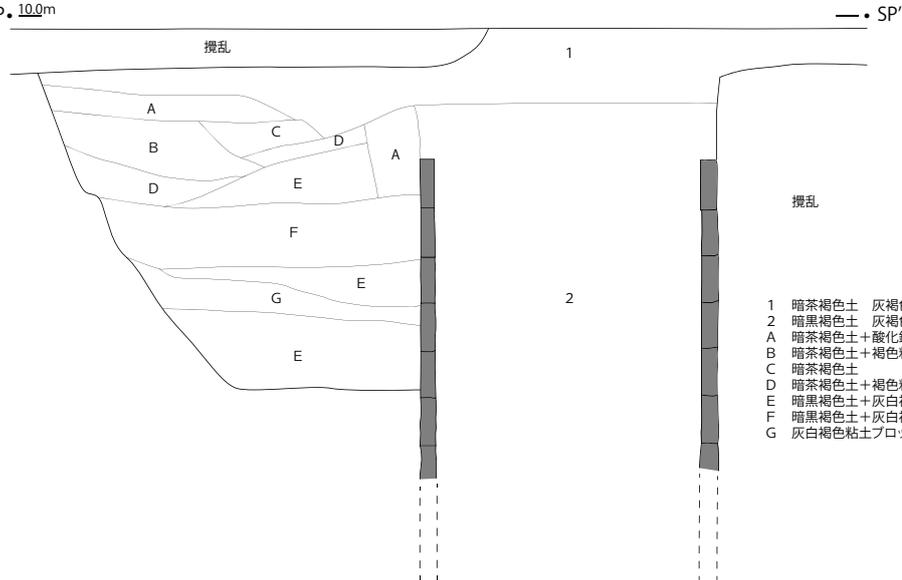
- ① 1 段目 (第 4 章 試料 N0.1-1) 幅 175.5cm、高さ 21.0cm、厚さ 2.5cm、右端 20.0cm、左端 20.0cm
- ② 2 段目 (第 4 章 試料 N0.1-2) 幅 180.5cm、高さ 23.0cm、厚さ 3.5cm、右端 19.5cm、左端 21.0cm
- ③ 3 段目 (第 4 章 試料 N0.1-3) 幅 180.5cm、高さ 31.0cm、厚さ 4.0cm、右端 22.0cm、左端 23.0cm
- ④ 4 段目 (第 4 章 試料 N0.1-4) 幅 176.0cm、高さ 31cm、厚さ 4.5cm、右端 17.5cm、左端 17.5cm

井戸内にあった木杭については、サンプリングして樹種同定を実施した。その結果、板材とは樹種が異なり、クスノキであることがわかった。



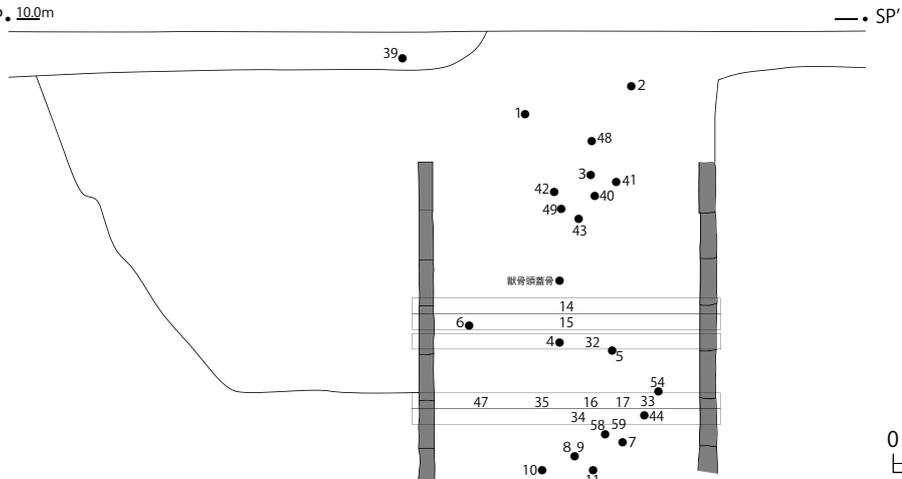
x=-75271  
y=5770

SP. 10.0m

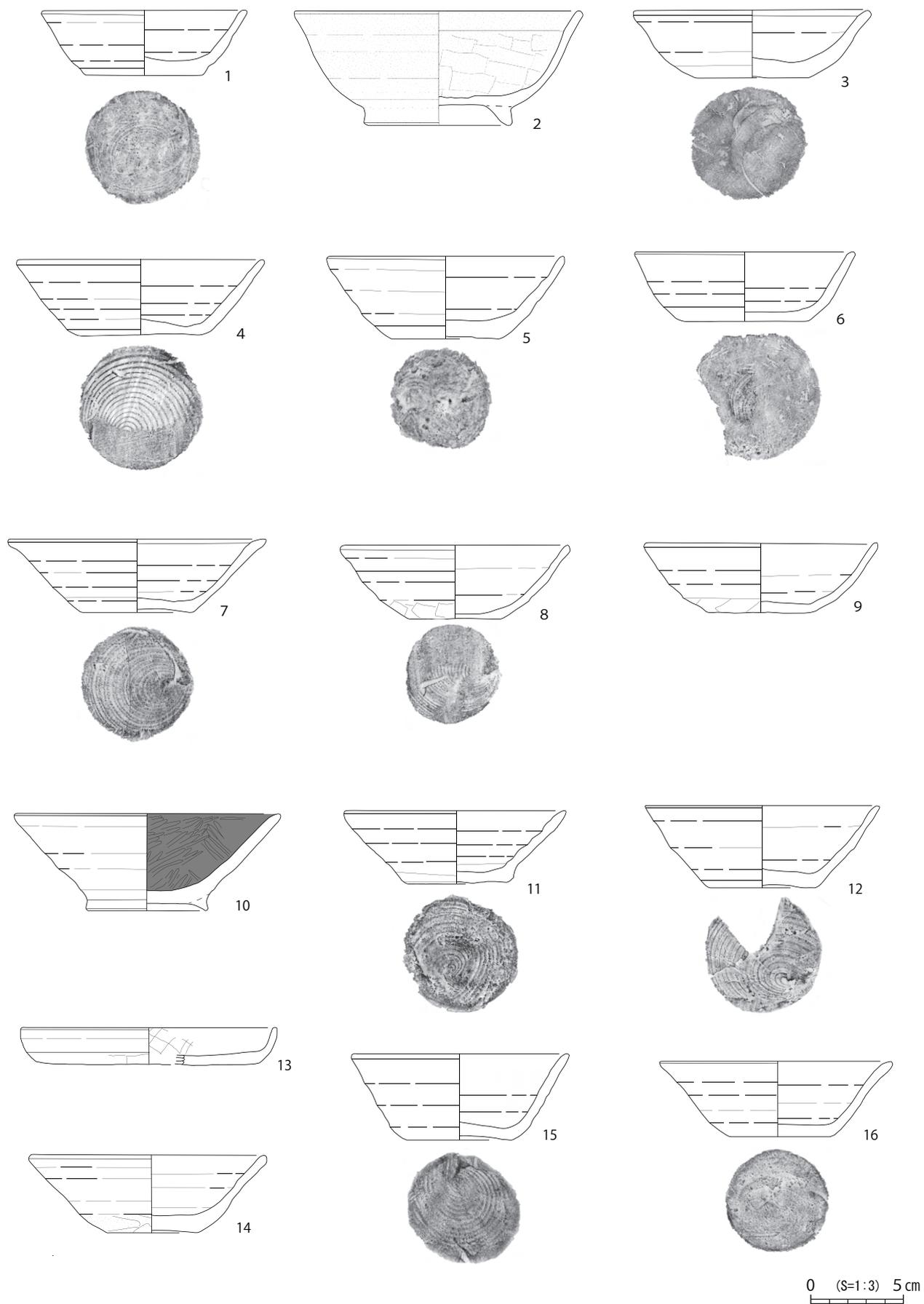


【遺物出土レベル図】

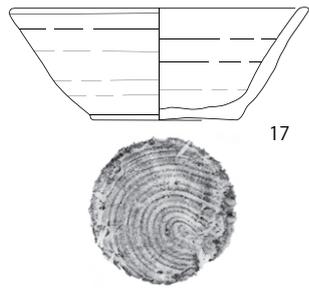
SP. 10.0m



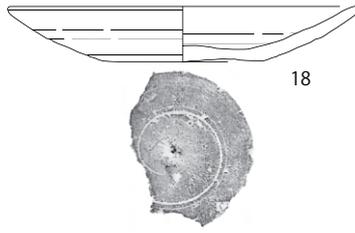
第 37 図 SE-003 遺構実測図



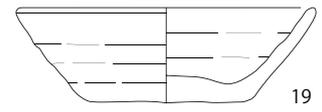
第 38 图 SE-003 出土遺物実測図 (1)



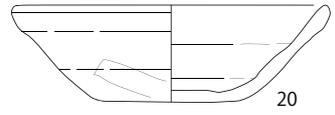
17



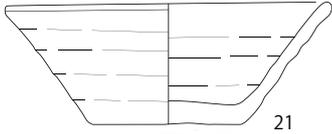
18



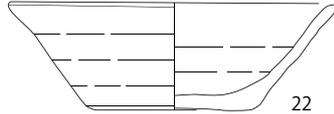
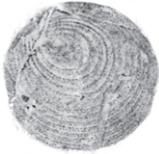
19



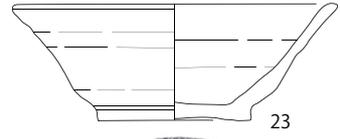
20



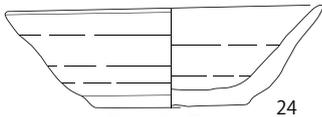
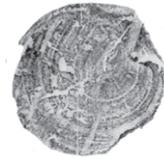
21



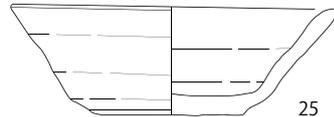
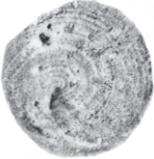
22



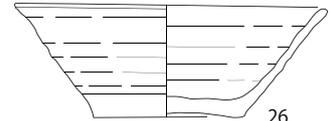
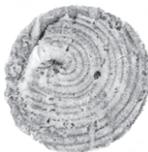
23



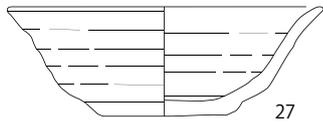
24



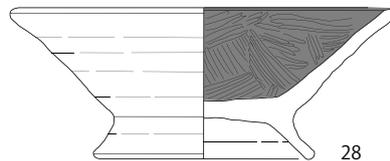
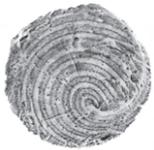
25



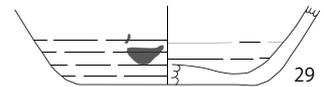
26



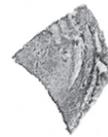
27



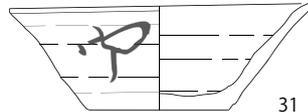
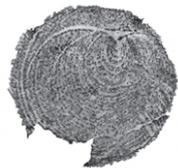
28



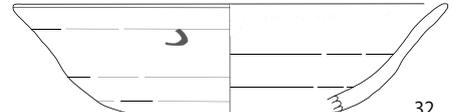
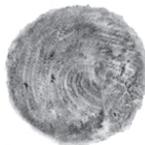
29



30



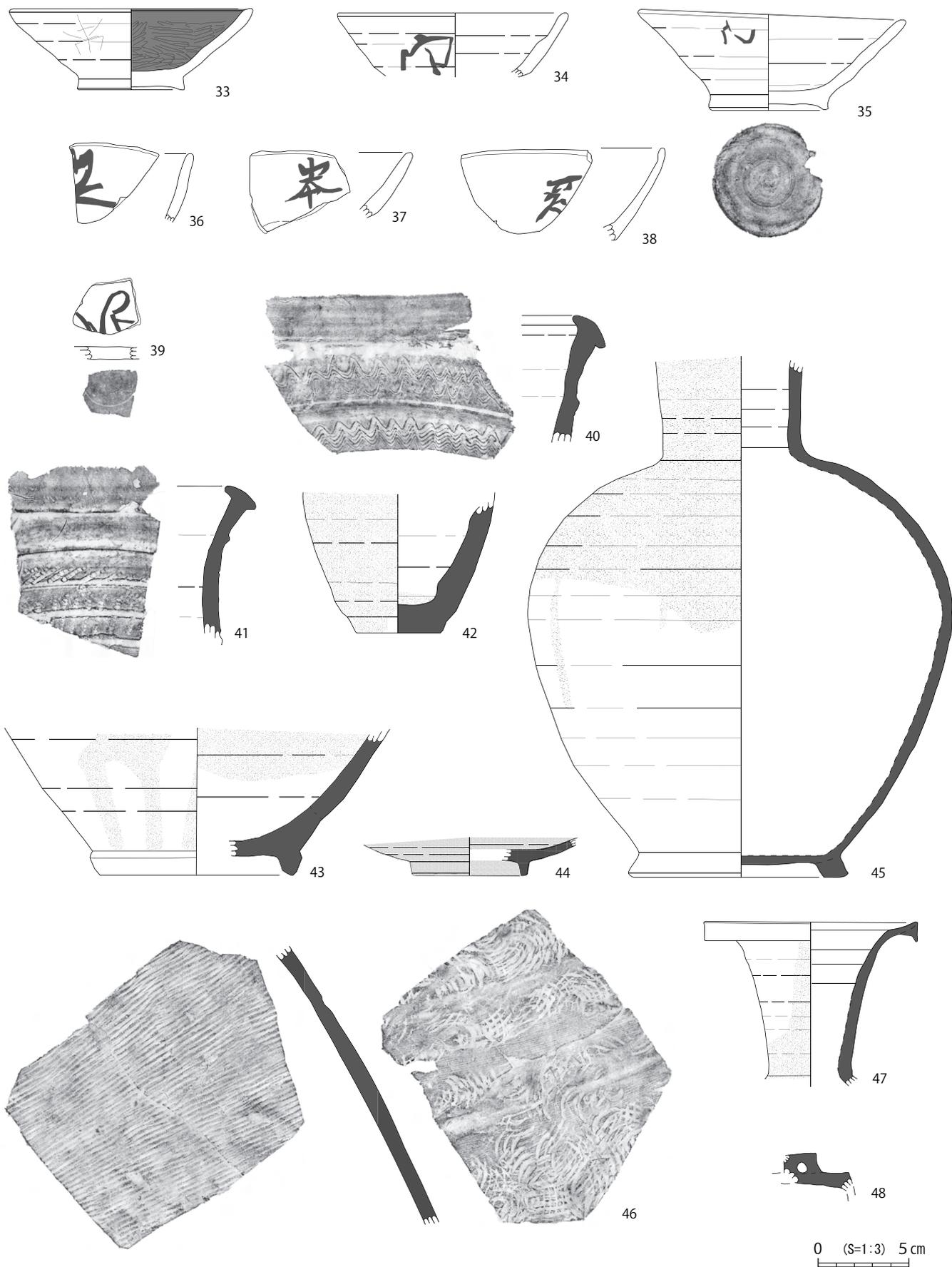
31



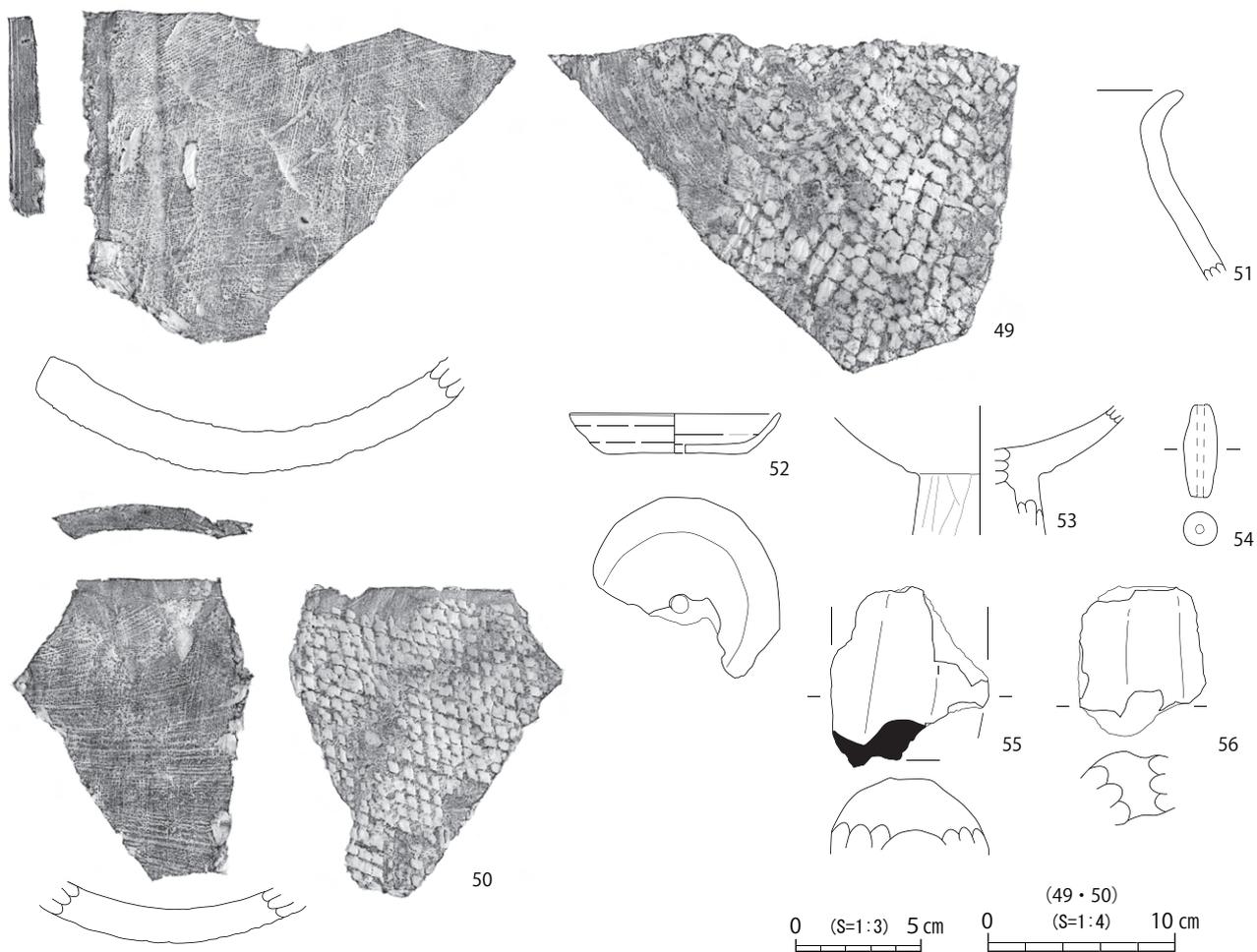
32

0 (S=1:3) 5 cm

第 39 图 SE-003 出土遺物実測図 (2)



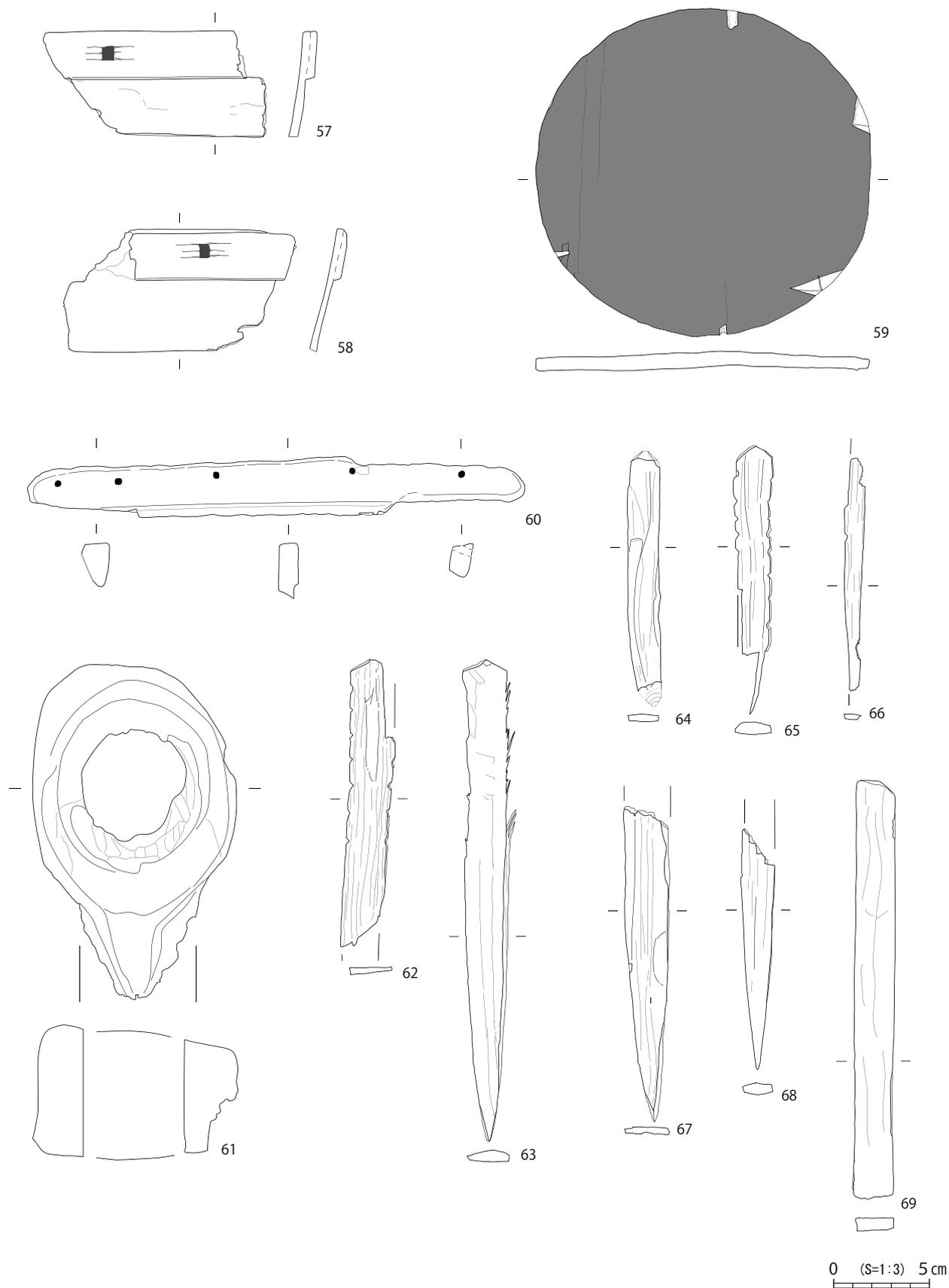
第 40 图 SE-003 出土遺物実測図 (3)



第 41 図 SE-003 出土遺物実測図 (4)

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	土師器杯	口縁部のみ一部欠損	口 11.1 底 6.4 高 3.5	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	やや不良	にぶい橙色	砂粒、白色粒、赤色粒、雲母
2	土師器高台付杯	口縁部～底部 3/4	口 15.4 底 7.9 高 6.2	ロクロ成形。内面ヘラミガキ。	やや良好	内面黒色、外面浅黄色	砂粒、白色粒、赤色粒、石英、小礫、雲母
3	土師器杯	口縁部～底部 1/5	口 (復) 12.8 底 6.0 高 3.8	ロクロ成形。外面体部下方ヘラケズリ。底部ヘラケズリ。	やや不良	にぶい橙色	砂粒、赤色粒
4	土師器杯	口縁部～底部 1/4	口 (復) 13.3 底 6.9 高 4.2	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	良好	明赤褐色	砂粒、白色粒
5	土師器杯	口縁部～底部 1/4	口 12.8 底 5.9 高 4.5	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	良好	にぶい黄色	砂粒、赤色粒
6	土師器杯	口縁部～底部 1/2	口 (復) 12.0 底 7.0 高 3.8	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	良好	橙色	砂粒、石英
7	土師器杯	口縁部～底部 3/4	口 13.8 底 6.0 高 4.0	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	良好	明赤褐色	砂粒、白色粒、雲母
8	土師器杯	口縁部のみ一部欠損	口 12.4 底 4.8 高 4.0	ロクロ成形。外面体部下方ヘラケズリ。外面底部回転系切り痕。	良好	灰黄色	粗い砂粒、赤色粒、石英、小礫
9	土師器杯	完形	口 12.6 底 5.8 高 3.8	ロクロ成形。外面体部下方、底部ヘラケズリ。	良好	にぶい黄色	砂粒、赤色粒、小石
10	土師器高台付杯	口縁部～底部 1/4	口 (復) 14.4 底 6.4 高 5.3	ロクロ成形。内黒で内面ミガキ。	良好	内面黒色、外面灰オリーブ色	砂粒、白色粒、微量の雲母
11	土師器杯	完形	口 11.9 底 5.5 高 4.0	ロクロ成形。外面体部ヘラケズリ、底部回転系切り痕。	良好	にぶい黄褐色	砂粒、赤色粒、雲母

表 21 SE-003 出土遺物観察表 (1)



第 42 图 SE-003 出土遺物実測図 (5)

12	土師器坏	口縁部～底部 1/3	口 (復)12.6 底 5.9 高 4.5	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	良好	灰オリーブ色	砂粒、白色粒、雲母
13	土師器皿	口縁部～底部 1/4	口 (復)13.8 底 (復)12.1 高 2.0	ロクロ成形。内面斜格子暗文。外面体部下方、底部ヘラケズリ。	良好	橙色	砂粒、白色粒
14	土師器坏	完形	口 12.8 底 4.9 高 4.2	ロクロ成形。外面体部下方、底部ヘラケズリ。外面スス付着。	良好	内面オリーブ色・オリーブ黒色、外面灰黄色・黒色	砂粒、白色粒、雲母
15	土師器坏	口縁部～底部 1/3	口 (復)11.6 底 (復)6.0 高 4.6	ロクロ成形。内面に紫色顔料付着。外面底部回転系切り痕。	良好	灰オリーブ色、内面顔料付着部暗紫灰色	砂粒、雲母
16	土師器坏	完形	口 12.5 底 5.5 高 4.1	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	良好	橙色	砂粒、赤色粒
17	土師器坏	完形	口 11.8 底 5.8 高 4.4	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	良好	橙色、黒褐色	砂粒、白色粒
18	土師器坏	口縁部～底部 1/4	口 (復)13.8 底 (復)6.1 高 2.3	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	良好	内面橙色、外面にぶい黄色	砂粒、赤色粒、白色粒、雲母
19	土師器坏	口縁部～底部 1/2	口 (復)11.7 底 (復)6.1 高 3.8	ロクロ成形。摩耗激しく詳細は不明。	やや不良	橙色	砂粒、赤色粒、雲母
20	土師器坏	口縁部～底部 1/4	口 (復)12.3 底 5.5 高 3.8	ロクロ成形。外面体部下方ヘラケズリ。底部ヘラケズリ。	良好	オリーブ黒色	砂粒、石英
21	土師器坏	口縁部のみ一部欠損	口 12.8 底 6.0 高 4.8	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	良好	浅黄色	砂粒、白色粒
22	土師器坏	口縁部のみ一部欠損	口 12.8 底 6.5 高 4.3	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	良好	内面明赤褐色、外面にぶい黄色	砂粒、白色粒、赤色粒
23	土師器坏	口縁部～底部 3/4	口 12.8 底 6.0 高 4.6	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	やや良好	橙色	砂粒、白色粒
24	土師器坏	口縁部のみ一部欠損	口 12.5 底 6.1 高 4.0	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	良好	にぶい黄色	砂粒、赤色粒、石英
25	土師器坏	完形	口 12.7 底 5.8 高 4.4	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	良好	にぶい橙色	砂粒、赤色粒
26	土師器坏	口縁部～底部 3/4	口 12.3 底 5.9 高 4.5	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	良好	褐色	砂粒、白色粒、雲母
27	土師器坏	口縁部～底部 3/4	口 12.4 底 4.8 高 4.3	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。	良好	内面橙色、外面灰黄褐色	砂粒、赤色粒、小礫
28	土師器高台付坏	口縁部～底部 1/5	口 (復)15.1 底 8.5 高 6.0	ロクロ成形。内黒で内面ミガキ。	良好	内面黒色、外面灰黄色	砂粒、白色粒
29	土師器坏	体部～底部 1/4	底 (復)7.0 高 (遺)3.0	ロクロ成形。外面に墨書あり。底部回転系切り痕。	良好	橙色	砂粒、赤色粒
30	土師器坏	口縁部～底部 4/5	口 12.5 底 5.9 高 4.8	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕、体部墨書「奉カ」。	良好	浅黄色、橙色	砂粒、白色粒、小礫
31	土師器坏	完形	口 11.9 底 5.6 高 4.2	ロクロ成形。外面底部回転系切り痕。外面墨書「内カ」。	不良	にぶい橙色	砂粒、赤色粒
32	土師器坏	口縁部～体部 1/4	口 (復)17.0 高 (遺)4.3	ロクロ成形。内面にスス付着、灯明皿として転用していたか。外面に不明墨書あり。	良好	内面にぶい橙色、外面灰黄褐色	砂粒、赤色粒
33	土師器高台付坏	口縁部～底部 4/5	口 12.8 底 5.8 高 4.3	ロクロ成形。内黒で内面ミガキ。外面体部刻書「奉カ」。	良好	内面黒色、外面灰オリーブ色	砂粒、赤色粒
34	土師器坏	口縁部～体部のみ完形	口 12.6 高 (遺)3.5	ロクロ成形。外面体部に墨書「内カ」。	良好	にぶい黄褐色	砂粒、白色粒、赤色粒
35	土師器高台付坏	口縁部のみ一部欠損	口 14.8 底 6.5 高 5.6	ロクロ成形。外面墨書「内カ」。	良好	橙色	砂粒、白色粒、雲母
36	土師器坏	口縁部片		ロクロ成形。外面墨書あり。	良好	橙色	赤色粒、白色粒、微量の雲母
37	土師器坏	口縁部片		ロクロ成形。外面墨書「奉カ」。	良好	にぶい橙色	白色粒、雲母
38	土師器坏	口縁部～体部片		ロクロ成形。外面墨書あり。	良好	にぶい褐色	砂粒、雲母
39	土師器坏	底部片		内面墨痕あり。外面底部回転系切り痕。	良好	褐色	砂粒、白色粒
40	須恵器甕	口縁部片		外面粘土紐の段の上下に波状文。	良好	灰白色	砂粒、白色粒、黒色粒
41	須恵器甕	口縁部片		外面斜交に刺突痕。	良好	灰色	白色粒、砂粒
42	須恵器壺	体部～底部 1/4	底 4.7 高 (遺)7.7	ロクロ成形。内外面ともに自然軸が付着。	良好	内面灰色、外面にぶい赤褐色	砂粒、白色粒
43	須恵器壺	底部 1/4	底 (復)10.5 高 (遺)8.2	ロクロ成形。内外面ともに自然軸が付着。	良好	灰色	砂粒、白色粒、小礫

表 21 SE-003 出土遺物観察表 (2)

44	須恵器坏	底部片	底 (復)6.3 高 (遺)2.2	ロクロ成形。内外面ともに自然袖付着。	良好	オリーブ灰色	砂粒
45	須恵器長頸壺	口縁部～頸部のみ欠損	底 12.2 高 (遺)29.0	ロクロ成形。外面頸部から胴部自然袖付着。	良好	灰白色	砂粒、黒色粒
46	須恵器甕	胴部片		内面あて具痕。外面平行タタキ。	良好	灰色	砂粒、白色粒
47	須恵器長頸壺	口縁部～頸部の1/2	口 (復)11.8 高 (遺)9.1	ロクロ成形。外面自然袖付着。	良好	灰白色	白色粒、黒色粒
48	須恵器蓋か	上部のみ		ロクロ成形。上部に方形のツマミをつけ、横方向に穿孔。	良好	灰白色	砂粒、白色粒
49	平瓦		厚 1.9～2.6 重 1,212.15	凹面布目痕。凸面格子状タタキ。側面ヘラケズリ。凹凸面ともに摩耗痕あり。転用磁石の可能性ある。	良好	浅黄橙色	砂粒、赤色粒
50	平瓦		厚 1.6～2.0 重 508.9	凹面布目痕。凸面格子状タタキ。側面ヘラケズリ。凹凸面ともに摩耗痕あり。転用磁石の可能性ある。	良好	灰白色	砂粒、白色粒
51	土師器甕	口縁部～胴部片		内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	良好	橙色	砂粒、石英、白色粒、赤色粒
52	土師器坏	口縁部～底部1/2	口 (復)8.4 底 5.6 高 1.5	ロクロ成形。底部穿孔。	不良	橙色	粗い砂粒、赤色粒、雲母
53	土師器高坏	坏部体部～脚部1/3	高 (遺)5.2	内面ヘラナデ。外面ヘラミガキ。	良好	浅黄色	砂粒、細かい赤色粒・白色粒
54	土鐘	完形	最大幅 1.3 最大長 3.7 孔 0.3 重 5.6		良好	にぶい黄橙色	砂粒、雲母、白色粒
55	羽口片		最大幅 6.3 最大長 6.8 最大厚 2.3 重 87.2	ガラス滓付着。	良好	内面橙色、外面灰色	砂粒、小礫、雲母
56	羽口片		最大幅 4.9 最大長 4.8 最大厚 2.7 重 73.9		良好	内面橙色、外面黄灰色	砂粒、小礫
57	木製品曲物			側面部で榫皮結合である。樹種はヒノキである。 (第4章 試料NO.3)			
58	木製品曲物			側面部で榫皮結合である。同定はしていないが、57と同様、ヒノキであると考えられる。			
59	木製品曲物		直径 17.5 厚 0.9	底板と考えられる。内面漆塗りで、樹種はヒノキである。 (第4章 試料NO.4)			
60	木製品不明部材		最大幅 26.2 高 3.1 最大厚 1.4	上部に5つの銚がとまっている。樹種はヒノキである。 (第4章 試料NO.5-5)			
61	木製品不明部材		最大幅 10.6 最大高 18.4 孔 5.3	中央に穿孔あり。樹種はヒノキである。 (第4章 試料NO.5-6)			
62	木製品斎串	下部欠損	最大幅 2.2 長 15.3 厚 0.4	上部を三角状、両側に刻み。樹種はヒノキである。 (第4章 試料NO.5-4)			
63	木製品斎串	完形	最大幅 2.2 長 25.4 厚 0.6	上部を三角状、両側に切込み。樹種はヒノキである。 (第4章 試料NO.5-2)			
64	木製品斎串	完形	最大幅 1.6 長 13.4 厚 0.4	上部を三角状。一部炭化。樹種はヒノキである。 (第4章 試料NO.5-7)			
65	木製品斎串	下部欠損	最大幅 2.0 長 14.2 厚 0.7	上部を三角状、両側に刻み。樹種はヒノキである。 (第4章 試料NO.5-1)			
66	木製品斎串	側面部一部のみ現存	最大幅 0.6 長 12.3 厚 0.3	側面部の刻みを確認。			
67	木製品斎串	上部欠損	最大幅 2.3 長 16.6 厚 0.4	樹種はヒノキである。 (第4章 試料NO.5-3)			
68	木製品斎串	上部欠損	最大幅 1.8 長 12.6 厚 0.6				
69	木製品斎串	完形	最大幅 2.1 長 22.0 厚 0.7				

表 21 SE-003 出土遺物観察表 (3)

## 古銭出土ピット

今回の調査で、古銭が出土したピットはP-239・240・245の3基である。遺構の分布状況及び出土した古銭から同一時期の遺構であると考えられる。古銭の取り上げについては、1単位と断定できるものについては単位ごと、単位が不明確なものについては一括で取り上げ本文中に記した。P-239・240から各500点強の古銭が出土しているが、1基では一貫には満たない。また、取り上げた1単位は52点から112点までと統一した点数ではないが、本報告では便宜上1単位を1縷と表記する。一覧表には、出土古銭を全点掲載している。掲載順については、1縷ごとに初鑄が古いものから並べた。そのうち状態がよいものを抽出して拓本を掲載した。拓本に付した番号は、一覧表と対応している。

### P-239 (第22・43～51図、表22)

重複関係 なし

規模・形態・構造 長軸0.5 m、短軸0.3 m、深さ0.12 m。平面形は不整な楕円形である。

遺物 古銭が出土した。詳細は一覧表にまとめた。出土状況から古銭を袋のようなものに入れてからピットの中に入れられたと考えられる。古銭は、7縷出土し、1縷が52～64枚で繊維質の紐でまとめてあった。紐については遺存状態が悪く、詳細は不明である。上層のものについては一括で取り上げているため、確認したものより1縷の点数が多い可能性が高い。出土した古銭は全524点である。出土した古銭の点数の内訳は、以下のとおりである。

1	: 1	～ 52	52点
2	: 53	～ 112	60点
3	: 113	～ 175	63点
4	: 176	～ 232	57点
5	: 233	～ 285	53点
6	: 286	～ 349	64点
7	: 350	～ 411	62点
一括	: 412	～ 524	113点

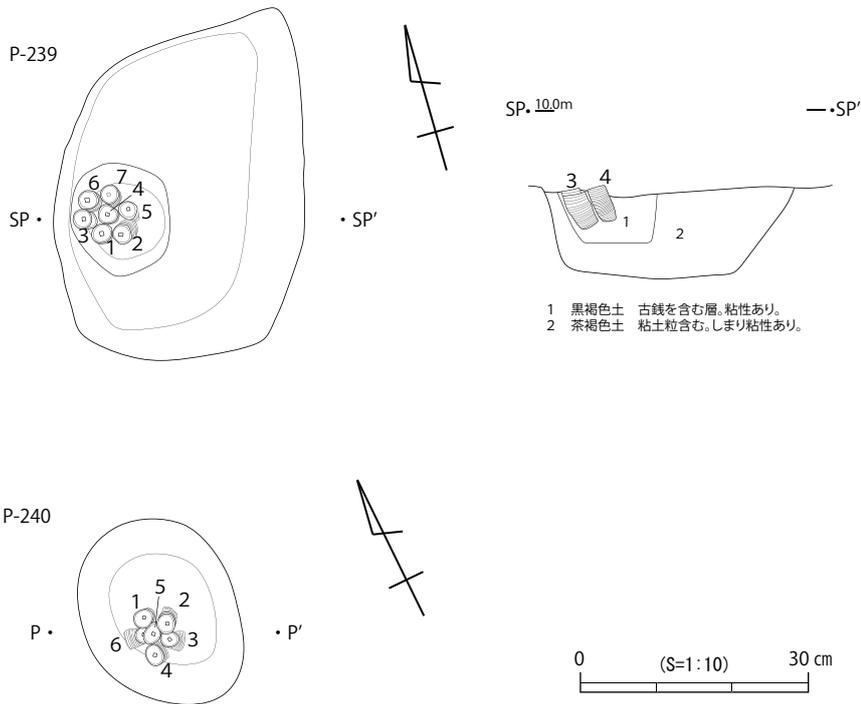
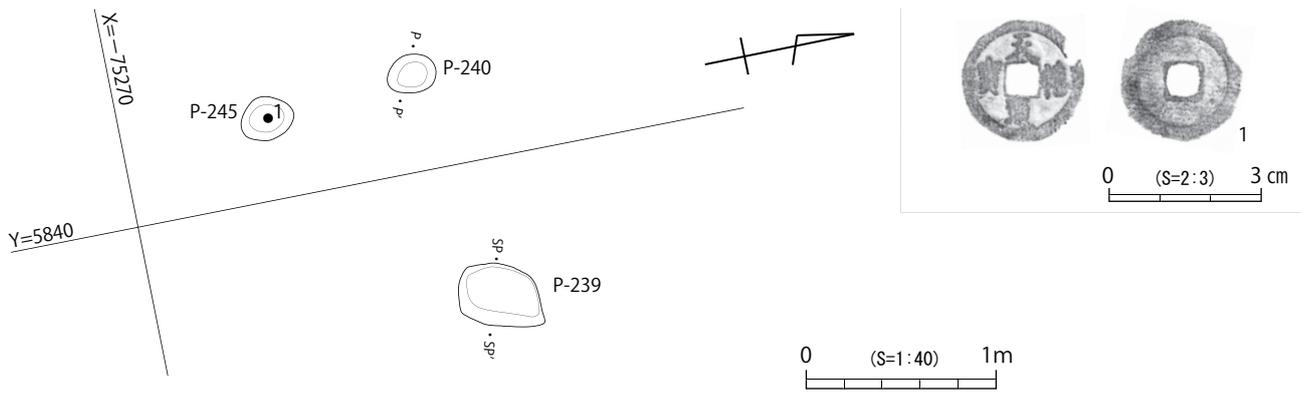
### P-240 (第22・43・52～58図、表23)

重複関係 SD-048 → P-240

規模・形態・構造 直径0.2～0.25 m、深さ0.26 m。平面形は円形である。

遺物 古銭が出土した。詳細は一覧表にまとめた。出土状況からP-239と同様で古銭を袋のようなものに入れてからピットの中に入れられたと考えられる。古銭は、6縷出土し、1縷が67～112枚で繊維質の紐でまとめてあった。紐については遺存状態が悪く、詳細は不明である。出土した古銭は全562点である。出土した古銭の点数の内訳は、以下のとおりである。

1	: 1	～ 67	67点
2	: 68	～ 179	112点
3	: 180	～ 280	101点
4	: 281	～ 365	85点



第 43 図 古銭出土ピット遺構実測図及び P-245 出土古銭

- 5 : 366 ~ 466 101 点
- 6 : 467 ~ 551 85 点
- 一括 : 552 ~ 562 11 点

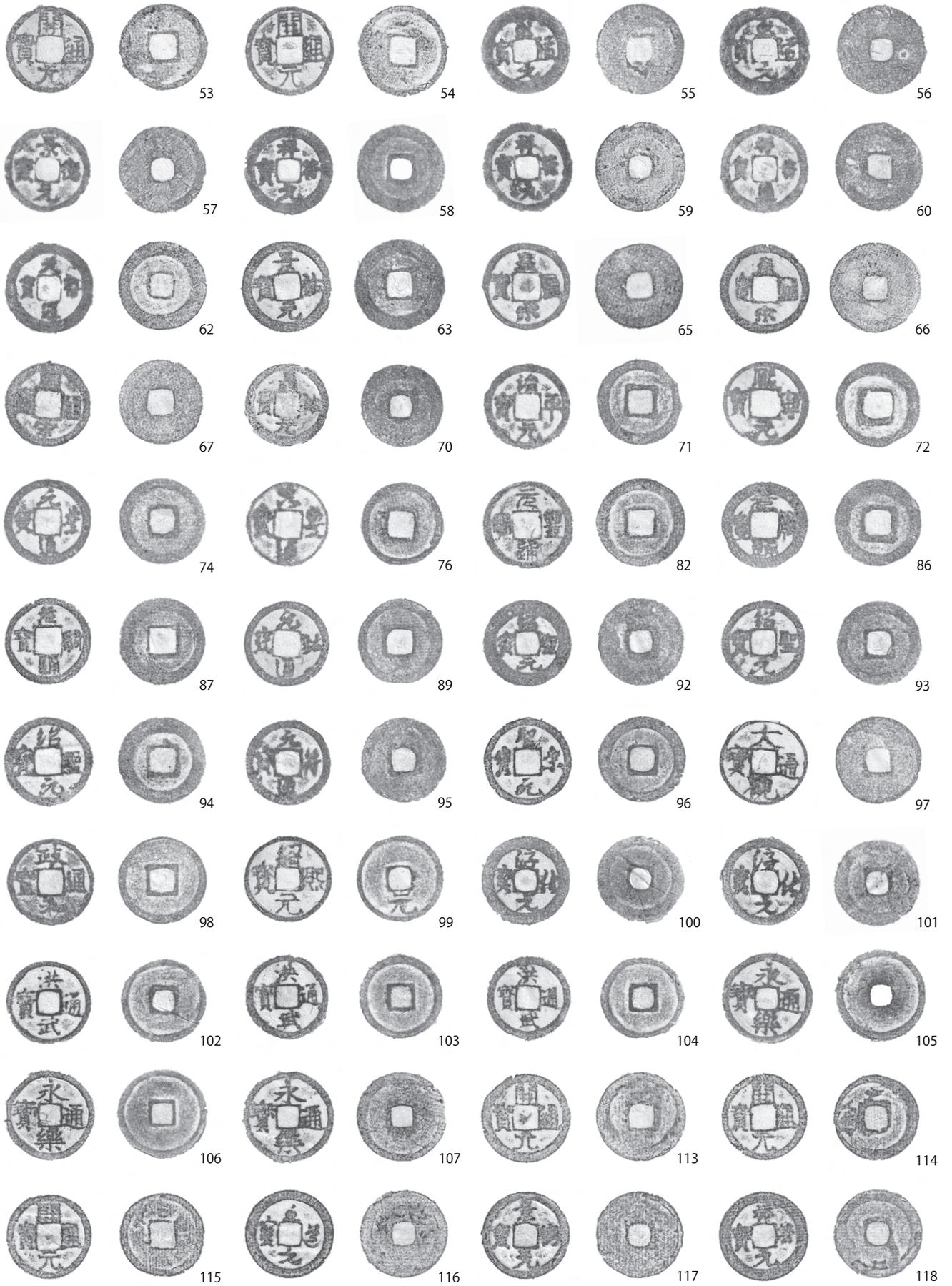
P-245 (22・43 図)

重複関係 SD-048 → P-245

規模・形態・構造 直径 0.2 ~ 0.25 m、深さ 0.26 m。平面形は円形である。

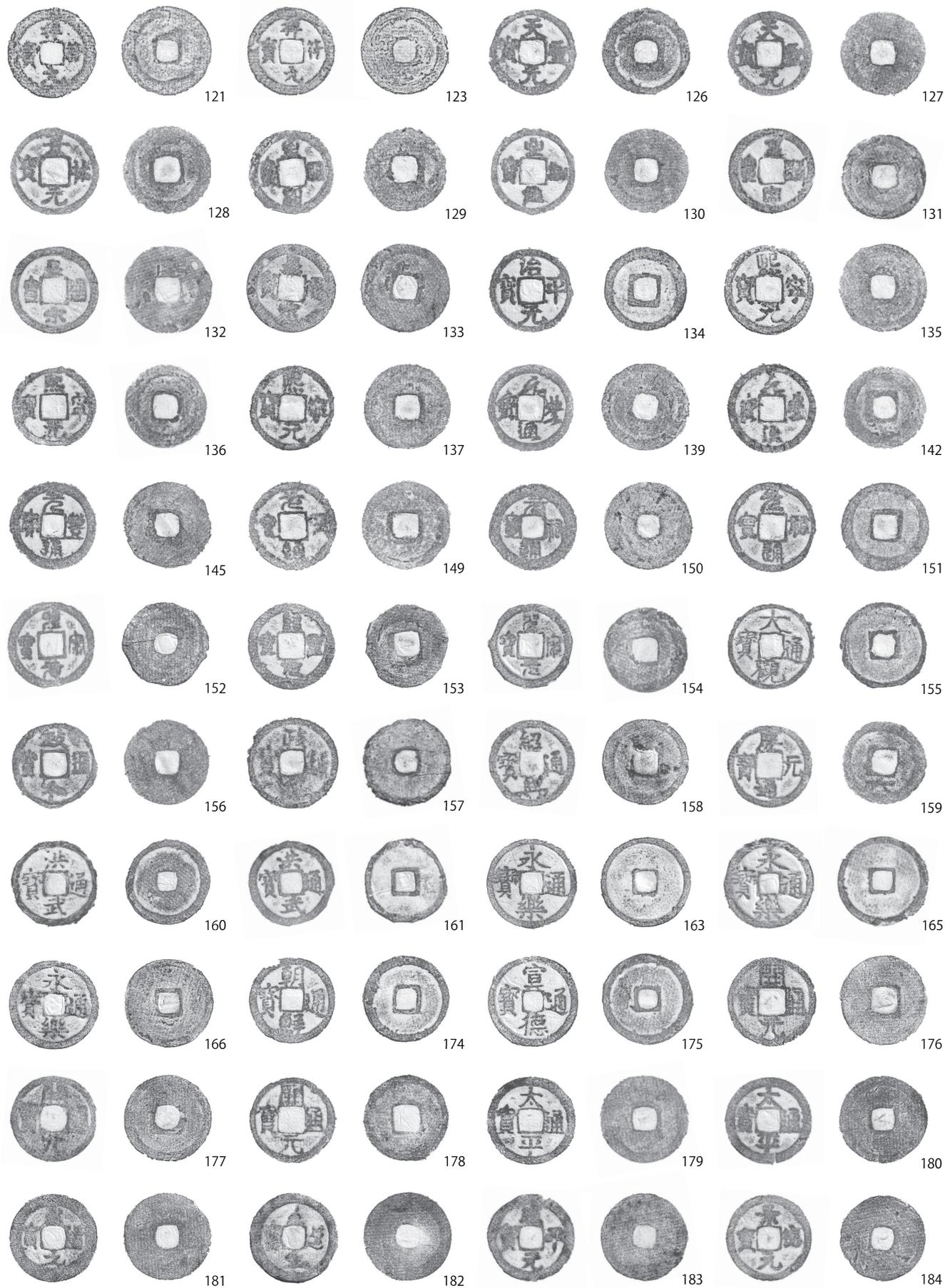
遺物 古銭が出土した。出土した古銭は 1 点で、確認面で出土した。1 は天禧通宝で、直径 2.5cm、孔径 0.6cm、重量 2.26g である。





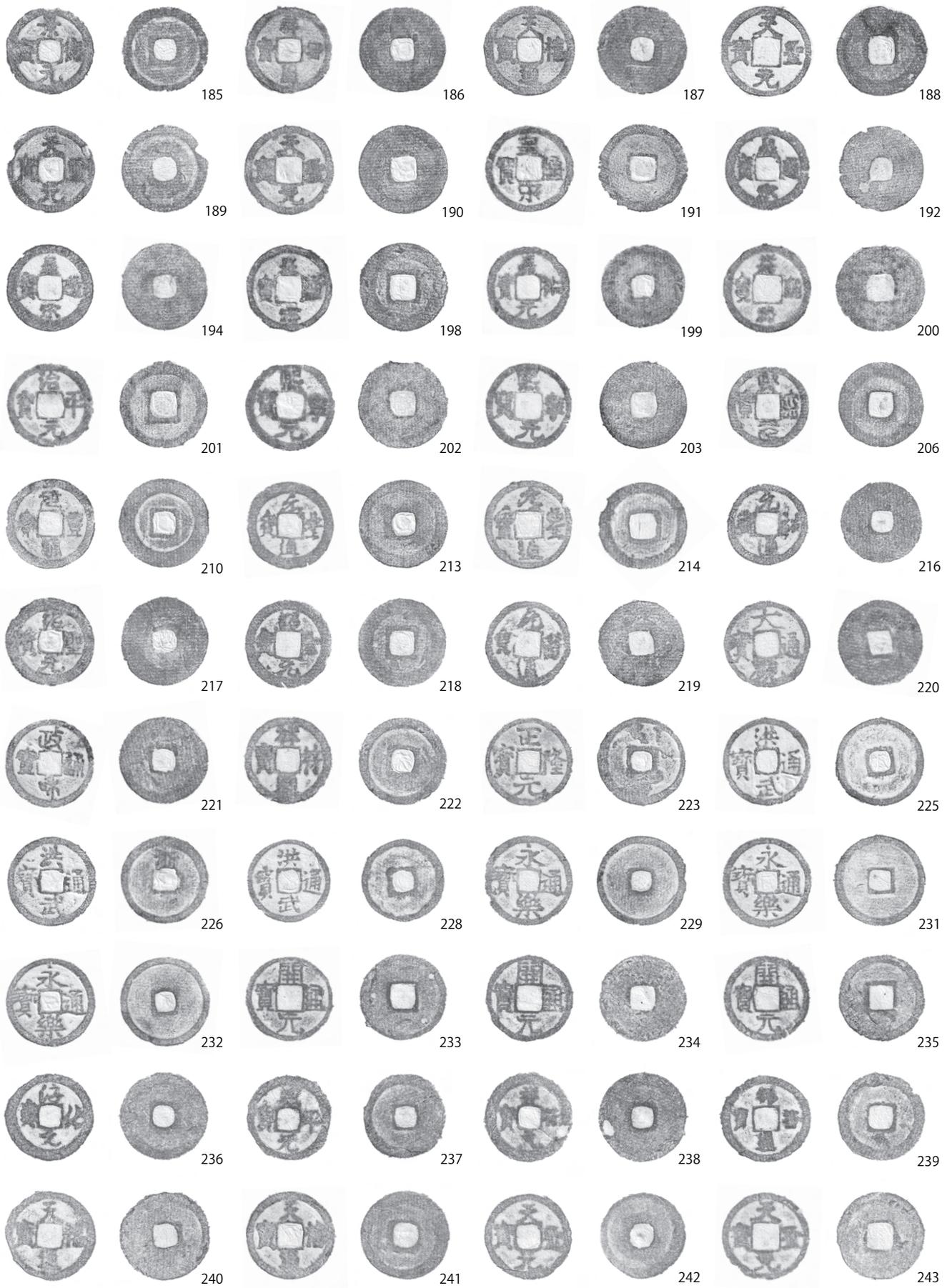
第 45 圖 P-239 出土古錢 (2)

0 (S=2:3) 3 cm



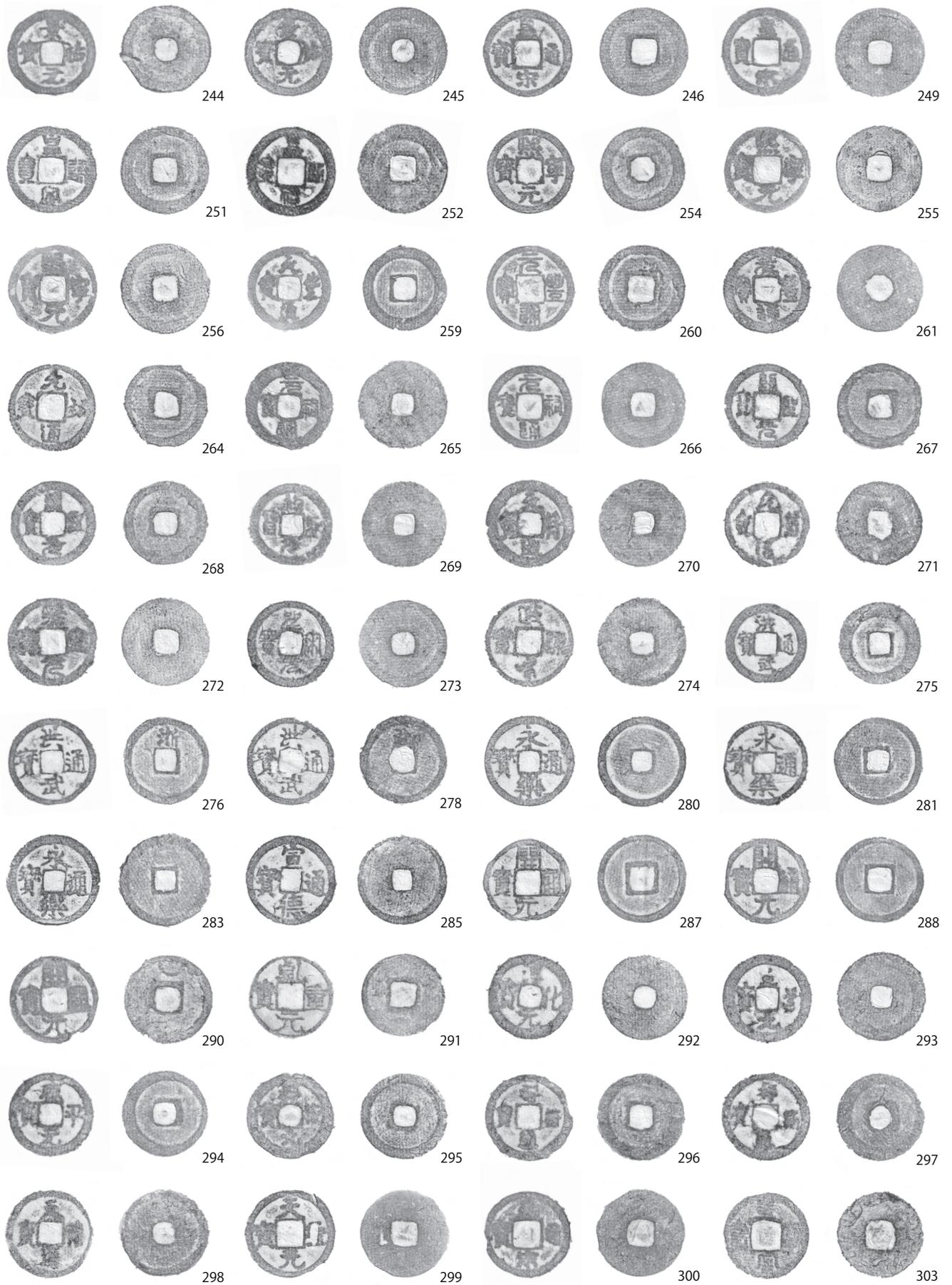
第 46 図 P-239 出土古錢 (3)

0 (S=2:3) 3 cm



0 (S=2:3) 3 cm

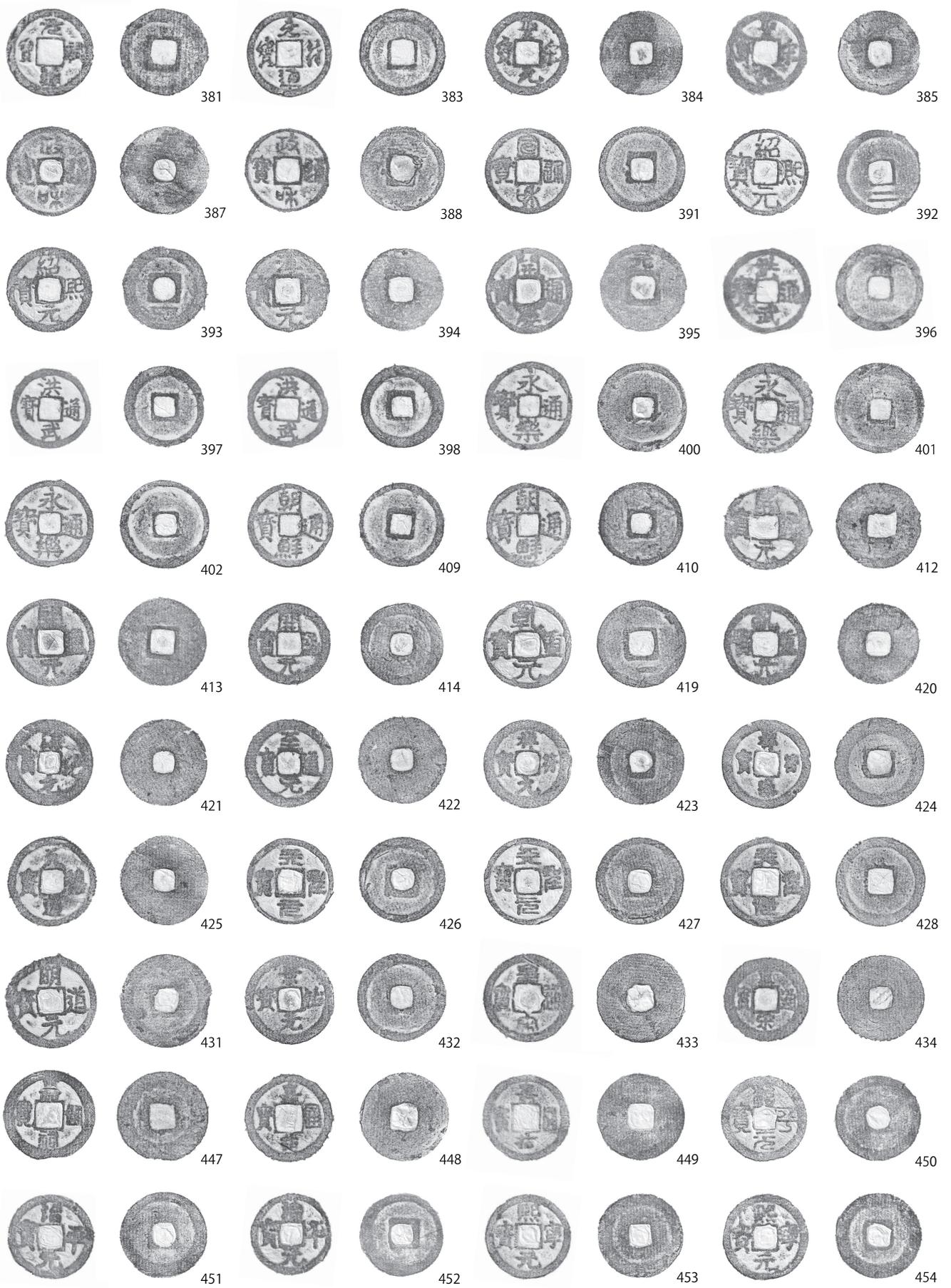
第 47 图 P-239 出土古钱 (4)



0 (s=2:3) 3 cm

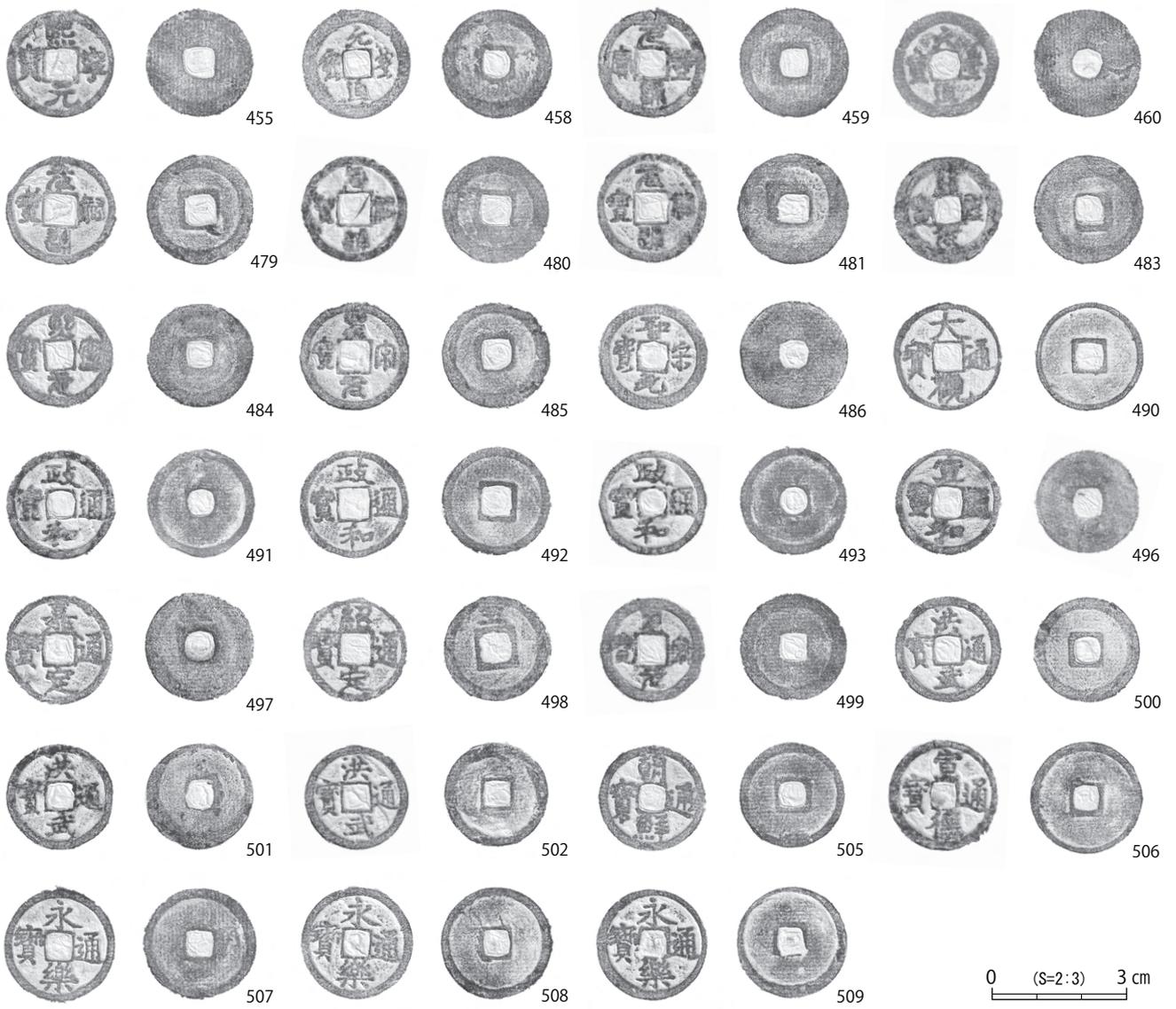
第 48 图 P-239 出土古钱 (5)





第 50 図 P-239 出土古銭 (7)

0 (S=2:3) 3 cm



第 51 図 P-239 出土古銭 (8)

NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真	NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真	NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真
1	開元通宝	2.4	0.55	2.49	○		69	皇宋通宝	2.6	0.7	3			137	熙寧元寶	2.5	0.6	2.74	○	
2	開元通宝	2.4	0.65	3.08	○	○	70	嘉祐元寶	2.4	0.6	3.52	○	○	138	元豐通寶	2.5	0.55	3.44		
3	唐國通寶	2.6	0.5	3.6	○	○	71	治平元寶	2.5	0.7	2.65	○	○	139	元豐通寶	2.5	0.6	4.14	○	○
4	宋通元寶	2.65	0.6	3.36	○	○	72	熙寧元寶	2.5	0.7	3.39	○	○	140	元豐通寶	2.6	0.6	3.78		
5	太平通寶	2.5	0.65	2.51	○	○	73	元豐通寶	2.5	0.6	3.75			141	元豐通寶	2.45	0.6	3.49		
6	至道元寶	2.5	0.6	3.57	○		74	元豐通寶	2.5	0.7	3.35	○		142	元豐通寶	2.5	0.6	3.52	○	
7	至道元寶	2.5	0.55	2.91	○	○	75	元豐通寶	2.5	0.7	3.08			143	元豐通寶	2.4	0.55	3.32		
8	祥符通寶	2.6	0.7	3.76	○		76	元豐通寶	2.4	0.7	2.22	○		144	元豐通寶	2.6	0.7	2.43		
9	天禧通寶	2.5	0.7	2.55	○	○	77	元豐通寶	2.6	0.7	2.75			145	元豐通寶	2.5	0.5	3.88	○	
10	天禧通寶	2.6	0.7	3.76	○	○	78	元豐通寶	2.55	0.65	3.63			146	元豐通寶	2.5	0.6	3.31		
11	天禧通寶	2.3	0.7	2.53	○		79	元豐通寶	2.5	0.6	3.76			147	元豐通寶	2.5	0.6	2.74		
12	景祐元寶	2.6	0.6	3.44	○		80	元豐通寶	2.6	0.7	2.47			148	元祐通寶	2.5	0.55	3.42		
13	景祐元寶	2.6	0.7	3.41	○	○	81	元豐通寶	2.5	0.7	2.85			149	元祐通寶	2.55	0.6	3.05	○	
14	皇宋通寶	2.5	0.7	2.58	○	○	82	元豐通寶	2.6	0.7	2.96	○	○	150	元祐通寶	2.5	0.55	2.8	○	
15	皇宋通寶	2.5	0.7	2.92			83	元豐通寶	2.5	0.7	3.79			151	元祐通寶	2.55	0.6	3.6	○	○
16	皇宋通寶	2.45	0.7	2.6	○		84	元豐通寶	2.5	0.6	3.48			152	紹聖元寶	2.5	0.6	3.1	○	○
17	嘉祐通寶	2.5	0.75	2.51	○	○	85	元祐通寶	2.5	0.7	4.22			153	聖宋元寶	2.5	0.6	3.69	○	
18	嘉祐通寶	2.6	0.65	3.12	○		86	元祐通寶	2.6	0.75	3.43	○	○	154	聖宋元寶	2.5	0.6	2.96	○	○
19	嘉祐通寶	2.4	0.6	3.18	○		87	元祐通寶	2.6	0.7	3.46	○		155	大觀通寶	2.5	0.6	4.08	○	○
20	熙寧元寶	2.55	0.6	3.15	○		88	元祐通寶	2.6	0.7	3.9			156	政和通寶	2.45	0.6	3.22	○	○
21	熙寧元寶	2.4	0.65	4.65	○		89	元祐通寶	2.5	0.65	3.17	○		157	政和通寶	2.65	0.6	3.3	○	
22	熙寧元寶	2.5	0.65	3.45	○		90	元祐通寶	2.6	0.5	4.38			158	紹興通寶	2.5	0.6	2.3	○	○
23	熙寧元寶	2.4	0.6	3.23	○	○	91	紹聖元寶	2.5	0.6	4.12			159	慶元通寶	2.4	0.6	2.71	○	○
24	熙寧元寶	2.3	0.55	3.71	○		92	紹聖元寶	2.5	0.6	3.36	○		160	洪武通寶	2.5	0.5	4.16	○	○
25	元豐通寶	2.4	0.6	3.8	○	○	93	紹聖元寶	2.4	0.6	3.15	○	○	161	洪武通寶	2.5	0.55	3.51	○	
26	元豐通寶	2.55	0.65	3.73	○		94	紹聖元寶	2.6	0.7	3.4	○		162	永樂通寶	2.6	0.6	3.62		
27	元豐通寶	2.4	0.7	2.32			95	元符通寶	2.5	0.7	2.75	○	○	163	永樂通寶	2.6	0.6	3.76	○	○
28	元豐通寶	2.55	0.65	3.11	○		96	聖宋元寶	2.5	0.7	2.86	○	○	164	永樂通寶	2.6	0.6	2.93		
29	元祐通寶	2.45	0.6	3.08	○		97	大觀通寶	2.6	0.7	3.78	○	○	165	永樂通寶	2.6	0.55	3.41	○	
30	元祐通寶	2.5	0.7	2.87	○		98	政和通寶	2.5	0.7	3.74	○	○	166	永樂通寶	2.5	0.6	2.64	○	
31	元祐通寶	2.55	0.65	3.67	○	○	99	紹興元寶	2.5	0.6	3.24	○	○	167	永樂通寶	2.6	0.6	3.71		
32	紹聖元寶	2.5	0.7	2.67	○		100	淳祐元寶	2.5	0.6	3.08	○	○	168	永樂通寶	2.6	0.5	3.76		
33	紹聖元寶	2.55	0.6	3.24	○	○	101	淳祐元寶	2.6	0.6	2.61	○		169	永樂通寶	2.6	0.5	2.53		
34	紹聖元寶	2.4	0.7	2.37	○		102	洪武通寶	2.4	0.6	3.68	○	○	170	永樂通寶	2.6	0.55	3.15		
35	元符通寶	2.5	0.6	2.64	○	○	103	洪武通寶	2.4	0.6	3.56	○		171	永樂通寶	2.55	0.55	4.08		
36	聖宋元寶	2.5	0.65	2.9	○		104	洪武通寶	2.4	0.6	3.31	○	○	172	永樂通寶	2.55	0.55	3.32		
37	聖宋元寶	2.45	0.65	2.53	○	○	105	永樂通寶	2.7	0.6	3.65	○		173	永樂通寶	2.6	0.5	3.81		
38	政和通寶	2.5	0.65	3.91	○		106	永樂通寶	2.7	0.6	3.68	○		174	朝鮮通寶	2.45	0.55	3.71	○	○
39	政和通寶	2.6	0.6	3.43	○	○	107	永樂通寶	2.6	0.7	3.49	○		175	宣德通寶	2.6	0.5	3.68	○	○
40	宣和通寶	2.5	0.6	3.65	○	○	108	不明	2.5	0.7	2.92			176	開元通寶	2.55	0.6	3.08	○	
41	洪武通寶	2.5	0.55	4.2	○	○	109	不明	2.7	0.7	3.5			177	開元通寶	2.45	0.6	3.29	○	
42	洪武通寶	2.4	0.65	3.79	○		110	不明	2.6	0.7	3.55			178	開元通寶	2.4	0.6	3.01	○	○
43	洪武通寶	2.3	0.65	3.22	○		111	不明	2.6	0.7	3.9			179	太平通寶	2.5	0.55	2.63	○	○
44	永樂通寶	2.55	0.55	3.57	○	○	112	不明	2.5	0.7	2.33			180	太平通寶	2.5	0.6	2.67	○	○
45	永樂通寶	2.55	0.55	3.47			113	開元通寶	2.55	0.6	3.02	○		181	至道元寶	2.5	0.6	3.17	○	
46	永樂通寶	2.5	0.55	3.83			114	開元通寶	2.5	0.6	3.58	○	○	182	至道元寶	2.5	0.6	3.47	○	○
47	永樂通寶	2.55	0.55	3.71	○		115	開元通寶	2.5	0.7	2.8	○		183	咸平元寶	2.5	0.6	2.96	○	○
48	永樂通寶	2.55	0.6	3.18			116	至道元寶	2.5	0.55	3.17	○	○	184	景德元寶	2.45	0.55	3.2	○	○
49	永樂通寶	2.5	0.6	3.69	○		117	景德元寶	2.5	0.6	3.36	○	○	185	景德元寶	2.5	0.5	2.75	○	
50	永樂通寶	2.5	0.65	3.52			118	祥符元寶	2.5	0.55	3.51	○		186	祥符通寶	2.5	0.6	3.84	○	○
51	不明	2.5	0.65	3.04			119	祥符元寶	2.55	0.55	3.46			187	天禧通寶	2.5	0.6	3.07	○	○
52	不明	2.6	0.65	2.69			120	祥符元寶	2.65	0.6	3.8			188	天聖元寶	2.55	0.6	3.33	○	○
53	開元通寶	2.5	0.7	2.62	○		121	祥符元寶	2.6	0.55	3.5	○		189	天聖元寶	2.5	0.6	2.81	○	
54	開元通寶	2.6	0.7	3.14	○	○	122	祥符元寶	2.55	0.55	3.66			190	天聖元寶	2.5	0.65	3.16	○	
55	至道元寶	2.6	0.6	3.49	○	○	123	祥符元寶	2.5	0.55	3.26	○	○	191	皇宋通寶	2.5	0.6	2.38	○	○
56	至道元寶	2.5	0.6	3.19	○		124	祥符元寶	2.55	0.6	2.65			192	皇宋通寶	2.5	0.5	2.93	○	
57	景德元寶	2.55	0.55	2.7	○	○	125	祥符元寶	2.45	0.6	1.93			193	皇宋通寶	2.5	0.6	3.19		
58	祥符元寶	2.6	0.6	3.67	○	○	126	天聖元寶	2.5	0.6	3.41	○		194	皇宋通寶	2.5	0.5	3.19	○	
59	祥符元寶	2.6	0.6	3.57	○		127	天聖元寶	2.5	0.6	2.54	○	○	195	皇宋通寶	2.5	0.55	3.37		
60	祥符通寶	2.55	0.8	3.07	○		128	景德元寶	2.5	0.7	3.21	○	○	196	皇宋通寶	2.5	0.7	2.83		
61	祥符通寶	2.6	0.7	3.61			129	至和通寶	2.5	0.65	3.15	○		197	皇宋通寶	2.5	0.5	2.94		
62	天禧通寶	2.55	0.6	4.18	○	○	130	至和通寶	2.45	0.6	3.27	○	○	198	至和通寶	2.5	0.65	3	○	○
63	景祐元寶	2.6	0.7	3.11	○	○	131	皇宋通寶	2.45	0.65	3.53	○		199	嘉祐元寶	2.4	0.55	3.54	○	○
64	皇宋通寶	2.6	0.8	2.94			132	皇宋通寶	2.55	0.65	3.36	○	○	200	嘉祐通寶	2.5	0.6	2.92	○	○
65	皇宋通寶	2.6	0.7	3.13	○	○	133	皇宋通寶	2.55	0.55	3.68	○		201	治平元寶	2.5	0.7	3.03	○	○
66	皇宋通寶	2.6	0.7	3.5	○		134	治平元寶	2.4	0.6	2.91	○	○	202	熙寧元寶	2.5	0.6	3.53	○	
67	皇宋通寶	2.5	0.7	3.11	○		135	熙寧元寶	2.6	0.6	4.37	○	○	203	熙寧元寶	2.5	0.6	3.33	○	
68	皇宋通寶	2.5	0.6	3.03			136	熙寧元寶	2.4	0.6	3.45	○		204	熙寧元寶	2.5	0.6	3.69		

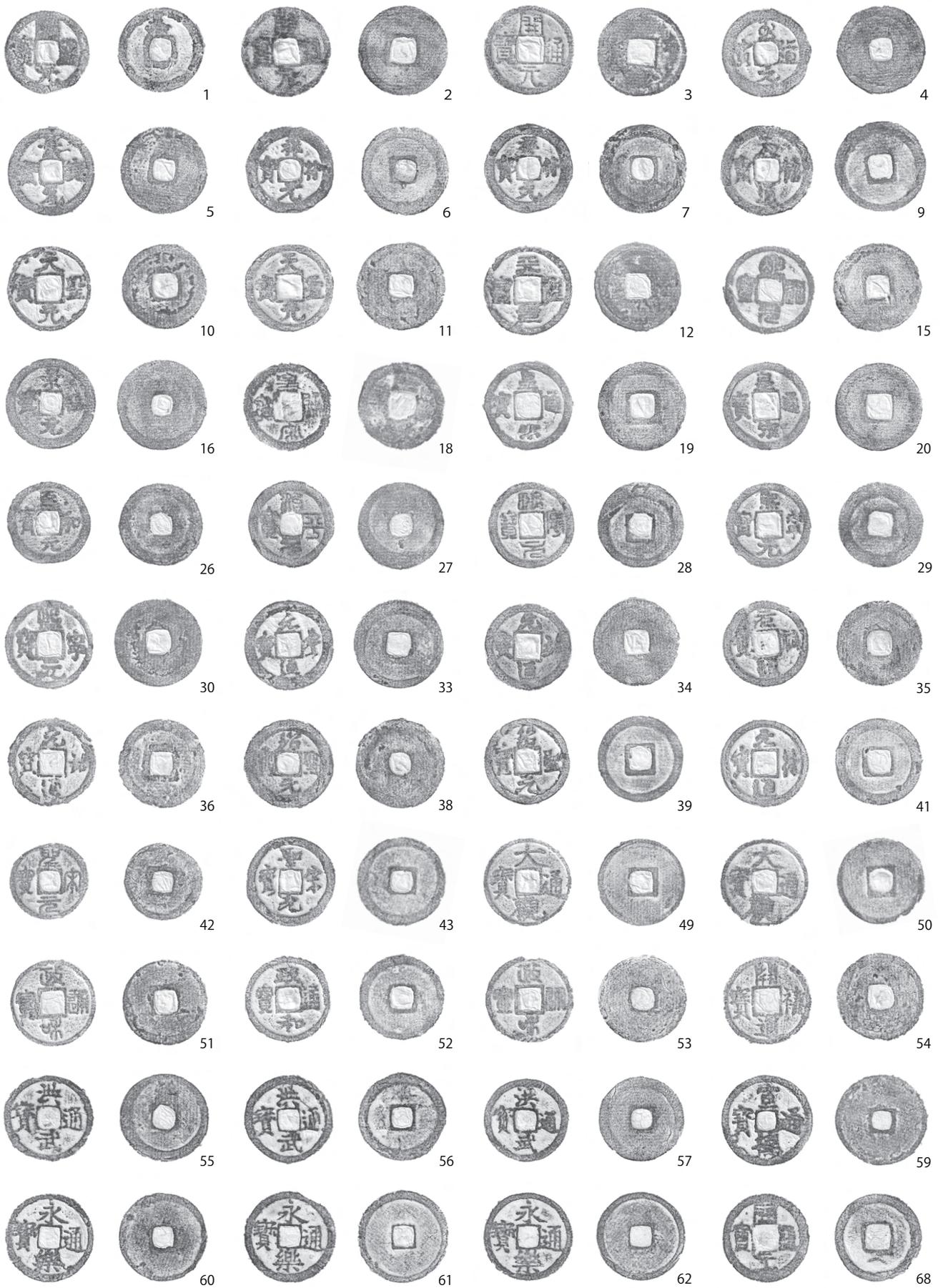
表 22 P-239 出土古錢觀察表 (1)

NO	種類	直徑 (cm)	孔徑 (cm)	重量 (g)	拓本	写真	NO	種類	直徑 (cm)	孔徑 (cm)	重量 (g)	拓本	写真	NO	種類	直徑 (cm)	孔徑 (cm)	重量 (g)	拓本	写真
205	熙寧元宝	2.45	0.5	3.17			273	聖宋元宝	2.5	0.6	3.02	○	○	341	永樂通寶	2.6	0.55	3.36		
206	熙寧元宝	2.45	0.55	3.03	○	○	274	政和通寶	2.5	0.55	3.61	○	○	342	永樂通寶	2.6	0.5	3.51		
207	熙寧元宝	2.5	0.65	3.04			275	洪武通寶	2.35	0.6	3.49	○	○	343	永樂通寶	2.6	0.6	3.85		
208	熙寧元宝	2.5	0.6	3.98			276	洪武通寶	2.55	0.6	3.28	○	○	344	永樂通寶	2.5	0.55	3.44	○	
209	元豐通寶	2.6	0.7	3.6			277	洪武通寶	2.4	0.6	2.99			345	永樂通寶	2.6	0.55	3.86		
210	元豐通寶	2.5	0.6	3.6	○		278	洪武通寶	2.5	0.65	3.33	○	○	346	永樂通寶	2.5	0.55	3.49	○	
211	元豐通寶	2.6	0.55	2.87			279	洪武通寶	2.5	0.6	2.5			347	永樂通寶	2.5	0.5	4.07	○	○
212	元豐通寶	2.5	0.6	3.13			280	永樂通寶	2.5	0.55	3.78	○		348	宣德通寶	2.6	0.5	3.75	○	○
213	元豐通寶	2.4	0.55	3.24	○	○	281	永樂通寶	2.5	0.5	3.36	○	○	349	不明	2.5	0.65	2.75		
214	元豐通寶	2.5	0.6	3.05	○		282	永樂通寶	2.55	0.5	3.6			350	開元通寶	2.1	0.6	2.35	○	○
215	元豐通寶	2.3	0.65	2.41			283	永樂通寶	2.65	0.6	3.62	○		351	開元通寶	2.5	0.6	3.01	○	
216	元祐通寶	2.25	0.45	2.81	○	○	284	永樂通寶	2.55	0.55	3.22			352	開元通寶	2.4	0.7	2.68	○	
217	紹聖元宝	2.45	0.5	2.69	○	○	285	宣德通寶	2.6	0.65	3.55	○		353	開元通寶	2.5	0.6	2.82		
218	紹聖元宝	2.5	0.6	3.39	○		286	開元通寶	2.4	0.65	2.99			354	開元通寶	2.5	0.6	2.56		
219	元符通寶	2.4	0.6	2.59	○	○	287	開元通寶	2.55	0.6	3.79	○	○	355	淳化元宝	2.45	0.6	3.27	○	○
220	大觀通寶	2.45	0.55	2.81	○	○	288	開元通寶	2.45	0.6	3.46	○		356	咸平元宝	2.5	0.55	3.67	○	○
221	政和通寶	2.5	0.55	3.5	○	○	289	開元通寶	2.6	0.7	3.11			357	祥符通寶	2.6	0.55	3.24	○	○
222	祥符通寶	2.5	0.5	3.59	○	○	290	開元通寶	2.5	0.7	2.87	○		358	祥符通寶	2.6	0.6	3.17		
223	正隆元宝	2.5	0.5	3.52	○	○	291	軋元重寶	2.4	0.6	2.34	○	○	359	天禧通寶	2.6	0.55	4.09	○	○
224	洪武通寶	2.4	0.55	3.62			292	淳化元宝	2.45	0.5	3.27	○	○	360	天聖元宝	2.5	0.5	3.12	○	○
225	洪武通寶	2.55	0.5	4.36	○		293	至道元宝	2.5	0.55	3.48	○	○	361	天聖元宝	2.5	0.6	2.86	○	
226	洪武通寶	2.55	0.55	3.4	○	○	294	咸平元宝	2.4	0.55	3.16	○	○	362	明道元宝	2.6	0.6	4.24	○	○
227	洪武通寶	2.45	0.45	3.35			295	祥符元宝	2.4	0.55	3.3	○	○	363	景祐元宝	2.5	0.55	3.26	○	○
228	洪武通寶	2.4	0.5	3.28	○		296	祥符通寶	2.5	0.55	3.16	○	○	364	皇宋通寶	2.5	0.7	2.97	○	
229	永樂通寶	2.5	0.5	3.12	○		297	祥符通寶	2.5	0.6	3.23	○	○	365	皇宋通寶	2.5	0.8	2.89	○	○
230	永樂通寶	2.5	0.6	2.96			298	天禧通寶	2.5	0.6	3.55	○	○	366	皇宋通寶	2.4	0.6	2.97	○	
231	永樂通寶	2.55	0.55	3.5	○	○	299	天聖元宝	2.5	0.65	2.66	○	○	367	皇宋通寶	2.5	0.7	3.35		
232	永樂通寶	2.5	0.5	2.87	○		300	皇宋通寶	2.5	0.65	2.78	○		368	皇宋通寶	2.5	0.7	2.86		
233	開元通寶	2.5	0.65	2.58	○	○	301	皇宋通寶	2.5	0.7	2.48			369	皇宋通寶	2.5	0.6	3.21		
234	開元通寶	2.5	0.65	2.62	○		302	皇宋通寶	2.45	0.65	2.4			370	皇宋通寶	2.5	0.5	3.45		
235	開元通寶	2.5	0.5	2.82	○		303	皇宋通寶	2.5	0.7	2.26	○		371	嘉祐元宝	2.4	0.65	3.62	○	○
236	淳化元宝	2.5	0.6	3.46	○	○	304	皇宋通寶	2.5	0.7	3.55	○	○	372	嘉祐通寶	2.55	0.7	3.44	○	
237	咸平元宝	2.45	0.6	3.32	○	○	305	嘉祐通寶	2.45	0.6	3.74	○	○	373	嘉祐通寶	2.5	0.65	3.79	○	○
238	祥符元宝	2.55	0.55	2.93	○	○	306	治平元宝	2.5	0.6	4.11	○	○	374	熙寧元宝	2.5	0.6	3.32	○	
239	祥符通寶	2.55	0.6	2.88	○	○	307	治平元宝	2.5	0.6	3.11	○		375	熙寧元宝	2.4	0.65	3.04	○	○
240	天禧通寶	2.6	0.6	2.89	○		308	熙寧元宝	2.45	0.6	4.06			376	元豐通寶	2.5	0.5	3.39	○	○
241	天禧通寶	2.5	0.6	3.38	○	○	309	熙寧元宝	2.6	0.65	3.98	○	○	377	元豐通寶	2.5	0.55	3.36	○	
242	天聖元宝	2.5	0.6	3.5	○		310	熙寧元宝	2.4	0.6	2.7			378	元豐通寶	2.5	0.6	3.42		
243	天聖元宝	2.5	0.65	2.69	○	○	311	熙寧元宝	2.5	0.6	3.62	○		379	元豐通寶	2.6	0.7	2.62		
244	景祐元宝	2.55	0.6	3.43	○	○	312	熙寧元宝	2.4	0.55	2.61			380	元祐通寶	2.5	0.6	2.95	○	
245	景祐元宝	2.55	0.6	2.71	○		313	熙寧元宝	2.5	0.65	2.58			381	元祐通寶	2.5	0.6	3.38	○	○
246	皇宋通寶	2.5	0.6	2.41	○		314	熙寧元宝	2.5	0.6	3.08			382	元祐通寶	2.55	0.5	3.19		
247	皇宋通寶	2.55	0.7	2.78			315	熙寧元宝	2.4	0.55	2.59			383	元符通寶	2.55	0.55	3.49	○	○
248	皇宋通寶	2.55	0.7	4.2			316	熙寧元宝	2.4	0.55	5.11			384	聖宋元宝	2.4	0.55	2.82	○	○
249	皇宋通寶	2.6	0.65	3.16	○		317	元豐通寶	2.5	0.6	4.24			385	聖宋元宝	2.4	0.6	3.19	○	
250	皇宋通寶	2.5	0.7	2.86			318	元豐通寶	2.55	0.7	2.45	○	○	386	聖宋元宝	2.5	0.6	3.27		
251	皇宋通寶	2.55	0.65	3.08	○	○	319	元豐通寶	2.4	0.6	2.84			387	政和通寶	2.6	0.6	2.16	○	
252	嘉祐通寶	2.55	0.65	3.02	○	○	320	元豐通寶	2.4	0.6	2.98			388	政和通寶	2.4	0.6	2.61	○	○
253	熙寧元宝	2.5	0.65	2.85			321	元豐通寶	2.5	0.65	2.84	○		389	政和通寶	2.5	0.5	3.04		
254	熙寧元宝	2.45	0.65	3.08	○	○	322	元豐通寶	2.5	0.7	3.66	○		390	政和通寶	2.5	0.6	3.69		
255	熙寧元宝	2.5	0.65	3.99	○		323	元祐通寶	2.5	0.65	3.02			391	宣和通寶	2.45	0.5	3.27	○	○
256	熙寧元宝	2.6	0.7	3.41	○		324	元祐通寶	2.4	0.55	3.85	○	○	392	紹熙元宝	2.5	0.6	2.81	○	○
257	元豐通寶	2.55	0.6	3.23			325	元祐通寶	2.5	0.6	2.5			393	紹熙元宝	2.4	0.5	3.12	○	
258	元豐通寶	2.5	0.65	2.6			326	元祐通寶	2.5	0.6	2.88			394	淳祐元宝	2.4	0.6	2.85	○	○
259	元豐通寶	2.45	0.6	3.15	○		327	元祐通寶	2.5	0.6	2.37			395	開慶通寶	2.5	0.5	3.19	○	○
260	元豐通寶	2.45	0.65	3.02	○	○	328	紹聖元宝	2.4	0.6	4.23	○		396	洪武通寶	2.5	0.5	3.34	○	
261	元豐通寶	2.45	0.65	3.04	○		329	紹聖元宝	2.5	0.7	2.35			397	洪武通寶	2.3	0.5	3.66	○	○
262	元豐通寶	2.5	0.6	3.46			330	紹聖元宝	2.4	0.65	3.54	○	○	398	洪武通寶	2.4	0.5	3.71	○	
263	元豐通寶	2.45	0.6	2.77			331	紹聖元宝	2.5	0.55	3.76	○		399	洪武通寶	2.4	0.5	2.97		
264	元祐通寶	2.5	0.65	3.83	○		332	紹聖元宝	2.5	0.5	3.54			400	永樂通寶	2.5	0.5	3.63	○	
265	元祐通寶	2.5	0.6	2.78	○		333	聖宋元宝	2.5	0.5	2.84	○	○	401	永樂通寶	2.6	0.5	3.56	○	
266	元祐通寶	2.5	0.6	3.13	○	○	334	聖宋元宝	2.4	0.65	3.16			402	永樂通寶	2.5	0.5	3.34	○	○
267	紹聖元宝	2.55	0.65	3.38	○	○	335	政和通寶	2.5	0.5	4.11	○	○	403	永樂通寶	2.5	0.5	3.4		
268	紹聖元宝	2.45	0.55	3.8	○		336	洪武通寶	2.35	0.55	3.76			404	永樂通寶	2.5	0.5	3.79		
269	紹聖元宝	2.5	0.55	4.72	○		337	洪武通寶	2.5	0.6	3.53			405	永樂通寶	2.5	0.5	2.86		
270	元符通寶	2.55	0.65	3.79	○	○	338	洪武通寶	2.4	0.5	3.56	○		406	永樂通寶	2.5	0.5	3.49		
271	元符通寶	2.45	0.65	3.42	○		339	洪武通寶	2.5	0.6	2.98	○	○	407	永樂通寶	2.5	0.5	2.73		
272	聖宋元宝	2.5	0.65	3.11	○		340	洪武通寶	2.4	0.5	4.57	○		408	永樂通寶	2.5	0.5	3.37		

表 22 P-239 出土古錢觀察表 (2)

NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真	NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真	NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真
409	朝鮮通宝	2.4	0.5	3.43	○	○	448	嘉祐通宝	2.5	0.7	2.72	○	○	488	聖宋元宝	2.4	0.5	2.8		
410	朝鮮通宝	2.4	0.5	3.79	○		449	嘉祐通宝	2.5	0.6	3.73	○		489	聖宋元宝	2.4	0.7	2.74		
411	不明	2.5	0.5	2.72			450	治平元宝	2.4	0.5	2.54	○	○	490	大觀通宝	2.5	0.6	3.75	○	○
412	開元通宝	2.4	0.6	3.09	○		451	治平元宝	2.4	0.6	3.57	○	○	491	政和通宝	2.5	0.5	2.91	○	
413	開元通宝	2.5	0.5	3.02	○		452	治平元宝	2.4	0.5	3.75	○		492	政和通宝	2.5	0.6	3.21	○	○
414	開元通宝	2.3	0.5	2.9	○	○	453	熙寧元宝	2.4	0.5	3.39	○		493	政和通宝	2.4	0.6	3.32	○	
415	開元通宝	2.5	0.5	2.45			454	熙寧元宝	2.4	0.7	3.35	○	○	494	政和通宝	2.5	0.6	2.43		
416	開元通宝	2.3	0.6	2.78			455	熙寧元宝	2.4	0.6	3.19	○		495	政和通宝	2.3	0.6	3.35		
417	開元通宝	2.5	0.6	3.28			456	熙寧元宝	2.5	0.6	4.31			496	宣和通宝	2.4	0.5	2.88	○	○
418	開元通宝	2.4	0.6	2.73			457	熙寧元宝	2.5	0.7	3.53			497	嘉定通宝	2.5	0.7	3.16	○	○
419	札元重宝	2.5	0.6	2.62	○	○	458	元豐通宝	2.5	0.5	4.03	○	○	498	紹定通宝	2.3	0.6	3.59	○	○
420	札元重宝	2.4	0.6	3.12	○		459	元豐通宝	2.5	0.6	3.36	○	○	499	皇宋元宝	2.5	0.5	4.35	○	○
421	淳化元宝	2.5	0.5	3.49	○	○	460	元豐通宝	2.4	0.6	3.5	○		500	洪武通宝	2.4	0.5	3.77	○	
422	至道元宝	2.5	0.5	2.88	○	○	461	元豐通宝	2.4	0.6	4.1			501	洪武通宝	2.4	0.5	3.35	○	
423	祥符元宝	2.5	0.5	3.49	○	○	462	元豐通宝	2.5	0.6	2.78			502	洪武通宝	2.4	0.5	3.65	○	○
424	祥符通宝	2.5	0.5	3.09	○	○	463	元豐通宝	2.5	0.5	3.6			503	洪武通宝	2.5	0.6	3.88		
425	天禧通宝	2.6	0.5	3.42	○	○	464	元豐通宝	2.4	0.6	3.66			504	洪武通宝	2.3	0.5	3.06		
426	天聖元宝	2.4	0.5	3.53	○		465	元豐通宝	2.5	0.6	3.83			505	朝鮮通宝	2.4	0.5	3.69	○	○
427	天聖元宝	2.5	0.5	3.44	○	○	466	元豐通宝	2.5	0.6	3.6			506	宣德通宝	2.7	0.5	4.23	○	○
428	天聖元宝	2.5	0.6	4.14	○		467	元豐通宝	2.4	0.5	3.14			507	永樂通宝	2.5	0.5	3.32	○	○
429	天聖元宝	2.5	0.6	2.31			468	元豐通宝	2.5	0.6	3.41			508	永樂通宝	2.5	0.5	3.65	○	
430	天聖元宝	2.5	0.5	2.84			469	元豐通宝	2.5	0.6	3.46			509	永樂通宝	2.5	0.6	2.97	○	
431	明道元宝	2.5	0.5	3.61	○	○	470	元豐通宝	2.5	0.6	3.28			510	永樂通宝	2.5	0.6	2.68		
432	景祐元宝	2.5	0.6	2.42	○	○	471	元豐通宝	2.4	0.6	3.82			511	永樂通宝	2.5	0.5	3.98		
433	皇宋通宝	2.5	0.7	3.88	○	○	472	元豐通宝	2.5	0.6	4.03			512	永樂通宝	2.5	0.5	3.51		
434	皇宋通宝	2.4	0.5	2.81	○		473	元豐通宝	2.5	0.5	3.43			513	永樂通宝	2.5	0.5	3.71		
435	皇宋通宝	2.5	0.6	3.32			474	元豐通宝	2.4	0.7	3.04			514	永樂通宝	2.5	0.5	3.41		
436	皇宋通宝	2.5	0.7	3.25			475	元豐通宝	2.5	0.6	2.95			515	永樂通宝	2.5	0.5	3.11		
437	皇宋通宝	2.4	0.7	3.09			477	元豐通宝	2.6	0.6	3.25			516	永樂通宝	2.5	0.5	3.34		
438	皇宋通宝	2.4	0.7	3.14			478	元豐通宝	2.5	0.6	3.08			517	永樂通宝	2.5	0.5	3.77		
439	皇宋通宝	2.4	0.6	3.47			479	元祐通宝	2.5	0.6	3.18	○	○	518	永樂通宝	2.5	0.5	3.3		
440	皇宋通宝	2.5	0.6	2.81			480	元祐通宝	2.5	0.6	3.6	○		519	永樂通宝	2.5	0.5	3.11		
441	皇宋通宝	2.5	0.6	3.47			481	元祐通宝	2.5	0.6	3.89	○		520	永樂通宝	2.5	0.5	2.94		
442	皇宋通宝	2.4	0.5	2.66			482	元祐通宝	2.5	0.65	3.98			521	永樂通宝	2.5	0.5	3.38		
443	皇宋通宝	2.5	0.7	3.11			483	紹聖元宝	2.5	0.5	3.79	○		522	永樂通宝	2.5	0.5	3.63		
444	皇宋通宝	2.4	0.55	4.06			484	聖宋元宝	2.4	0.5	3.51	○		523	永樂通宝	2.5	0.5	3.33		
445	皇宋通宝	2.5	0.5	3.28			485	聖宋元宝	2.4	0.6	2.83	○	○	524	不明	2.4	0.7	1.96		
446	皇宋通宝	2.5	0.6	2.4			486	聖宋元宝	2.5	0.6	3.05	○	○							
447	嘉祐通宝	2.5	0.6	3.19	○	○	487	聖宋元宝	2.5	0.5	2.91									

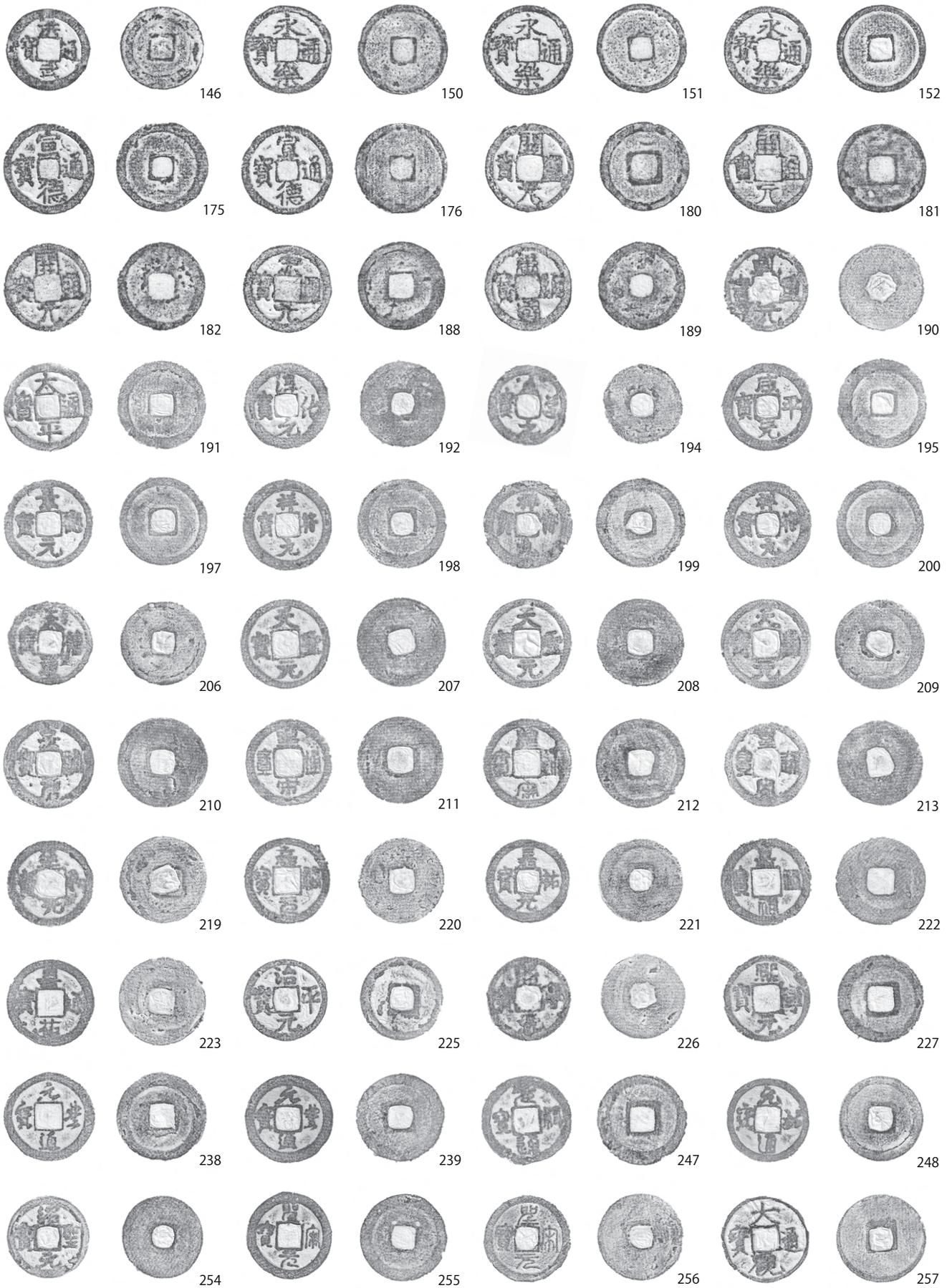
表 22 P-239 出土古錢觀察表 (3)



第 52 図 P-240 出土古錢 (1)

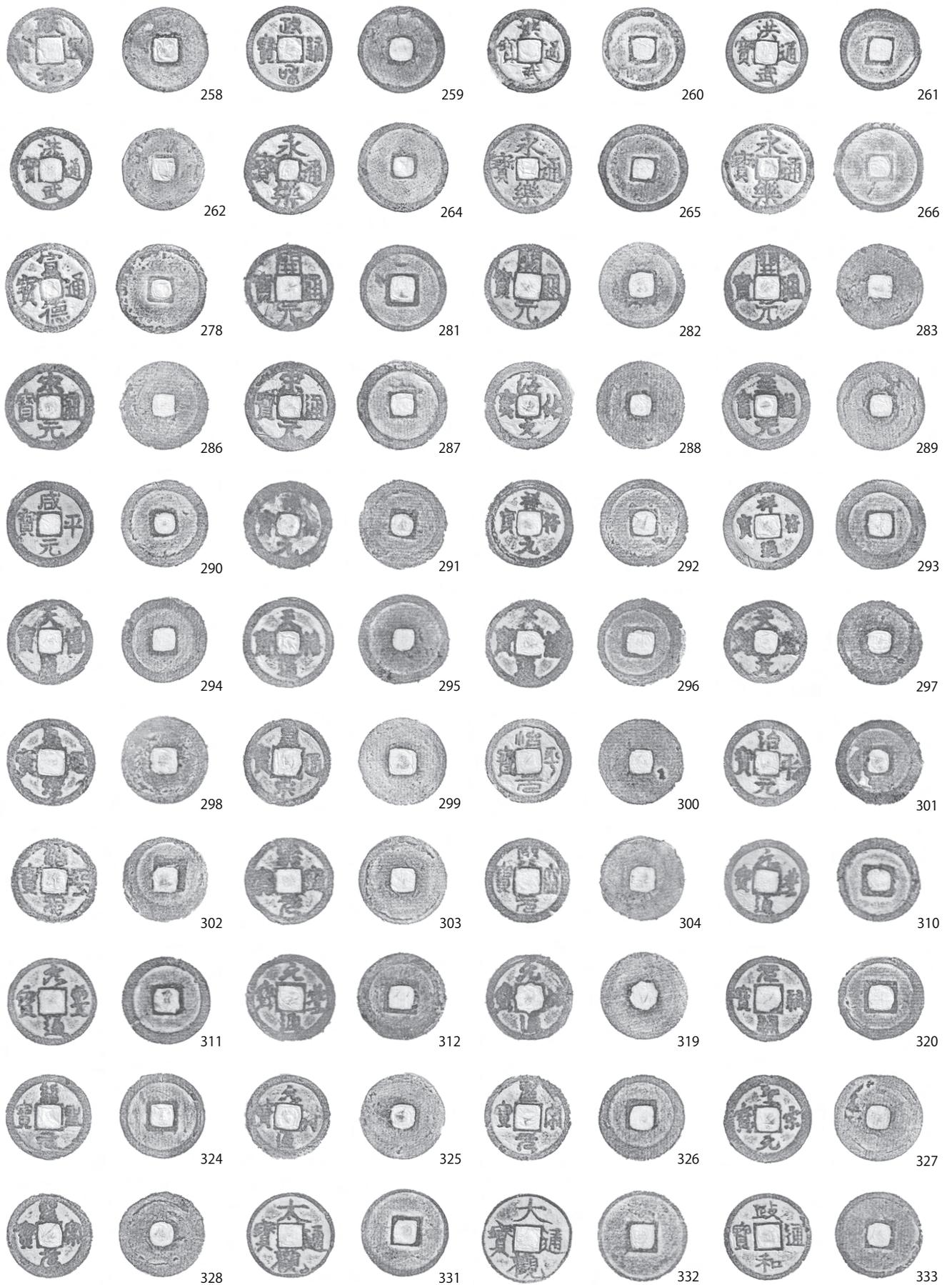
0 (S=2:3) 3 cm





第 54 図 P-240 出土古錢 (3)

0 (S=2:3) 3 cm

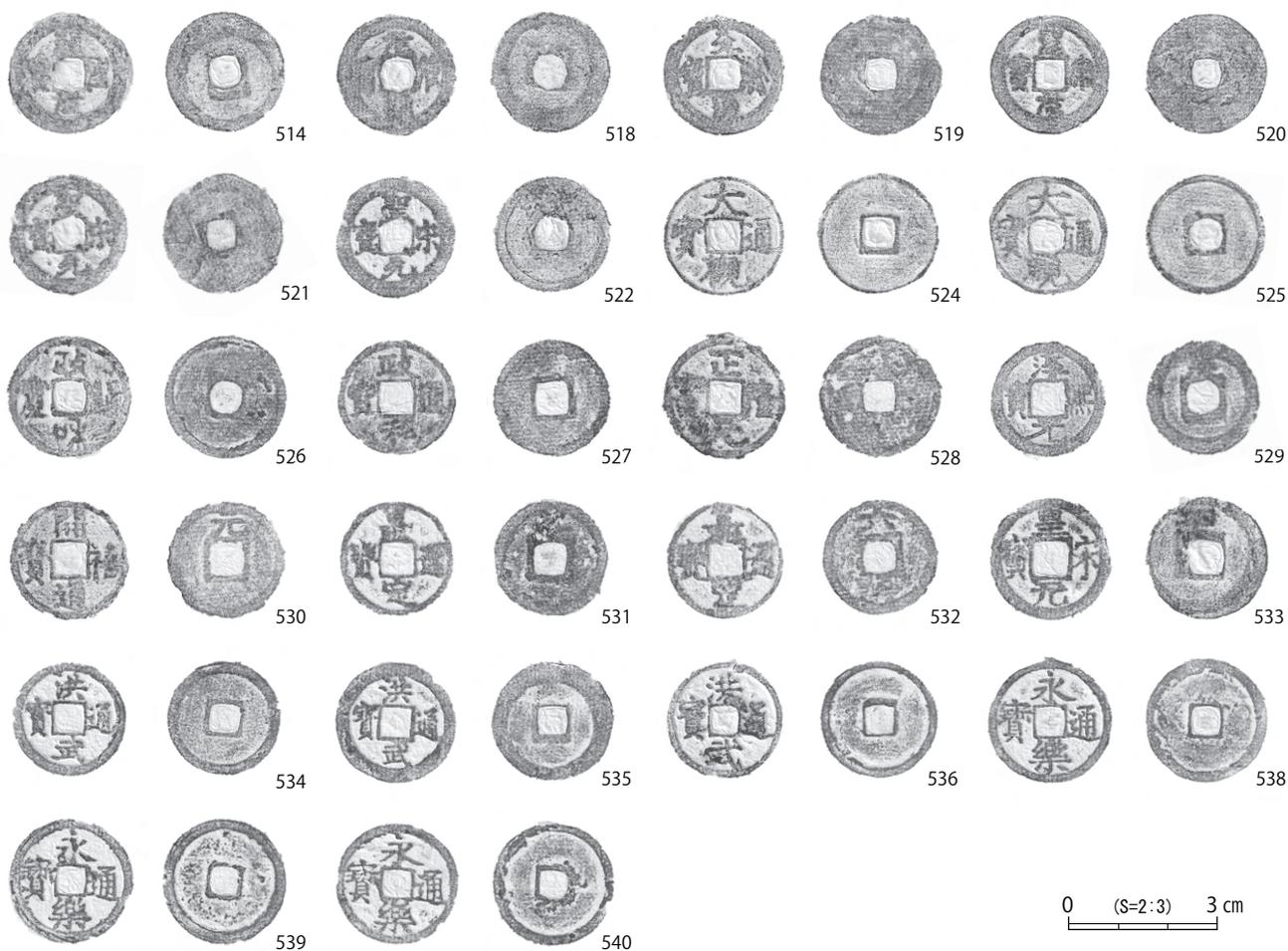


第 55 圖 P-240 出土古錢 (4)

0 (S=2:3) 3 cm







第 58 図 P-240 出土古銭 (7)

NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真	NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真	NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真
1	開元通宝	2.4	0.5	3.2	○	○	30	熙寧元宝	2.4	0.6	2.87	○		59	宣德通宝	2.6	0.5	3.46	○	
2	開元通宝	2.5	0.6	3.04	○		31	熙寧元宝	2.5	0.6	3.21			60	永樂通宝	2.6	0.6	3.92	○	
3	開元通宝	2.6	0.75	3.45	○		32	熙寧元宝	2.5	0.6	2.43			61	永樂通宝	2.6	0.6	3.68	○	○
4	至道元宝	2.5	0.5	3	○	○	33	元豐通宝	2.5	0.6	3.82	○	○	62	永樂通宝	2.6	0.5	3.25	○	
5	景德元宝	2.5	0.5	3.93	○		34	元祐通宝	2.5	0.6	2.94	○		63	永樂通宝	2.6	0.55	3.71		
6	祥符元宝	2.5	0.5	3.37	○	○	35	元祐通宝	2.4	0.6	3.09	○		64	永樂通宝	2.6	0.55	3.63		
7	祥符元宝	2.5	0.6	3.77	○		36	元祐通宝	2.4	0.6	3.07	○	○	65	永樂通宝	2.55	0.6	3.12		
8	祥符元宝	2.5	0.6	3.35			37	元祐通宝	2.4	0.7	3.01			66	永樂通宝	2.55	0.6	3.91		
9	天禧通宝	2.5	0.6	3.09	○		38	紹聖元宝	2.5	0.5	3.06	○		67	不明	2.5	0.6	2.42		
10	天聖元宝	2.5	0.6	3.35	○	○	39	紹聖元宝	2.5	0.6	3.97	○	○	68	開元通宝	2.5	0.7	2.86	○	○
11	天聖元宝	2.5	0.6	3.02	○		40	紹聖元宝	2.3	0.6	2.36			69	開元通宝	2.4	0.7	2.77	○	
12	天聖元宝	2.4	0.6	3.61	○		41	元符通宝	2.5	0.5	3.03	○	○	70	開元通宝	2.45	0.7	2.99	○	
13	天聖元宝	2.55	0.6	3.72			42	聖宋元宝	2.3	0.5	2.35	○		71	開元通宝	2.4	0.7	2.92		
14	天聖元宝	2.5	0.7	2.5			43	聖宋元宝	2.5	0.5	3.65	○	○	72	太平通宝	2.5	0.6	2.53	○	○
15	明道元宝	2.6	0.7	3.61	○		44	聖宋元宝	2.4	0.6	3.02			73	太平通宝	2.4	0.6	3.47	○	
16	景祐元宝	2.5	0.5	3.87	○		45	聖宋元宝	2.4	0.6	2.98			74	咸平元宝	2.5	0.7	3.58	○	○
17	景祐元宝	2.5	0.6	3.18			46	聖宋元宝	2.5	0.6	3.43			75	咸平元宝	2.5	0.7	3.08	○	
18	皇宋通宝	2.4	0.7	2.01	○		47	聖宋元宝	2.4	0.6	2.96			76	咸平元宝	2.4	0.6	3.87	○	
19	皇宋通宝	2.4	0.6	3.04	○		48	聖宋元宝	2.4	0.6	2.73			77	景德元宝	2.5	0.6	3.89	○	
20	皇宋通宝	2.5	0.7	2.72	○	○	49	大觀通宝	2.5	0.6	2.82	○	○	78	祥符元宝	2.6	0.7	3.36	○	
21	皇宋通宝	2.5	0.6	3.48			50	大觀通宝	2.5	0.6	2.47	○		79	祥符元宝	2.5	0.8	3.14	○	○
22	皇宋通宝	2.5	0.6	3.71			51	政和通宝	2.5	0.6	3.35	○	○	80	祥符通宝	2.5	0.6	2.65	○	
23	皇宋通宝	2.5	0.7	2.98			52	政和通宝	2.5	0.5	3.19	○		81	祥符通宝	2.4	0.6	4.43		
24	皇宋通宝	2.55	0.6	3.21			53	政和通宝	2.5	0.6	3.53	○		82	天禧通宝	2.5	0.7	3.36	○	○
25	皇宋通宝	2.4	0.6	2.91			54	開禧通宝	2.6	0.7	3.13	○	○	83	天禧通宝	2.6	0.7	4.43	○	
26	至和元宝	2.4	0.5	3.84	○	○	55	洪武通宝	2.55	0.6	3.16	○		84	天禧通宝	2.5	0.6	3.5		
27	治平元宝	2.4	0.55	3.73	○	○	56	洪武通宝	2.5	0.6	3.35	○		85	天聖元宝	2.5	0.7	3.71	○	
28	熙寧元宝	2.4	0.6	3.87	○		57	洪武通宝	2.45	0.55	2.82	○	○	86	天聖元宝	2.4	0.6	4.4	○	○
29	熙寧元宝	2.4	0.6	3.09	○	○	58	洪武通宝	2.45	0.5	3.72			87	明道元宝	2.5	0.75	3.44	○	○

表 23 P-240 出土古銭観察表 (1)

NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真	NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真	NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真
88	明道元宝	2.55	0.7	3.09	○		156	永樂通寶	2.5	0.6	3.16			224	嘉祐通寶	2.5	0.7	3.16		
89	景祐元宝	2.5	0.7	3.91	○	○	157	永樂通寶	2.5	0.5	3.94			225	治平元宝	2.4	0.6	2.21	○	○
90	皇宋通寶	2.4	0.65	2.9	○		158	永樂通寶	2.55	0.55	3.2			226	熙寧元宝	2.6	0.65	3.93	○	
91	皇宋通寶	2.4	0.7	2.8	○	○	159	永樂通寶	2.55	0.55	3.03			227	熙寧元宝	2.5	0.65	3.17	○	○
92	皇宋通寶	2.55	0.7	3.28	○		160	永樂通寶	2.6	0.6	2.22			228	熙寧元宝	2.5	0.65	3.24		
93	皇宋通寶	2.4	0.7	2.56			161	永樂通寶	2.45	0.65	2.89			229	熙寧元宝	2.5	0.7	3.73		
94	皇宋通寶	2.5	0.65	2.46			162	永樂通寶	2.55	0.6	3.01			230	熙寧元宝	2.5	0.65	3.69		
95	皇宋通寶	2.4	0.65	3.25			163	永樂通寶	2.55	0.5	3.3			231	熙寧元宝	2.5	0.7	4.44		
96	皇宋通寶	2.5	0.7	3.24			164	永樂通寶	2.55	0.55	2.66			232	熙寧元宝	2.45	0.6	2.68		
97	皇宋通寶	2.4	0.75	2.85			165	永樂通寶	2.55	0.65	4.15			233	熙寧元宝	2.45	0.7	3.83		
98	皇宋通寶	2.4	0.7	2.92			166	永樂通寶	2.5	0.55	3.81			234	熙寧元宝	2.5	0.7	3.57		
99	皇宋通寶	2.45	0.6	2.9			167	永樂通寶	2.5	0.55	3.49			235	熙寧元宝	2.4	0.65	2.51		
100	皇宋通寶	2.4	0.6	2.4			168	永樂通寶	2.55	0.5	3.44			236	熙寧元宝	2.4	0.6	3.66		
101	皇宋通寶	2.4	0.65	2.8			169	永樂通寶	2.5	0.55	3.33			237	熙寧元宝	2.5	0.6	3.02		
102	皇宋通寶	2.5	0.7	3.09			170	永樂通寶	2.45	0.55	3.72			238	元豐通寶	2.5	0.7	3.48	○	○
103	皇宋通寶	2.45	0.7	3.07			171	永樂通寶	2.55	0.5	3.52			239	元豐通寶	2.5	0.6	3.57	○	
104	皇宋通寶	2.5	0.7	2.8			172	永樂通寶	2.55	0.55	2.53			240	元豐通寶	2.5	0.6	3.6		
105	至和通寶	2.45	0.7	3.19			173	永樂通寶	2.55	0.55	3.27			241	元豐通寶	2.5	0.6	3.57		
106	至和通寶	2.5	0.65	3.78	○		174	永樂通寶	2.55	0.5	3.3			242	元豐通寶	2.5	0.7	3.5		
107	至和通寶	2.5	0.7	2.59	○		175	宣德通寶	2.55	0.55	3.68	○		243	元豐通寶	2.5	0.6	2.93		
108	治平通寶	2.45	0.65	3.65	○		176	宣德通寶	2.55	0.5	3.19	○	○	244	元豐通寶	2.6	0.6	3.32		
109	治平通寶	2.4	0.6	2.95	○	○	177	不明	2.55	0.5	3.17			245	元豐通寶	2.5	0.6	3.38		
110	熙寧元宝	2.5	0.65	3.08	○		178	不明	2.45	0.7	4.11			246	元豐通寶	2.4	0.7	2.94		
111	熙寧元宝	2.5	0.65	3.56	○	○	179	不明	2.45	0.6	3.1			247	元祐通寶	2.5	0.7	2.9	○	
112	熙寧元宝	2.35	0.65	3.55			180	開元通寶	2.5	0.6	3.66	○		248	元祐通寶	2.4	0.6	3.09	○	○
113	熙寧元宝	2.5	0.65	3.08			181	開元通寶	2.5	0.6	3.61	○	○	249	元祐通寶	2.5	0.6	3.77		
114	熙寧元宝	2.5	0.6	3.19			182	開元通寶	2.5	0.7	3.24	○		250	元祐通寶	2.5	0.65	3.2		
115	熙寧元宝	2.4	0.65	2.98			183	開元通寶	2.5	0.7	2.98			251	元祐通寶	2.5	0.7	3.38		
116	熙寧元宝	2.5	0.65	3.8			184	開元通寶	2.5	0.65	2.77			252	元祐通寶	2.4	0.7	3.41		
117	元豐通寶	2.65	0.6	4.35	○		185	開元通寶	2.4	0.6	2.7			253	元祐通寶	2.5	0.6	3.45		
118	元豐通寶	2.45	0.7	3.09	○		186	開元通寶	2.3	0.5	3.04			254	招聖元宝	2.4	0.6	2.98	○	○
119	元豐通寶	2.45	0.7	2.83	○	○	187	開元通寶	2.4	0.6	3.31			255	聖宋元宝	2.5	0.6	3.22	○	○
120	元豐通寶	2.5	0.55	3.9			188	宋通元宝	2.45	0.6	2.88	○	○	256	聖宋元宝	2.5	0.6	2.89	○	
121	元豐通寶	2.4	0.5	3.26			189	唐國通寶	2.5	0.6	3.45	○	○	257	大觀通寶	2.6	0.6	3.16	○	○
122	元豐通寶	2.4	0.7	3.29			190	朝元重寶	2.4	0.7	2.39	○	○	258	政和通寶	2.5	0.6	2.63	○	
123	元豐通寶	2.5	0.65	3.52			191	太平通寶	2.5	0.6	2.47	○	○	259	政和通寶	2.4	0.6	3.37	○	○
124	元豐通寶	2.4	0.65	3.46			192	淳化元宝	2.5	0.6	2.82	○		260	洪武通寶	2.4	0.6	3.61	○	
125	元祐通寶	2.5	0.7	3.97	○		193	淳化元宝	2.4	0.6	2.98			261	洪武通寶	2.4	0.5	3.46	○	○
126	元祐通寶	2.4	0.6	3.15			194	至道元宝	2.3	0.6	2.75	○		262	洪武通寶	2.3	0.5	2.85	○	
127	元祐通寶	2.4	0.75	3.41			195	咸平元宝	2.5	0.6	3.04	○	○	263	洪武通寶	2.45	0.5	4.69		
128	元祐通寶	2.45	0.65	3.23			196	咸平元宝	2.5	0.6	3.61			264	永樂通寶	2.6	0.5	3.75	○	○
129	紹聖元宝	2.5	0.7	3.61	○		197	景德元宝	2.5	0.6	3.03	○	○	265	永樂通寶	2.5	0.5	3.76	○	
130	紹聖元宝	2.45	0.6	2.91	○	○	198	祥符元宝	2.6	0.6	3.5	○	○	266	永樂通寶	2.6	0.5	3.81	○	
131	紹聖元宝	2.4	0.6	3.14	○		199	祥符元宝	2.5	0.6	2.86	○		267	永樂通寶	2.6	0.5	2.89		
132	紹聖元宝	2.4	0.6	3.19			200	祥符元宝	2.5	0.6	3.28	○		268	永樂通寶	2.6	0.5	3.8		
133	紹聖元宝	2.4	0.6	3.03			201	祥符通寶	2.6	0.6	3.95			269	永樂通寶	2.6	0.5	3.2		
134	聖宋元宝	2.4	0.65	3.26	○		202	祥符通寶	2.6	0.6	3.97			270	永樂通寶	2.6	0.6	3.44		
135	聖宋元宝	2.4	0.65	3.09	○	○	203	祥符通寶	2.5	0.6	3.53			271	永樂通寶	2.6	0.5	3.24		
136	聖宋元宝	2.45	0.65	2.61	○		204	祥符通寶	2.4	0.55	3.34			272	永樂通寶	2.5	0.5	3.39		
137	聖宋元宝	2.4	0.55	2.85			205	祥符通寶	2.6	0.6	4.04			273	永樂通寶	2.5	0.5	3.29		
138	大觀通寶	2.6	0.7	3.25	○		206	天禧通寶	2.4	0.6	2.99	○		274	永樂通寶	2.5	0.5	3.99		
139	大觀通寶	2.5	0.6	3.9	○	○	207	天聖元宝	2.55	0.65	4.19	○		275	永樂通寶	2.5	0.6	3.65		
140	大觀通寶	2.45	0.6	2.3			208	天聖元宝	2.55	0.7	3.02	○		276	永樂通寶	2.5	0.5	3.47		
141	政和通寶	2.45	0.6	2.87	○		209	天聖元宝	2.5	0.7	2.99	○		277	永樂通寶	2.6	0.5	3.91		
142	政和通寶	2.5	0.6	3.53	○	○	210	景祐元宝	2.6	0.6	2.94	○		278	宣德通寶	2.6	0.5	3.81	○	○
143	政和通寶	2.35	0.6	2.22	○		211	皇宋通寶	2.5	0.7	2.47	○	○	279	不明	2.4	0.7	2.01		
144	洪武通寶	2.5	0.55	3.7	○		212	皇宋通寶	2.55	0.7	2.98	○		280	不明	2.5	0.65	2.87		
145	洪武通寶	2.5	0.6	2.8	○	○	213	皇宋通寶	2.5	0.7	2.83	○		281	開元通寶	2.5	0.6	3.17	○	
146	洪武通寶	2.4	0.55	3.6	○		214	皇宋通寶	2.5	0.6	3.62			282	開元通寶	2.5	0.7	2.88	○	
147	洪武通寶	2.3	0.55	3.32			215	皇宋通寶	2.4	0.7	2.85			283	開元通寶	2.5	0.55	3.23	○	○
148	洪武通寶	2.3	0.5	3.61			216	皇宋通寶	2.5	0.7	3.45			284	開元通寶	2.3	0.65	2.75		
149	洪武通寶	2.3	0.5	2.95			217	皇宋通寶	2.5	0.7	3.56			285	開元通寶	2.45	0.55	2.6		
150	永樂通寶	2.5	0.6	2.98	○		218	皇宋通寶	2.5	0.7	3.12			286	宋通元宝	2.55	0.65	2.85	○	○
151	永樂通寶	2.5	0.55	4.29	○		219	至和元宝	2.5	0.7	3.4	○		287	宋通元宝	2.11	0.55	3.37	○	
152	永樂通寶	2.45	0.55	3.42	○	○	220	嘉祐元宝	2.4	0.6	4.66	○		288	淳化元宝	2.5	0.5	3.54	○	○
153	永樂通寶	2.5	0.55	4.6			221	嘉祐元宝	2.4	0.6	3.85	○	○	289	至道元宝	2.45	0.65	3.1	○	○
154	永樂通寶	2.55	0.5	3.22			222	嘉祐通寶	2.6	0.7	3.12	○		290	咸平元宝	2.45	0.6	3.44	○	○
155	永樂通寶	2.5	0.55	3.43			223	嘉祐通寶	2.5	0.7	3.32	○	○	291	祥符元宝	2.4	0.55	2.96	○	

表 23 P-240 出土古錢觀察表 (2)

NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真	NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真	NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真
292	祥符元宝	2.5	0.65	3.32	○	○	360	永樂通寶	2.45	0.55	3.5			428	元符通寶	2.4	0.7	3.21		
293	祥符通寶	2.55	0.6	3.31	○	○	361	永樂通寶	2.55	0.55	3.35			429	聖宋元寶	2.4	0.7	3.14	○	
294	天禧通寶	2.4	0.6	3.14	○	○	362	永樂通寶	2.55	0.55	3.78			430	聖宋元寶	2.45	0.6	2.62	○	○
295	天禧通寶	2.65	0.65	4.08	○		363	永樂通寶	2.65	0.6	5.07			431	聖宋元寶	2.5	0.7	3.05		
296	天禧通寶	2.55	0.6	3.05	○		364	不明	2.45	0.55	3.07			432	大觀通寶	2.45	0.65	2.85	○	
297	天聖元寶	2.4	0.6	3.45	○	○	365	不明	2.4	0.6	2.91			433	大觀通寶	2.55	0.75	3.27	○	○
298	皇宋通寶	2.45	0.7	3.77	○		366	開元通寶	2.55	0.6	2.93	○	○	434	政和通寶	2.6	0.6	3.85	○	
299	皇宋通寶	2.5	0.75	3.51	○	○	367	開元通寶	2.4	0.65	2.19	○		435	政和通寶	2.55	0.65	3.53	○	○
300	治平元寶	2.45	0.65	3.38	○		368	開元通寶	2.6	0.65	2.88			436	政和通寶	2.5	0.7	2.15	○	
301	治平元寶	2.5	0.55	3.33	○	○	369	開元通寶	2.5	0.7	2.44			437	政和通寶	2.55	0.65	2.6		
302	治平元寶	2.5	0.65	2.58	○		370	開元通寶	2.4	0.6	2.24			438	政和通寶	2.4	0.6	2.77		
303	熙寧元寶	2.5	0.6	3.08	○		371	開元通寶	2.4	0.6	2.93			439	淳熙元寶	2.4	0.6	2.53	○	○
304	熙寧元寶	2.4	0.7	3.47	○	○	372	太平通寶	2.6	0.6	3.12	○		440	洪武通寶	2.4	0.6	4.03	○	
305	熙寧元寶	2.45	0.65	3.56			373	太平通寶	2.45	0.65	3.32	○	○	441	洪武通寶	2.4	0.6	3.3	○	
306	熙寧元寶	2.4	0.6	3.43			374	太平通寶	2.5	0.55	3.16			442	洪武通寶	2.4	0.5	3.54	○	○
307	熙寧元寶	2.55	0.6	3.51			375	至道元寶	2.5	0.65	3.18	○	○	443	洪武通寶	2.6	0.65	3.53		
308	熙寧元寶	2.45	0.55	4.28			376	至道元寶	2.55	0.65	2.97	○		444	洪武通寶	2.4	0.6	3.4		
309	熙寧元寶	2.45	0.65	4.37			377	咸平元寶	2.5	0.65	3.22	○	○	445	洪武通寶	2.4	0.6	3.52		
310	元豐通寶	2.35	0.65	3.83	○		378	景德元寶	2.45	0.65	2.69	○		446	洪武通寶	2.45	0.55	4.5		
311	元豐通寶	2.5	0.65	3.18	○	○	379	祥符元寶	2.55	0.6	3.29	○		447	永樂通寶	2.55	0.6	2.9	○	○
312	元豐通寶	2.5	0.65	3.52	○		380	祥符元寶	2.55	0.6	3.35	○		448	永樂通寶	2.6	0.65	3.5	○	
313	元豐通寶	2.45	0.6	2.73			381	祥符元寶	2.65	0.6	3.8			449	永樂通寶	2.55	0.6	3.14	○	
314	元豐通寶	2.45	0.6	3.32			382	祥符通寶	2.65	0.65	4.4	○		450	永樂通寶	2.6	0.55	3.78		
315	元豐通寶	2.45	0.6	3.04			383	祥符通寶	2.55	0.6	3.37	○	○	451	永樂通寶	2.55	0.55	2.99		
316	元豐通寶	2.45	0.65	3.32			384	祥符通寶	2.45	0.65	3.12			452	永樂通寶	2.5	0.5	3.59		
317	元豐通寶	2.45	0.65	3			385	天禧通寶	2.55	0.65	2.76	○	○	453	永樂通寶	2.55	0.65	4.32		
318	元豐通寶	2.4	0.6	2.59			386	天聖元寶	2.6	0.65	3.52	○		454	永樂通寶	2.6	0.6	3.81		
319	元祐通寶	2.45	0.65	3.71	○		387	天聖元寶	2.55	0.65	3.48	○	○	455	永樂通寶	2.6	0.55	3.09		
320	元祐通寶	2.45	0.65	3.34	○	○	388	天聖元寶	2.45	0.75	3.03			456	永樂通寶	2.5	0.55	2.79		
321	元祐通寶	2.4	0.65	3.12			389	明道元寶	2.6	0.65	3.82	○	○	457	永樂通寶	2.55	0.6	3.88		
322	元祐通寶	2.5	0.55	4.59			390	景祐元寶	2.65	0.85	3.53	○	○	458	永樂通寶	2.6	0.6	3.29		
323	元祐通寶	2.5	0.65	3.55			391	皇宋通寶	2.55	0.65	3.43	○	○	459	永樂通寶	2.6	0.6	4.26		
324	紹聖元寶	2.45	0.65	3.54	○	○	392	皇宋通寶	2.5	0.65	3.19	○		460	永樂通寶	2.55	0.6	3.32		
325	元符通寶	2.4	0.7	3.3	○	○	393	皇宋通寶	2.45	0.7	1.98			461	永樂通寶	2.55	0.7	4.77		
326	聖宋元寶	2.45	0.6	3.35	○		394	皇宋通寶	2.6	0.6	3.41			462	永樂通寶	2.6	0.6	3.59		
327	聖宋元寶	2.5	0.65	3.19	○	○	395	皇宋通寶	2.6	0.65	3.08			463	永樂通寶	2.6	0.6	3.29		
328	聖宋元寶	2.4	0.6	2.68	○		396	皇宋通寶	2.45	0.55	3.43			464	宣德通寶	2.6	0.55	3.3	○	
329	聖宋元寶	2.45	0.65	2.34			397	皇宋通寶	2.45	0.75	2.7			465	宣德通寶	2.6	0.55	4.12	○	○
330	聖宋元寶	2.35	0.7	2.71			398	皇宋通寶	2.45	0.6	2.82			466	宣德通寶	2.6	0.55	4.03	○	
331	大觀通寶	2.5	0.55	3.2	○		399	皇宋通寶	2.55	0.65	3.14			467	開元通寶	2.5	0.7	3.61	○	○
332	大觀通寶	2.55	0.65	2.6	○	○	400	至和元寶	2.54	0.6	2.51	○		468	開元通寶	2.55	0.65	3.13	○	
333	政和通寶	2.45	0.55	3.28	○	○	401	嘉祐通寶	2.6	0.7	3.16	○	○	469	開元通寶	2.5	0.7	2.36	○	
334	政和通寶	2.5	0.65	3.13	○		402	治平元寶	2.45	0.65	3.12	○	○	470	咸平元寶	2.45	0.6	3.22	○	○
335	政和通寶	2.55	0.65	2.95			403	治平元寶	2.45	0.65	3.8	○		471	咸平元寶	2.45	0.6	3.8	○	
336	政和通寶	2.45	0.7	2.05			404	治平元寶	2.45	0.6	3.27	○		472	咸平元寶	2.4	0.65	2.65		
337	政和通寶	2.45	0.7	3.01			405	治平元寶	2.4	0.55	3.33			473	祥符元寶	2.55	0.95	2.9	○	○
338	宣和通寶	2.4	0.55	2.98	○		406	治平通寶	2.45	0.8	2.76	○		474	天聖元寶	2.6	0.7	4.03	○	
339	慶元通寶	2.45	0.7	3.18	○	○	407	熙寧元寶	2.55	0.7	3.52	○	○	475	天聖元寶	2.6	0.6	3.9	○	○
340	洪武通寶	2.45	0.55	3.25	○		408	熙寧元寶	2.4	0.65	2.88	○		476	天聖元寶	2.6	0.75	3.5	○	
341	洪武通寶	2.4	0.6	3.08	○	○	409	熙寧元寶	2.6	0.7	3.47	○		477	明道元寶	2.6	0.75	2.9	○	○
342	洪武通寶	2.54	0.5	3.17	○		410	熙寧元寶	2.45	0.65	2.82			478	景祐元寶	2.55	0.75	3.23	○	○
343	洪武通寶	2.35	0.65	3.55			411	元豐通寶	2.6	0.75	3.18	○	○	479	皇宋通寶	2.6	0.8	4.48	○	
344	洪武通寶	2.35	0.45	3.38			412	元豐通寶	2.5	0.65	3.69	○		480	皇宋通寶	2.55	0.7	3.07	○	○
345	洪武通寶	2.35	0.45	4.21			413	元豐通寶	2.55	0.7	3.37	○		481	皇宋通寶	2.55	0.7	3.35		
346	洪武通寶	2.35	0.65	3.56			414	元豐通寶	2.5	0.7	3.62			482	皇宋通寶	2.45	0.8	3.02		
347	洪武通寶	2.35	0.55	3.2			415	元豐通寶	2.45	0.7	2.28			483	皇宋通寶	2.55	0.65	2.93		
348	永樂通寶	2.55	0.55	3.71	○	○	416	元豐通寶	2.55	0.65	3.16			484	皇宋通寶	2.55	0.8	3.43		
349	永樂通寶	2.55	0.55	3.69	○		417	元豐通寶	2.55	0.65	3.48			485	皇宋通寶	2.5	0.7	3.29		
350	永樂通寶	2.5	0.5	3.5	○		418	元豐通寶	2.45	0.7	2.91			486	皇宋通寶	2.55	0.6	4.03		
351	永樂通寶	2.6	0.6	3.43			419	元豐通寶	2.55	0.65	3.96			487	皇宋通寶	2.55	0.8	3.88		
352	永樂通寶	2.5	0.5	3.72			420	元豐通寶	2.4	0.7	3.59			488	皇宋通寶	2.55	0.65	3.56		
353	永樂通寶	2.6	0.55	3.25			421	元祐通寶	2.45	0.7	3.51	○		489	皇宋通寶	2.5	0.65	3.3		
354	永樂通寶	2.5	0.55	3.46			422	元祐通寶	2.5	0.7	3.23	○	○	490	皇宋通寶	2.45	0.6	2.94		
355	永樂通寶	2.55	0.5	3.41			423	元祐通寶	2.5	0.65	2.57			491	至和元寶	2.5	0.8	2.65	○	
356	永樂通寶	2.55	0.5	3.18			424	紹聖元寶	2.5	0.6	3.78	○		492	嘉祐元寶	2.55	0.8	2.96	○	
357	永樂通寶	2.5	0.5	3.11			425	紹聖元寶	2.5	0.75	2.5	○	○	493	治平元寶	2.5	0.65	3.46	○	○
358	永樂通寶	2.5	0.5	3.51			426	紹聖元寶	2.5	0.75	3.65			494	治平元寶	2.55	0.65	3.43	○	
359	永樂通寶	2.45	0.55	3.47			427	紹聖元寶	2.5	0.65	3.07			495	治平元寶	2.5	0.6	3.39		

表 23 P-240 出土古錢觀察表 (3)

NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真	NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真	NO	種類	直径 (cm)	孔径 (cm)	重量 (g)	拓本	写真
496	熙寧元宝	2.45	0.6	3.12	○	○	519	元符通宝	2.55	0.6	3.15	○	○	542	永樂通宝	2.6	0.45	3.3		
497	熙寧元宝	2.45	0.6	3.16	○		520	聖宋元宝	2.5	0.55	3.45	○		543	永樂通宝	2.6	0.55	3.35		
498	熙寧元宝	2.5	0.65	4.22			521	聖宋元宝	2.55	0.55	3.84	○		544	永樂通宝	2.6	0.5	3.57		
499	熙寧元宝	2.45	0.65	3.41			522	聖宋元宝	2.45	0.65	3.78	○	○	545	永樂通宝	2.45	0.55	3.93		
500	元豐通宝	2.4	0.6	3.29	○		523	聖宋元宝	2.45	0.65	2.46			546	永樂通宝	2.55	0.55	2.34		
501	元豐通宝	2.45	0.65	4.02	○		524	大觀通宝	2.55	0.6	3.09	○	○	547	永樂通宝	2.6	0.55	2.98		
502	元豐通宝	2.5	0.65	3.33	○	○	525	大觀通宝	2.5	0.7	3.43	○		548	永樂通宝	2.55	0.55	3.59		
503	元豐通宝	2.5	0.65	3.38			526	政和通宝	2.55	0.65	2.69	○		549	永樂通宝	2.55	0.6	3.09		
504	元豐通宝	2.35	0.65	2.56			527	政和通宝	2.45	0.65	2.88	○	○	550	不明	2.45	0.65	3.31		
505	元豐通宝	2.4	0.6	2.87			528	正隆元宝	2.55	0.6	2.67	○	○	551	不明	2.5	0.6	3.38		
506	元豐通宝	2.5	0.65	2.85			529	淳熙元宝	2.45	0.65	3.73	○	○	552	開元通宝	2.5	0.65	2.07		
507	元祐通宝	2.55	0.6	3.42	○		530	開禧通宝	2.45	0.7	2.86	○	○	553	太平通宝	2.45	0.65	2.43		
508	元祐通宝	2.45	0.65	3.05	○	○	531	嘉定通宝	2.35	0.65	2.66	○		554	天禧通宝	2.35	0.65	3.33		
509	元祐通宝	2.55	0.6	3.05	○		532	嘉定通宝	2.45	0.6	3.02	○	○	555	治平元宝	2.45	0.6	2.91		
510	元祐通宝	2.5	0.65	3.4			533	皇宋元宝	2.55	0.6	3.46	○	○	556	元祐通宝	2.6	0.55	3.54		
511	元祐通宝	2.5	0.6	2.4			534	洪武通宝	2.4	0.55	3.42	○	○	557	永樂通宝	2.55	0.65	3.94		
512	紹聖元宝	2.45	0.65	3.53	○	○	535	洪武通宝	2.55	0.6	3.17	○		558	永樂通宝	2.55	0.55	3.74		
513	紹聖元宝	2.5	0.65	3.47	○		536	洪武通宝	2.45	0.55	2.99	○		559	永樂通宝	2.55	0.55	3.09		
514	紹聖元宝	2.45	0.65	3.38	○		537	洪武通宝	2.45	0.5	2.91			560	永樂通宝	2.55	0.55	2.41		
515	紹聖元宝	2.4	0.65	2.74			538	永樂通宝	2.6	0.6	2.66	○	○	561	宣德通宝	2.6	0.45	3.65		
516	紹聖元宝	2.45	0.6	3			539	永樂通宝	2.6	0.55	3.56	○		562	不明	2.45	0.7	3.13		
517	紹聖元宝	2.45	0.65	2.58			540	永樂通宝	2.55	0.5	3.15	○								
518	元符通宝	2.6	0.65	2.58	○		541	永樂通宝	2.6	0.55	3.21									

表 23 P-240 出土古銭観察表 (4)

## その他のピット

P-221 (第 22・59 図、表 24)

重複関係 なし

規模・形態・構造 直径 0.55 ～ 0.6 m、深さ 0.22 m。平面形は不整な円形で、柱痕を確認した。

遺物 須恵器が出土した。須恵器は甕などが含まれる。

P-238 (第 23・59 図、表 24)

重複関係 なし

規模・形態・構造 直径 0.7 m、深さ 0.66 m。平面形は円形で、柱痕を確認した。

遺物 土師器が出土した。土師器は坏などが含まれる。

P-251 (第 23・59 図、表 24)

重複関係 SD-058 → P-251

規模・形態・構造 一辺 0.7 m、深さ 0.26 m。平面形は方形である。

遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏・甕などが含まれる。

P-270 (第 23・59 図、表 24)

重複関係 SK-086 → P-270

規模・形態・構造 一辺 0.9 ～ 1.0 m、深さ 0.7 m。平面形は方形で、柱痕を確認した。

遺物 土師器、鉄滓 15g が出土した。土師器は坏などが含まれる。

P-293 (第 24・59 図、表 24)

重複関係 P-299 → P-293

規模・形態・構造 長軸 0.8 m、短軸 0.6 m、深さ 0.67 m。平面形は長方形で、柱痕を確認した。

遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器、須恵器ともに坏などが含まれる。

P-324 (第 24・59 図、表 24)

重複関係 SK-123 → P-324

規模・形態・構造 直径 0.5 ～ 0.6 m、深さ 0.3 m。平面形は円形である。

遺物 土師器が出土した。土師器は坏などが含まれる。

P-327 (第 23・59 図、表 24)

重複関係 SD-047・072 → P-327

規模・形態・構造 直径 0.6 ～ 0.7 m、深さ 0.7 m。平面形は円形で、柱痕を確認した。

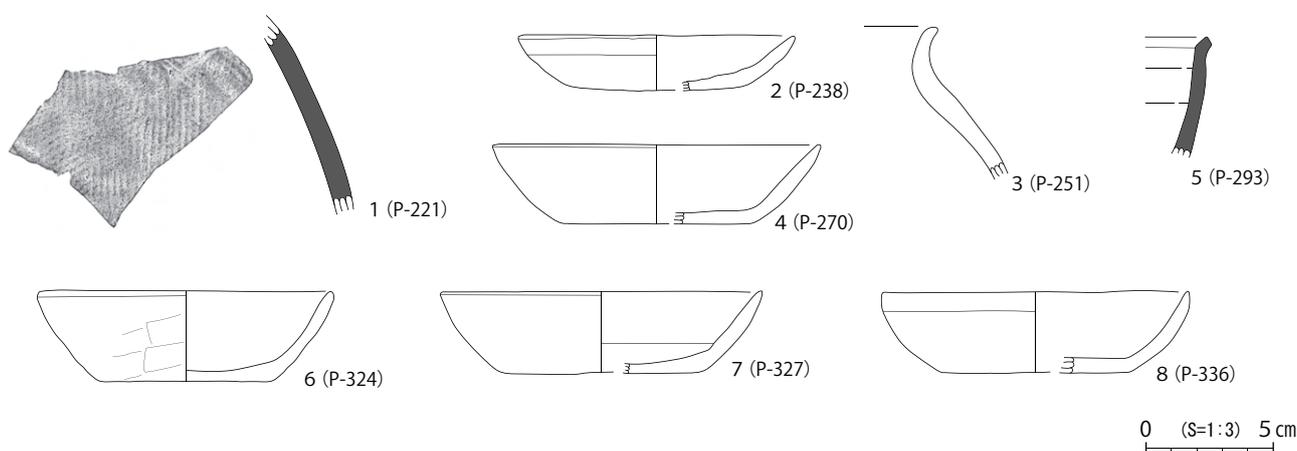
遺物 土師器が出土した。土師器は坏などが含まれる。

P-336 (第 30・59 図、表 24)

重複関係 なし

規模・形態・構造 直径 0.4 m、深さ 0.2 m。平面形は円形である。

遺物 土師器が出土した。土師器は坏などが含まれる。



第 59 図 D区ピット出土遺物実測図

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	須恵器甕 P-221	胴部片		内面ヘラケズリ。外面平行タタキ。	やや不良	内面灰白色、外面 灰色	砂粒
2	土師器坏 P-238	口縁部～底部 1/4	口 (復)10.9 底 (復)7.2 高 2.2	摩耗激しく調整不明。	不良	明黄褐色	砂粒、赤色粒、白色粒
3	土師器甕か壺 P-251	口縁部片		口縁部ヨコナデ。内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	良好	にぶい黄褐色	砂粒、石英、小石
4	土師器坏 P-270	口縁部～底部 1/4	口 (復)12.9 底 (復)7.4 高 3.1	摩耗激しく調整不明。	不良	橙色	砂粒、小礫
5	須恵器鉢 P-293	口縁部～体部片		ロクロ成形。	良好	灰色	砂粒、黒色粒
6	土師器坏 P-324	口縁部～底部 1/4	口 (復)11.5 底 (復)6.7 高 3.5	内面摩耗激しく調整不明。外面ヘラナデ。	やや不良	橙色	砂粒、赤色粒、黒色粒
7	土師器坏 P-327	口縁部～底部 1/3	口 (復)12.6 底 (復)7.4 高 3.2	摩耗激しく調整不明。	不良	橙色	砂粒、小礫
8	土師器坏 P-336	口縁部～底部 1/4	口 (復)11.9 底 (復)7.7 高 3.2	内面ナデ。外面摩耗激しく調整不明。	やや不良	橙色	砂粒、白色粒

表 24 D区ピット出土遺物観察表

その他のピットは、一覧表にまとめた。

遺構	重複関係	規模	平面形	柱痕の有無	出土遺物	備考
P-167	なし	直径 0.8 ~ 0.9 m、深さ 0.26 m	円形	有	土師器の坏を含む、須恵器	第 22 図
P-168	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.5 m、深さ 0.4 m	楕円形	無	土師器	第 22 図
P-169	なし	直径 0.5 m、深さ 0.32 m	円形	有	なし	第 22 図
P-170	なし	直径 0.5 m、深さ 0.49 m	不整な円形	有	土師器	第 22 図
P-171	なし	直径 0.45 m、深さ 0.24 m	円形	無	土師器	第 22 図
P-172	なし	長軸 1.05 m、短軸 0.5 m、深さ 0.21 m	楕円形	無	土師器	第 22 図
P-173	なし	一辺 0.4 ~ 0.5 m、深さ 0.44 m	方形	無	土師器	第 22 図
P-174	なし	長軸 0.9 m、短軸 0.6 m、深さ 0.32 m	楕円形	無	土師器	第 22 図
P-175	なし	一辺 0.65 ~ 0.7 m、深さ 0.35 m	方形	無	土師器の坏を含む、鉄滓 4g	第 22 図
P-176	なし	直径 0.8 ~ 0.9 m、深さ 0.38 m	円形	有	土師器の坏、須恵器の蓋を含む、鉄滓 3g	第 22 図
P-177	なし	直径 0.5 m、深さ 0.35 m	円形	無	なし	第 22 図
P-178	なし	直径 0.55 ~ 0.6 m、深さ 0.59 m	円形	無	土師器	第 22 図
P-179	なし	検出部分の直径 0.7 m、深さ 0.46 m	円形	有	なし	第 22 図
P-180	なし	長軸 0.9 m、短軸 0.65 m、深さ 0.44 m	楕円形	有	なし	第 22 図
P-181	なし	長軸 0.7 m、短軸 0.6 m、深さ 0.27 m	楕円形	無	なし	第 22 図
P-182	なし	直径 0.45 ~ 0.5 m、深さ 0.38 m	不整な円形	無	なし	第 22 図
P-183	なし	直径 0.5 ~ 0.6 m、深さ 0.25 m	円形	有	なし	第 22 図
P-184	なし	直径 0.5 ~ 0.6 m、深さ 0.3 m	円形	無	土師器、須恵器	第 22 図
P-185	なし	長軸 0.6 m、短軸 0.5 m、深さ 0.27 m	楕円形	有	土師器、須恵器、鉄滓 11g	第 22 図
P-186	SK-066 → P-186	長軸 1.1 m、短軸 0.7 m、深さ 0.48 m	長方形	無	土師器	第 22 図
P-187	なし	長軸 0.85 m、短軸 0.65 m、深さ 0.47	長方形	無	なし	第 22 図
P-188	なし	直径 0.55 ~ 0.65 m、深さ 0.35 m	円形	有	土師器	第 22 図
P-189	なし	直径 0.5 m、深さ 0.35 m	円形	有	なし	第 22 図
P-190	なし	一辺 1.15 m、深さ 0.37 m	方形	無	土師器の坏、須恵器坏を含む、鉄滓 97g、軽石 1.2g	第 22 図
P-191	なし	直径 0.4 m、深さ 0.28 m	円形	無	土師器	第 22 図
P-192	なし	長軸 0.9 m、短軸 0.55 m、深さ 0.4 m	楕円形	無	なし	第 22 図
P-193	なし	直径 1.0 m、深さ 0.25 m	円形	無	土師器、須恵器の蓋を含む	第 22 図
P-194	なし	長軸 0.75 m、短軸 0.6 m、深さ 0.48 m	楕円形	有	なし	第 22 図
P-195	なし	一辺 0.65 ~ 0.75 m、深さ 0.45 m	方形	無	土師器	第 22 図
P-196	なし	長軸 0.55 m、短軸 0.3 m、深さ 0.3 m	楕円形	無	土師器	第 22 図
P-197	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.5 m、深さ 0.39 m	楕円形	有	土師器	第 22 図
P-198	SD-050 → P-198	直径 0.5 ~ 0.55 m、深さ 0.52 m	円形	無	土師器	第 22 図
P-199	SD-047 → P-199	長軸 0.8 m、短軸 0.6 m、深さ 0.59 m	楕円形	有	土師器	第 22 図
P-200	なし	一辺 0.7 m、深さ 0.2 m	方形	有	土師器の坏を含む、須恵器	第 22 図
P-201	なし	検出部分の直径 0.6 m、深さ 0.34 m	円形	無	なし	第 22 図
P-202	なし	直径 0.75 ~ 0.8 m、深さ 0.25 m	不整な円形	無	なし	第 22 図
P-203	なし	直径 0.55 ~ 0.6 m、深さ 0.32 m	円形	無	なし	第 22 図
P-204	なし	直径 0.55 m、深さ 0.61 m	円形	無	土師器	第 22 図
P-205	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.6 m、深さ 0.31 m	楕円形	無	須恵器の甕を含む	第 22 図
P-206	なし	直径 0.55 ~ 0.6 m、深さ 0.45 m	円形	有	土師器	第 22 図
P-207	なし	直径 0.5 ~ 0.55 m、深さ 0.35 m	円形	無	土師器	第 22 図
P-208	なし	直径 0.35 ~ 0.45 m、深さ 0.46 m	円形	無	なし	第 22 図
P-209	SD-048 → P-209	直径 0.6 m、深さ 0.39 m	円形	無	土師器、陶器	第 22 図
P-210	なし	直径 0.4 m、深さ 0.4 m	円形	有	なし	第 22 図
P-211	P-211 → SD-042	長軸 1.0 m、検出部分の短軸 0.4 m、深さ 0.26 m	楕円形	有	なし	第 22 図
P-212	なし	長軸 1.0 m、短軸 0.8 m、深さ 0.53 m	長方形	有	土師器の坏を含む、須恵器、鉄滓 36g	第 22 図
P-213	SK-074 → P-213	長軸 1.0 m、短軸 0.7 m、深さ 0.2 m	楕円形	有	土師器、鉄滓 54g	第 22 図
P-214	P-214 → P-215	長軸 0.8 m、検出部分の短軸 0.4 m、深さ 0.22 m	楕円形	無	土師器	第 22 図
P-215	P-214 → P-215	長軸 0.8 m、短軸 0.5 m、深さ 0.41 m	楕円形	有	なし	第 22 図
P-216	なし	直径 0.7 m、深さ 0.36 m	円形	無	なし	第 22 図
P-217	なし	長軸 1.0 m、短軸 0.8 m、深さ 0.53 m	楕円形	有	なし	第 22 図
P-218	SD-047 → P-218	直径 0.5 ~ 0.6 m、深さ 0.31 m	円形	無	土師器	第 22 図
P-219	SD-052 → P-219	直径 0.6 m、深さ 0.59 m	円形	有	土師器	第 22 図
P-220	なし	直径 0.35 ~ 0.4 m、深さ 0.2 m	円形	無	なし	第 22 図
P-222	なし	長軸 0.75 m、短軸 0.6 m、深さ 0.33 m	長方形	無	土師器	第 22 図
P-223	なし	直径 0.7 m、深さ 0.31 m	円形	無	なし	第 22 図
P-224	SD-043 → P-224	直径 0.9 m、深さ 0.4 m	円形	無	土師器、須恵器の蓋を含む	第 22 図
P-225	なし	直径 0.7 m、深さ 0.2 m	円形	無	なし	第 22 図
P-226	SD-047 → P-226	直径 0.4 m、深さ 0.27 m	円形	無	須恵器	第 22 図
P-227	なし	一辺 0.6 m、深さ 0.46 m	方形	有	土師器	第 22 図
P-228	SD-047 → P-228 → SD-045 → SD-055	検出部分の直径 0.8 m、深さ 0.58 m	円形	有	土師器の坏を含む、鉄滓 6g	第 23 図
P-229	SD-051 → P-229	一辺 0.6 m、深さ 0.4 m	方形	無	土師器の坏を含む	第 23 図
P-230	なし	直径 0.3 ~ 0.4 m、深さ 0.41 m	円形	無	土師器	第 22 図
P-231	SD-051 → P-231	直径 0.6 m、深さ 0.26 m	円形	無	土師器	第 22 図
P-232	なし	直径 0.7 ~ 0.75 m、深さ 0.46 m	円形	無	土師器の甕を含む	第 23 図
P-233	SD-043 → P-233	長軸 0.6 m、短軸 0.4 m、深さ 0.22 m	長方形	無	土師器	第 22 図

表 25 D区ピット観察表 (1)

P-234	なし	一辺 0.5 ~ 0.6 m、深さ 0.34 m	方形	無	なし	第22図
P-235	SD-049 → P-235	長軸 0.8 m、短軸 0.55 m、深さ 0.2 m	楕円形	有	なし	第22図
P-236	SD-047・049 → P-236	長軸 1.0 m、短軸 0.8 m、深さ 0.3 m	長方形	無	土師器	第22図
P-237	なし	一辺 0.35 m、深さ 0.2 m	方形	無	土師器	第22図
P-241	P-242 → P-241	直径 0.7 ~ 0.75 m、深さ 0.23 m	円形	無	土師器	第23図
P-242	SD-052 → P-242 → P-241	検出部分の直径 0.6 m、深さ 0.6 m	円形	有	土師器の甕を含む	第23図
P-243	SD-052、P-244 → P-243	直径 0.95 m、深さ 0.41 m	円形	有	土師器の坏を含む、須恵器	第23図
P-244	SD-053 → P-244 → P-243	一辺 0.85 m、深さ 0.34 m	方形	有	土師器	第23図
P-246	SD-052 → P-246	直径 0.5 m、深さ 0.28 m	円形	無	土師器	第22図
P-247	SD-052 → P-247	直径 0.35 ~ 0.4 m、深さ 0.16 m	円形	無	なし	第22図
P-248	なし	直径 0.45 ~ 0.4 m、深さ 0.24 m	円形	無	なし	第22図
P-249	SD-049 → P-249	一辺 0.6 ~ 0.65 m、深さ 0.38 m	方形	有	土師器	第23図
P-250	なし	長軸 1.1 m、短軸 0.7 m、深さ 0.3 m	長方形	有	土師器	第23図
P-252	なし	検出部分の直径 0.8 m、深さ 0.36 m	円形	有	土師器の坏を含む、羽口片 16g	第23図
P-253	なし	直径 0.3 ~ 0.35 m、深さ 0.2 m	円形	無	土師器	第23図
P-254	なし	検出部分の直径 0.8 m、深さ 0.32 m	円形	有	土師器、須恵器	第23図
P-255	なし	検出部分の一辺 0.8 m、深さ 0.56 m	方形	有	土師器	第23図
P-256	SD-057 → P-256	一辺 0.75 m、深さ 0.27 m	方形	無	なし	第23図
P-257	SD-052 → P-257	長軸 0.45 m、短軸 0.3 m、深さ 0.18 m	楕円形	無	土師器	第23図
P-258	なし	一辺 0.8 m、深さ 0.39 m	不整な方形	無	土師器の坏、須恵器の甕を含む	第23図
P-259	なし	長軸 0.9 m、短軸 0.7 m、深さ 0.32 m	長方形	有	なし	第23図
P-260	SD-052 → P-260	検出部分の長軸 0.9 m、短軸 0.65 m、深さ 0.37 m	楕円形	無	土師器の坏、須恵器の坏を含む、鉄滓 59g、軽石 1g	第23図
P-261	SD-051 → P-261	検出部分の長軸 0.7 m、短軸 0.5 m、深さ 0.22 m	楕円形	無	土師器	第23図
P-262	なし	直径 0.6 m、深さ 0.46 m	不整な円形	無	土師器	第23図
P-263	SD-049 → P-263	長軸 1.0 m、短軸 0.7 m、深さ 0.34 m	長方形	無	土師器、須恵器	第23図
P-264	なし	長軸 1.1 m、短軸 0.8 m、深さ 0.25 m	楕円形	無	なし	第23図
P-265	SD-047・049 → P265	直径 0.85 ~ 0.9 m、深さ 0.32 m	円形	無	土師器の坏を含む、鉄滓 16g	第23・25図
P-266	P-267 → P-266	長軸 0.9 m、短軸 0.8 m、深さ 0.6 m	楕円形	有	土師器、鉄滓 41g	第23図
P-267	P-267 → P-266	長軸 1.0 m、検出部分の短軸 0.6 m、深さ 0.38 m	楕円形	無	土師器	第23図
P-268	SD-052 → P-268	直径 0.6 ~ 0.65 m、深さ 0.25 m	円形	無	なし	第23図
P-269	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.65 m、深さ 0.3 m	楕円形	有	なし	第23図
P-271	SD-057 → P-271	長軸 1.0 m、短軸 0.55 m、深さ 0.38 m	長方形	有	土師器の坏を含む	第23・25図
P-272	SK-091 → P-272 → SK-086	検出部分の長軸 1.2 m、短軸 0.7 m、深さ 0.19 m	楕円形	無	土師器、須恵器	第23図
P-273	SD-059 → P-273	直径 0.8 ~ 0.85 m、深さ 0.36 m	円形	無	土師器、鉄滓 7g	第24図
P-274	なし	直径 0.35 m、深さ 0.5 m	円形	無	土師器の坏を含む、須恵器、鉄滓 28g	第23図
P-275	SI-001 → P-275	直径 0.85 ~ 0.9 m、深さ 0.2 m	円形	無	土師器	第28図
P-276	SI-001 → P-276	直径 0.55 m、深さ 0.2 m	円形	無	土師器	第28図
P-277	SD-043 → P-277	長軸 0.9 m、深さ 0.65 m	長方形	無	土師器、須恵器の甕を含む、鉄滓 95g	第24図
P-278	なし	直径 0.4 ~ 0.45 m、深さ 0.29 m	円形	無	土師器、須恵器	第24図
P-279	なし	一辺 0.65 m、深さ 0.19 m	方形	無	土師器	第24図
P-280	なし	長軸 0.6 m、短軸 0.5 m、深さ 0.34 m	長方形	有	土師器の坏を含む	第24図
P-281	なし	検出部分の直径 0.8 m、深さ 0.66 m	円形	有	なし	第24図
P-282	なし	長軸 0.9 m、短軸 0.8 m、深さ 0.38 m	不整な楕円形	無	土師器、須恵器	第24図
P-283	なし	一辺 0.9 m、深さ 0.3 m	不整な方形	無	土師器の坏、須恵器の甕を含む	第24図
P-284	なし	直径 0.45 m、深さ 0.2 m	円形	無	土師器	第24図
P-295	なし	直径 0.4 ~ 0.5 m、深さ 0.13 m	円形	無	土師器	第24図
P-296	なし	直径 0.65 m、深さ 0.14 m	不整な円形	無	土師器	第24図
P-299	P-299 → P-293	長軸 0.9 m、短軸 0.7 m、深さ 0.33 m	長方形	無	なし	第24図
P-300	なし	長軸 1.0 m、短軸 0.7 m、深さ 0.55 m	長方形	有	土師器、須恵器、羽口片 12g	第24図
P-301	なし	長軸 0.85 m、短軸 0.5 m、深さ 0.19 m	長方形	無	なし	第24図
P-302	SD-068 → SD-070 → P-302	直径 0.45 ~ 0.5 m、深さ 0.22 m	円形	無	土師器	第24図
P-303	なし	一辺 0.7 m、深さ 0.55 m	方形	有	土師器の甕を含む、鉄滓 43g	第24図
P-304	なし	検出部分の一辺 0.85 m、深さ 0.26 m	方形	無	土師器	第29図
P-305	SD-062 → P-305	直径 0.5 ~ 0.6 m、深さ 0.35 m	円形	無	土師器	第29図
P-306	SD-063 → P-306	直径 0.4 ~ 0.45 m、深さ 0.8 m	円形	無	なし	第28図
P-307	SD-062 → P-307	直径 0.6 m、深さ 0.64 m	円形	無	土師器	第28図
P-308	なし	直径 0.5 ~ 0.55 m、深さ 0.28 m	円形	有	なし	第28図
P-309	なし	直径 0.6 m、深さ 0.2 m	円形	無	なし	第28図
P-310	なし	直径 0.4 m、深さ 0.28 m	円形	無	なし	第28図
P-311	なし	一辺 0.6 ~ 0.65 m、深さ 0.38 m	方形	有	なし	第28図
P-312	なし	直径 0.5 m、深さ 0.1 m	円形	有	なし	第28図
P-313	P-313 → SK-107	検出部分の直径 0.5 m、深さ 0.36 m	円形	無	なし	第29図
P-314	なし	一辺 0.6 m、深さ 0.52 m	方形	有	なし	第29図
P-315	SK-112 → P-315	直径 0.4 m、深さ 0.6 m	円形	有	なし	第29図
P-316	なし	直径 0.4 m、深さ 0.3 m	円形	無	土師器	第29図
P-317	なし	直径 0.5 m、深さ 0.18 m	円形	無	土師器	第24図
P-318	SD-060 → P-318	直径 0.65 ~ 0.7 m、深さ 0.55 m	不整な円形	無	土師器	第24図

表 25 D区ピット観察表 (2)

P-319	SK-113 → P-319	直径 0.35 m、深さ 0.14 m	円形	無	土師器	第 24 図
P-320	なし	一辺 0.65 ～ 0.7 m、深さ 0.28 m	方形	無	なし	第 29 図
P-321	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.5 m、深さ 0.22 m	不整な楕円形	有	土師器	第 28 図
P-322	なし	長軸 0.4 m、深さ 0.3 m、深さ 0.12 m	楕円形	無	土師器	第 28 図
P-323	SD-073 → P-323	直径 0.7 m、深さ 0.38 m	円形	無	土師器、須恵器	第 24 図
P-325	SD-066 → P-325	直径 0.3 m、深さ 0.28 m	円形	無	なし	第 29 図
P-326	SD-066 → P-326	直径 0.4 m、深さ 0.32 m	円形	有	なし	第 29 図
P-328	なし	長軸 0.5 m、短軸 0.35 m、深さ 0.18 m	楕円形	無	なし	第 28 図
P-329	なし	直径 0.3 m、深さ 0.43 m	円形	無	土師器	第 29 図
P-330	SD-063 → P-330	直径 0.3 m、深さ 0.15 m	円形	無	土師器	第 29 図
P-331	SD-063 → P-331	直径 0.3 m、深さ 0.17 m	円形	無	なし	第 29 図
P-332	SD-046 → P-332	長軸 0.85 m、短軸 0.7 m、深さ 0.45 m	楕円形	有	なし	第 24 図
P-333	なし	直径 0.6 ～ 0.7 m、深さ 0.41 m	円形	無	土師器	第 30 図
P-334	なし	直径 0.6 m、深さ 0.4 m	円形	無	土師器の坏を含む	第 30 図
P-335	なし	直径 0.65 ～ 0.7 m、深さ 0.22 m	不整な円形	無	土師器、須恵器	第 30 図
P-337	なし	長軸 0.7 m、短軸 0.5 m、深さ 0.61 m	不整な長方形	無	土師器の坏、須恵器の甕を含む	第 30 図
P-338	なし	直径 0.9 ～ 1.0 m、深さ 0.3 m	円形	無	土師器	第 30 図
P-339	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.55 m、深さ 0.38 m	楕円形	無	なし	第 30 図
P-340	SD-078 → P-340	一辺 0.6 ～ 0.7 m、深さ 0.25 m	方形	無	土師器、須恵器	第 30 図
P-341	SD-077 → P-341	長軸 0.8 m、短軸 0.6 m、深さ 0.2 m	楕円形	無	土師器	第 30 図
P-342	SD-077 → P-342	長軸 0.8 m、短軸 0.6 m、深さ 0.36 m	楕円形	無	なし	第 30 図
P-343	SD-077 → P-343 → P-344	検出部分の一辺 0.5 m、深さ 0.1 m	方形	無	なし	第 30 図
P-344	SD-077 → P-343 → P-344	長軸 1.0 m、短軸 0.6 m、深さ 0.2 m	長方形	無	なし	第 30 図
P-345	SD-076 → P-345	直径 0.55 ～ 0.6 m、深さ 0.17 m	円形	有	土師器、須恵器	第 30 図
P-346	SD-076 → P-346	直径 0.3 m、深さ 0.15 m	円形	無	なし	第 30 図
P-347	なし	直径 0.3 m、深さ 0.2 m	円形	無	土師器	第 30 図
P-348	なし	長軸 0.5 m、短軸 0.3 m、深さ 0.71 m	楕円形	有	なし	第 30 図

表 25 D区ピット観察表 (3)

## 6 E区 (第 60 ～ 64 図、表 26 ～ 29)

### 溝跡

SD-026 (第 60・63 図)

重複関係 なし

**規模・形態・構造** 幅 0.7 ～ 1.4 m、深さ 0.57 ～ 0.61 m、検出部分の長さは 41.0 m。南東—北西方向に走り、南西方向へ直角に曲がる溝で、断面形は逆台形状である。

**遺物** 土師器、須恵器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

SD-027 (第 60・63 図)

重複関係 なし

**規模・形態・構造** 幅 0.7 ～ 1.1 m、深さ 0.88 m、検出部分の長さは 6.1 m。南東—北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

SD-028 (第 60 図)

重複関係 なし

**規模・形態・構造** 幅 0.9 ～ 1.1 m、深さ 0.38 m、検出部分の長さは 2.4 m。南東—北西方向に弧状に走る溝で、断面形は逆台形状である。

SD-029 (第 62・63 図)

重複関係 SD-029 → P-142

**規模・形態・構造** 幅 0.4 ～ 0.6 m、深さ 0.78 m、検出部分の長さは 31.4 m。南東—北西方向に走る溝

で、断面形は箱状である。

**遺物** 土師器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

#### SD-030 (第 60・62・63 図)

**重複関係** SD-034・041、P-140 → SD-030 → SK-061・062・065、P-165・166

**規模・形態・構造** 幅 0.7～2.3 m、深さ 0.87～1.0 m、検出部分の長さは 81.7 m。南東―北西方向に走る溝で、東側は両側にテラスをもつ形状で、底面は平坦、断面形は北西側は逆台形状である。

**遺物** 土師器が出土した。土師器の甕などが含まれるが、小片のため図示し得るものはない。

#### SD-031 (第 62・63 図)

**重複関係** なし

**規模・形態・構造** 幅 0.6～0.8 m、深さ 0.67 m、検出部分の長さは 26.1 m。南東―北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

**遺物** 土師器、陶器が出土した。

#### SD-032 (第 60・63 図)

**重複関係** SD-032 → SK-052

**規模・形態・構造** 幅 0.7～0.9 m、深さ 0.25～0.28 m、検出部分の長さは 12.4 m。南東―西方向に弧状に走る溝で、断面形は皿状である。

**遺物** 土師器、須恵器が出土した。須恵器は甕などが含まれるが、小片のため図示し得るものはない。

#### SD-033 (第 60・63 図)

**重複関係** なし

**規模・形態・構造** 幅 0.7 m、深さ 0.16～0.23 m、検出部分の長さは 15.2 m。南東―西方向に弧状に走る溝で、断面形は逆台形状である。

**遺物** 土師器、陶器が出土した。

#### SD-034 (第 60・61・63 図、表 26)

**重複関係** SD-034 → SD-041 → SD-030 → SK-065、P-152

**規模・形態・構造** 幅 1.8～2.2 m、深さ 0.8 m、検出部分の長さは 40.4 m。南東―北西方向に走る溝で、両側にテラスをもち、底面は平坦である。

**遺物** 土師器 16,989g、須恵器、鉄滓 167g が出土した。土師器は坏・高坏・甕、須恵器は蓋などが含まれる。土師器は坏が最も多い。

#### SD-036 (第 60・63 図)

**重複関係** SD-036 → SD-037

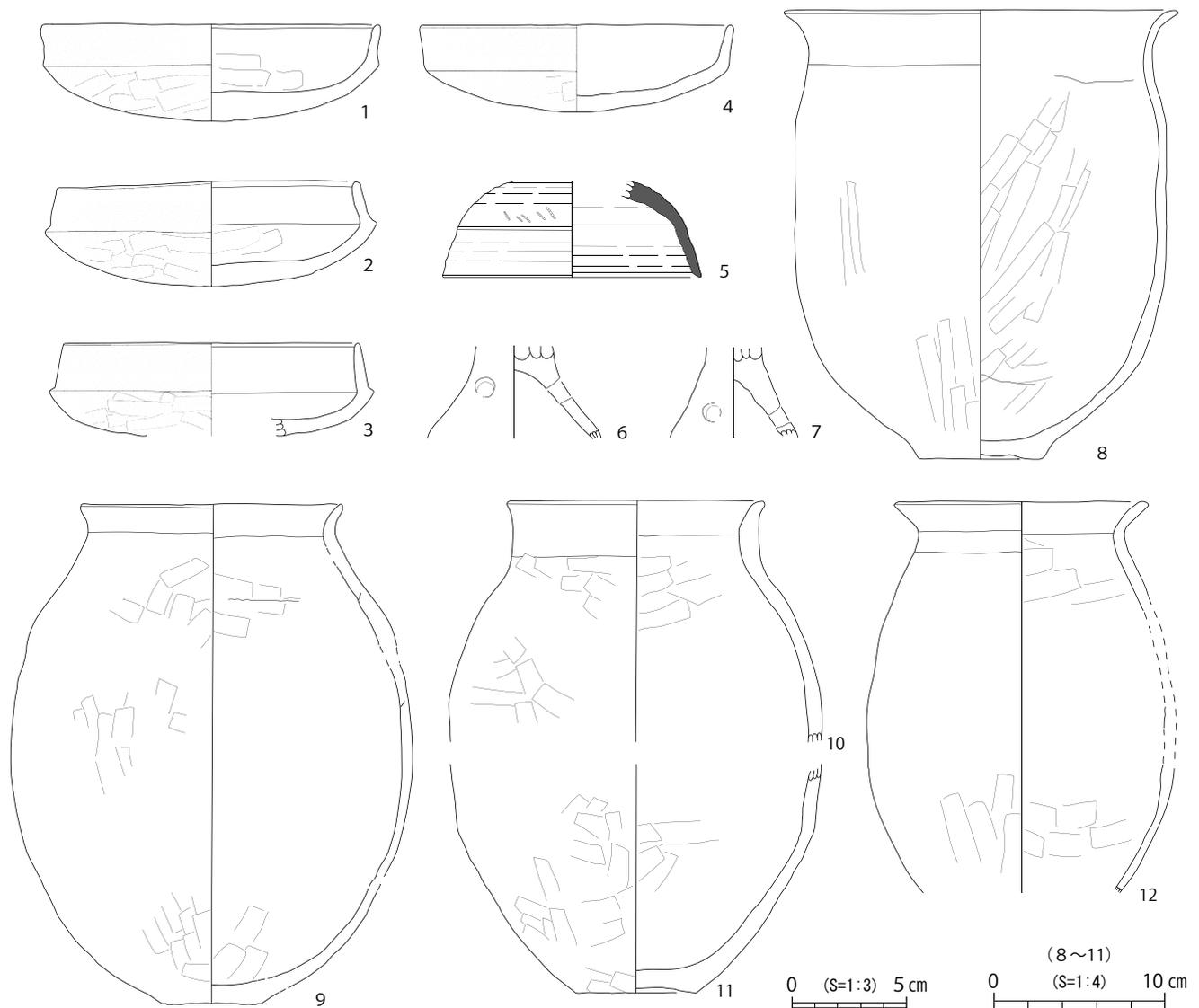
**規模・形態・構造** 幅 1.1～1.4 m、深さ 0.65 m、検出部分の長さは 2.8 m。南西―北東方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

**遺物** 土師器が出土した。土師器は甕などが含まれるが、小片のため図示し得るものはない。

#### SD-037 (第 60・64 図、表 29)

**重複関係** SD-036 → SD-037 → SK-059、P-155～157・161・162





第 61 図 SD-034 出土遺物実測図

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	土師器坏	ほぼ完形	口 14.8 高 4.2	内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。内外面ともに赤彩。	良好	浅黄色、赤彩部分 赤色	砂粒、黒色粒、石英
2	土師器坏	ほぼ完形	口 13.1 高 4.0	内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。内外面ともに赤彩。	良好	浅黄色、赤彩部分 赤色	砂粒、石英、赤色粒
3	土師器坏	1/4	口 (復) 12.8 高 4.0	内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。内外面ともに赤彩痕。	良好	にぶい黄橙色	粗い赤色粒
4	土師器坏	1/3	口 (復) 13.5 高 3.8	内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。内外面ともに赤彩	やや良好	浅黄橙色	砂粒、赤色粒
5	須恵器蓋	体部～口縁部 1/5	口 (復) 11.2 高 (遺) 4.3	ロクロ成形。体部にハケ状工具押し付け。	良好	褐灰色	砂粒、小礫
6	土師器高坏	脚部 1/4	高 (遺) 4.0	摩耗激しく調整不明。約 9mm の孔が 3 箇所を確認できる。	不良	橙色	砂粒、小礫
7	土師器高坏	脚部 1/2	高 (遺) 3.9	摩耗激しく調整不明。約 7mm の孔が 4 箇所を確認できる。	不良	橙色	赤色粒、砂粒
8	土師器甕	口縁部～胴部 1/4	口 (復) 22.9 底 (復) 7.2 高 26.3	内外面ともにヘラケズリ。外面一部摩耗。	やや良好	にぶい黄橙色	砂粒、赤色粒、小礫
9	土師器甕	口縁部～胴部 1/3	口 14.9 底 5.0 高 (遺) 29.6	内面ヨコ方向ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	やや良好	明赤褐色	砂粒、小石
10	土師器甕	口縁部～胴部 1/4	口 (復) 14.7 高 (遺) 14.1	内外面ともにヘラケズリ。	やや良好	浅黄色	粗い赤色粒、小礫
11	土師器甕	胴部～底部 1/3	底 (復) 7.0 高 (遺) 13.4	内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	良好	浅黄色	粗い赤色粒、小石
12	土師器甕	口縁部～底部 1/4	口 (復) 14.5 高 23.0	内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	良好	にぶい黄褐色	砂粒、赤色粒

表 26 SD-034 出土遺物観察表



第 62 図 E区遺構平面図 (2)

**規模・形態・構造** 幅 0.8～1.1 m、深さ 0.37～0.7 m、検出部分の長さは 33.6 m。南東―北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

**遺物** 土師器、須恵器、羽口片 110g が出土した。土師器は坏・甕、須恵器は坏・壺などが含まれる。

**SD-038 (第 60 図)**

**重複関係** SD-039 → SD-038

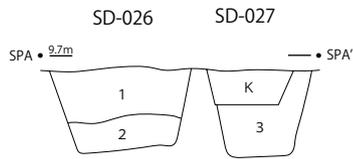
**規模・形態・構造** 幅 0.5 m、深さ 0.17 m、検出部分の長さは 6.3 m。南東―北方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

**遺物** 土師器が出土した。小片のため図示し得るものはない。

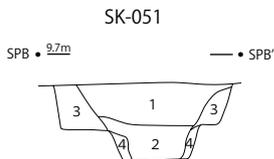
**SD-039 (第 60・63・64 図、表 29)**

**重複関係** SD-014・022・017・021・025、SK-154 → SD-015

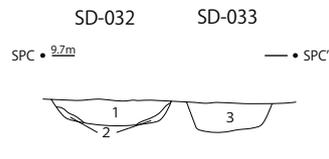
**規模・形態・構造** 幅 0.8～1.1 m、深さ 0.25～0.7 m、検出部分の長さは 29.0 m。南東―北西方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。



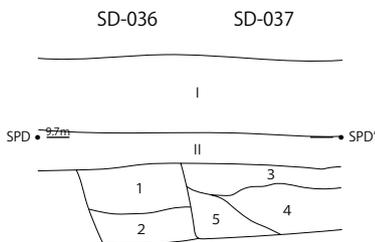
- SPA ● 9.7m — ● SPA'
- 1 黒褐色土 白色粘土ブロック含む。しまり、粘性あり。
  - 2 黒褐色土 白色粘土ブロック含む。底に酸化鉄植物あり。しまり、粘性あり。
  - 3 黒褐色土 白色粘土ブロック、酸化鉄分を微量含む。しまり粘性あり。



- SPB ● 9.7m — ● SPB'
- 1 暗茶褐色土 灰白色粘土ブロック多量含む。酸化鉄含む。しまり、粘性あり。
  - 2 暗黒褐色土 灰白色粘土ブロック多量含む。しまり、粘性あり。
  - 3 暗褐色土 黒色土ブロック含む。しまり、粘性あり。
  - 4 暗褐色土 3層に比べ黒色土ブロック少量。

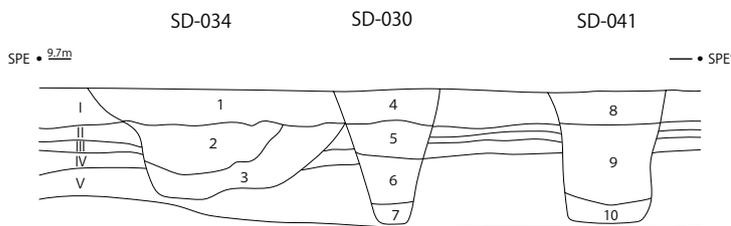


- SPC ● 9.7m — ● SPC'
- 1 暗黒褐色土 酸化鉄含む。しまり、粘性あり。
  - 2 暗褐色土 黒色土ブロック含む。しまり、粘性あり。
  - 3 暗灰黒褐色土 酸化鉄・白色粘土粒微量含む。しまり、粘性あり。



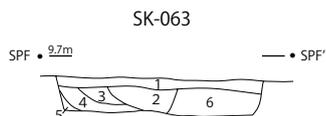
- I 攪乱(砂利層)  
II 暗黒褐色土

- SPD ● 9.7m — ● SPD'
- 1 暗黒褐色土 灰白色粘土ブロック含む。しまり、粘性あり。
  - 2 暗茶褐色土 灰白色粘土ブロック・黒色土ブロック含む。しまりあり。
  - 3 暗黒褐色土 灰白色粘土ブロック、酸化鉄粒含む。しまりあり。
  - 4 暗茶褐色土 灰白色粘土ブロック、酸化鉄多量含む。しまりあり。
  - 5 暗茶褐色土 4層に比べ灰白色粘土ブロック少量。しまりあり。

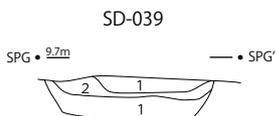


- I 黄白色シルト層  
II 黒茶褐色粘質土層  
III 橙褐色シルト層  
IV 暗茶褐色粘質土層  
V 青灰色シルト層

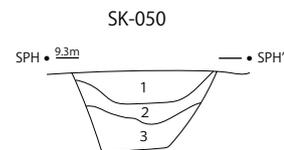
- SPE ● 9.7m — ● SPE'
- 1 暗茶褐色土 酸化鉄少量含む。混じりなく、粘性あり。
  - 2 黒褐色土 青灰色砂を含む。
  - 3 明茶褐色土 灰白色粘土粒少量含む。
  - 4 暗茶褐色土 灰白色粘土ブロック多量含む。
  - 5 暗茶褐色土 5層に比べ灰白色粘土ブロック少量含む。
  - 6 暗黒褐色土 灰白色粘土ブロック少量含む。褐色粒含む。
  - 7 黒茶褐色土 酸化鉄少量含む。
  - 8 暗茶褐色土 灰白色粘土ブロック・黒色土粒、酸化鉄多量含む。
  - 9 明茶褐色土 白色粘土ブロック・暗茶褐色土含む。
  - 10 青灰色砂質土



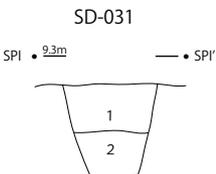
- SPF ● 9.7m — ● SPF'
- 1 暗黒褐色土 酸化鉄含む。
  - 2 暗黒褐色土 酸化鉄・炭化物多量含む。灰白色粘土ブロック含む。
  - 3 灰褐色土 暗黒褐色土ブロック含む。
  - 4 暗褐色土 灰褐色土ブロック多量含む。暗黒褐色土ブロック含む。しまりあり。
  - 5 暗茶褐色土 酸化鉄含む。しまりあり。
  - 6 暗黒褐色土 酸化鉄含む。しまりあり。



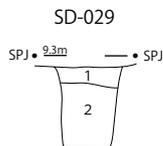
- SPG ● 9.7m — ● SPG'
- 1 暗茶褐色土 粘土粒・酸化鉄含む。しまり、粘性あり。
  - 2 暗黒褐色土 粘土粒微量含む。しまりあり。



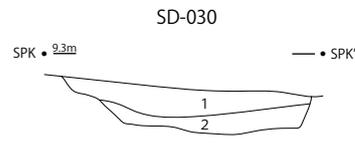
- SPH ● 9.3m — ● SPH'
- 1 黒茶褐色土 褐色粒含む。
  - 2 明茶褐色土 褐色粒・青灰色粒含む。
  - 3 暗茶褐色土 青灰色粘土ブロック少量含む。



- SPI ● 9.3m — ● SPI'
- 1 暗茶褐色土 白色粘土ブロック・褐色粒含む。しまりあり。
  - 2 黒褐色土 白色粘土ブロック・砂粒含む。



- SPJ ● 9.3m — ● SPJ'
- 1 黒灰褐色土 酸化鉄含む。
  - 2 暗茶褐色土 白色粘土ブロック・砂粒含む。



- SPK ● 9.3m — ● SPK'
- 1 黒茶褐色土 白色粘土ブロック含む。しまり、粘性あり。
  - 2 暗茶褐色土 灰白色粘土ブロック・酸化鉄含む。

0 (S=1:60) 1m

### 第 63 図 E区遺構断面図

遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器は坏・高坏・甕、須恵器は坏などが含まれる。

SD-040 (第 60 図)

重複関係 SD-040 → SD-037・039

規模・形態・構造 検出部分の幅 1.0 m、深さ 0.83 m、検出部分の長さは 3.4 m。南西—北東方向に走る溝で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器が出土した。土師器は甕などが含まれるが、小片のため図示し得るものはない。

SD-041 (第 60・63 図)

重複関係 SD-034 → SD-041 → SD-030 → SK-058・064

規模・形態・構造 幅 1.0～1.5 m、深さ 0.7～0.82 m、検出部分の長さは 45.2 m。南東—北西方向へ

走り、西方向に直角に曲がる溝で、断面形は逆台形状である。

遺物 土師器、鉄滓 27g が出土した。

## 土坑

SK-051 (第 60・63・64 図、表 29)

重複関係 なし

規模・形態・構造 一辺 1.4～1.5 m、深さ 0.38 m。平面形は方形で、断面形は箱状で底面にピット状の掘り込みをもつ。

遺物 土師器が出土した。土師器は坏などが含まれる。

SK-058 (第 60・64 図、表 29)

重複関係 SD-041 → SK-058

規模・形態・構造 長軸 1.1 m、短軸 0.9 m、深さ 0.27 m。平面形は楕円形で、断面形はU字状である。

遺物 土師器、須恵器が出土した。須恵器は甕などが含まれる。

## その他土坑

下記のとおり一覧表にまとめた。

遺構	重複関係	規模・特徴	平面形	断面形	出土遺物	備考
SK-050	なし	直径 1.2～1.3 m、深さ 0.65 m	円形	U字状	土師器の坏を含む	第 62 図
SK-052	SD-032 → SK-052	長軸 1.4 m、短軸 1.0 m、深さ 0.47 m	長方形	逆台形	土師器、須恵器	第 60 図
SK-053	なし	長軸 1.7 m、短軸 1.2 m、深さ 0.7 m	長方形	箱状	なし	第 60 図
SK-054	なし	長軸 1.0 m、短軸 0.7 m、深さ 0.38 m	長方形	逆台形	土師器の坏を含む、鉄滓 34.67g	第 60 図
SK-055	なし	長軸 1.3 m、短軸 0.8 m、深さ 0.31 m	長方形	U字状	土師器の甕を含む	第 60 図
SK-056	なし	長軸 1.2 m、短軸 0.9m、深さ 0.4 m	長方形	逆台形	土師器の甕を含む、須恵器	第 60 図
SK-057	なし	長軸 1.1 m、短軸 0.9 m、深さ 0.26 m	楕円形	逆台形	土師器	第 60 図
SK-059	SD-037 → SK-059	長軸 1.5 m、短軸 1.1 m、深さ 0.51 m	楕円形	U字状	土師器の坏を含む	第 60 図
SK-060	SD-039 → SK-060	長軸 1.4 m、短軸 1.2 m、深さ 0.3 m	不整な長方形	箱状	土師器、羽口片 43.6g、鉄滓 32.2g	第 60 図
SK-061	SD-030 → SK-061	長軸 1.2 m、短軸 0.7 m、深さ 0.6 m、西側にデラスをもつ。	長方形	逆台形	土師器、須恵器	第 60 図
SK-062	SD-030 → SK-062	長軸 1.9 m、短軸 0.9 m、深さ 0.63 m	楕円形	逆台形	土師器	第 60 図
SK-063	なし	長軸 1.1 m、短軸 0.8 m、深さ 0.33 m	長方形	箱状	土師器、瓦 23.4g、羽口 41.2g、軽石 2.7g、鉄滓 517g	第 60・63 図
SK-064	SD-041 → SK-064	長軸 1.1 m、短軸 0.9 m、深さ 0.4 m	楕円形	逆台形	なし	第 60 図
SK-065	SD-034 → SD-030 → SK-065	長軸 2.4 m、短軸 0.8 m、深さ 0.35 m	楕円形	U字状	土師器	第 60 図

表 27 E区土坑観察表

## ピット

平面から掘立柱建物跡の組み合わせを検討したが、組み合うものはなかった。

P-162 (第 60・64 図、表 29)

重複関係 SD-037 → P-162

規模・形態・構造 一辺 0.6～0.7 m、深さ 0.32 m。平面形は方形である。

遺物 土師器、須恵器が出土した。土師器は甕、須恵器は坏などが含まれる。

P-163 (第 60・64 図、表 29)

重複関係 なし

規模・形態・構造 一辺 0.7～0.9 m、深さ 0.3 m。平面形は方形である。

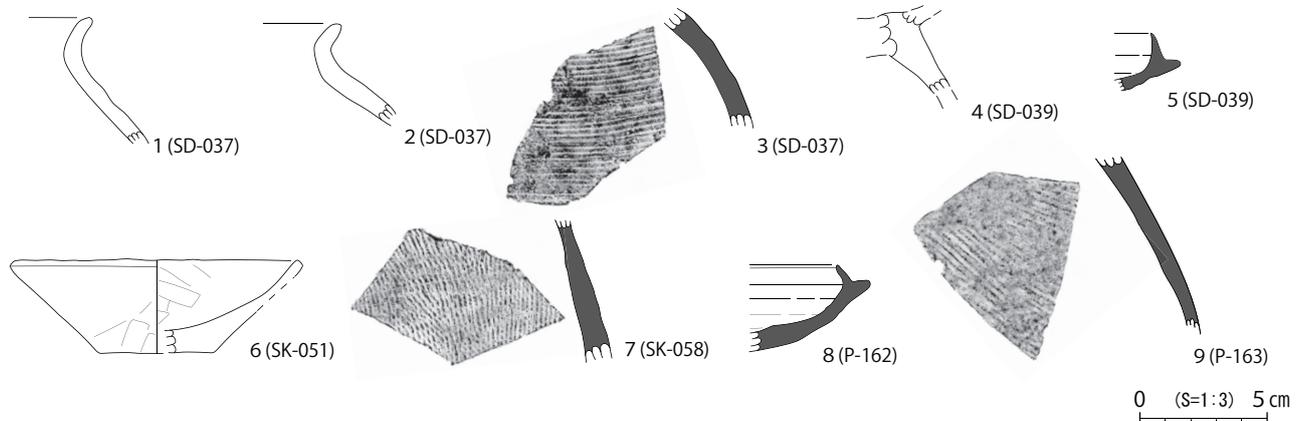
遺物 土師器、須恵器、鉄滓 3g が出土した。須恵器は甕などが含まれる。

その他のピット

一覧表にまとめた。

遺構	重複関係	規模	平面形	柱痕の有無	出土遺物	備考
P-126	なし	直径 0.5 m、深さ 0.37 m	円形	無	土師器	第 60 図
P-127	なし	長軸 0.7 m、短軸 0.6 m、深さ 0.42 m	楕円形	無	土師器、須恵器の高台付坏、鉄滓 278g	第 60 図
P-128	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.7 m、深さ 0.5 m	楕円形	無	土師器、須恵器	第 60 図
P-129	P-129 → P-144	長軸 0.7 m、検出部分の短軸 0.4 m、深さ 0.27 m	楕円形	無	なし	第 62 図
P-130	なし	直径 0.5 m、深さ 0.25 m	円形	無	土師器、須恵器	第 62 図
P-131	なし	直径 0.5 ~ 0.55 m、深さ 0.2 m	不整な円形	無	なし	第 62 図
P-132	なし	直径 0.5 m、深さ 0.36 m	円形	無	なし	第 62 図
P-133	なし	直径 0.45 ~ 0.5 m、深さ 0.2 m	円形	無	なし	第 62 図
P-134	なし	直径 0.5 ~ 0.55 m、深さ 0.39 m	円形	無	土師器	第 62 図
P-135	P-365 → P-135	直径 0.45 m、深さ 0.15 m	円形	無	土師器	第 62 図
P-136	なし	直径 0.45 m、深さ 0.22 m	円形	無	なし	第 62 図
P-137	P-138 → P-364 → P-137	直径 0.3 m、深さ 0.17 m	円形	無	なし	第 62 図
P-138	P-138 → P-364 → P-137	長軸 0.4 m、検出部分の短軸 0.2 m、深さ 0.3 m	楕円形	無	なし	第 62 図
P-139	なし	直径 0.5 m、深さ 0.17 m	円形	無	土師器	第 62 図
P-140	P-140 → SD-030	検出部分の直径 0.4 m、深さ 0.19 m	円形	無	土師器	第 62 図
P-141	なし	直径 0.25 ~ 0.3 m、深さ 0.22 m	円形	無	土師器	第 62 図
P-142	SD-029 → P-142	直径 0.4 m、深さ 0.4 m	円形	無	なし	第 62 図
P-143	なし	長軸 0.6 m、短軸 0.4 m、深さ 0.53 m	楕円形	無	なし	第 62 図
P-144	P-129 → P-144	直径 0.5 m、深さ 0.3 m	円形	無	なし	第 62 図
P-145	なし	一辺 0.7 ~ 0.8 m、深さ 0.2 m	方形	無	土師器	第 60 図
P-146	なし	長軸 0.9 m、短軸 0.7 m、深さ 0.23 m	長方形	無	なし	第 60 図
P-147	なし	直径 0.7 ~ 0.8 m、深さ 0.22 m	円形	無	土師器の甕を含む	第 60 図
P-148	なし	長軸 1.0 m、短軸 0.8 m、深さ 0.2 m	長方形	無	土師器の坏を含む	第 60 図
P-149	なし	一辺 0.55 ~ 0.7 m、深さ 0.24 m	方形	無	土師器	第 60 図
P-150	なし	長軸 0.8 m、短軸 0.6 m、深さ 0.46 m	楕円形	無	土師器の坏を含む、鉄滓 6 g	第 60 図
P-151	なし	長軸 1.0 m、短軸 0.9 m、深さ 0.27 m	長方形	無	土師器、須恵器	第 60 図
P-152	SD-034 → P-152	長軸 0.9 m、短軸 0.7 m、深さ 0.3 m	長方形	無	土師器の坏を含む	第 60 図
P-153	なし	長軸 1.1 m、短軸 1 m、深さ 0.3 m	不整な長方形	無	土師器の甕を含む、須恵器	第 60 図
P-154	SD-039 → P-154	長いく 0.7 m、短軸 0.5 m、深さ 0.25 m	楕円形	無	土師器	第 60 図
P-155	SD-037 → P-155	直径 0.8 ~ 0.9 m、深さ 0.4 m	不整な円形	有	土師器の坏を含む	第 60 図
P-156	SD-037 → P-156	長軸 0.9 m、短軸 0.6 m、深さ 0.5 m	楕円形	無	土師器	第 60 図
P-157	SD-037 → P-157	直径 0.6 ~ 0.7 m、深さ 0.55 m	円形	無	土師器	第 60 図
P-158	なし	長軸 0.9 m、短軸 0.6 m、深さ 0.39 m	楕円形	無	なし	第 60 図
P-159	SD-039 → P-159	直径 0.6 ~ 0.7 m、深さ 0.34 m	円形	無	土師器	第 60 図
P-160	なし	長軸 1.0 m、短軸 0.8 m、深さ 0.34 m	長方形	無	土師器、須恵器	第 60 図
P-161	SD-037 → P-161	一辺 1.1 ~ 1.2 m、深さ 0.32	不整な方形	無	土師器、鉄滓 9 g	第 60 図
P-164	なし	一辺 0.8 ~ 0.9 m、深さ 0.75 m	方形	無	土師器の甕を含む	第 60 図
P-165	SD-030 → P-165	長軸 0.8 m、短軸 0.5 m、深さ 0.4 m	楕円形	無	土師器	第 60 図
P-166	SD-030 → P-166	一辺 0.8 ~ 0.9 m、深さ 0.49 m	不整な方形	無	土師器	第 60 図
P-364	P-138 → P-364 → P-137	検出部分の長軸 0.4 m、短軸 0.3 m、深さ 0.26 m	楕円形	無	なし	第 62 図
P-365	P-365 → P-135	直径 0.4 m、深さ 0.32 m	円形	無	なし	第 62 図
P-366	なし	直径 0.4 m、深さ 0.42 m	円形	無	なし	第 60 図

表 28 E区ピット観察表



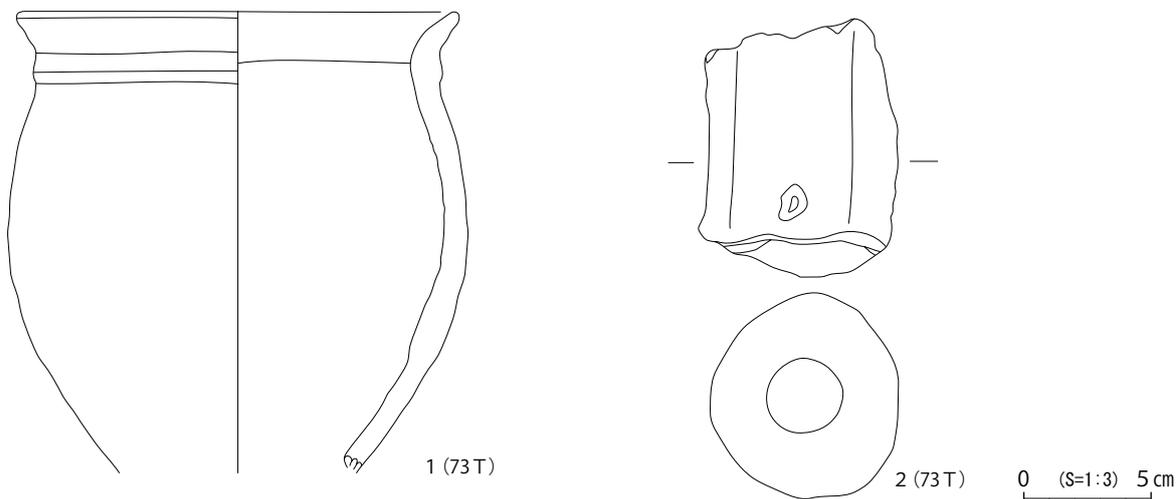
第 64 図 E区出土遺物実測図

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	土師器壺か甕 SD-037	口縁部～肩部		内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。	良好	橙色	小石、石英
2	土師器壺か甕 SD-037	口縁部～肩部		一部器面剥離。外面ナデ。	やや良好	浅黄色	小石、赤色粒、石英
3	須恵器壺 SD-037	肩部片		ロクロ成形。外面ヘケ状工具でナデ。	良好	灰色	細かい砂粒
4	土師器高坏 SD-039	脚部片		摩耗激しく調整不明。	不良	にぶい黄橙色	砂粒、赤色粒
5	須恵器坏 SD-039	口縁部～体部		ロクロ成形。	良好	灰色	砂粒、白色粒
6	土師器坏 SK-051	口縁部～底部 1/4	口 (復) 11.3 底 (復) 高 3.7	内面ヘラケズリ。外面ヘラケズリ、上部器面剥離。	やや良好	内面一部黄灰色、 外面にぶい黄橙色	小石、石英
7	須恵器甕 SK-058	胴部片		内面あて具痕。外面ヘラケズリ。	良好	灰白色	細かい白色粒、小礫
8	須恵器坏 P-162	口縁部～底部片	高 (遺) 3.5	ロクロ成形。	良好	灰色	砂粒、小礫
9	須恵器甕 P-163	胴部片		外面平行タタキ、自然袖付着。	良好	内面灰白色、外面 オリーブ灰色	細かい砂粒

表 29 E区出土遺物観察表

## 7 その他出土遺物 (第 65 図・表 30)

確認調査で出土した遺物を掲載した。



第 65 図 遺構外出土遺物実測図

NO	器種・種類	遺存率	大きさ (cm, g)	特徴	焼成	色調	胎土
1	土師器甕 73 T	口縁部～胴部 4/5	口 17.5 高 (遺) 18.2	摩耗激しく調整不明。	やや不良	明黄褐色	小石、砂粒、赤色粒、白色粒、 石英
2	羽口 73 T		最大幅 7.8 高 (遺) 7.3 重 473.2	摩耗激しく調整不明。	やや不良	橙色	砂粒、白色粒

表 30 遺構外出土遺物観察表

## 第3章 まとめ

今回の調査区は、従前社宅が建てられており、攪乱の範囲が調査区全体に及んでおり、遺構の全体を把握しにくい部分があった。また、確認調査の結果、調査区南側が微高地上になっており、遺構の広がりを確認した。出土した遺物は、弥生時代から近世までと多岐にわたる。検出した遺構の中心は奈良・平安時代のものである。各時代ごとに以下のとおりまとめる。

### 1 古墳時代以前

遺構は検出されなかったが、弥生土器片が1点のみ出土した。近接地の上湯江遺跡IVでも縄文時代の遺物が出土している。低地での古墳時代以前の遺跡としては常代遺跡や外箕輪遺跡、郡遺跡などが挙げられる。

### 2 古墳時代

調査区全体で遺物が出土しているが、遺構は少なく、A・E区で検出したのみである。遺物の多くは、古墳時代後期のものであり、奈良・平安時代の遺物と共伴している。上湯江遺跡IVでは、古墳時代の竪穴住居跡などが検出されたため、本調査区でも古墳時代の集落が検出される可能性を念頭に置き、調査を実施した。調査の結果、遺構としてはA区のSD-007・008、SK-023及びE区のSD-034のみの検出であった。

SK-023は鉄滓が多量に出土しており、鉄製作関係の遺構である可能性もある。SD-034で出土した土師器坏は、小糸川左岸の低地遺跡である常代遺跡や郡遺跡で出土したものと類似している。また、常代遺跡では古墳の周溝も調査されている。上湯江遺跡でも古墳の周溝が確認されていることから、遺構の密度は低いが近隣の遺跡との共通点も指摘できるのではないだろうか。

### 3 奈良・平安時代

今回の調査成果の中心は当該期であり、数多くの遺構・遺物を検出した。遺構の種類ごとに特徴的なものについてここで挙げたい。

#### (1) 竪穴住居跡

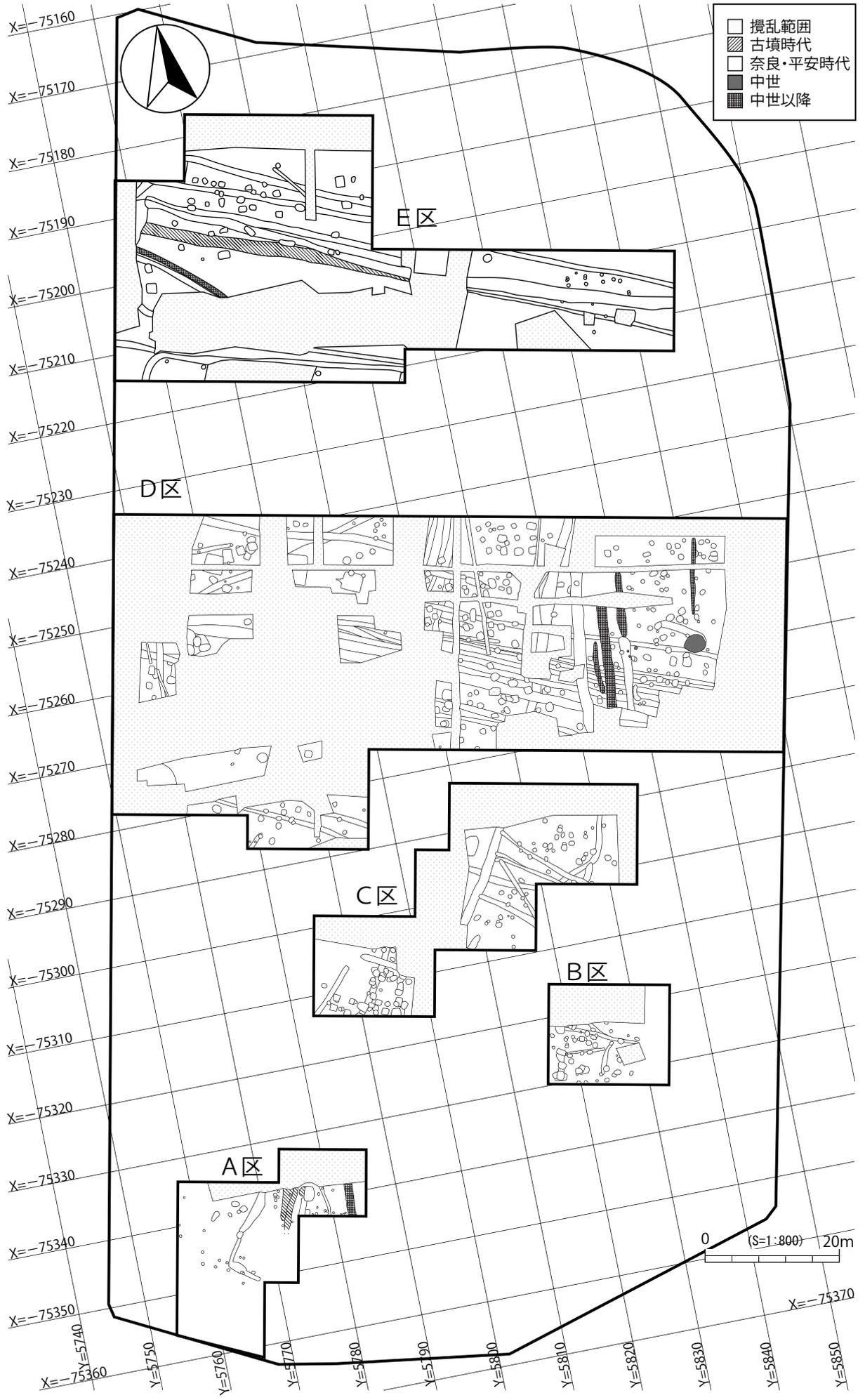
D区で竪穴住居跡3軒を検出した。SI-001では、カマドの一部を確認したが、貯蔵穴や柱穴は確認できなかった。SI-002・003の上部は削平を受けており、詳細は不明である。D区は東西で確認面の高さが異なり、住居跡を検出した周辺は若干高くなっている。上湯江遺跡IV同様、微高地上に住居跡があることがわかった。調査面積に対して検出数が少ないことは、攪乱によって壊されている、もしくは集落が調査区西側に広がっていく可能性も考えられる。

#### (2) 掘立柱建物跡

調査区全体で柱痕をもつピットを検出したが、組み合わせるものは、ほとんどなかった。D区でSB-001・002を検出した。いずれも柱痕跡から径0.2～0.3mの柱が想定できる。

#### (3) 溝跡

調査区全体を通して溝跡が多く検出された。一部、古墳時代や近世の溝跡も含まれるが、ほとんどが奈



第 66 図 調査成果

良・平安時代の溝跡である。南東—北西方向に走る溝が多く、北西方向から南東へ向かって緩やかに下がっていく傾向がある。D区では、調査区全体に溝跡が走っており、1条の長さも長い。断面形は、箱形もしくは逆台形状のものである。溝跡から出土した遺物は、そこまで多くはないが、SD-059からは、8世紀代の土師器皿が出土した。

#### (4) 土坑

D区のSK-084では、鉄滓が数多く出土し、酸化鉄の硬化面を確認した。上部をSD-059で削平されているため詳細は不明ではあるが、鉄製作関係遺構であった可能性が高い。また、確認調査の73Tから出土した羽口片も多数の鉄滓と共伴していることから調査区内もしくは付近に鍛冶遺構があった可能性が高い。SK-107・111は、土層の観察から人為堆積であると考えられることから、土坑墓である可能性もある。

#### (5) 井戸

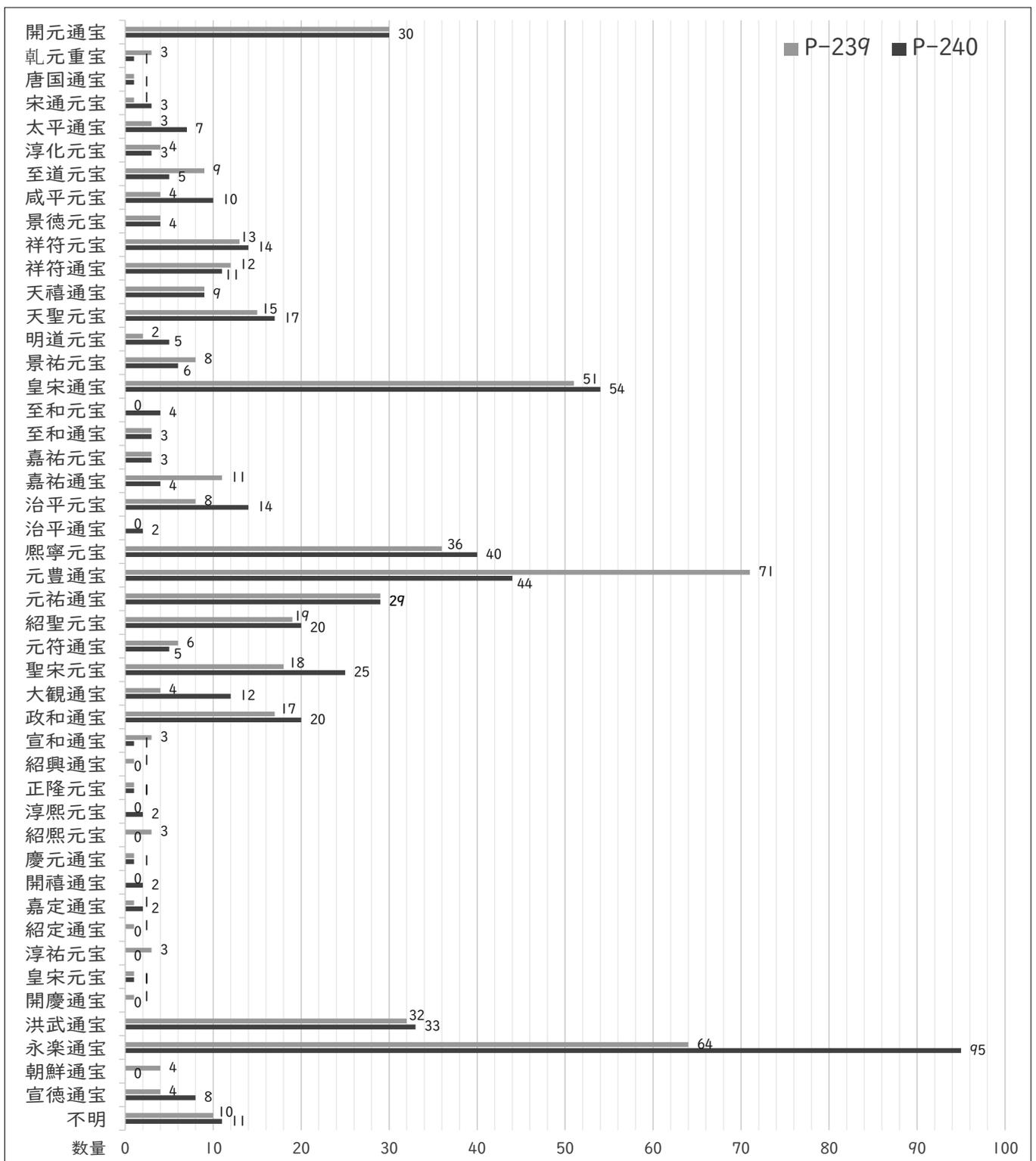
D区で2基の井戸を検出した。SE-003は、方形の木製井戸枠を伴う井戸で、出土した遺物は古墳時代後期から奈良・平安時代のものである。井戸に使用している木材は厚く、重量のあるものであった。組み合わせる際の板材の掘り込みや固定するために板と板との隙間に土器片を使用するなどの構造が見られた。遺物は、墨書土器が複数点出土し、「奉」「内」の2文字を複数点確認した。墨書土器は、上湯江遺跡では初出土である。小片のため図示していないが、上層には、小片の遺物を含む層があり、それを下げて木組みを検出した。井戸の上層では瓦片が出土し、井戸の内部から出土したものは時期幅がある。また、斎串も複数点出土していることからSE-003で何らかの祭祀行為を行っていた可能性が高い。

## 4 中世

15世紀代の井戸及び古銭が出土したピット3基を検出した。井戸からは常滑の甕や木製の下駄などが出土した。ピットからは、500点以上の古銭が出土した。袖ヶ浦市の文脇遺跡では、大甕に入れた状態で古銭が出土している。今回検出したものは、袋のようなものに入れていたと考えられる。出土した古銭の種類別数量は第67図のとおりである。最も多いものは永楽通宝で、次いで元豊通宝である。2基合わせて全1,086枚だが多数の銭種が含まれていることがわかる。

上湯江遺跡では、近年調査の件数が増加し、調査の度に新たな知見を得てきた。今回の調査でも、新たに奈良・平安時代の木組みの井戸や墨書土器、中世の古銭出土ピットなどを検出した。これまでの調査成果から、上湯江遺跡は古墳時代後期から奈良・平安時代が中心で、その後の中世まで連面と続いていたことがわかっている。上湯江遺跡IVで出土した水滴から識字層の存在を示唆していたが、今回の調査で墨書土器が出土したことにより、官衙や寺院跡などの施設がある可能性が高まった。また、過去の確認調査で龍泉窯の青磁片が出土したことから鎌倉とのつながりが分かっている。時代は異なるが、15世紀代の井戸や永楽通宝などの宋銭が入るピットなどを検出した。

近年の大規模開発によって上湯江遺跡の全貌が明らかになりつつある。遺跡内の微高地上に遺構が広がり、集落や井戸など様々な遺構を検出している。上湯江・貞元地区には「湯坐郷」や「貞元親王」などの伝説が残っている。今回の調査によって識字層の存在は明らかとなり、君津市内でも重要な遺跡のひとつであるといえるだろう。検出しなかった官衙や寺院跡については、今後の調査成果に期待したい。



第 67 図 P-239・240 出土古銭種類別数量

参考文献

- 『永吉台遺跡群』1985 財団法人君津郡市文化財センター
- 『常代遺跡群』1996 財団法人君津郡市文化財センター
- 『郡遺跡群発掘調査報告書Ⅱ』1996 財団法人君津郡市文化財センター
- 鈴木公雄 『銭の考古学』2002 株式会社吉川弘文館
- 『袖ヶ浦市文脇遺跡（中・近世編）』2017 千葉県教育委員会
- 『上湯江遺跡Ⅳ』2019 君津市教育委員会

# 第4章 自然科学分析

## 1 上湯江遺跡V出土木製品の樹種同定

小林克也 (パレオ・ラボ)

### 1. はじめに

千葉県君津市の上湯江遺跡Vから出土した木製品の樹種同定を行った。

### 2. 試料と方法

試料は、井戸跡 SE-002、003、土坑 SK-038、040、041、ピット P-58 から出土した木製品で、計 20 点である。時期については、SE-003、SK-038、040、041、P-58 は奈良・平安時代、SE-002 は 15 世紀頃と考えられている。各試料について、切片採取前に木取りの確認を行なった。

樹種同定は、材の横断面（木口）、接線断面（板目）、放射断面（柁目）について、カミソリで薄い切片を切り出し、ガムクロラールで封入して永久プレパラートを作製した。その後乾燥させ、光学顕微鏡にて検鏡および写真撮影を行なった。

### 3. 結果

同定の結果、針葉樹のモミ属とヒノキの2分類群と、広葉樹のクスノキ科とモクレン属の2分類群の、計4分類群がみられた。

表1 上湯江遺跡V出土木製品の樹種同定結果

時期	奈良・平安時代							15世紀	合計	
	器種	板	木杭	曲物	井戸枠	木杭	斎串	器種不明木製品		下駄
モミ属					5					5
ヒノキ	3	1	2				5	2		13
クスノキ科						1				1
モクレン属									1	1
合計	3	1	2		5	1	5	2	1	20

2分類群の、計4

分類群がみられた。ヒノキが13点で最も多く、モミ属が5点、クスノキ科とモクレン属が各1点であった。同定結果を表1に、一覧を付表1に示す。

以下に、同定された材の特徴を記載し、図版に光学顕微鏡写真を示す。

(1) モミ属 *Abies* マツ科 図版1 1a-1c (No. 1-1)、2a-2c (No. 1-3)

仮道管と放射組織で構成される針葉樹である。晩材部は厚く、早材から晩材への移行は緩やかである。放射組織は単列で、高さ1~8列となる。分野壁孔は小型のスギ型で、1分野に2~4個みられる。また、放射組織の末端壁は数珠状に肥厚する。

モミ属には高標高域に分布するシラビソ、オオシラビソ、ウラジロモミと、低標高域に分布するモミなどがあり、いずれも常緑高木である。材はやや軽軟で、切削その他の加工は容易、割裂性も大きい。

(2) ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* (Siebold et Zucc.) Endl. ヒノキ科 図版1、2 3a-3c (No. 3)、4a-4c (No. 5-1)

仮道管と放射組織、樹脂細胞で構成される針葉樹である。晩材部は薄く、早材から晩材への移行は急である。放射組織は単列で、高さ1～15列である。分野壁孔はトウヒ～ヒノキ型で、1分野に2個みられる。

ヒノキは福島県以南の暖温帯に分布する常緑高木の針葉樹である。材はやや軽軟で加工しやすく、強度に優れ、耐朽性が高い。

(3) クスノキ科 Lauraceae 図版2 5a-5c(No.2)

小型の道管が単独ないし2～3個複合し、やや密に散在する散孔材である。軸方向柔組織は周囲状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は同性で、幅1～2列となる。木部繊維内には、油細胞が認められる。

クスノキ科にはニッケイ属やタブノキ属、クロモジ属などがあり、暖帯を中心に分布する、主に常緑性の高木または低木である。

(4) モクレン属 *Magnolia* モクレン科 図版2 6a-6c(No.6)

小型の道管が単独ないし2～3個複合してやや密に散在する散孔材である。道管は単穿孔を有し、道管交互壁孔は階段状となる。放射組織は上下端1列が直立する異性で、幅1～2列となる。

モクレン属にはホオノキ、コブシなどがある。代表的なホオノキは、山間の肥沃なところに散生する落葉高木の広葉樹で、材は軽軟で堅くなく、切削その他の加工は極めて容易である。

#### 4. 考察

奈良・平安時代の板と木杭は、いずれもヒノキであった。ヒノキは木理通直で真っすぐに生育する、加工性の良い樹種である（伊東ほか，2011）。千葉県内で確認されている奈良・平安時代の板ではヒノキの利用がみられるが、杭ではクスノキ科やサカキなどの広葉樹が多くみられ、ヒノキは確認されていない（伊東・山田編，2012）。

奈良・平安時代の井戸枠はモミ属、木杭はクスノキ科で、曲物、齋串、器種不明木製品はいずれもヒノキであった。モミ属はヒノキと同様に真っすぐで加工性が良く、水湿に強い樹種である。また、クスノキ科は堅硬な部類の樹種である（伊東ほか，2011）。千葉県内で確認されている奈良・平安時代頃の杭にはカヤやイヌガヤが多いが、クスノキ科もみられる。また、曲物の底板や蓋板、側板ではヒノキとスギが確認されている。

15世紀の下駄は、モクレン属であった。モクレン属は軽軟で加工性の良い樹種である（伊東ほか，2011）。千葉県内で確認されている15世紀頃の下駄には、マツ属複維管束亜属やヒノキ、スギなどの針葉樹と、スダジイやケヤキなどの広葉樹がみられるが、モクレン属は確認されていない（伊東・山田編，2012）。

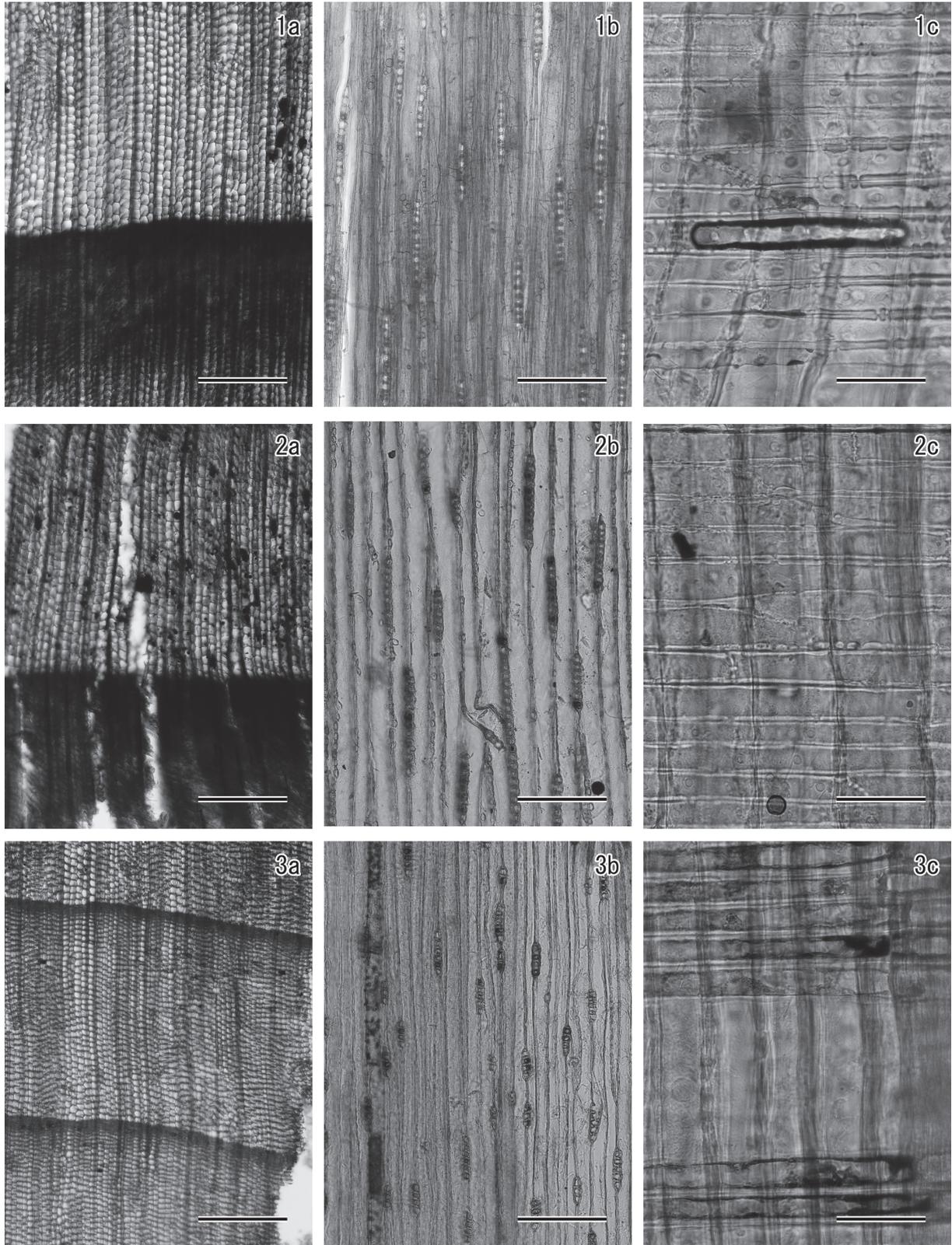
#### 引用文献

伊東隆夫・佐野雄三・安部 久・内海泰弘・山口和穂（2011）日本有用樹木誌．238p，海青社．

伊東隆夫・山田昌久編（2012）木の考古学—出土木製品用材データベース—．449p，海青社．

付表1 上湯江遺跡V出土木製品の樹種同定結果一覧

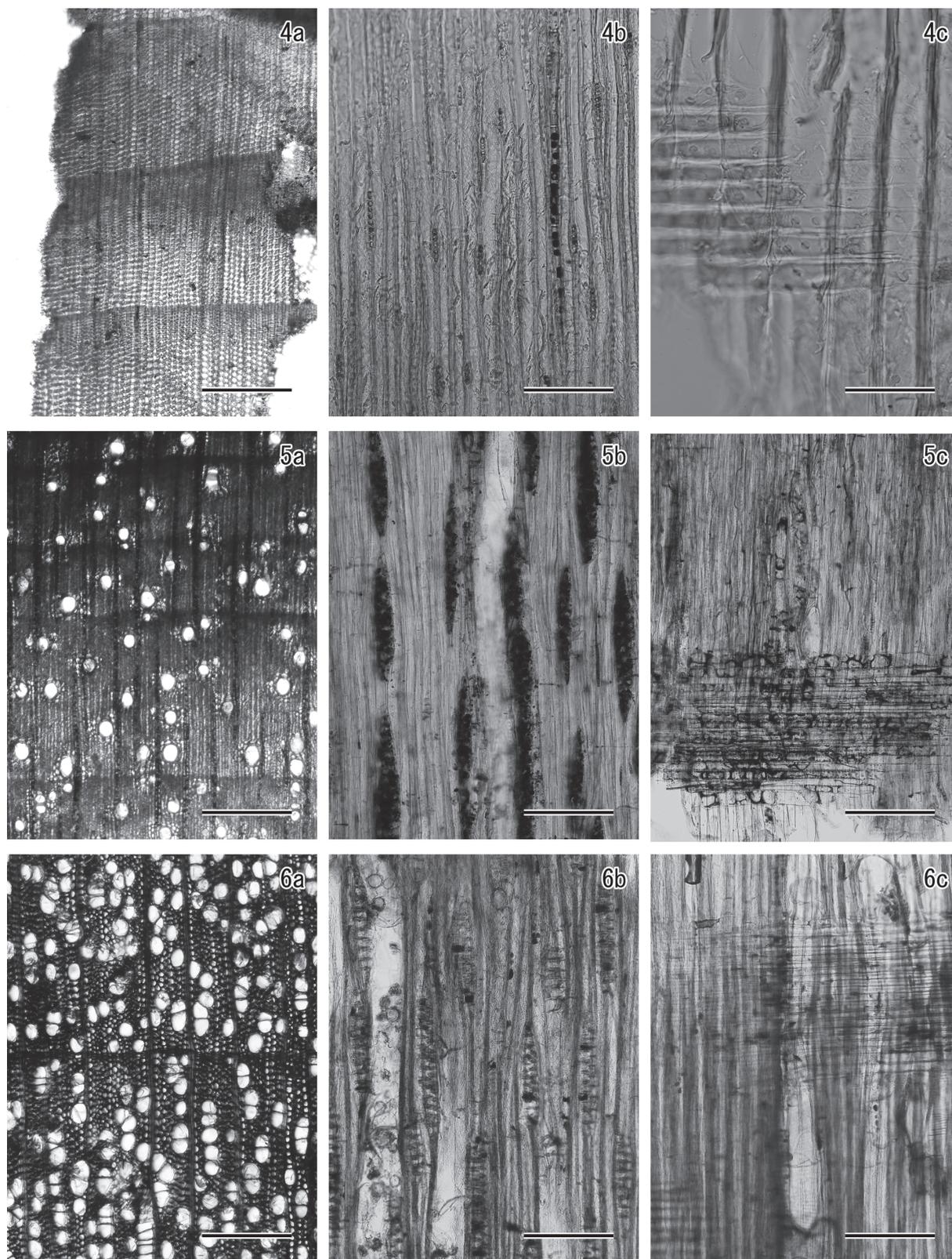
試料No.	遺構名	番号	器種	樹種	木取り	時期
1 -1	SE-003		井戸杵	モミ属	板目	奈良・平安時代
1 -2	SE-003		井戸杵	モミ属	板目	奈良・平安時代
1 -3	SE-003		井戸杵	モミ属	板目	奈良・平安時代
1 -4	SE-003		井戸杵	モミ属	板目	奈良・平安時代
1 -5	SE-003		井戸杵	モミ属	板目	奈良・平安時代
2	SE-003		木杭	クスノキ科	芯持丸木	奈良・平安時代
3	SE-003		曲物	ヒノキ	追榎目	奈良・平安時代
4	SE-003		曲物	ヒノキ	板目	奈良・平安時代
5 -1	SE-003		齋串	ヒノキ	芯去削出	奈良・平安時代
5 -2	SE-003		齋串	ヒノキ	芯去削出	奈良・平安時代
5 -3	SE-003		齋串	ヒノキ	芯去削出	奈良・平安時代
5 -4	SE-003		齋串	ヒノキ	榎目	奈良・平安時代
5 -5	SE-003		器種不明木製品	ヒノキ	榎目	奈良・平安時代
5 -6	SE-003		器種不明木製品	ヒノキ	節部	奈良・平安時代
5 -7	SE-003		齋串	ヒノキ	板目	奈良・平安時代
6	SE-002	0051	下駄	モクレン属	板目	15世紀
7	SK-038		板材	ヒノキ	板目	奈良・平安時代
8	SK-040		板材	ヒノキ	割材	奈良・平安時代
9	SK-041		板材	ヒノキ	板目	奈良・平安時代
10	P58		木杭	ヒノキ	割れ	奈良・平安時代



図版1 上湯江遺跡V出土木製品の光学顕微鏡写真(1)

1a-1c. モミ属(No. 1-1)、2a-2c. モミ属(No. 1-3)、3a-3c. ヒノキ(No. 3)

a:横断面(スケール=500 μm)、b:接線断面(スケール=200 μm)、c:放射断面(スケール=50 μm)



図版2 上湯江遺跡V出土木製品の光学顕微鏡写真(2)

4a-4c. ヒノキ(No. 5-1)、5a-5c. クスノキ科(No. 2)、6a-6c. モクレン属(No. 6)

a: 横断面(スケール=500  $\mu\text{m}$ )、b: 接線断面(スケール=200  $\mu\text{m}$ )、c: 放射断面(スケール=4:50  $\mu\text{m}$ ・5-6:200  $\mu\text{m}$ )

## 2 上湯江遺跡Ⅴ出土の動物遺体

三谷智広（パレオ・ラボ）

### 1. はじめに

上湯江遺跡Ⅴの発掘調査において動物遺体が出土した。ここでは、動物遺体の同定結果を報告する。

### 2. 試料と方法

動物遺体はSE-003（井戸跡）から出土した。遺構の時期は、奈良・平安時代である。試料は、肉眼および実体顕微鏡下で観察し、標本との比較により部位と分類群を同定し、解体痕や加工痕などの特徴を記載した。

### 3. 結果

同定結果を表1に示す。同定されたのはすべて哺乳類で、イノシシまたはブタ（*Sus scrofa* or *Sus scrofa domesticus*）、ノウサギ（*Lepus brachyurus*）、ニホンジカ（*Cervus nippon*）が同定された。以下、動物種ごとに特徴を述べる。

同定された破片数において、最も多く出土したのは、イノシシまたはブタであった。出土した部位は、頭骨、下顎骨、上腕骨、脛骨、腓骨、寛骨（腸骨および座骨）であり、橈骨や尺骨などの前腕部や、大腿骨、椎骨、肋骨などの部位は出土せず、全身の部位は見られなかった。出土した部位のうち、四肢骨の骨端は未癒合であり、また寛骨も癒合していない。下顎骨にみられる歯列は、第1後臼歯が萌出途中であるため、6ヶ月齢頃の幼獣と推定される。骨端が未癒合である点を考慮すると、すべて同一個体と考えられる。

イノシシまたはブタに次いで、ノウサギが多く出土した。出土した部位は、頭骨、下顎骨、肩甲骨、上腕骨、大腿骨である。ノウサギについても全身の部位は認められなかった。頭蓋骨は鼻骨と後頭骨を欠損する。左上腕骨の遠位端滑車部には1条のカットマークが認められ、解体・加工に伴う解体痕と考えられる。頭骨と下顎骨は接合が可能であり、大きさなどを見ても、すべて同一個体と考えられる。

ニホンジカでは、下顎骨のみが認められた。下顎枝を欠損する。第3後臼歯が萌出しており、成獣の個体と考えられる。

### 4. 考察

今回出土した試料は、すべて井戸跡から出土している。出土した部位は全身が揃っておらず、ノウサギの上腕骨には解体痕が認められた点から、食用などに供された後に、人為的に井戸跡へ投棄されたと考えられる。

井戸跡から動物遺体が出土する例として、牛馬骨が出土する事例（桜井，1992）もあり、儀礼的な行為との関係も考えられている。今後、井戸跡の埋没過程や動物遺体の出土状況などを考慮した上で、類例をはじめ、時期や地域、民俗例などもふまえて、井戸跡から動物遺体が出土する背景を考えていく必要があるだろう。

引用・参考文献

松井 章 (2008) 動物考古学. 312p, 京都大学学術出版会.

松井 章・西本豊弘 (1999) 考古学と動物学. 210p, 同成社.

西本豊弘・新美倫子編 (2010) 事典 人と動物の考古学. 276p, 吉川弘文館.

西本豊弘編 (2008) 人と動物の日本史 (1). 276p, 吉川弘文館.

桜井秀雄 (1992) 井戸から出土する牛馬遺存体について—動物犠牲との関係—. 考古学研究, 39-2, 125-138.

林 良博 (1977) 日本産イノシシの歯牙による年令と性の判定. 日本獣医学雑誌, 392, 165-174.

Angela von den Driesh (1976) A Guide to the Measurement of Animal Bones from Archaeological Sites. 148p, Peabody Museum Press.

表1 上湯江遺跡Vの動物遺体同定結果

遺構	分類群	部位	左右	点数	状態	備考	
SE003	イノシシまたはブタ	寛骨	右	1	腸骨残存	未癒合	
		寛骨	左	1	座骨残存	未癒合	
		脛骨	左	1	近・遠位端欠	骨端未癒合	
		脛骨	右	1	近・遠位端欠	骨端未癒合	
		腓骨	左	1	近・遠位端欠	骨端未癒合	
	ノウサギ	上腕骨	左	1	近位部および遠位端欠	骨端未癒合	
		大腿骨	左	1	完存		
	イノシシまたはブタ	下顎骨	左	1	完存	接合可、同一個体 左歯列:i1, c, dm2, dm3, dm4, M1	
		下顎骨	右	1	完存	右歯列:i1, i2, c, dm2, dm3, dm4, M1	
		寛骨	左	1	腸骨	未癒合	
		ノウサギ	頭骨	—	1	鼻骨および後頭骨欠	
		ノウサギ	下顎骨	左	1	ほぼ完存	
		ノウサギ	肩甲骨	左	1	ほぼ完存	
		ノウサギ	上腕骨	左	1	完存	遠位端滑車部にカットマーク
	ノウサギ	上腕骨	右	1	完存		
	31	ニホンジカ	下顎骨	右	1	下顎枝欠	M3萌出完了
48	イノシシまたはブタ	頭骨	—	1	後頭骨欠	15の下顎骨と同一個体 左右ともに切歯・犬歯欠損、P1未萌出 dm2, dm3, dm4萌出, M1萌出途中	



図版1 上湯江遺跡V出土の動物遺体

1～7. イノシシまたはブタ (1. 頭骨 2. 左下顎骨 3. 左上腕骨 4. 左脛骨 5. 左腓骨 6. 左腸骨 7. 左座骨) 8～11. ノウサギ (8. 頭骨 9. 左下顎骨 10. 左肩甲骨 11. 左上腕骨) 12. ニホンジカ右下顎骨



図版2 ノウサギ左上腕骨に認められたカットマーク（白矢印部分）



1. D区航空写真(南東→)



2. D区航空写真(北西→)

## 図版2



1. 南側調査前風景(北→)



2. 北側調査前風景(南→)



3. 重機による掘削状況(南西→)



4. 31T遺構確認状況(北→)



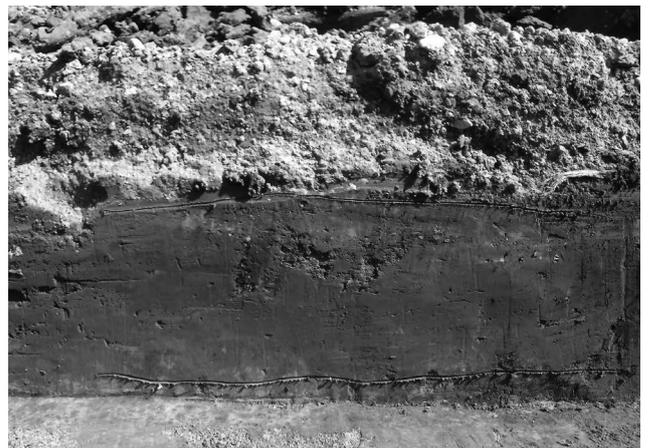
5. 31T西壁(東→)



6. 73T遺構確認状況(南西→)



7. 79T(北→)



8. 79T西壁(東→)



1. A区 SD-006断面(南西→)



2. A区 SD-008遺物出土状況(南→)



3. A区 SD-009完掘(北→)



4. A区 SK-019断面(南→)



5. A区 SK-020遺物出土状況(北東→)



6. A区 SK-023遺物出土状況(南→)

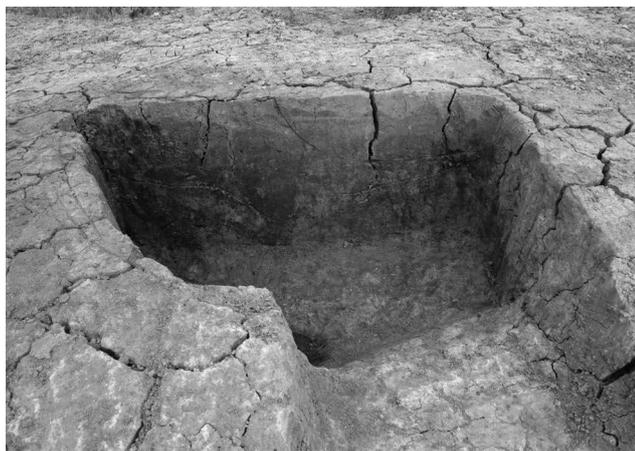


7. A区 SD-006及び周辺完掘(北東→)



8. A区 水没状況(北→)

# 図版4



1. B区 SD-001、SK-004断面(東→)



2. B区 SK-013・016、P-23・25完掘(南西→)



3. B区 完掘(南西→)



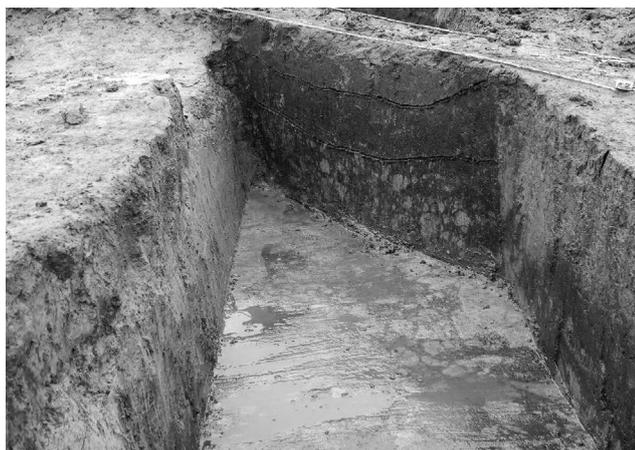
4. B区 完掘(北西→)



5. B区 作業風景(南西→)



6. B区水没状況(北西→)



7. C区 SD-011・012断面(北東→)



8. C区 SK-035木材出土状況(北東→)



1. C区 SK-040完掘及び木材出土状況(東→)



2. C区 SK-041木材出土状況(北→)



3. C区 南西側完掘(北東→)



4. C区 SK-043遺物出土状況(北→)



5. C区 SD-014、SK-043完掘(北→)



6. C区 東側完掘(南東→)



7. C区 SD14~016完掘(北西→)



8. C区 東側完掘(北西→)

図版6



1. C区 SD-015北東側完掘(北→)



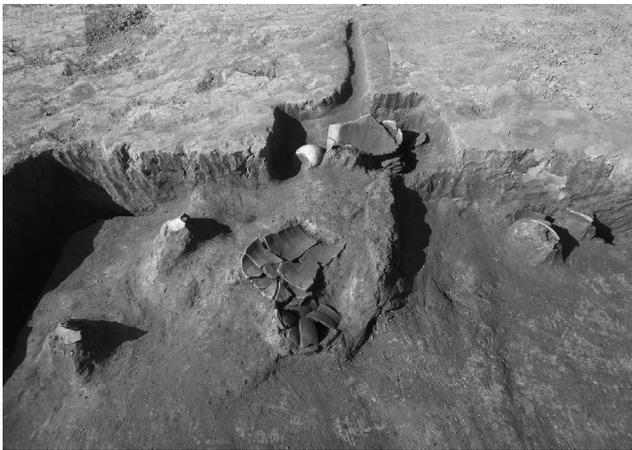
2. C区 水没状況(北西→)



3. D区 SI-001断面(南→)



4. D区 SI-001遺物出土状況(南→)



5. D区 SI-001遺物出土状況カマド周辺(南東→)



6. D区 SI-001カマド断ち割り状況(南→)



7. D区 SI-002完掘(南→)



8. D区 SI-003完掘(東→)



1. D区 掘立柱建物完掘状況(上→)



2. D区 SB-002-P10柱痕跡遺存状況(西→)



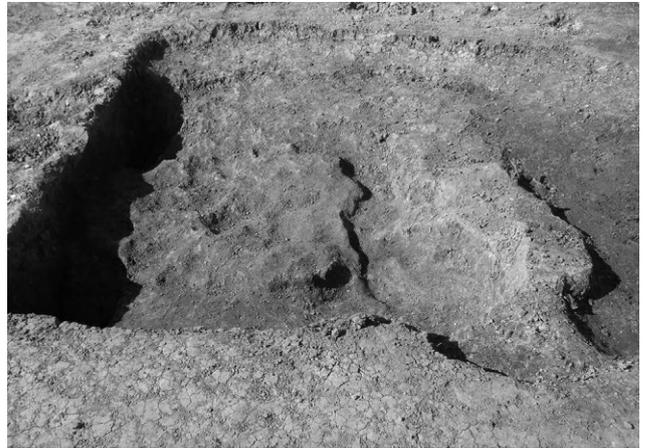
3. D区 SD-043断面(西→)



4. D区 SD-062,063周辺(東→)



5. D区 SD-071遺物出土状況近景(東→)



6. D区 SK-084鉄滓硬化面(東→)



7. D区 SK-084完掘(北東→)



8. D区 SK-108・109・110完掘(北東→)

図版8



1. D区 SE-002断面(西→)



2. D区 SE-002完掘(北西→)



3. D区 SE-003木組み検出状況(南→)



4. D区 SE-003獣骨検出状況(西→)



5. D区 SE-003木組み検出状況(北→)



6. D区 SE-003木組み検出状況(南→)



7. D区 P-239古銭検出状況遠景(南→)



8. D区 P-239断面(南東→)



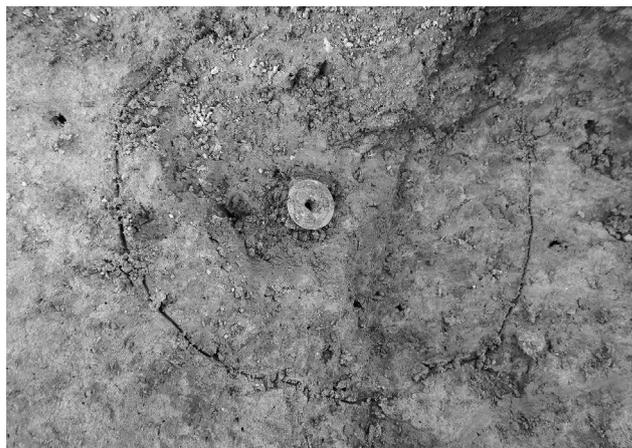
1. D区 P-239完掘(南東→)



2. D区 P-240古銭検出状況(西→)



3. D区 P-240完掘(西→)



4. D区 P-245古銭検出状況(西→)



5. D区 西側全景(南東→)



6. D区 全景(北東→)



7. D区 南東側全景(北西→)



8. D区 全景(北東→)

図版 10



1. D区 作業風景(北西→)



2. E区 遺構確認西側(北西→)



3. E区 SD-030・034断面(西→)



4. E区 SD-041断面(西→)



5. E区 SD-036完掘(東→)



6. E区 SK-050完掘(西→)



7. E区 東側作業風景(西→)



8. E区 水没状況(南東→)



1. 第7图6



2. 第7图14



3. 第7图16



4. 第7图17



5. 第7图19



6. 第8图22



7. 第8图24



8. 第8图25



9. 第8图26



10. 第8图27



11. 第12图4



12. 第12图5



13. 第12图9



14. 第12图10



15. 第12图11



16. 第12图12 凹面



17. 第12图12 凸面



18. 第12图14

图版 12



1. 第16图1



2. 第16图2



3. 第16图3



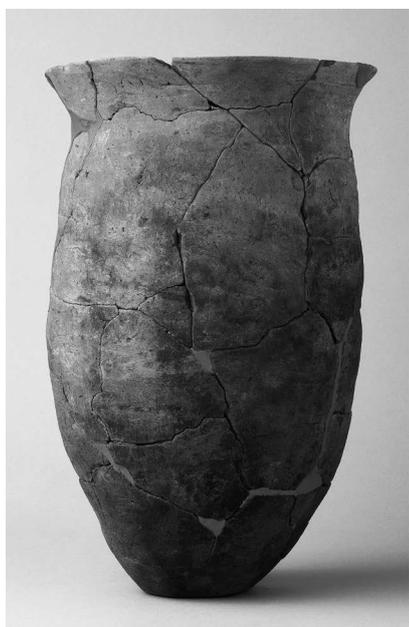
4. 第16图4



5. 第19图1



6. 第19图4



7. 第19图6



8. 第19图5



9. 第21图4



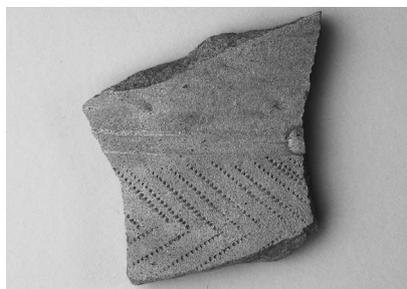
10. 第26图1



11. 第26图7



12. 第26图9



13. 第26图10



14. 第26图12



15. 第26图13



16. 第26图16



17. 第27图1



1. 第27图4



2. 第27图5



3. 第27图6



4. 第27图9



5. 第27图10



6. 第32图1



7. 第32图2



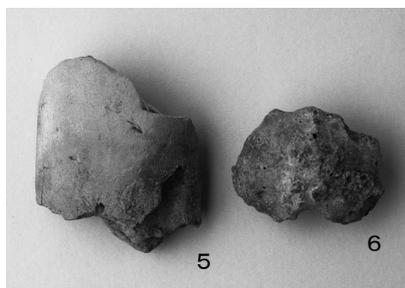
8. 第32图5



9. 第32图6



10. 第32图7



11. 第33图5·6



12. 第34图4



13. 第34图11



14. 第34图12



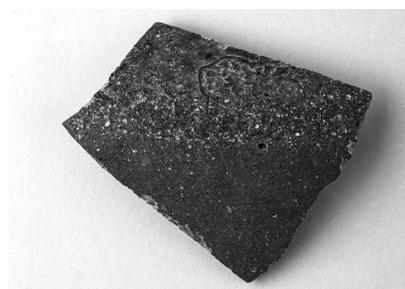
15. 第35图1.



16. 第35图2



17. 第35图3



18. 第35图4

图版 14



1. 第35图5



2. 第35图7



3. 第36图10



4. 第36图11



5. 第36图12



6. 第36图13 表



7. 第36图13 裏



8. 第38图2



9. 第38图7



10. 第38图9



11. 第38图10 外面



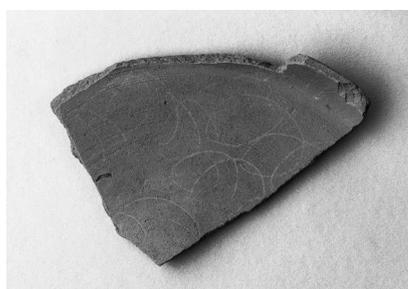
12. 第38图10 内面



13. 第38图11



14. 第38图12



15. 第38图13



16. 第38图14



17. 第38图15



18. 第38图16



1. 第39图17



2. 第39图20



3. 第39图21



4. 第39图24



5. 第39图25



6. 第49图26



7. 第39图27



8. 第39图28 外面



9. 第39图28 内面



10. 第39图29



11. 第39图30



12. 第39图31



13. 第39图32



14. 第40图33



15. 第40图34



16. 第40图35



17. 第40图36

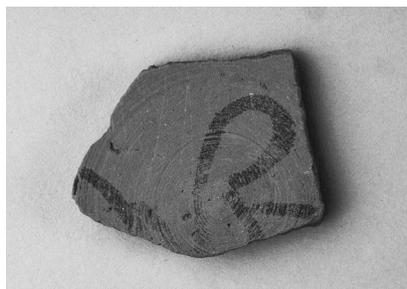


2. 第40图37

图版 16



1. 第40图38



2. 第40图39



3. 第40图40



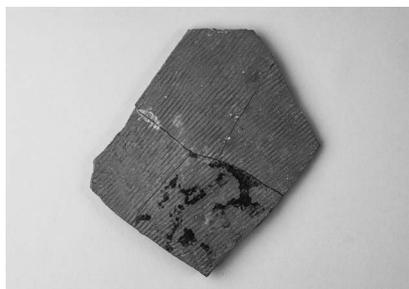
4. 第40图41



5. 第40图42



6. 第40图45



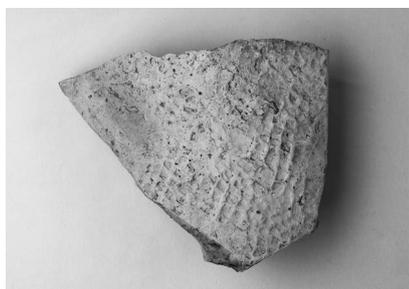
7. 第40图46



8. 第40图48



9. 第41图49 凹面



10. 第41图49 凸面



11. 第41图50 凹面



12. 第41图50 凸面



13. 第41图51



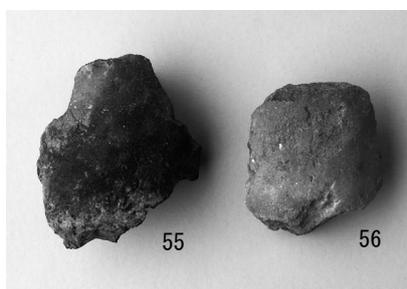
14. 第41图52



15. 第41图53



16. 第41图54



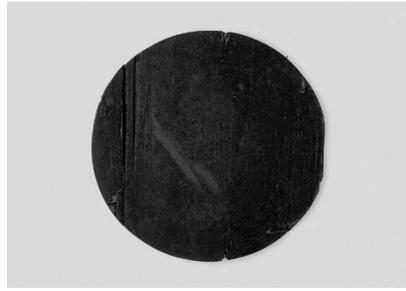
17. 第41图55-56



18. 第42图57



1. 第42図58



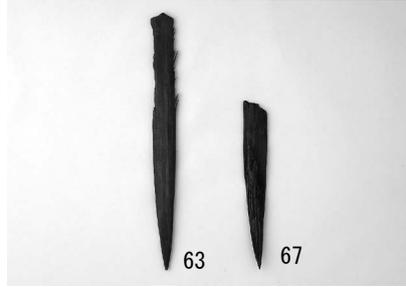
2. 第42図59



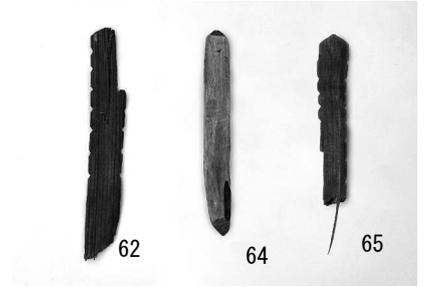
3. 第42図60



4. 第42図61



5. 第42図63・67



6. 第42図62・64・66



7. 第61図1・2



8. 第65図1

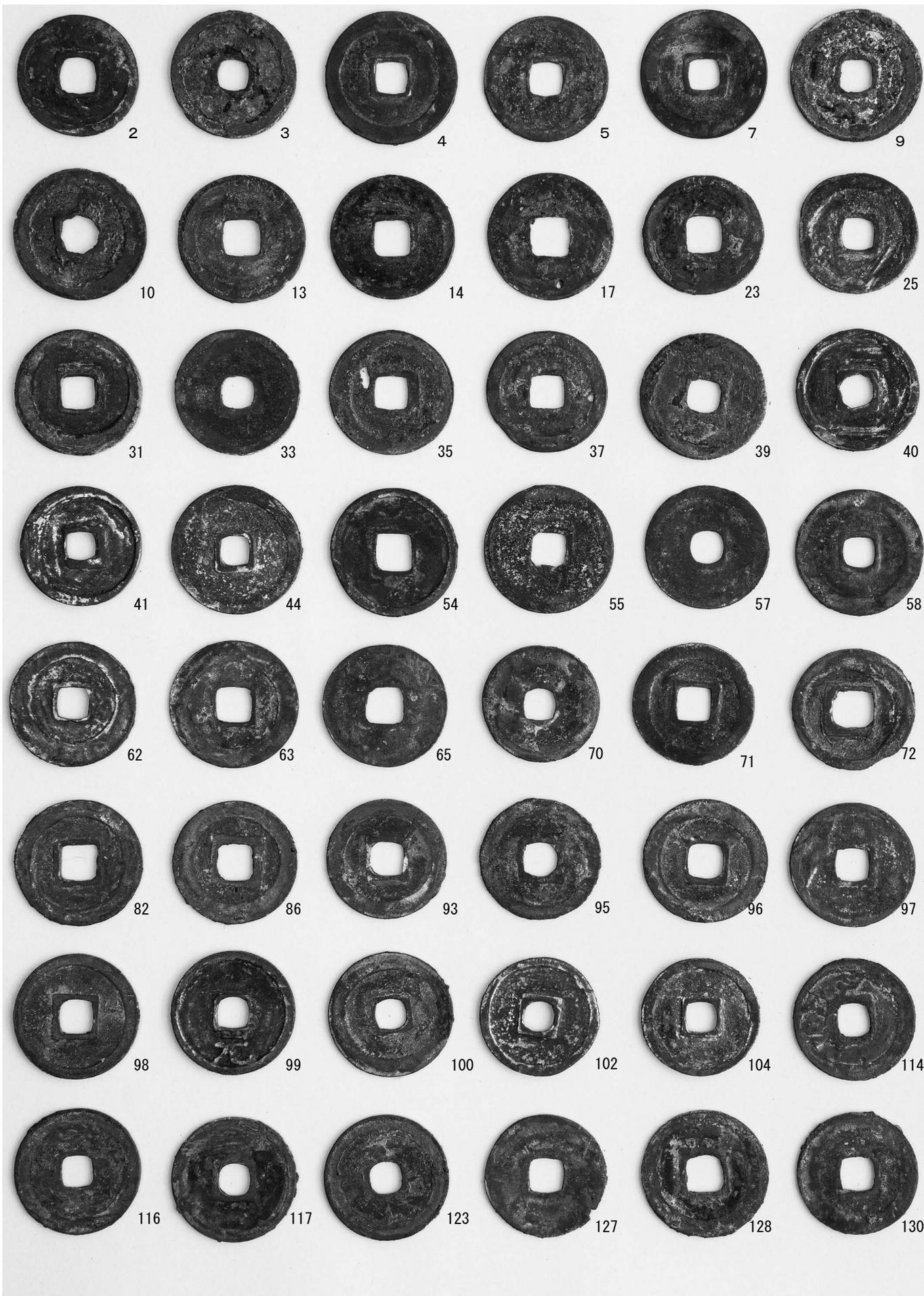


9. 第65図2

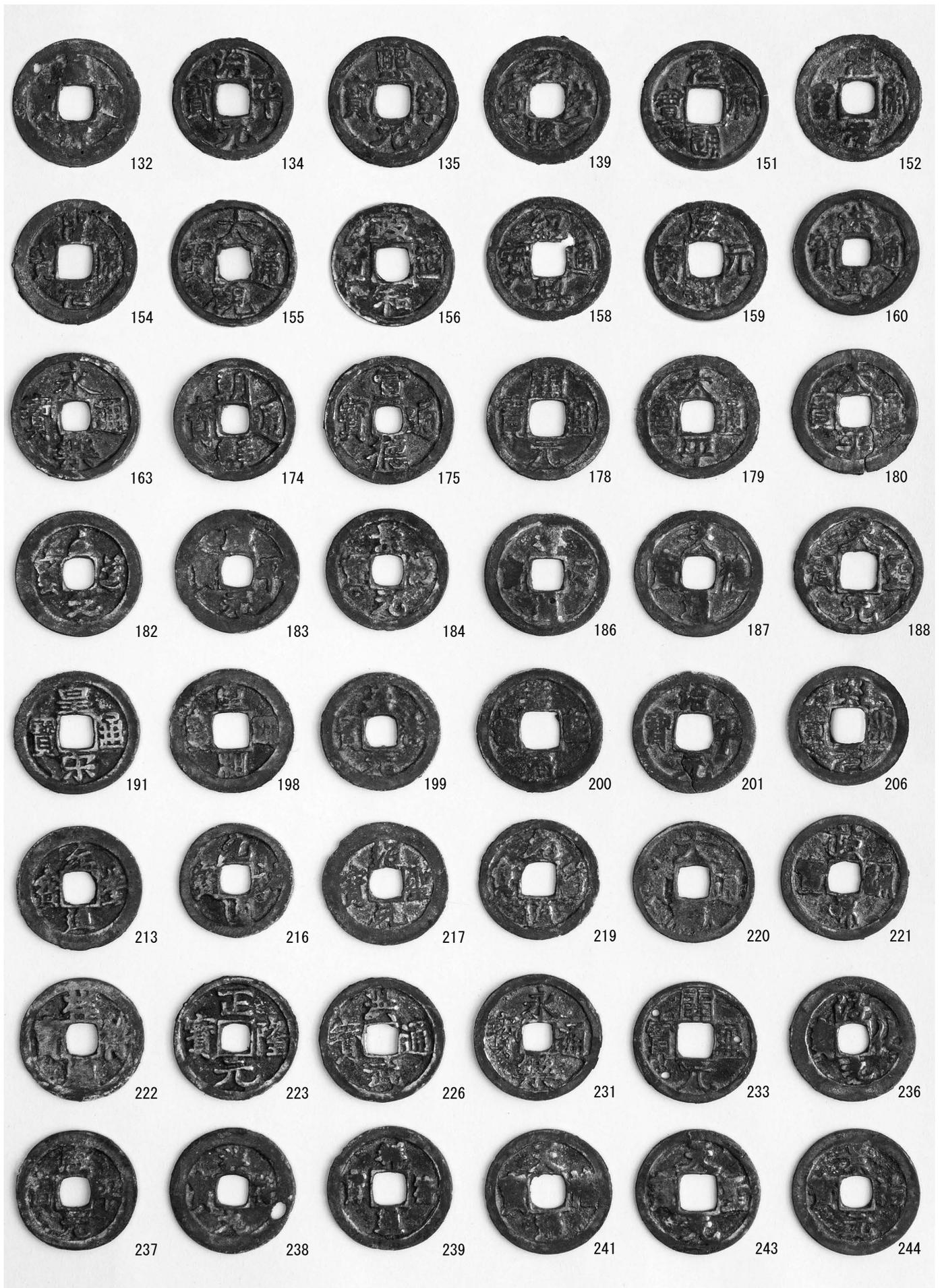


10. SE-003井戸枠 木材1~4

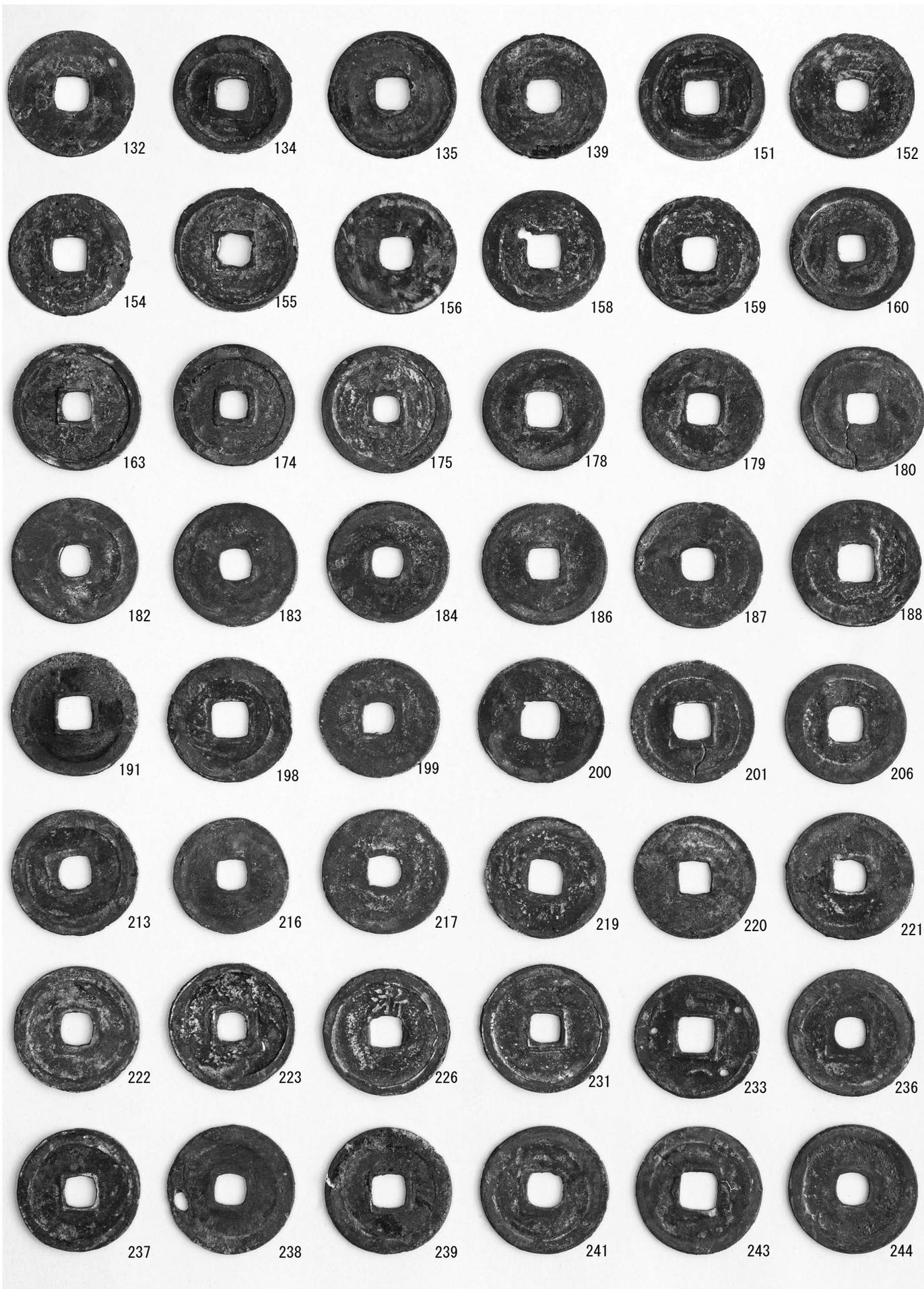




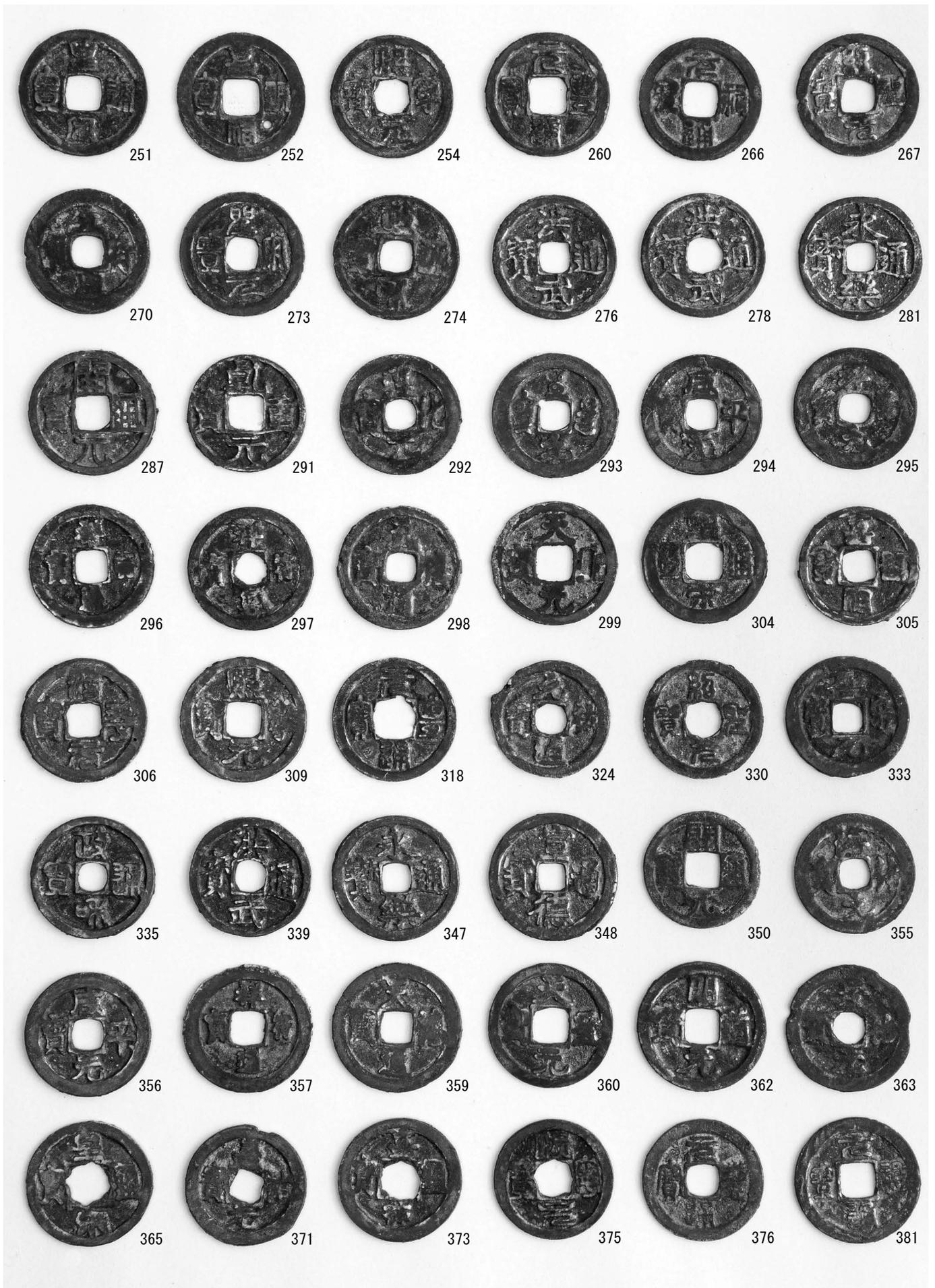
1. P-239出土古钱(1)裏



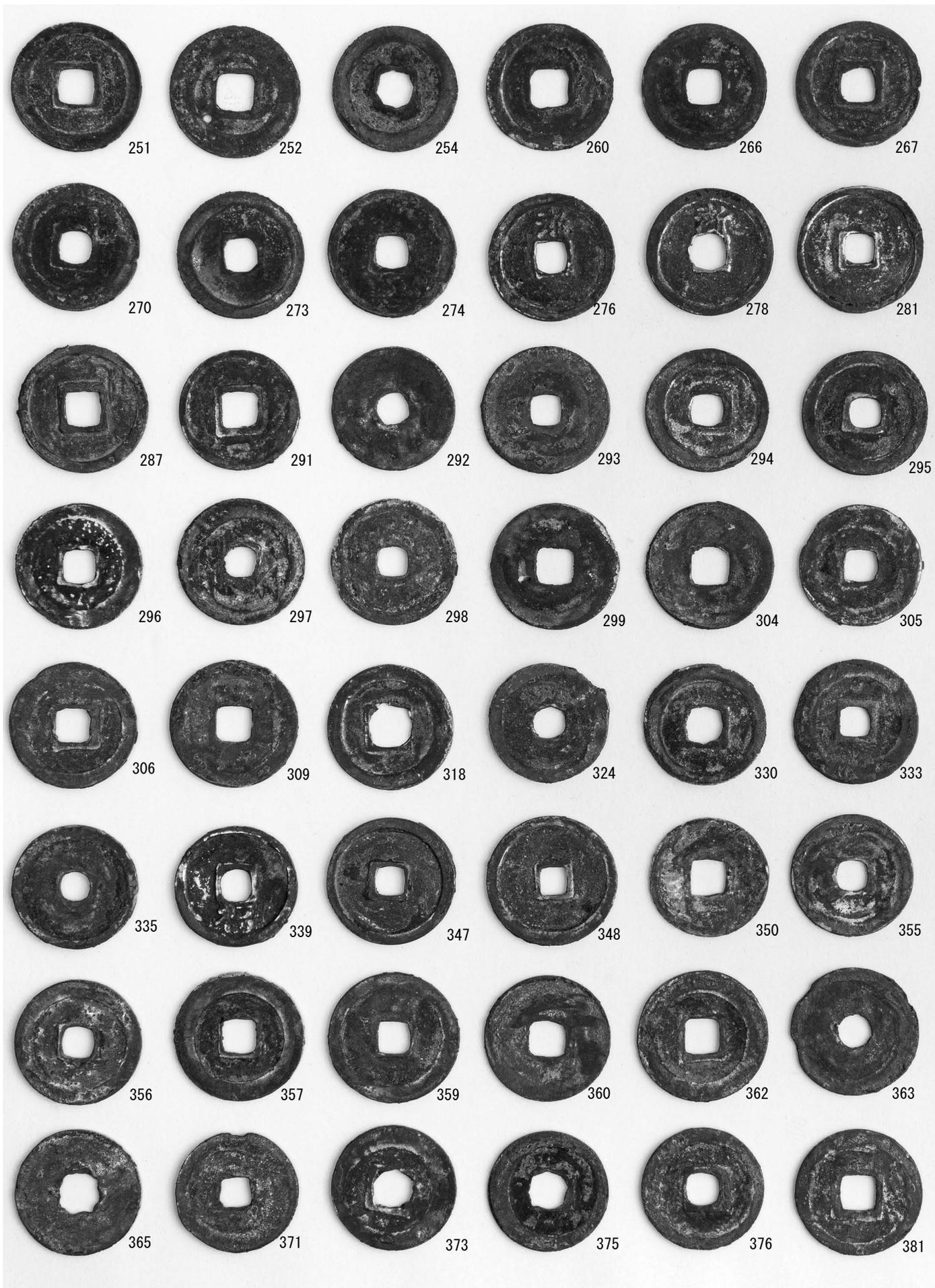
1. P-239出土古錢(2)表



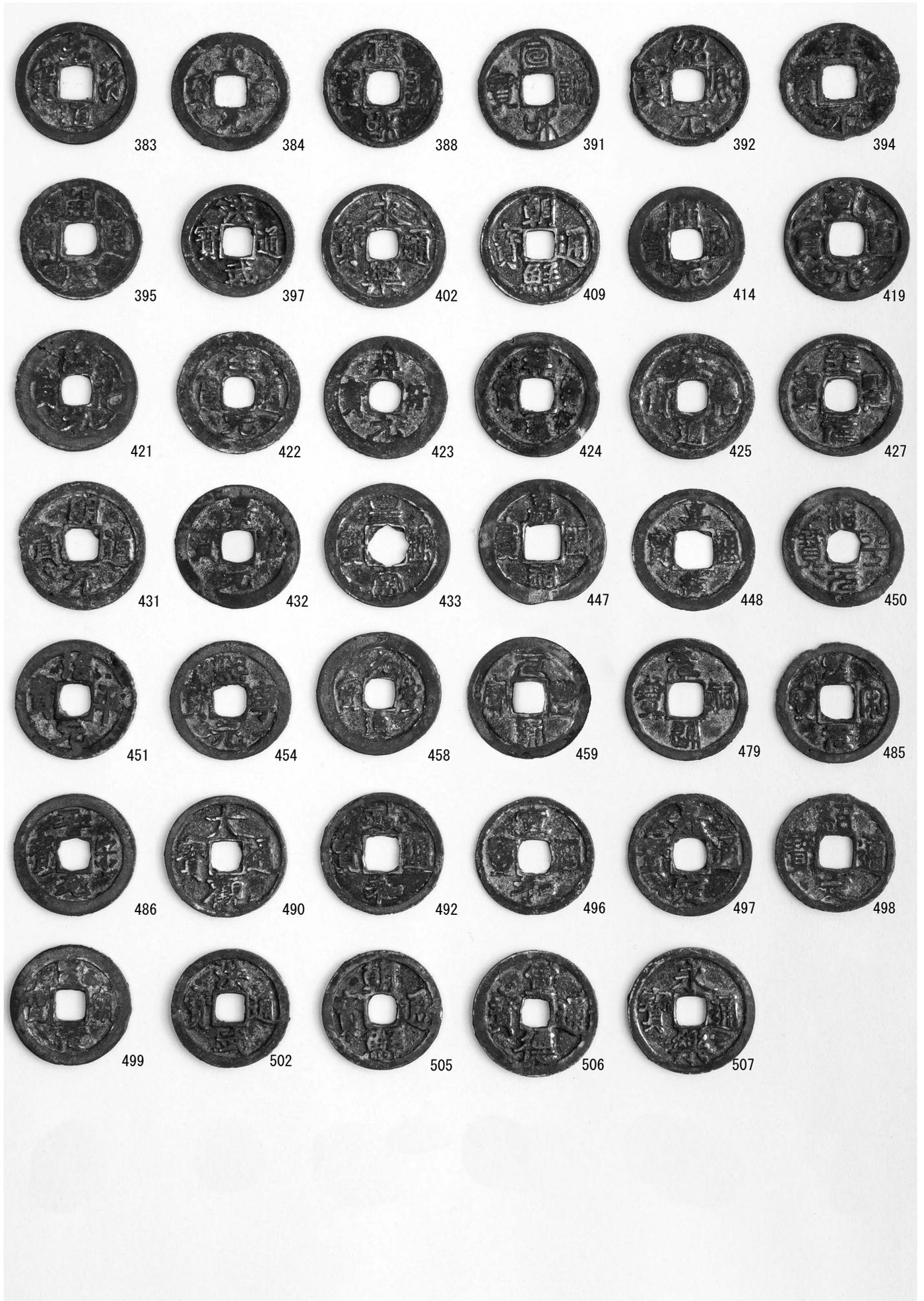
1. P-239出土古钱(2)裏



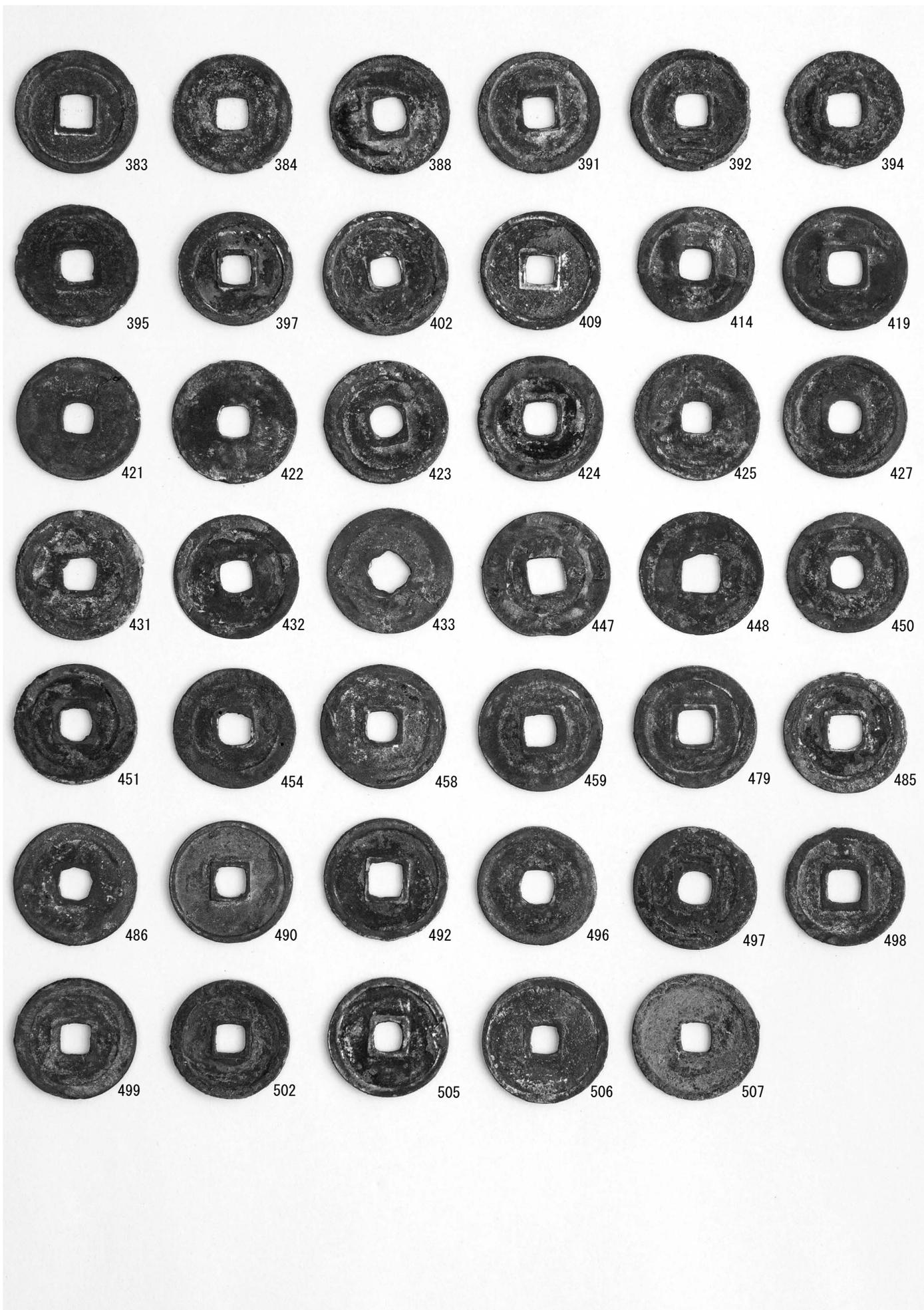
1. P-239出土古錢(3)表



1. P-239出土古钱(3)裏

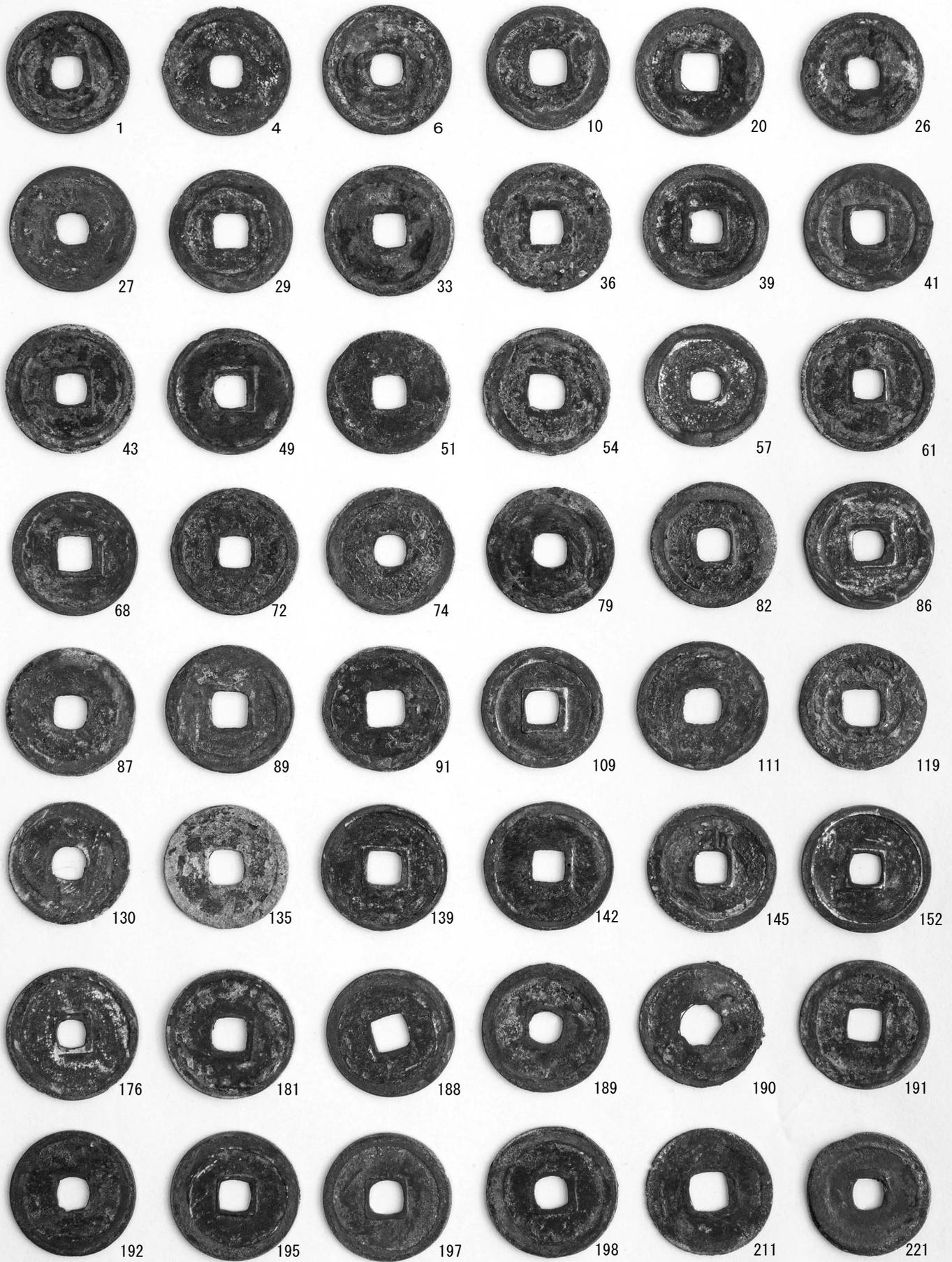


1. P-239出土古钱(4)表

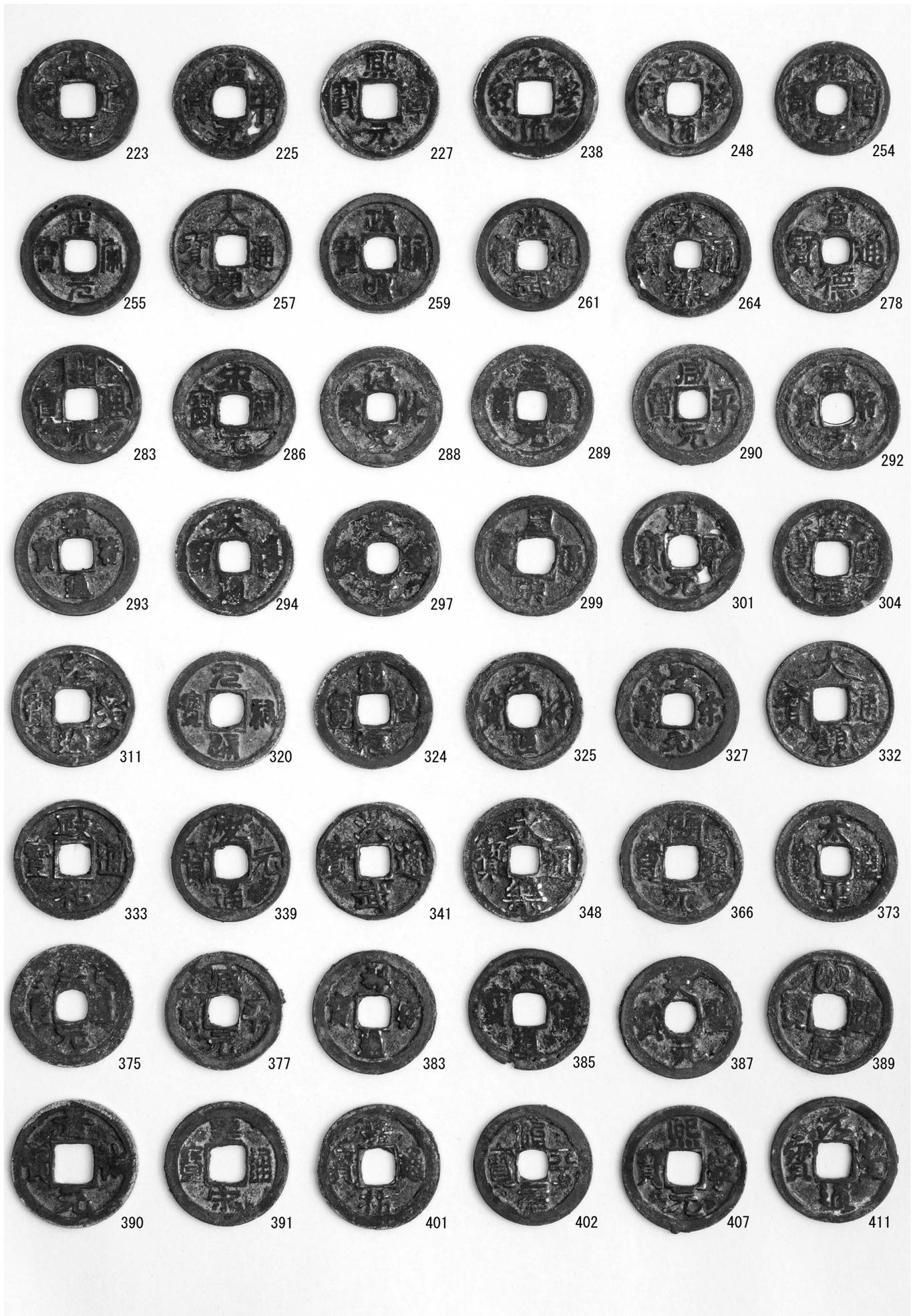


1. P-239出土古钱(4)裏

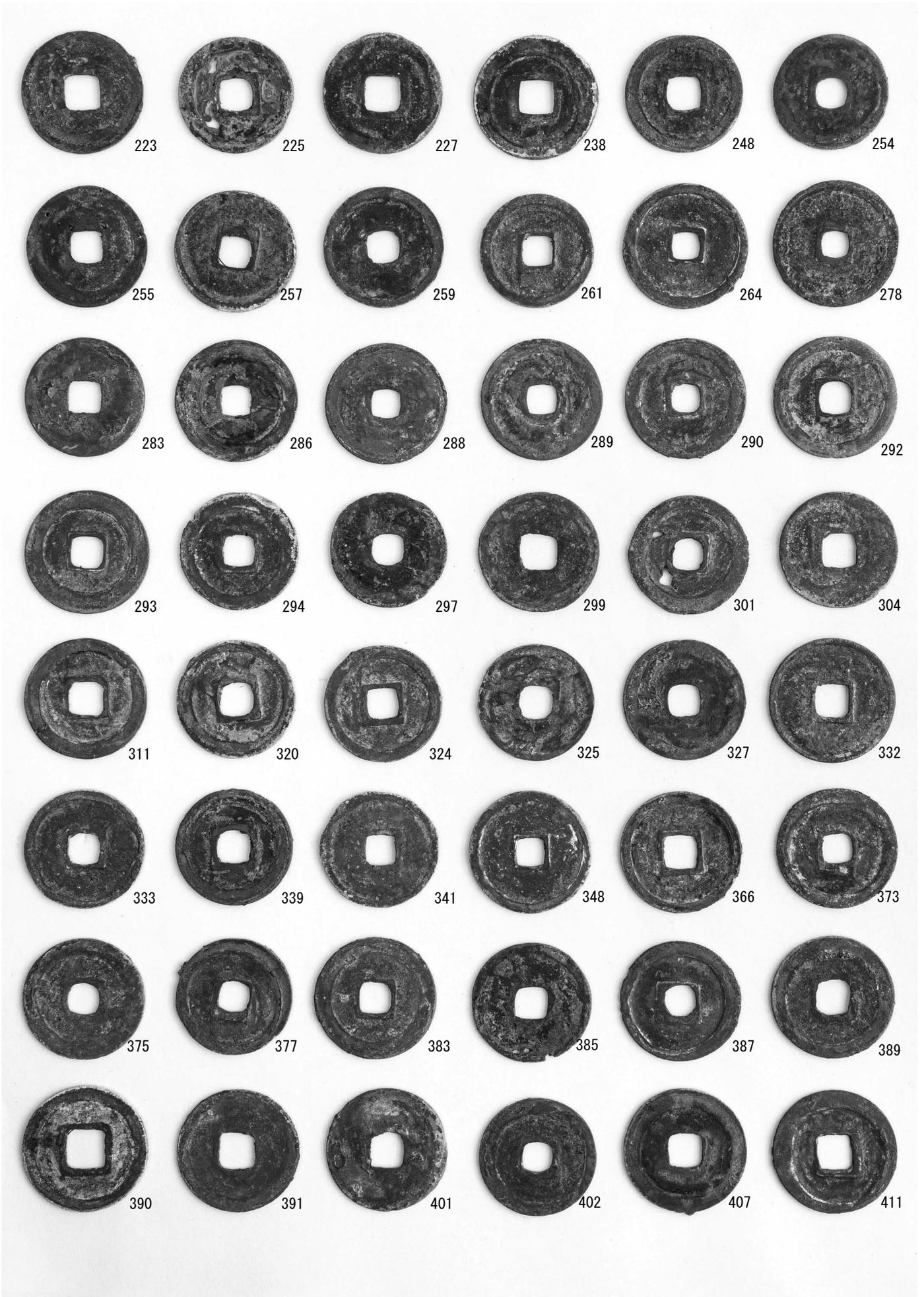




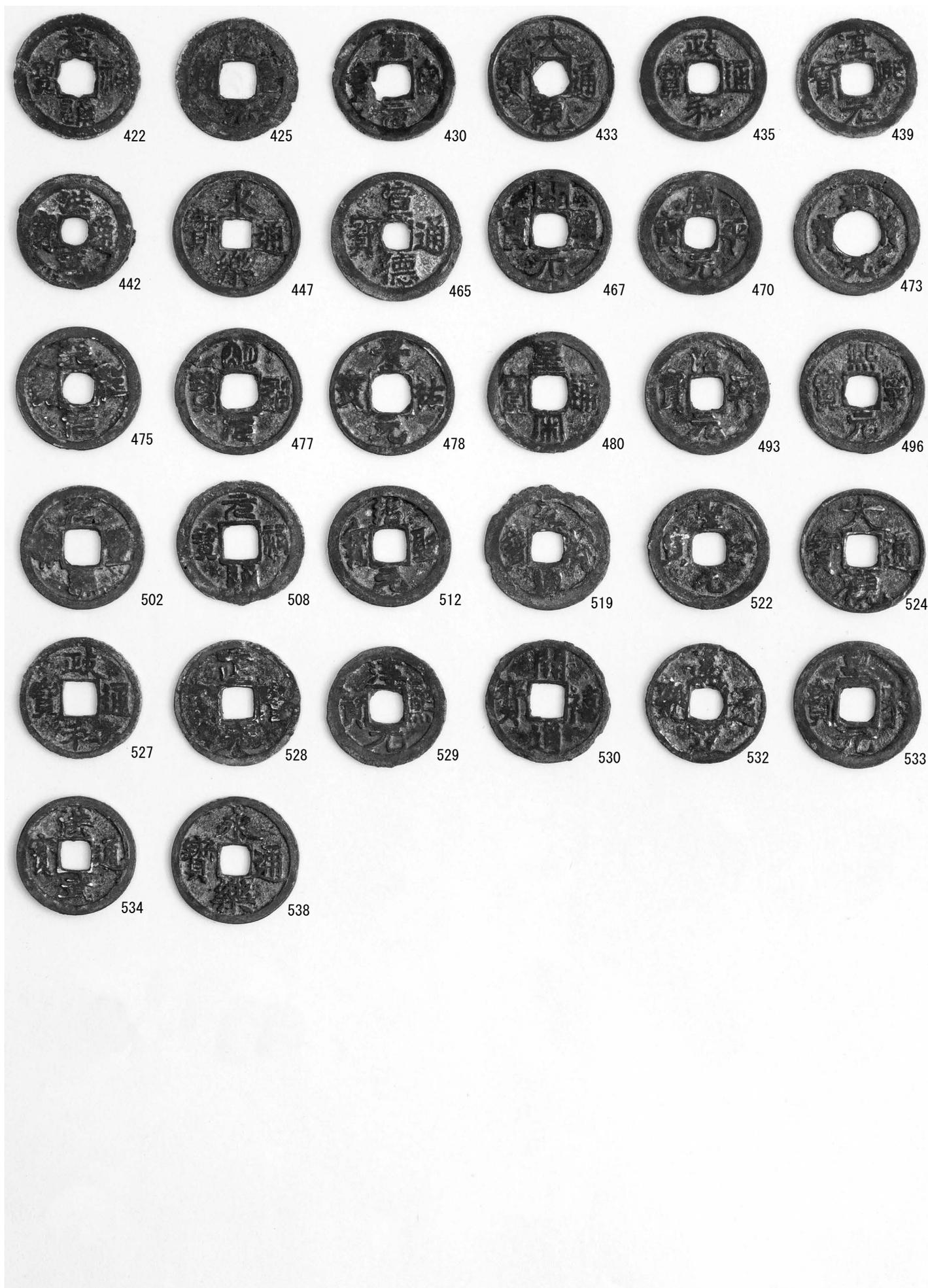
1. P-240出土古钱(1)裏



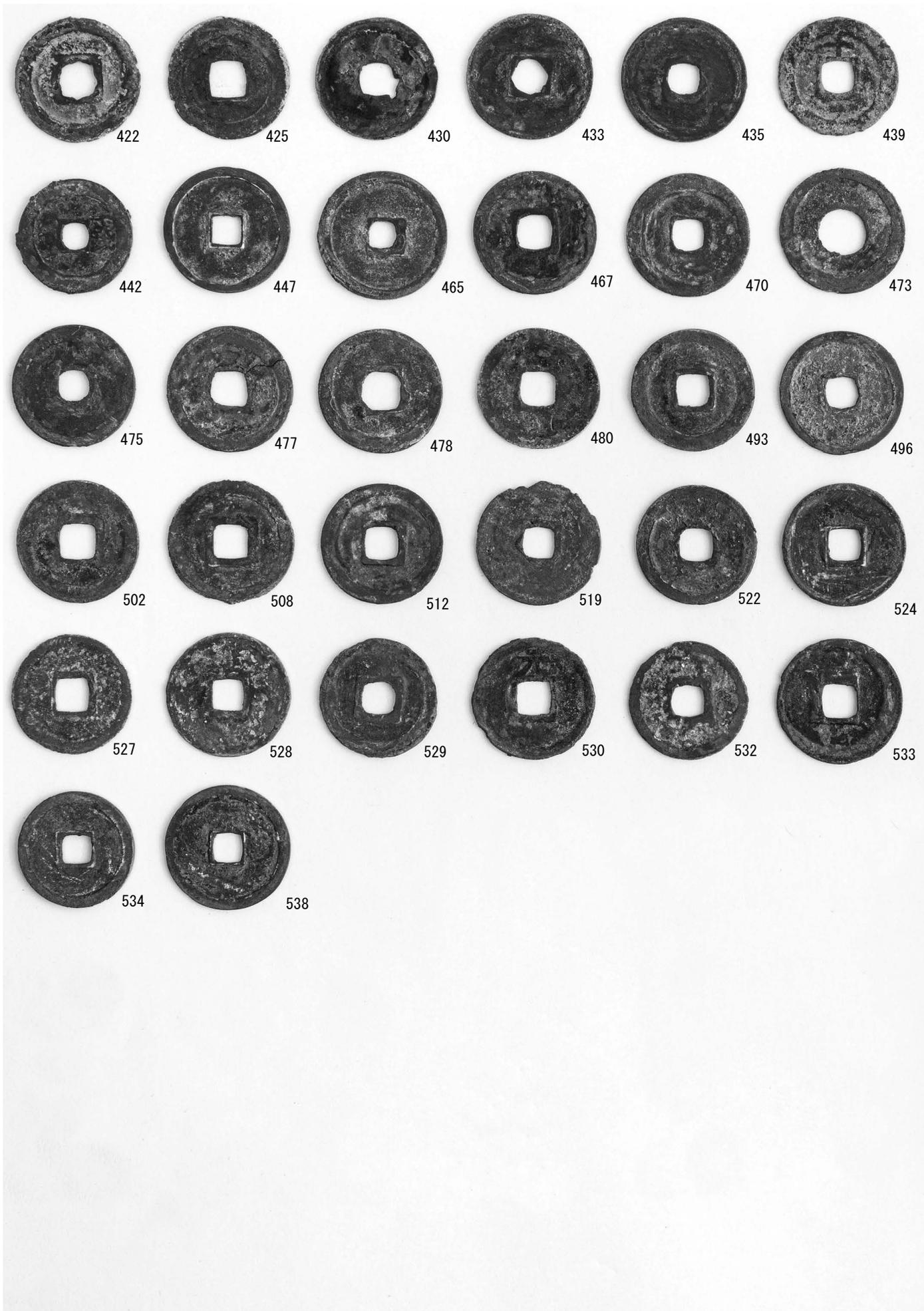
1. P-240出土古錢(2)表



1. P-240出土古钱(2)裏



1. P-240出土古錢(3)表



1. P-240出土古钱(3)裏

## 報 告 書 抄 録

ふりがな	きみつし かみゆえいせき							
書名	—君津市— 上湯江遺跡V							
副書名	宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者	曾我真実子 小林克也 (パレオ・ラボ) 三谷智弘 (パレオ・ラボ)							
編集機関	君津市教育委員会							
所在地	〒299-1192 千葉県君津市久保2丁目13番1号							
発行年月日	西暦2022年(令和4年)3月30日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地 系北緯	世界測地 系東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
かみゆえいせき 上湯江遺跡V	きみつしかみゆえいせき 君津市上湯江字 わかみや 若宮1488番1ほか	12225	KT056	35° 19' 05"	139° 54' 01"	[確認] 2020年2月6日～ 2020年3月25日	1,792 /21,878.95 ㎡	宅地造成
						[本調査] 2020年5月18日～ 2021年1月13日		

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
上湯江遺跡V	包蔵地	古墳時代  奈良・平安時代  中世  中世以降	溝跡3条 土坑1基  竪穴住居跡3軒 掘立柱建物跡2棟 溝跡66条 土坑149基 井戸2基 ピット352基  井戸1基 ピット3基  溝跡6条	弥生土器 古墳時代土師器・須恵器 奈良・平安時代土師器・須恵器・土製品・石製品・鉄製品・木製品 中世陶器・古銭・木製品 近世古銭	古墳時代後期から中世までの幅広い遺構・遺物を検出した。今回の調査成果の中心は奈良・平安時代である。方形の木製井戸枠を伴う井戸からは墨書土器や斎串などが出土し、識字層の存在や井戸祭祀などが明らかになった。また、ピットから宋銭が出土したのもあり、上湯江遺跡は古墳時代後期から中世まで連続していたことがわかる。

---

令和4年3月23日 印刷  
令和4年3月30日 発行

— 君津市 —  
上湯江遺跡Ⅴ  
宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

発行 株式会社 新昭和  
君津市教育委員会  
君津市久保2丁目13番1号  
印刷 有限会社アドメイクス  
千葉県木更津市清見台東 2-19-16

---